記事	人	水害防止件數
	內地人 本島人 外國人	內地人 本島人 外國人

●犯罪檢擧ノ記載例ニ關スル件

大正十四年六月二十九日
南警第五六四一號警務部長通達
各郡守 警察署長宛

大正十四年五月二十一日南警第四一一二號ヲ以テ勤務種別及時間集計表竝ニ外勤事務報告樣式改正ノ件通達致置キ候處同表中犯罪檢擧ノ記載方ニ關シテハ左記ニ依リ記載可相成

右依命通達ス

追而五月二十一日南警第四一一二號勤務種別及時間集計表竝ニ外勤事務報告樣式改正ノ件通達ノ記載例末項警察上ノ說諭注意ノ次ニ「犯罪檢擧」トアルヲ抹消シ「警察上ノ救護」ト記入相成度

左記

犯罪檢擧ノ記載例

一 朝鮮人ハ內地人欄ニ生蕃人ハ本島人欄ニ墨書合記スヘシ

二 巡查數名ニシテ協力シ犯罪檢擧シタル場合ハ主タルモノニ墨書シ其ノ他ノ協力シタル者ハ其ノ檢擧シタル犯罪ノ件數及人員ヲ朱書スルコト若シ主タル者二名以上ニテ主從ノ別ナキ場合ハ上席ノ巡查ニ墨書スヘシ

三 數人共犯ノ犯罪ヲ數回ニ涉リ檢擧シタル場合ハ最初ニ檢擧シタル時ニ限リ墨書シ其ノ外ハ檢擧シタル人員ノミ墨書シ件數ハ朱書スヘシ

四 數罪ヲ犯シタル犯人檢擧シタル場合例令窃盜二犯、賭博三犯、阿片令違反二犯、同施行規則違反二犯、屠畜場取締規則違反一犯、州稅規則違反一犯、獸肉營業取締規則違反一犯、違警例違反二犯アル犯人ナル時ハ「刑法犯人」欄ノ件數五、人員一ト「行政諸規則違反者」欄ノ件數七、「違警例違反者」欄ノ件數二ト墨書シ行政諸規則違反者違警例違反者ノ人員ハ各一ト朱書スヘシ以上ノ外數罪アル犯人檢擧シタル場合ハ之ニ準シ記入スヘシ

●郡竝警察署管內及警察課分室分掌區域內地圖調製方ニ關スル件

大正十二年十月二十三日
南警例第一四七〇號警務部長依命通達
各郡守 警察署長宛

派出所及駐在所部內地圖調製方ニ關シテハ曩ニ通達致置候處郡竝警察署管內及警察課分室ノ分掌區域內地圖モ亦執務上必要ト被認候條左記ニ依リ至急調製ノ上參考ニ資セラレ度

右依命通達ス

左記

一 定尺ハ五萬分ノ一（警察署ハ一萬分ノ一）トス

二 境界其他記載事項等ハ大正十一年十二月一日南警第一一七〇號依命通達第一項第二號乃至第五號ニ準據スルノ外各派出所區域毎ニ色別トシテ監視區境界線ヲ附スルモノトス

追而作製ノ上ハ表裝スヘキニ付調製次第報告相成度候

●勤務種別及時間集計表編綴ニ關スル件

昭和三年十二月三日
南警第三五五二號通達
各郡守 署長宛

大正十四年五月二十一日附南警第四一一二號通達ニ依リ調製スル勤務種別及時間集計表ハ從來雜書ニ編綴シ置キタル處昭和二年三月三十一日臺南州訓令第四號ヲ以テ臺灣總督府地方警察配置及勤務規程施行細則中改正ノ結果勤務表ヲ警察署警察課派出所駐在所ニ備ヘ置クコトニ相成候ニ付本表ハ今年一月分ヨリ每月勤務表ノ末尾ニ編綴可相成

右依命通達ス

●派出(駐在)所地圖其他整理ニ關スル件

大正十三年六月十二日
南警第七一四七號警務部長依命通達

大正十一年十二月一日附南警第一一七〇九號ニ於テ派出所ノ地圖其他ニ關シ通達置候處其內地圖及名札ハ尙左記ニ依リ取扱相成度

右依命通達ス

左記

一 地圖ハ當部ニ於テ表裝スルヲ以テ六月末日迄ニ當部へ送附スルコト但シ既ニ表裝濟ノモノハ其派出所駐在所名ヲ報告スルコト

二 目下調製中ノモノハ派出所駐在所名及調製期日ニ附シ前項ト同時ニ報告シ地圖ハ報告ト同時ニ送附スルコト

三 曩ニ送附セシ堡圖及繪具ハ前項調製ノ際利用スルコト

四 名札中ニ法院長及檢察官名ヲ追加スルコト

●警察報取扱ニ關スル件

大正十五年六月八日
南警第三三二一號警務部長通達
各郡守 署長宛

發賣頒布禁止處分トナリタル新聞紙及其ノ他ノ出版物ヲ登載シタル警察報ハ之ヲ別冊トスルコトニ通達致置候處今回左記ノ通リ取扱方改正致候條

右依命通達ス

●臺南州統計事務規程

大正九年十二月
臺南州訓令第三十六號

官房　內務部　警務部　郡役所　市役所
警察署　稅務出張所　警察分署
街庄役場　州所屬學校　公醫　婦人病院

第一條　知事官房ニ統計主務ヲ置キ官房內務部警務部各課ニ統計主務補助各一人ヲ置ク

第二條　統計主務及統計主務補助ハ判任官ヲ以テ之ニ充テ所屬職員中ヨリ知事之ヲ命免ス

第三條　統計主務ハ州管內ニ於ケル統計事務ノ統一整備ノ責ニ任ス

第四條　統計主務ハ左ノ事項ヲ掌理ス

一　統計材料ノ蒐集及統計調査ノ監督ニ關スル事項
二　臺灣總督府報告例中統計報告ニ關スル事項
三　州ノ統計報告ニ關スル事項
四　統計書ノ編纂ニ關スル事項
五　其ノ他統計ニ關スル事項

第五條　統計主務補助ハ前條各號ノ事項ニ就キ統計主務ヲ補助ス

第六條　統計主務補助ニ於テ蒐集シタル統計報告材料ハ各其ノ主務課長ノ査閱ヲ經テ統計主務ニ送付スヘシ

第七條　臺南州報告例中統計ニ係ル報告材料ハ該報告例目主管別ニ依リ統計主務之ヲ蒐集スヘシ

第八條　統計主務統計材料ヲ受理シタルトキハ之ヲ調査シ關係課係ヲ經テ知事ニ供閱スヘシ其ノ總督附報告例ニ依ルモノハ直チニ報告ノ手續ヲ爲スヘシ

第九條　特命其ノ他必要ニ依リ臨時調製スル諸統計ハ前條ニ準シ取扱フヘシ

第十條　統計主務ハ其ノ蒐集セシ統計材料ヲ種類別ニ編纂保存スヘシ

第十一條　官房、內務部、警務部ノ各課ニ於テ統計ニ關スル調査事項竝其ノ樣式ニ定ムルトキ若ハ統計ニ關スル調査ヲ公ニセムトスルトキハ總テ關係主務補助ヲ經テ統計主務ニ合議スヘシ臨時ノ調査ニ於ケルモノ亦同シ

第十二條　統計主務前條ノ合議ヲ受ケタルトキハ其ノ調査事項及樣式若ハ製表ノ適否竝還算ノ有無等ヲ調査シ意見ヲ附シ統計主務補助ニ返付スヘシ

第十三條　官房、內務部、警務部各課ニ於ケル統計ニ關スル圖書類ハ總テ統計主務ニ回覽スヘシ

第十四條　統計主務ハ每年一回以上統計事務ノ刷新統一ヲ圖ル爲メ郡役所市役所警察署警察分署街庄役場學校及所屬各廨ヲ視察スヘシ但シ必要ニ應シ書類ノ提出閱覽又ハ答辯ヲ求ムルコトヲ得

第十五條　郡役所市役所警察署警察分署街庄役場小學校公學校同分校婦人病院ニ統計主任各一人ヲ置キ其ノ主管ニ係ル統計材料調査ノ責ニ任セシム

公醫ハ其ノ所屬統計事務ニ就キ統計主任ト看做ス

第十六條　統計主任ハ所屬職員中ヨリ當該所屬長之ヲ命免シ其ノ都度之カ官職氏名ヲ知事ニ報告スヘシ

第十七條　郡役所市役所ノ統計主任ハ其ノ所轄內ノ各主管ニ係ル統計事務ヲ監査シ其ノ統一整理ノ責ニ任ス

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●年報第二行政事務及管內概況報告方ニ關スル件

大正八年四月十日
民地第一一三三號民政長官代理依命通達

報告例記述ノ部年報第二「行政事務及管內概況」報告方左記事項了知ノ上大正七年分ヨリ印刷菊版ニ附シ報告可相成右依命通達ス

記

一　記述ハ一層簡明ナルヘキコト
二　重要施設事項ニ付テハ卷頭更ニ其ノ骨子ヲ本府發行「臺灣事情」ノ記述方ニ倣ヒ「總叙」トシテ記述スルコト
三　祕密ヲ要スル事項ハ印刷ヨリ省キ別ニ報告スルコト
四　右印刷物ニ依ル報告ト同時ニ四十部地方部宛送付スルコト
五　今期印刷費豫算三五〇圓ハ別途配賦ス

●統計諸表編及統計材料編ノ編纂整理方ニ關スル件

大正六年二月七日
本警第二四五號

應警察處務細則標準ニ據ル統計諸表編及統計材料編ノ編纂方區々ニ相涉リ居候ニ付テハ爾今左記ニ據リ編纂整理相成度右通牒ス

左記

（一）統計諸表編

一　索引ヲ設クルコト
二　總督府報告例諸表ノ順序ニ編纂スルコト但應報告例アルモノハ其ノ順序ニ據ルコトヲ得
三　諸表中同種類ノモノハ一年分ヲ一括スルコト假之月報第一表ハ第一表第五表ハ第五表ト各種類別ト爲シ一月乃至十二月分ヲ一括スルカ如シ（報告期ニ依リ區分スルカ爲メ十二月分ヲ翌年分ニ編入スル向アルモ宜シカラス必ス其ノ事實ノ屬スル月ニ依リ區分セサルヘカラス
四　報告事實ナキモノハ其ノ脫漏ニアラサルヲ證スル爲メ其ノ旨ヲ記載シ置クヘシ
五　本編ニ編纂スヘキ諸表ハ報告例ニ示セルモノニ限ル但應報告例ニ依リ應限リノ報告ニ止マルモノハ本編ノ末尾ニ編纂スヘシ

（二）統計材料編

一　本編ハ統計諸表編ニ準シ編纂スヘシ
二　本編ニハ統計上何等ノ關係ナキモノハ編纂スヘカラス

●戶口年報材料蒐集方ニ關スル件

大正十二年十二月十七日
南警々第一六七七六號警務部長依命通達

從來各警察官吏派出所ニ於テ戶口ノ年報材料蒐集方ニ關シテハ區々ニ涉

リ正確ヲ保シ難キ嫌有之候處戸口年報ハ最モ重要ナル資料ト爲スニ依リ一層正確ヲ期スル必要上爾今別紙樣式ノ記簿材料蒐集式ニ據ラシメ左記各號ニ依リ處理相成度

右依命通達ス

左記

一 「戸數」及「人口」ノ種別ハ戸口調査副簿成績表記載例ニ準シ其ノ戸口ハ年末現在ヲ記入スヘシ但シ部内ニ從タル寄留地又ハ居住地ヲ有スル者ハ其ノ戸數及人口ヲ各相當欄ニ朱書別記スヘシ

二 「其ノ他ノ外國人」ノ行ニハ「戸數」及「人口」トモ其ノ種別ヲ要セス「計」欄ノミニ記入スヘシ

三 「戸主氏名」及「職業」欄ニハ戸主出寄留又ハ行衞不明、入獄等ノ場合ハ戸主ニ代ルヘキ主宰者ノ氏名及職業ヲ記スヘシ

四 一戸内ニ數人異ナル職業ヲ有スル者アル場合ハ「戸主氏名」欄ニ戸主ノ外戸主トノ續柄及氏名ヲ「職業」欄ニハ其ノ者ノ職業ヲモ併記シ須知簿五目ノ生業別戸數人口ノ調査資料トスヘシ

五 「小計」ノ行ニハ集計ノ便ト確實ヲ期スル爲メ必ス一枚毎ニ小計ヲ記入シ尚戸口調査副簿一册毎ニ作製シテ末行ニ合計ヲ附シ調査記入シタル者ハ初葉ノ上部欄外字名記入シタル括弧ノ左側ニ認印押捺シテ受持分擔區順ニ一括シ戸口年報調製濟ノ後ハ雜書ニ編纂シ置クヘシ

（別紙樣式）

【臺南番ノ一】

内地人	本籍 福建人	本籍 廣東人	島人 其他ノ漢人	島人 熟蕃人	島人 生蕃人	朝鮮人	支那人	其他ノ外國人

【臺南番ノ一】

戸口年報材料集計用紙

臺南州

番地	戸主氏名	職業	種族別	戸數 第一種	戸數 第二種	戸數 第三種	戸數 計	人口 第一種 男	人口 第一種 女	人口 第二種 男	人口 第二種 女	人口 第三種 男	人口 第三種 女	人口 計 男	人口 計 女	人口 計 計
			内地人													
			本籍 福建人													
			本籍 廣東人													
			島人 其他ノ漢人													
			島人 熟蕃人													
			島人 生蕃人													
			朝鮮人													
			支那人													
			其他ノ外國人													
			計													
			内地人													
			本籍 福建人													
			本籍 廣東人													

字名（ ）	島人	熟蕃人	生蕃人	朝鮮人	支那人	其他ノ外國人

●學齡兒童年報調査ニ關スル件

大正十二年十二月十七日
南警々第一六七六八號警務部長依命通達

首題ノ件ハ從來他ニ適當ナル調査機關ナカリシ爲メ止ムヲ得ス警察ニ於テ助長行政事務トシテ取扱ヒ來リシモノナルカ制度改正後ハ當然警察ノ手ヲ離レ普通行政機關ヲシテ調査セシムヘキモノナルヲ以テ今回訓令等四十七號ニテ報告例改正相成タル次第ナルモ警察ニ戶口調査簿及同副簿ノ備付アルニ依リ之カ調査ニ當ル他ノ機關ニ對シテハ派出所內ニ於テ戶口調査副簿ヲ閱覽セシムル等相當ノ便宜御取計相成度

右依命通達ス

●半年報及年報調製ニ關スル注意方ノ件

大正十一年十二月十八日
南警々第一二六〇九號警務部長依命通達

【臺南警】

統計報告中半年報及年報ハ諸般政務ノ基礎トナルヲ以テ最モ正確ニ調製セサル可カラサルニ往々杜撰ナルモノアリ取扱上不便ナルノミナラス統計タルノ價値ヲ減却スル次第ニ有之候條將來ハ斯ル事實ヲ繰返サヽル樣特ニ統計擔任者ヲシテ調査前ニ統計諸表ノ解說其ノ他ヲ充分熟讀了解セシムル外尙左記各號注意ヲ徹底セシメ調表上遺憾ナキヲ期セラレ度

右依命通達ス

左記

一 諸營業其ノ他ノ諸臺帳ハ統計材料ノ調査資料ト爲スニ依リ各擔任者ニ漏ナク完全ニ整理ヲ爲サシムルコト

二 各統計表ノ欄外「調査主任檢印」欄ニハ主任者ノ印其ノ下部ニハ統計擔任者又ハ實際ニ調製シタル取扱者必ス捺印シ課長署長ノ檢印ハ「調査主任檢印」ノ上部ニ押捺スルコト

三 各統計表ノ初行「臺南州」ノ下部ニ郡、署、名ヲ記載スルコト又表號印刷シアル用紙ニシテ州報告例ノ番號ト符合セサルモノハ訂正シ

【臺南警】

十一 半年報第七表「病類別屠畜禁止及廢棄」ノ記事欄ニ記入ノ場合ニ於ケル寄生蟲別細目ノ區分ハ大正十一年十一月三十日附南警第一一五九七號通達ノ病類細目要領ニ依リ記入シ尙同表及月報第二十八表「屠畜檢査」中ノ全部廢棄、一部廢棄ハ屠肉又ハ內臟ノ局部ノ全部或ハ一部ニアラスシテ一頭ヲ單位トシテノ全部廢棄又ハ一部廢棄ナルヲ以テ誤謬ナキヲ要ス而シテ其ノ斤量ハ一斤ヲ單位トシ一斤以下ハ四捨五入シテ計記スルコト

十二 年報第六十五表「警察職員平地配置定員竝事故」ノ警察取締營業者數ノ計數ハ單ニ年報第百七十九表「警察取締ニ屬スル職業其ノ他」中ノ單位「人」ヲ以上示セルモノノミナラス更ニ單位「箇所」ヲ以テ示セルモノヲモ揭ケ尙年報第百七十九表ニ揭記セサル職業其ノ他ト雖苟モ警察上取締ヲ要スルモノハ總テ之ヲ加ヘタル計數ヲ記入シ犯罪件數欄ニハ年報第百八十四表「犯罪件數」ニ揭クルモノノミナラス刑法行政諸規則及臺灣違警例等苟モ犯罪ヲ成セルモノハ總テ之ヲ通算揭記スルコト

十三 年報第百七十八表「保甲壯丁團ノ收入及支出」ノ第一經常部ノ支出ハ保甲經常費收支豫算認可ノ費目ニ依ルコト

十四 年報第百七十九表「警察取締ニ屬スル職業其ノ他」ハ各統計表ト關聯スル事項多ク又他ノ主管課ヨリ報告ノ年報事項トモ關係アリテ之カ解釋ノ如何ニ依リテ往々差異ヲ生スルコトアリ例令警察統計ニ在リテハ實際既ニ廢業シ居ルモ未タ其ノ手續ヲ爲ササルモノハ臺帳ニ依リ之ヲ調査スルカ故ニ尙營業者トシテ揭上スルカ如シ如斯實際廢業セルモ手續未濟ノ爲メ營業者トシテ調査シタル場合ハ

「第 表」ト印刷シアルモノニハ州報告例ニ依リ相當表番號ヲ記入スルコト

四 統計表中ニ△×※〇等ノ記號及朱書再揭、朱書別記等ニ區分記入ヲ要スルモノニハ特ニ注意シ誤ナキヲ要ス尙月報第十八表「番人教育ノ甲」ノ解說四號同第十九表「番人教育ノ乙」ノ解說五號等ノ如ク單ニ朱書トアル場合ハ朱書別記スヘキモノトス

五 朱書ヲ計、合計通計欄ニ記入ヲ洩スモノアリ必ス記入スルコト

六 統計表ノ數字ノ不鮮明誤寫又ハ單位違等ノ誤謬ナキ樣校合檢算ノ際深ク注意ヲナスコト

七 統計材料ニ報告ヲ徵シタルモノハ細密檢査ヲ爲シタル後チ集計ヲ反シ其ノ材料ノ實數ト統計表ノ計數ト相違ナキヤ集計ニ注意スルコト

八 戶口其ノ他ノ統計ニシテ前年末ニ比シ著シキ增減ヲ生シタルトキハ其ノ事由ヲ記事欄ニ記入スヘシトアルモノニ在リテハ一割以上ノ增減アリシ場合ハ必ス其ノ事由ヲ記事欄ニ記入スルコト

九 統計表中同一事項ニシテ年中ノ該當事項トシテ揭上スルモノト年末現在ニ依リ揭上スルモノトアリテ其ノ計數ニ於テ差異ヲ生スルモノハ其ノ記事欄ニ記入スルコト

十 半年報第五表「牛乳檢査」ト年報第百九十四表「牛乳」又半年報第六表「屠畜檢査」同第七表「病類別屠畜禁止及廢棄」ト年報第百九十五表「屠畜」ト月報第二十八表「屠畜檢査」トハ各對照シテ其ノ計數一致スル樣注意スルコト其ノ他各統計表中同一事項ニ就キ二表以上相互關聯スルモノハ其ノ計數ヲ照合シ不突合ナキ樣注意ノコト

其ノ旨記事欄ニ記入スル等夫々連絡ヲ取リ本表ト關聯事項ハ各對照ヲ爲シ再調照復ヲ重ネサル樣細心ノ注意ヲ拂フコト左ノ事項ハ特ニ漏ササル樣注意ヲ要ス

冶金工場、製糖工場、電氣ヲ供給スル營業、瓦斯ヲ供給スル營業、公債株券又ハ債券月賦販賣業、競賣業、辯護士事務員、辯轉（營業以外）自動車（營業以外）遊船（營業以外）艀船（營業以外）荷車等以上

十五　年報第百九十六表「種痘人員」ハ特ニ同表解說二號ニ注意シ誤ナキヲ期スルコト

十六　年報第二百五表「病類別公醫治療患者」本表ノ調査ハ頗ル複雜ナル丈ケ不備ノ點多シ竝ハ公醫々務多忙ノ故ヲ以テ多クハ助手等ヲシテ製表セシムル爲メ記載例ヲ誤解シ甚シキハ記載例ノ改正ヲサヘ知ラスシテ製表スルモノアリ尙罹患者ハ前年ノ後遺ト符合セサルアリ注意セラルルヲ要ス

●行政事務及管內概況資料蒐集方法ニ關スル件

大正十年六月八日
官文第四五三號ノ九臺南州知事通達

州各課長　郡守　市尹
警察署長　役場出張所長宛

臺灣總督府報告例記述ノ部年報第二行政事務及管內概況報告書ハ管內ノ現況及行政施設事項ノ成績施設中ニ係ル事項ノ景況竝將來ノ趨勢ヲ察知スル上ニ於テ必要ナル報文ニ有之候處從來各部ヨリ提出スル資料ハ記述ノ範圍偏狹ニ失シ往々重要事項ニシテ脫漏セルモノ等アリ從テ之ニ依リテ編述セラレタル該報文ハ州治ノ全般ヲ窺フニ足ラス本官當ニ之ヲ遺憾トス之畢竟材料ノ撰擇ニ注意ヲ缺クノ結果タルヘシト雖抑モ又蒐集方法ノ宜シキヲ得サルニ職由セスンハアラス故ニ爾今各課各係擔當主任者ヲシテ材料ノ撰擇ヲ一層愼重ニシ日常事務ノ間深ク之ニ留意シ苟モ記述材料ト思料シタル事項ニ就テハ其ノ時々文書ノ表面見易キ箇所ニ「行政報告材料」ノ印ヲ押捺シ置キ搜索ノ便ヲ具ヘ遺憾ナキヲ期セラルヘシ

●行政事務及管內概況資料蒐集方法ニ關スル件

大正十年六月十四日
官文第四五三號文書課長依命通牒

州各課長　郡守　市尹
警察署長　役場出張所長宛

本月八日附官文第四五三號ヲ以テ行政事務及管內概況報告材料蒐集方法ニ就キ知事ヨリ御達相成候處右ニ據リ「行政報告材料」ノ印ヲ押捺セラレタル文書ニシテ編纂ノ爲メ文書係ニ引繼カルル場合ハ各主任ニ於テ必ス其收發番號ヲ書留置キ後日ノ參照ニ便ナラシムル樣御取計相成度右依命通牒ス

●警務要覽資料調查ニ關スル件

大正十四年七月一日
南警第五六七六號警務部長依命通達

各郡守　警察署長宛

當州警務要覽調製上必要有之候條左記事項ヲ別紙樣式ニ依リ每年調查ノ上翌年四月末日迄ニ報告相成度
右依命通達ス
追テ大正十三年分ハ七月二十日迄ニ報告相成度尙本調查事項ハ各件每ニ紙葉ヲ異ニシ且前年ト大差アルモノハ其ノ事由ヲ詳記相成度申添候也

記

（別記樣式）

一、重ナル市街地ノ戶數人口

（臺南警）

市街別	戶數	內地人			本島人			朝鮮人			外國人		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計

（大正　年末現在）

注意　市街地ノミノ戶口ヲ揭記スルモノニシテ其ノ市街庄全部ノ戶口ニアラス

二、警察文書ノ收發件數

（大正　年中）

戶口			戶口以外ノ文書		
收	發	計	收	發	計

注意　本文書ノ「收」欄ニハ初メテ收受シタル件數「發」欄ニハ新起發案シテ發送シタル件數ヲ「戶口」ト戶口以外ニ區分シテ記入シ計ハ收發件名鄕ノ最終ノ番號ト一致スルモノトス

七、重ナル工場

（大正　年末現在）

所在市街庄	工場名

八、交通事故

鐵道			軌道			自動車			人力車			自轉車			其ノ他			計		
回數	死	傷	回數	死	傷	回數	死	傷	回數	死	傷	回數	死	傷	回數	死	傷	回數	死	傷

（大正 年中）

九、保甲經費

戶數	保數	經常費		一戶平均		一戶最多		一戶最低		赤貧免除戶數
		豫算額	負擔額	負擔額	負擔額	負擔額	負擔額	負擔額	負擔額	
		圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	

（大正 年分）

摘要

十、犯罪件數及法院送致數

被害								檢舉								
盜難	殺人	傷害	賭博	詐欺恐喝	橫領	其他	計	盜難	殺人	傷害	賭博	詐欺恐喝	橫領	其他	計	法院送致數

（大正 年中）

注意 「其他」ノ欄ニハ表記以外刑法犯行政諸規則違犯ノ罪、違警例等苟モ犯罪ヲ成セルモノ全部ヲ記入スルモノトス

法院送致數ハ一人ニテ併合數罪アルモ一トス

十一、浮浪戒告者及刑事要視察人

浮浪者			刑事要視察人											
戒告	強制就業	計	累犯豫防	賭博常習	起訴猶豫	刑執行猶豫	假出獄	恩赦	計	合計

（大正 年末現在）

（臺南警）

十二、不良少年少女動機及養育別

動機別	性別	實父母ノ手	實父又ハ實母ノ手	繼父母ノ手	繼父又ハ繼母ノ手	兄弟姉妹ノ手	祖父母ノ手	叔父叔母ノ手	計
家庭不和	男								
	女								
買食	男								
	女								
貧困	男								
	女								
美服ヲ著セント	男								
	女								
遊興	男								
	女								
芝居活動ヲ見ント	男								
	女								
賭博	男								
	女								
他人ノ誘惑	男								
	女								

（大正 年末現在）

（臺南警）

其ノ他		計	
男	女	男	女

十三、少年少女犯罪年齢別

年齢別	內地人本島人ノ別	窃盜	詐欺恐喝	横領	傷害	放火	其他	計

（大正　年中）

十四、飲料水使用ノ狀態

井水使用		河水使用		水道使用		溜水使用		溝水使用		海岸ノ濾水使用		其他	
戸數	人口	戸數	人口	戸數	人口	戸數	人口	戸數	人口	戸數	人口	戸數	人口

（大正　年末現在）

十五、一般衛生狀態

分娩狀態			死亡者死因別			死亡者年齢別			死亡者診斷別		
產婆ノ手ニヨルモノ	限地產婆ノ手ニヨルモノ	產婦ノミノモノ	風土病	傳染病	其ノ他ノ病氣	一年未滿	十年未滿	十年以上	醫師診斷	醫師檢案	保甲證明

（大正　年中）

十六、製腦高及腦灶配置

腦灶			製產高							
眞樟灶	芳種灶	計	樟腦		樟腦油		芳樟油		總金額	
			數量	金額	數量	金額	數量	金額		
			斤	圓	斤	圓	斤	圓		圓

（大正　年中）

注意　本調査ハ新化郡嘉義郡斗六郡ノミトス

●警察統計資料調査年報ノ件

大正十四年十二月十二日
南警第八六九三號警務部長依命通達
各郡守　警察署長宛

警察統計諸表調製上必要有之候條警察職員ノ身分關係及勤怠事故ニ關シ爾今別記樣式ニ依リ調査ノ上毎年一月二十日迄報告相成度

右依命通達ス

追而大正十四年七月一日附南警第五六七六號警務要覽資料調査ノ件依命通達ノ左記中　三、警察官吏有位帶勳功者　四、警察官吏勤怠調　五、警察官吏軍隊關係　六、警察官吏就職前ノ職業調ハ爾今削除致候條此段申添候也

甲號用紙

年報																	
警察職員身分調其ノ一																	
拜命年月日	勤續年月數	精勤證書受有者		語學試驗合格證書受有者													
		加俸額	無加俸	證書種別	語ノ種別	通譯兼掌手當額	學校ノ教育程度	出身地	官職氏名	生年月日	年齢月數						
年月日		圓				圓				年月日							
年月日										年月日							
大正十年十二月末日現在																	
郡署																	
臺南州																	

調査主任檢印

一、本調査書ハ警部、警部補、巡査部長、甲種勤務巡査、乙種勤務巡査、警手ノ順序ニテ各官職毎ニ一行宛餘白ヲ存シテ區分調製スヘシ
二、拜命年月日ハ一旦退職又ハ休職後再就職セシ者ハ後ノ就職年月日ヲ記入スヘシ
三、警部補ヨリ警部ニ甲種勤務巡査ヨリ巡査部長ニ昇進セシ者ハ勤續ニ通算シテ前官又ハ前職ノ拜命年月日ヲ記入スヘシ
四、甲種勤務巡査ヨリ警部補又ハ警部ニ昇進セシ者及他ノ官職ヨリ轉入セシ者乙種勤務巡査ヨリ甲種勤務巡査トナリシ者ハ前官又ハ前職ハ勤續ニ通算セス後ノ拜命年月日ヲ記入スヘシ
五、精勤證書受有者ハ巡査部長、甲種、乙種巡査ニ限リ調査シ加俸支給ナキ者ハ「無加俸」欄ニ「同」ト記入スヘシ
六、語學試驗合格證書受有者ノ「證書種別」欄ニハ甲、乙ノ別「語種別」欄ニハ國語、廣東、福建ト蕃語ハタイヤル、サイセット、アミ、ブヌン、ツオウ、プユマ、チヤリヤン、パイワン、ヤアミ、朝鮮語ハ朝鮮、英國語ハ英語ト記入シ二種以上ノ合格證書受有者ニハ之ヲ各相當欄ニ竝記スヘシ
七、學校ノ教育程度ハ私立大學、高等學校、專門學校、中學校、師範學校、實業學校、高等小學校、尋常小學校、公學校、「卒業」ト「在學」トニ分チ尚ホ以上ニ該當セサル者ハ「其ノ他」ニ區分シテ記入スヘシ
八、精勤加俸額、通譯兼掌手當額ハ一圓ハ「一」十五圓ハ「一五」ト勤續年月數及年齡月數ハ滿月ヲ以テ計算シ十二月末日迄一年未滿ニテ十一箇月以上ノ勤續者ハ「〇、一一」ト二十五年三箇月以上ナル者ハ「二五、三」等記入スヘシ

甲號用紙

年報

調査主任檢印

郡署

警察職員身分調其ノ二

大正十　年十二月末日現在

採用ノ別	警察官練習所又ハ州廳巡査教習所修了ノ有無 甲科	乙科	教習所	警察講習所	警察官練習所特種科及特科修了ノ科目	內地又ハ總督府ニ於ケル諸講習修了ノ科目	州廳ニ於ケル諸講習修了ノ科目	文官試驗合格證書其ノ他資格證書受有ノ種別	官職氏名

〔臺南警〕

臺南州

一、本調査書ハ警部、警部補、巡査部長、甲種勤務巡査、乙種勤務巡査、警手ノ順序ニテ各官職毎ニ一行宛餘白ヲ存シテ區分調製スヘシ
二、採用ノ別ハ普通採用ハ「普通」特別採用ハ「特別」ト記入スヘシ
三、「甲科」「乙科」「教習所」「警察講習所」ノ欄ニハ各所定ノ科程ヲ修了セル者又ハ所定ノ期間入所セサルモ修了證書ヲ授與セラレタル者ハ「修了」入所中半途ニシテ出向シ修了證書ヲ授與セラレサル者ハ「未了」入所セサル者ハ「—」ト記入スヘシ但シ再就職セル者ニシテ後ノ就職ハ特別採用ニテ入所セサルモ前就職ノ時ニ臺灣總督府警察官練習所州廳ノ巡査教習所ニ入所セル者ハ前段ノ區別ニ依リ記入スヘシ

甲號用紙

年報

調査主任檢印

郡署

警察職員身分調其ノ三

大正十　年十二月末日現在

軍籍關係 兵種	階級	現役豫後備及兵役終了ノ別	有位帶動功者 位階	勳等	功級	就職前ノ職業	武術階級 柔道資格年月日	劍道資格年月日	官職氏名

臺南州

一、本調書ハ警部、警部補、巡査部長、甲種勤務巡査、乙種勤務巡査、警手ノ順序ニテ各官職毎ニ一行宛餘白ヲ存シテ區分調製スヘシ
二、軍籍關係ハ陸海軍出身者ノ全員ヲ調査記入スヘシ
三、「兵種」欄ニハ歩兵、騎兵、砲兵、工兵、輜重兵、憲兵、衞生部、經理部、海軍出身者ハ全部海軍等記入スヘシ
四、「階級」欄ニハ輜重輸卒、補充兵(未)(既)、一、二等卒、上等兵、伍長、軍曹、曹長、特務曹長、少尉、中尉、大尉等記入スヘシ但シ相當官ハ各階級相當ニ合記シ海軍出身者ニ就テハ上等兵曹ハ特務曹長ニ一、二、三等兵曹ハ曹長、軍曹、伍長ニ、一、二等水兵ハ上

等兵ニ、三、四等水兵ハ一、二等卒ニ夫々合記スヘシ

五、「現役、豫後備及兵役終了ノ別」欄ニハ歸休中ニ在ル者ハ「現役」豫備役ニ在ル者ハ「豫備」後備役ニ在ル者ハ「後備」後備役其ノ他兵役ヲ了シタル者ハ「終了」ト區分記入スヘシ

六、「就職前ノ職業」欄ニハ左ニ依リ記入スヘシ

イ 警察職員トナリシ當時最近ノ職業ニ依リ記入スヘシ但シ職業二以上ヲ有スルモノハ其ノ主ナル一方ニヨリ記入スヘシ

ロ 職業ノ區分ハ農業、水産業、鑛業、工業、商業、交通業、陸海軍人軍屬、官公吏、公務所ノ雇、傭、其ノ他、雜業、家事使用人、無職業ニ區分記入スヘシ

ハ 陸海軍人屬ハ軍人屬及現役下士以上ヨリ直ニ轉職セル者ニ限リテ之ヲ記入シ現役滿期ノ兵卒ノ如キハ入營前ノ職業ニ依リ記入スヘシ

甲號用紙

年報

警察職員勤怠調（　）

調査主任檢印

郡署

昭和　年末

回數及日數	勤務									出張	休暇				缺勤										官職氏名
	出勤	非番	視察	出向	赴任	入所	召集	早引	遲刻	計	忌引	慰勞	祭日	傷痍	計	病氣	轉地	看護	歸省	召喚	受驗	遮斷	變災	缺勤	計	轉勤其ノ他異動月日事由	
回數																									
回數																									
回數																									

臺南州

一 本調査ハ年末ノ現在者ト非現在者トヲ各別ニ調査書下ノ括弧内ニ其ノ區別ヲ記入シ事故當時ノ州郡署ニ於テ警部、警部補、巡査部長、甲種勤務巡査、乙種勤務巡査、書手ノ順序ニ依リ各官職毎ニ一行宛餘白ヲ存シテ區分調製スヘシ但シ所轄外ノ州廳ヨリ出向シ來ル者ニ限リ前任地ノ勤務當時ノ勤怠事故ハ各該當欄ニ朱書別記スヘシ

二 警部補ヨリ警部ニ甲種勤務巡査ヨリ巡査部長ニ昇進シタル者又ハ巡査部長ヲ免セラレタル者ハ通算シテ後ノ官職ニ依リ記入スヘシ

〔臺南警〕

三 「出勤」欄ニハ早引及遲刻ヲ算入スヘカラス

四 「出勤」及「非番」欄ニ限リ各日數丈ケ記入シ回數ハ記入ヲ要セス

五 年末現在者ニシテ其ノ年中ニ缺勤ナカリシ者ハ缺勤ノ「計」欄ニ「皆勤」ト記入スヘシ

六 「出向」及「赴任」欄ニハ轉勤ノ命ヲ受ケタル前日迄ハ舊勤務地ノ所轄州廳郡署ニ於テ揭記シ受命ノ日ヨリ新勤務地ノ所轄州廳郡署ニ於テ揭記スヘシ但シ出向ノ日數ハ出向命令ノ日ヨリ任命ノ日迄赴任ノ日數ハ受命ノ日ヨリ巡査、警手ハ三日内警部、警部補ハ五日内ニ限リ記入スヘシ

七 「轉勤其他ノ異動月日事由」欄ニハ（現在者）（非現在者）共ニ新任、轉入、轉出、休職、退職、死亡、懲戒免等ノ月日事由ヲ（轉入出ハ月日何州廳（ヨリ）（ニ）出向又ハ警務部、何郡署（ヨリ）（ニ）轉勤ト）必ス記入スヘシ

●警務要覽資料調査報告期日變更ノ件

大正十五年二月一日
南警第九三六號警務部長依命通達
各郡守 警察署長宛

大正十四年七月一日附南警第五六七六號ヲ以テ通達致置候警務要覽資料調査ニ關スル件報告期日四月末日迄ニ有之候處調製上必要ニ付爾今毎年二月十五日迄ニ報告相成度

右依命通達ス

●外國軍艦商船等ノ沿岸航行ヲ認メタル場合報告方

明治三十七年一月
警務課長通牒
安平支廳長宛

外國軍艦及商船等ノ沿岸航行ヲ認メタル場合一々電報有之候處電文簡ニ過キ要領ヲ得サルモノ有之候之軍艦一南ニ往ク旗章不明等ノ如キ其ノ何國ノ軍艦タルヤ判明シ能ハス如此ハ其ノ報告ヲ要スル目的ヲ達セサルノミナラス徒ニ手數ト冗費トヲ增スニ止ムル義ニ有之候ニ付テハ自今出來得ル丈ケノ鑑識ヲ用ヰ其ノ旗章及艦船ノ區別艦船航行ノ方向ハ勿論船體ノ色別檣ノ數及煙突ノ形狀色別及數等ヲ見認シ若シ其ノ旗章不明ノ場合ト雖如上ノ事項遺漏無之樣報告方御取計相成度候

●留置人ノ逃走又ハ留置場ヲ破壞シタル場合報告ノ件

明治四十三年十一月
臺南警第二五七五〇號ノ一

留置人ノ逃走又ハ留置場ヲ破壞シタル場合ニ於テハ其ノ際當然報告可有之筈ナルニ之カ報告ヲ怠リ甚タシキハ其ノ責任ヲ等閑ニ付シ曖昧裡ニ之ヲ埋沒セムトスルカ如キ嫌有之斯テハ官紀上ニモ影響ヲ及ホシ不都合不尠趣ヲ以テ内務局長ヨリ通牒ノ次第モ有之候條今後ハ留置場ノ破壞ハ勿論留置人ノ逃走ハ其ノ罪ノ輕重如何ニ拘ハラス一旦拘禁シタル者ハ假令

承諾同行ト雖悉ク其ノ事件發生ノ都度詳細報告可有之右及通達候也

●委任事務施行報告ニ關スル件

大正十年三月
南警第一四六八號警務部長依命通達
郡守 警察(分)署長宛

首題ノ件事務委任規程ニ依リ事務施行ノ際ハ左記ニ依リ翌月五日迄ニ報告可相成依命通達ス
追而一月及二月分モ四月五日迄ニ報告相成度申添候

左記

一 職員ニ除服出仕ヲ命シタル場合
二 轉地療養看護歸省旅行ヲ許可シタル場合但シ非番旅行ヲ除ク
三 褒賞及過怠處分ヲ認可シタル場合
四 保甲過怠金支出ヲ認可シタル場合
前二號ノ場合ハ別紙樣式ニ依ル

年 月 日

郡守、警察(分)署長名

臺南州知事宛

保甲過怠金支出認可報告（ 月分）

認可月日	金額	事由	支出保名

〔臺南警〕

年 月 日

郡守、警察(分)署長名

臺南州知事宛

保甲過怠處分報告（ 月分）

認可月日	金額	事由	保甲名	被處分者氏名

年 月 日

郡守、警察(分)署長名

臺南州知事宛

保甲褒賞執行報告（ 月分）

認可月日	金額	事由	保甲名	被褒賞者氏名

●委任事項施行報告ニ關スル件

大正十一年九月
南警第八二八四號通達

大正十年三月二十九日南警第一四六八號ノ二ヲ以テ通達致置候委任事項施行報告ニ關スル件中左記事項第二號ノ旅行ニハ非番旅行ヲ除ク外總テノ旅行ヲ含ムモノニ付爾今右ニ依リ報告相成度

〔臺南警〕

●警察課長臨時代理事項ニ關スル件

大正十年四月
南警第二三六二號警務部長依命通達
郡守宛

地方官々制第三十九條第二項ニ依リ警察課長ヲシテ臨時代理セシムヘキ事項ヲ定メタル場合ハ事務ノ種別報告可相成右依命通達ス
追テ報告事項ヲ變更シタルトキハ其ノ都度報告相成度申添候

●警察官吏派出所駐在所工事通報方ノ件

大正十年十月
南警第五一九九號警務部長照會
郡守 警察(分)署長宛

警察官吏派出所駐在所ニシテ新築又ハ改築ノ場合ハ爾今其ノ工事着手竝竣工ノ年月日其ノ都度通報相成度右照會ス

●管內概況報告書ニ關スル件

大正十三年十一月二十二日
南警第一一六八〇號警務部長通達
各郡守 警察署長宛

警務部長定期巡視ノ際提出スヘキ管內概況報告書ハ自今別記要項ニ依リ作製相成度
右依命通達ス

第一編 通則 第二章 公布式 文書 統計 報告

記

一 規律
二 點檢
三 訓授特ニ監視區監書巡查部長ノ分ヲ詳記スルコト
四 動務 (イ)職員動務(賜暇其他ヲ含ム)ノ狀況 (ロ)助長事務援助ノ狀況
五 配置
六 學術講習ノ狀況
七 警察職員ノ內部關係及外部關係
八 法令實施ノ狀況
九 生業ノ狀況
十 交通ノ狀況
十一 保甲ノ狀況
十二 風俗變遷ノ狀況
十三 司法警察ニ關スル狀況
十四 戶數人口集散ノ狀況
十五 衞生狀況
十六 民情ノ大要
十七 廳舍及宿舍ノ狀況
十八 給貸與品保存手入ノ狀況
十九 其他參考事項

尙高等警察ニ關スル事項ハ別冊トスルコト

●派出所ノ新設廢止又ハ受持區域變更ニ關スル件

大正十三年八月
南警第九四〇〇號警察部長通達
郡守　署長宛

記

一　名稱、位置、受持區域、定員等ヲ左記樣式ニ依リ記載スルコト

名稱	位置	受持區域		配置定員				備考
		市街庄	區域	戶數	人口	監視區	警部	警部補	巡査部長	甲種	乙種	

廢止又ハ受持區域ノ變更ニアリテハ從來ノ戶數人口ヲモ朱書シ備考ニハ必要ナル事項ヲ記載スヘシ

二　新設廢止又ハ受持區域變更ヲ要スル理由ヲ記述スルコト

三　地圖

イ　隣接及關係派出所、駐在所ノ位置、受持區域、距離竝ニ主要建物ノ所在其ノ他地形ヲ示シタル二萬分ノ一ノモノ但シ臺南市、嘉義街所在ノモノニアリテハ二千四百分ノ一ノモノヲ添附スルコト

ロ　新舊區域ノ區劃ハ新區域ヲ朱線舊區域ヲ青線ヲ以テ表示スルコト

ハ　圖面餘白ニ凡例ヲ設ケ道路、鐵道、山川、湖沼、街庄大字界部落、主要建物其ノ他必要事項ヲ例示スルコト

四　配置

定員配置ノ方法ハ如何ニスヘキヤヲ記述スルコト

五　廳舍及宿舍關係

事務所宿舍ニ充用スヘキ建物ノ有無、新築、改築又ハ修繕ノ要否竝ニ其ノ費用額支出方法等ヲ詳細ニ記述スルコト

六　派出所受持區域ハ街庄ノ區域ト一致セルヤ否ヤ

〔臺南警〕

●派出所落成式其他報告方ノ件

大正十四年十二月二十二日
南警第八八七九號警務部長依命通達
各郡守　警察署長宛

近來各郡署管內派出所落成式ノ擧行諸種ノ演習其他警察關係ノ會合又ハ擧行等ニシテ郡守限リニテ擧行セラルヽモノ不尠ト思料セラレ候處州下ノ聯絡上及警察事務監督上必要有之候條爾今右ニシテ比較的重要ト認メラルヽモノニ就テハ事前ニ於テ之カ報告相成度且必要ト思料セラルヽモノニ就テハ事後ノ狀況速ニ報告相成度

右依命通達ス

●監督巡視狀況報告ニ關スル件

昭和二年八月二十六日
南警第二六九六號警務部長通達
各郡守　署長宛

動務規程施行細則第百八條及第百九條ニ依ル警察署長及警察課長ノ監督巡視狀況報告事項ハ各郡署區々ニ渉リ居リ候ニ就テハ之カ統一ヲ期スル必要有之候條爾今左記條項ニ依リ報告可相成

右依命通達ス

追而高等警察上ニ關シテハ別冊ヲ以テ報告相成度申添候

記

一　警察區劃及配置ノ適否
二　紀律及訓授命令徹底ノ狀況
三　動務ノ實況及其ノ成績
四　監督ノ實況及其ノ成績
五　教養訓練ニ關スル狀況
六　職員ノ生活狀態及相互竝對外關係ノ狀況
七　執行務竝民衆接遇ノ狀況
八　點檢竝操練ニ關スル狀況
九　非常召集準備ノ整否
十　諸文書臺帳簿册ノ整理編纂竝保存ノ可否
十一　會計調度ノ適否竝諸建造物ノ狀況
十二　司法警察竝犯罪即決ニ關スル狀況
十三　諸營業危險物其ノ他公安風俗ニ關スル取締狀況
十四　道路橋梁其ノ他交通取締ノ狀況
十五　警察上各種要視察人ニ對スル視察取締狀況
十六　戶口ニ關スル狀況
十七　保甲壯丁團竝消防ニ關スル狀況
十八　保健醫務防疫其他地方衞生ニ關スル狀況
十九　警察法令實施ニ關スル狀況
二十　一般民情ニ關スル狀況
二十一　生業竝風俗變遷ニ關スル狀況

二十二　其他警察上必要ト認ムル事項

嘉義郡ハ二十一ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

二十三　防備撫育其他理蕃警察ニ關スル狀況

（用紙ハ美濃判紙トス）

●病類別公醫治療患者年報ニ關スル件

大正十五年十二月二十二日
南警第五六四二號警務部長通達

本年報ハ一月末日迄各公醫ヨリ郡ヲ經由シテ進達シ來リ候處郡ニ於テ何等調査セサル結果不備ノタメ數回照復スルモノ又ハ報告期限ヲ遲延スルモノ有之處理上支障不尠候條爾今公醫ヨリ二通宛提出セシメ二人以上公醫在勤ノ郡ニ在リテハ總表ヲ調製シテ添付シ一通宛毎年二月十五日迄進達相成度右依命通達ス

【臺南巻ノ】

第二編　警務

俸給　給與　旅費　恩給　扶助
任免　試驗　教習　會議
服務　賞罰　請願　配置
點檢　禮式　操練　服制
會　計
專用電話　銃器彈藥
警察共濟組合
雜

第二編 警務

第一章 俸給 給與 旅費 恩給 扶助

○本島人ニ對シ文官加俸及宿舍料支給ニ關シ注意ノ件……大一〇年總財七七五號……一
○本島人雇員ノ俸給支給額ニ關スル件……大九年祕甲二一〇二號……一
○陸海軍准士官ニシテ恩給ヲ受クル者文官判任以上ニ任セラレタル場合取扱ノ件……大七年財主監二〇號……一
○蕃地又ハ僻地ニ勤務スル巡査ニ特別加俸支給ノ件……大九年總警三五二四號……一
○巡査子女加俸ニ關スル件……大九年南警二一五六號ノ一……一
○月ノ中途ニ於テ昇給セシ俸給計算方ニ關スル件……大一五年臺南官會一四四〇號……二
○俸給諸給與ノ受領方ニ關スル件……昭二年臺南官會一一一三號……二
○州有給吏員宿舍料支給細則……大一〇年訓令五五號……二
○警察費及衛生費所屬傭人昇給ニ關スル件……大一四年南警四四二五號……三
○巡査非番勤務手當ニ關スル件……昭二年南警一八六三號ノ一……三
○傭人宿直食料支給ノ件……大一一年南警六一一號……五
○警手ニ手當支給ニ關スル規程……大九年總警二四八三號……五

○警手手當支給ニ關スル件……大九年總警三一三一號……五
○公醫其他醫師警察醫務ニ從事セル場合ノ手當ニ關スル件……大一一年南警五〇四九號……五
○守衛以下傭人ノ給料制限及其ノ他昇給內規……昭六年二月二五日決定……五
○警察費及衞生費所屬傭人賞與ニ關スル件……大一五年南警四一九八號……七
○拂切小使給薪炭油費整理ニ關スル件……大一三年南警一二六一號……八
○巡查警手給與品及貸與品取扱規程施行細則……大一五年訓令一九號……八
○給貸與品取扱ニ關スル件……大七年南警六二五〇號……一九
○巡查以下給貸與品價格辨償ノ標準ニ關スル件……大一一年警々一五〇九號……一九
○改正給貸與品取扱規程實施ニ關スル件……大一五年南警一一九四號ノ一……一九
○給貸與品所要豫定數調書作成ニ關スル件……昭二年南警八六六號ノ一……二三
○給貸與品所要豫定數調書作成方ニ關スル件……昭三年南警七三〇號ノ一……二三
○巡查歸鄉旅費請求ニ關スル件……大五年民警一七七三號……二四
○警察職員旅費規程ニ關スル件……大九年總財五五五八號ノ二……二四
○巡查赴任旅費ニ關スル件……大一〇年警々五三九號……二五
○臺南州警察職員旅費支給規程……大一四年訓令二一號……二五
○地方職員旅費支給規程施行細則……大一五年訓令一四號……二九
○旅費仕拂證明ニ關スル件……大一〇年財主監一二五號……三三

〔臺南警〕

○外國旅費打切支給ノ件……大三年民財四九〇號……三四
○本島水路旅行者旅費支給方ノ件……明四三年民財九〇一號……三四
○月額旅費ヲ受クル者ニ對シ鐵道賃軌道賃自動車賃ノ實費支給地域指定ノ件……昭四年南警九九七號……三四
○月額旅費受給者ニ對スル實費支給區間指定ノ件……昭三年南警三六八七號……三五
○警察職員旅費規程適用上注意ヲ要スル事項ニ關スル件……大一四年警々八三二號……三六
○旅費支給上順路ニ關スル件……大一五年臺南官會六九九號……三六
○旅費請求領收書式ニ關スル件……大一〇年南警四二八六號……三七
○自動車運轉手市內旅費ニ關スル件……大一五年臺南官會一六一一號……三八
○車馬賃支給ニ關スル件……大一一年會計課長通達……三八
○警察職員月額旅費ニ關スル件……昭五年南警親二一一號……三九
○內勤巡查ノ出張ニ關スル件……昭五年南警一五三四號……三九
○蕃地職員出張旅費ニ關スル件……昭五年南警二三六二號……三九
○管內講習旅費ニ關スル件……昭六年南警九三一號……四〇
○公務ノ爲傷痍ヲ受ケタル者ニ對スル給與金ノ件……明四二年官祕八二八號……四〇
○給助料支給上注意方ノ件……大元年本警四二〇號……四一
○弔慰規定中職務上ニ依ル疾病ニ關スル見解ノ件……明三九年本警庶乙八六號……四一

○公傷病者食餌料ニ關スル件……大元年祕丙三四七號……四一
○療治料給與ニ關スル件……大四年臺南警一四五號ノ一……四一
○弔祭料ヲ給與スル場合ニ於ケル年數計算方……大三年府議決定……四二
○巡査退隱料遺族扶助料支給方ニ關スル件……大一〇年南警六五四號……四二
○官公吏以外ノ者ニシテ傳染病豫防救治ニ從事シ病毒ニ感染シタル場合手當金支給方ニ關スル件……大一二年南警八五六九號……四二
○年金恩給請求書式……大一二年告示一六四號……四二
○警部補ノ在職年通算ニ關スル件……大一三年祕丙七一號……四三
○恩給法上ノ加給ニ關スル件……大一三年祕內二七四號……四三
○恩給請求ニ關スル件……大一四年南警二五〇三號……四三
○恩給請求ニ關スル件……昭二年南警恩六三八號ノ一……四五
○恩給請求ニ關スル件……昭四年南警恩一三一號……四五
○邊陬其他不健康地等ニ關スル件……大一三年祕丙三七三號……四六
○恩給事務上警察醫ニ關スル疑義ノ件……大一三年祕丙二八四號……四六
○恩給證書亡失ニ關スル件……大一三年祕丙二〇六號……四六
○舊巡查看守退隱料及遺族扶助料法第十四條第二項解釋ノ件……大一三年祕丙三一九號……四六
○恩給請求ニ關スル件……大一三年臺南祕二三六九號……四七

〔臺南警〕

○公傷「公」病ニ關スル件……大一四年南警二三八八號……四七
○巡查給助年金支給期ニ關スル件……大一一年警々一三六四號……四八

第二章　任免　試驗　教習　會議

○州廳巡查採用規程施行細則……大一〇年訓令九號……四九
○巡查部長配置及任免規程施行細則……大一四年訓令一四號……五一
○休職年限起算日ノ件……明三八年祕甲三八四號……五二
○職務ノ爲傷痍ヲ受ケ誓約期限內退職者ニ對スル取扱ノ件……大三年蕃理庶八三號……五二
○警察職員語學試驗規程施行細則……大一二年訓令四一號……五二
○臺灣總督府州廳警察官吏教養規程施行細則……大一五年訓令三四號……五三
○州廳巡查教習規程施行細則……大一一年訓令一一號……五九
○學術科豫定表ニ關スル件……昭二年南警三一四號……六二
○臺灣語講習ニ關スル件……大一四年南警八八七六號……六二
○甲科練習生採用內規……大一二年總督內訓六號……六二
○甲科生入所ノ際履歷書資料携帶ノ件……大七年練庶九二八號……六三
○巡查練習生採用試驗施行ニ關スル件……大一四年南警七九三六號……六三
○巡查練習生採用試驗施行ニ關スル件……昭二年南警祕七三〇號……六三
○巡查定期召集日ト武道奬勵ニ關スル件……大一四年南警八九二七號……六四

○武道奬勵ニ關スル件……昭二年南警一三七八號……六四
○武道昇段試験ニ關スル件……昭二年南警二二五一號……六四

第三章　服務　賞罰　請願　配置

○臺灣總督府地方警察配置及勤務規程施行細則……大一五年訓令一六號……六七
○巡査部長服務規程……大一二年訓令五六號……九二
○警察特殊勤務規程……大一二年訓令四八號……九四
○市街地警察官吏派出所巡査勤務規程……大一二年訓令五二號……九七
○市街地警察官吏派出所巡査勤務規程施行ノ件……大一二年南警一六四八二號……九七
○臺灣總督府州廳巡査休暇規程施行細則……大一一年訓令一號……九八
○巡査ノ休暇ニ關スル件……大一四年南警四四五四號……九九
○警衛規程施行細則ニ關スル件……昭四年南警三〇七七號……九九
○總督警衛其ノ他ニ關スル件……昭四年南警六一〇號ノ一……一〇七
○臺灣總督府州廳警察官吏非常召集規程施行細則……昭四年訓令二四號……一一二
○警察官吏非常召集規程改正ノ件……昭三年南警三四七七號ノ一……一一五
○臺南市非常警戒心得抜萃……大一三年内訓一號……一一六
○臨時ニ廳員ヲ召集スル場合信號ノ件……大一一年一一月文書課長依命通知……一一六
○警察官吏ヲシテ官佃溪埤圳組合事務ニ關與セシムル件……大一〇年南警九六號ノ三……一一七
○非常事變ノ際ニ於ケル廳員心得方ノ件……明四三年廳訓九號……一一七

○警察官吏派出所ニ於ケル警備ニ關スル件……大一〇年南警四五六九號……一一七
○警務部當直内規……大九年一一月決定……一一七
○當直ニ關スル件……大一〇年南警一一五二號……一一九
○當直勤務ニ關スル件……昭四年南警一二七八號……一二〇
○留置人給食心得……明三五年警發五三八號……一二一
○官印使用ニ關スル件……昭四年南警一二七九號……一二一
○警察職員島外旅行ニ關スル件……昭五年南警二四七九號……一二一
○職員ノ勤務地發著屆ニ關スル件……大九年南警二〇〇四號……一二二
○東京ニ出張ヲ命セラレタル職員ニ關スル件……明四四年臺南祕二二一號……一二二
○上京セル職員宿所屆ニ關スル件……大一二年祕二三九三號……一二二
○警察職員參廳簿ニ關スル件……大九年南警一九二三號……一二二
○警察職員旅行願副申ニ關スル件……大一四年南警六三七〇號……一二三
○警察官ノ名刺樣式……大一四年訓令一〇號……一二三
○警察官吏宿舍標札ノ件……大一二年訓令二〇號……一二四
○新任巡查配置ニ關スル件……大一〇年總警五六號……一二四
○履歷書送付ノ件……大一二年南警親五八五號ノ一……一二四
○訓授事項筆記送付方ノ件……大一〇年南警五三一三號……一二四

○標札樣式ニ關スル件……大一二年南警一二五三八號……一二五
○隨行員警護員等乘車ニ關スル件……大一二年鐵運七五六號……一二五
○警邏線路ニ關スル件……大一三年南警九四二八號……一二六
○巡查ノ外勤事務執行ニ關スル件……昭五年南警一二四三號ノ一……一二六
○外勤務執行ニ關スル件……昭五年南警四一九六號ノ一……一二七
○拳銃ノ保管携帶ニ關スル件……昭六年南警五八二號……一二七
○警察職員法院檢察局へ出頭方其他ニ關スル件……昭六年南警一二一八號……一二七
○出勤簿及職員缺勤ノ場合取扱方ノ件……明四三年祕已二五三號……一二八
○寄贈金品受領ノ件……大九年臺南祕一七三一號……一二八
○地方警察職員轉勤ノ際部民ヨリ寄贈ニ關スル件……明四五年本警九一五號……一二八
○警察職員死歿者名簿取扱ノ件……明三八年本警庶甲四號……一二九
○警察職員死歿者遺骨取扱ニ關スル件……明三八年本警庶乙二六七號……一三〇
○州廳巡查精勤證書授與規程施行細則……大一二年訓令五三號……一三一
○臺南州警察賞與取扱手續……昭四年訓令六號……一三二
○警察官吏皆勤證書授與内規改正ノ件……昭六年南警一二一五號……一三六

第四章　點檢　禮式　操練　服制

〔臺南警〕

○點檢操練ノ實施ニ關スル件……大五年南警二一四四號……一三九
○乙種點檢ニ關スル件……大一四年南警三六九六號……一四一
○乙種點檢及同成績ニ關スル件……昭五年南警一〇四號……一四一
○非常勤務出場者點檢ニ關スル件……昭二年南警三六三三號……一四三
○內外國旗交叉揭揚スル場合ニ關スル件……明四四年臺南庶祕收七七四號……一四三
○警察官吏喪服ニ關スル件……大元年本警一〇九四號……一四三
○警察官吏服裝規程施行細則……大一三年訓令三號……一四四
○警察官吏服裝規程中改正ニ關スル件……昭三年南警三六一六號……一四四
○警察官吏ノ服裝ニ關スル件……大一五年南警八九七號……一四四
○蕃地警察職員ノ服裝ニ關スル件……大一四年南警六四二九號ノ一……一四五
○交通整理ニ關スル件……大一四年警々四三九號……一四五
○警部補以上乙種外套地質ニ關スル件……大八年本警七三〇號ノ二……一四五

第五章　會計

○出張命令簿及出勤簿取扱ニ關スル件……大一三年南警一二二六〇號……一四七
○警察費所屬物品取扱手續……大一〇年訓令三〇號……一四七
○鐵道乘車證券使用ニ關スル件……大一〇年警々一六號ノ一……一四九
○無賃乘車證ニ關スル件……昭四年南警七六七號……一四九
○警察官吏派出所土地建物借上ニ關スル件……大五年民警一一五六號……一五〇
○警察費豫算支出科目ニ關スル件……昭二年南警理二四號……一五〇
○蕃地假設建物及交通路橋工事ニ關スル件……大一〇年警々一六六〇號……一五六
○觀光蕃人及囚人後拂割引證發行方ニ關スル件……大一五年南警三三一九號ノ一……一五六
○公務證券受拂報告方ノ件……大一五年南警四二三五號……一五六
○公醫出張ニ關スル件……大一〇年南警四八一四號ノ一……一五七
○屠場看守事務經費請求ニ關スル件……大一〇年南警三五六八號……一五七
○臺南州特別會計傳染病豫防臨時費資金支辨ニ屬スル屠場看守事務經費拂切規程……大一〇年訓令四〇號……一五七
○巡查給與金請求書樣式改正ノ件……大一三年南警一〇〇七三號……一五八
○備品及消耗品受拂簿及備品保管簿備付ノ件……大一三年南警六六一四號……一六四

○警察費使用高調ノ件……大一四年南警三八六號ノ四……一六四
○經理事務處理ニ關スル件……大一四年南警七二七號……一六六
○備品保管副簿ニ關スル件……大一四年南警七八六〇號……一六九
○備品供用内譯簿ニ關スル件……大一四年南甯七八六一號……一六九
○警察建物臺帳ニ關スル件……大一四年南警七二四一號……一六九
○國庫納金ニ關スル件……大一五年臺南官會三七三號……一七〇
○警察職員ノ私有自轉車借上使用ニ關スル件……昭二年南警二八五號ノ一……一七〇
○警察職員ノ私有自轉車借上使用ニ關スル件……昭二年南警二八五號ノ二……一七二
○警察職員ノ借上自轉車異動取扱方ニ關スル件……昭二年南警二三五二號ノ一……一七二
○警察用自動車臺帳調製ノ件……昭四年南警一八九號ノ一……一七二
○諸經費支出規程……大一一年内訓一號……一七三
○物品保管狀況報告ニ關スル件……大一一年南警四五一六號……一七四
○經費支拂ニ關スル件……大一一年總財二八三八號……一七五
○疊替ニ關スル件……大一一年總財三二六二號……一七五
○毛布取扱ニ關スル件……昭二年南警三三九號……一七六
○營林所鐵道旅客運賃及便乘料金特種割引ニ關スル件……昭五年南警一二九九號……一七七
○警遲船使用狀況其ノ他調查方ノ件……昭六年南警二二二四號……一八四

〔臺南警〕

○留置人食費ニ關スル件……昭六年訓令八號……一八九
○蕃地勤務者食料品官費輸送ニ關スル件……昭六年南警二二五三號……一八九

〔臺南警〕

第六章　專用電話　銃器彈藥

○工手以下勤怠調表記入方ノ件……大五年本警八八八號……一九一
○電話工事用人夫及物品購買ニ關スル件……大五年本警一八三〇號……一九一
○フワイバーフューズニ關スル件……大五年本警一四三三號……一九一
○電話機器修理ニ關スル件……大五年本警一六〇五號……一九一
○送話用電池數減低ノ件……大六年本警七七七號……一九一
○電話工事材料受領書ニ關スル件……大七年本警一五三五號……一九一
○電務職員出張調其他ニ關スル件……大八年臺南警一〇三六號……一九二
○警察專用電話使用ニ關スル件……大一一年南警四一六二號……一九二
○警察專用電話使用ニ關スル件……大一二年南警一二九三八號……一九三
○警察電話事務ニ關スル件……大一五年警々四八五號……一九三
○電話線被害報告ノ件……大一四年南警六九四九號ノ一……一九三
○電務士竝ニ工手旅費支給ニ關スル件……昭五年南警二二四六號……一九三
○電務士及電務工手旅費支給ノ件……昭五年南警二七三九號……一九三
○警察專用電話試驗ニ關スル件……昭五年南警二九七三號……一九四
○警察專用電話規程ニ依ル保守區及分擔區ニ關スル件……昭五年南警二六二四號……一九五

○兵器彈藥取扱手續……大一二年訓令一號……一九六
○彈藥盒前盒手入方ニ關スル件……大一五年南警三八五九號……一九八
○兵器保存手入ニ關スル件……大一三年南警九八七七號……一九九
○銃器手入勵行方ニ關スル件……大一四年南警二二九八號……二〇一
○兵器手入取扱其ノ他ニ關スル件……大一四年南警八七一一號……二〇一
○蕃人銃器彈藥貸與簿ノ件……大一五年南警三六〇一號……二〇五
○貸與銃器ノ保管取扱ノ件……昭六年南警九六一號……二〇六

【臺南警】

第七章　警察共濟組合

○警察共濟組合事務取扱規程施行細則……昭五年訓令七號……二〇七
○醫療金請求ニ添付スヘキ領收證ノ件……昭五年南警共七三號……二〇九
○警察共濟組合事務ニ關スル件……昭五年南警共二〇七號……二一〇
○警察共濟組合事務ニ關スル件……昭六年南警共六六二號……二一一

第八章　雜

【臺南警】

○行啓紀念日ニ關スル件……大一二年祕己二五一號……二一三
○職員出張ノ場合晝食及宿泊料支拂方ニ關スル件……大一〇年臺南官文一八六五號……二一三
○職員出張ノ場合晝食及宿泊料請求方通知ノ件……大一〇年臺南官文一八六五號ノ一……二一三
○在鄉軍人總會等ヘ職員參會方ノ件……大八年三月祕書課長依命通牒……二一三
○褒章佩用方ニ關スル件……大一〇年祕戊一六二號……二一四
○各種記章佩用方ニ關スル件……大一〇年六月祕書課長通知……二一四
○略綬佩用方ニ關スル件……大七年祕乙二六九號……二一四
○警察官署ノ標燈ニ關スル件……大六年民警八九〇號……二一五
○警察標燈ニ關スル件……大一二年南警一六三號……二一五
○通信事務委囑ノ件……大一二年遞監甲二九四號……二一五
○軍事資料タリ得ヘキ事項ニ關シ外國官憲ヨリ本邦ノ官公衙
及會社等ヘ照會アル場合回答方ニ關スル件……大九年官外六六號……二一五

第二編　警務

第一章　俸給　給與　旅費　恩給扶助

●本島人ニ對シ文官加俸及宿舍料支給ニ關シ注意ノ件

大正十年三月七日
總財第七七五號總務長官代理依命內牒

本島人ニシテ內地人ノ戸籍ニ入籍シタル場合加俸支給方ノ件ニ關シ大正九年十二月二日附總財第五三四五號ヲ以テ依命通達相成候處本件ノ爲メ將來加俸及宿舍料ノ支給ヲ受クルノ手段トシテ故意ニ入籍スル者アルカ如キ場合ニ於テハ嚴重視察ノ上相當處分方特ニ御留意相成度

右依命內諜ス

●本島人雇員ノ俸給支給額ニ關スル件

大正九年九月十六日
祕甲第二一〇二號總督官房祕書課長通知

本島人雇員ノ俸給ハ月額八十五圓迄支給シ差支無之候條此段及通知候也

●陸海軍准士官ニシテ恩給ヲ受クル者文官判任以上ニ任セラレタル場合取扱ノ件

大正七年十一月二十一日
財主監第二〇號財務局長代理通牒

明治二十三年勅令第百三十二號ニ依リ陸海軍准士官以下ニシテ恩給ヲ受クル者文官判任以上ニ任セラレタル場合ニ於テハ其ノ受クヘキ俸給額ヨリ恩給額ヲ控除シタル額ヲ支給スト有之候處右ハ軍人恩給法中免除恩給ノミヲ指シタルモノニシテ增加恩給ハ控除セサル儀ニ付御了知相成度

右爲念通牒ス

●蕃地又ハ僻地ニ勤務スル巡査ニ特別加俸支給ノ件

大正九年十一月三十日
總警第三五二四號總務長官代理通達

今般訓令第二七三號ヲ以テ巡査給與細則相定メラレ巡査ニシテ蕃地又ハ僻地ニ勤務スル者ニハ特別加俸ヲ支給スルコトト相成居候處右ハ蕃地ニ本居ヲ有スル蕃人巡査又ハ僻地ニ本居ヲ有スル本島人巡査及蕃人巡査ニハ支給セサル趣旨ニ有之候條御了知相成度右依命通達ス

●巡査子女加俸ニ關スル件

大正九年十二月二十四日
南警第二一五六號ノ一警務部長依命通達

首題ニ關シ左記ノ通リ其筋ヨリ通牒有之候條御了知相成度右依命通牒ス

記

臺灣總督府巡査給與細則第二條第二項子女ヲ有スルモノノ加俸及第四條

第二項就學子女ヲ有スルモノノ特別加俸ハ其子女内地ニ在ルモノニモ支給ス趣旨ニ有之候條御了知相成度爲念右通牒ス

●月ノ中途ニ於テ昇給セシ俸給計算方ニ關スル件

大正十五年十二月十八日
臺南官會第一四四〇號會計課長通知

首題ノ件ニ關シテハ左記計算方法ニ依ルヘキモノト被存候條爲念及通知候也

左記

支給定日前八五圓ヨリ一〇〇圓ニ（十一月十日附）昇給ノ場合ニ於テ計算方法

（85圓000×10日×100圓000×20日）×30日＝95圓000

支給後八五圓ヨリ一〇〇圓ニ（十一月二十五日附）昇給ノ場合ニ於ケル計算方法

（1つの圓700－85圓000）×5日×30日＝2圓500

但シ既支給額ニ計算ノ結果厘位ヲ生シ支給ノ際切捨支給シタル場合ニ於テモ計算上厘位ヲ付スヘキモノトス

●俸給諸給與ノ受領方ニ關スル件

昭和二年七月十五日
臺南官會第一一一三號會計課長依命通達
各務部長宛

〔臺南警〕

本州ニ於ケル俸給及諸給與ハ各受領總代ヲ定メ受領シ來リ候處七月以降ハ委任代理トスルコトニ決定相成候條貴官ニ於テ最適當ト認メラルル者ニ委任セシメラレ度

右依命通達ス

追テ委任狀ハ書類ニ添付提出スルヲ要セス貴官ニ於テ遺漏ナキ樣整理シ請求書（支出調書）ニ委任狀照合ノ旨證明ノ上回付相成度申添候

●州有給吏員宿舍料支給細則

大正十年七月二十二日
臺南州訓令第五十五號

改正　昭和四年訓令第五號

官房　內務部　警務部　部授所
稅務出張所　警察署　州所屬學校

州有給吏員宿舍料支給細則

第一條　宿舍料ハ左ノ區分ニ依リ之ヲ支給ス

三級下俸以上ノ年俸ヲ受クル吏員	月額四十圓
五級上俸以上ノ年俸ヲ受クル吏員	月額三十圓
五級下俸以上ノ年俸ヲ受クル吏員	月額二十五圓
二級上俸以上ノ月俸ヲ受クル吏員	
六級下俸以上ノ年俸ヲ受クル吏員	月額二十圓
三級上俸以上ノ月俸ヲ受クル吏員	
六級下俸未滿ノ年俸ヲ受クル吏員	月額十五圓
五級上俸以上ノ月俸ヲ受クル吏員	
六級上俸以上ノ月俸ヲ受クル吏員	月額十二圓
六級上俸未滿ノ月俸ヲ受クル吏員	月額十圓

〔臺南警〕

第二條　州經濟ニ屬スル囑託員及雇員ニハ左ノ區分ニ依リ宿舍料ヲ支給ス

月手當又ハ月俸二百三十圓以上ノ囑託員、雇員	月額四十圓
月手當又ハ月俸百九十圓以上ノ囑託員、雇員	月額三十圓
月手當又ハ月俸百五十圓以上ノ囑託員、雇員	月額二十五圓
月手當又ハ月俸百十圓以上ノ囑託員、雇員	月額二十圓
月手當又ハ月俸六十圓以上ノ囑託員、雇員	月額十五圓
月手當又ハ月俸四十圓以上ノ囑託員、雇員	月額十二圓
月手當又ハ月俸四十圓未滿若ハ日給ノ囑託員、雇員	月額十圓

第三條　宿舍料ノ支給ヲ受ケムトスル者ハ所屬長官ニ家族ノ有無ヲ詳記シタル住所ノ屆出ヲ爲スヘシ家族又ハ住所ニ異動ヲ生シタルトキ亦同シ

第四條　宿舍料ハ當月分ヲ其ノ月二十一日以後二十五日迄ニ之ヲ支給ス但シ支給日カ休日ニ該當スルトキハ之ヲ繰下ク

附　則

本令ハ大正十年五月二十九日ヨリ之ヲ適用ス

●警察費及衞生費所屬傭人昇給ニ關スル件

大正十四年六月十日
南警第四四二五號警務部長依命通達

警察費及衞生費所屬給仕小使其ノ他傭人增給ハ爾今每年三月六月九月十二月ノ四回施行スルコトトシ二月五月八月十一月ノ各月末左記調查例ニ依リ調查シ施行當月ノ十五日（十一月分ハ十日）迄ニ「警務部長ト協議ノ上施行相成度」報告相成度

右依命通達ス

注意「」內ハ警務課長衞生課長ナリ

記

一　調查書樣式ハ別紙ノ通リトス

二　昇給見込額ハ昇給ヲ要スト認ムル額ヲ朱書スルコト

三　勤務成績品行欄ハ甲乙丙丁ニ區別記入スルコト

四　氏名ハ給額順ニシテ職員ニ記入スルコト

傭人昇給調

昇給見込額	現日給額	昇給後ノ經過年月	前回昇給額	採用年月日	勤務成績	品行	缺勤日數	勤務所	別職	氏名

●巡查非番勤務手當ニ關スル件

昭和二年六月六日
南警第一八六三號ノ一警務部長依命通達

臺灣總督府巡查給與細則第十七條ニ依リ手當ヲ支給スヘキ勤務ノ種別其ノ他ニ關シ左記ノ通改正シ本月一日ヨリ施行ノ旨其ノ筋ヨリ通達有之候ニ付テハ爾今本文ニ依ルノ外別記取扱手續ニ依リ支給上遺憾ナキヲ期セラレ度

右依命通達ス

追テ大正十四年十二月二十八日南警第八九五三號及同十五年一月三十一日南警第五二八號ハ自然消滅シタルモノニ有之候條申添候

（左記略ス）

別記

一　手當ヲ支給スヘキ勤務ハ臨時的ノモノナルヲ以テ各擔任當務ニアラサルモノヲ謂フ

二　特別ノ事情ニ依リ制限勤務ノ種類ヲ增減セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ報告スルコト

三　勤務手當增給額ハ一時間十錢トス

四　非番日時翌日ニ至ル場合ト雖モ手當支給上一日トシテ計算ス

五　非番勤務ニ對シ手當支給ノ要アルトキハ別記第一號樣式ノ非番勤務承認簿ニ記載スルコト

六　前項ニ依リ記載シタルモノハ別記第二號樣式ニ依リ翌月五日迄ニ報告スルコト

第一號樣式

非番勤務手當承認簿

郡守署長	係長課長	係主任	承認月日	勤務種別	勤務時間摘記	勤務時間計	勤務職氏名	認印者	取扱印	摘要
					自日時 至日時					

記載例

一　日勤者ノ普通勤務日ト非番日及隔日勤務者トニ分チ各口座別ニ記載スルコト

二　勤務欄ノ種別ニハ犯罪捜査災害調査被疑者押送傳染病豫防特種文書作製等ノ如ク勤務ノ大別ヲ記シ摘記欄ニハ勤務ノ程度分擔其ノ他ヲ摘記スルコト

三　郡署及分室所在地勤務者ハ勤務所欄ニ內勤外勤ノ別ヲ附記スルコト

四　村落勤務者ニシテ認印ヲ省スコト能ハサルトキハ認印欄ニ「報告」ト記載スルコト

五　手當ヲ請求シタルトキハ摘要欄ニ「請求」印ヲ押捺スルコト

六　日勤者ノ非番日ニ於ケル勤務ニ對シテハ摘要欄ニ前非番日ヲ記載スルコト

七　當分從前ノ樣式ニ依リ記載スルコトヲ得

第二號樣式

非番勤務人員及時間報告（　月分）

勤務別	日勤者勤務日	日勤者非番日	隔日勤務者	合計
	人員	人員	人員	人
	基礎時間	基礎時間	基礎時間	時間
	增加時間	增加時間	增加時間	金額
				摘要

記載例

一　基礎時間トハ一回ノ勤務中二時間分ヲ謂ヒ二時間以上ヲ增加時間トス

【臺南警】

●傭人宿直食料支給ノ件

大正十一年一月三十一日
南警第六一一號警務部長通達
各郡守宛

貴郡警察課所屬傭人宿直食料一月分ヨリ左記額支給致スコトニ決定相成候條右依命通達ス

記

一　平日一夜ニ付貳拾錢

二　休日一日ニ付四拾錢

●警手ニ手當支給ニ關スル規程

大正九年九月二十七日
總警第二四八三號總務長官依命通達

今般警手ニ關スル規程相定メラレ臺灣人タル警手ニシテ蕃地ニ勤務スル者ニハ手當ヲ支給スルコトト相成候際右臺灣人警手中蕃人ニハ手當ヲ支給セサル趣旨ニ有之候條御了知可相成右依命通達ス

●警手手當支給ニ關スル件

大正九年十月十六日
總警第三一三一號總務長官通牒

大正九年九月二十七日附總警第二四八三號通達警手ニ對スル手當支給ニ關スル件中蕃人トハ蕃地ニ居住スル生蕃人ヲ指稱スル義ニ有之候條御了知可相成爲念右通牒ス

●公醫其他醫師警察醫務ニ從事セル場合ノ手當ニ關スル件

大正十一年六月十四日
南警第五〇四九號警務部長依命通達

公醫以外ノ醫師ヲシテ警察醫務ニ從事セシメタル場合ハ相當手當支給ヲ要スルモ公醫ハ當然支給シ得ス公醫規則第八條ニ依リ必要ト認ムル場合ニ限リ支給スヘキモノニ付公醫及囑託公醫ニハ檢案手當ヲ支給セス鑑定手當ノミ一般醫師ト同樣左記標準ニ依リ支給スヘク候條爾今本文ニ依リ請求セシメラレ度右依命通達ス

左記

一　檢案手當	一回	一圓五十錢
二　鑑定手當		
全身解剖鑑定	一回	十五圓以內
內臟解剖鑑定	一回	十　圓以內
頭部解剖鑑定	一回	十　圓以內
局部解剖鑑定	一回	五　圓以內
解剖セサル鑑定	一回	三　圓以內

右ノ外化學的檢查ノ爲メ要スル實費ハ之ヲ附加ス

●守衞以下傭人ノ給料制限及其ノ他昇給內規

昭和六年二月二十五日決定

一、給料ハ左ノ通リ制限スルコト

但シ新採用者ニシテ相當經驗ヲ有スル者ハ此制限ニ依ラサルコトヲ得

給料制限 / 採用ノ区分	新採用ノ者		給料ニ関スル経過年月数ト昇給額			
名稱 / 額	内地人	本島人	内地人	本島人		
守衛	一圓二十錢以下	—	二圓ヲ超ユ	—		
給仕	四十錢以下	三十五錢以下	六十錢ヲ超ユ	五十五錢ヲ超ユ		
小使	一圓二十錢以下	七十錢以下	二圓ヲ超ユ	一圓二十錢ヲ超ユ		
車夫	—	一圓二十錢以下	二圓ヲ超ユ			
雜役夫	—	六十錢以下	一圓ヲ超ユ			
職工	一圓五十錢以下	一圓二十錢以下	二圓四十五十錢ヲ超ユ	二圓ヲ超ユ		
測夫	—	六十錢以下	一圓四十五十錢ヲ超ユ			

二、昇給ハ左記制限ニ依ルコト

名稱	給料額	経過年月数ト昇給額		
		六ヶ月以上一年以上	一年以上一年半以上	
守衛内地人	一圓五十錢未滿ノ者	三錢乃至五錢以内		
	一圓五十錢以上ノ者	五錢乃至十錢以内		
給仕内地人	五十錢未滿ノ者	三錢以内		
	五十錢以上ノ者	三錢乃至五錢以内		
給仕本島人	四十錢未滿ノ者	三錢以内		
	四十錢以上ノ者	三錢乃至五錢以内	五錢乃至十錢以内	

〔臺南警〕

職名	給料額	昇給ニ関スル経過年月数
工夫 使夫 雜役夫 小車夫 内地人 本島人	一圓五十錢未滿ノ者	五錢以内
	一圓五十錢以上ノ者	五錢以内
	八十錢未滿ノ者	五錢以内
	八十錢以上ノ者	五錢乃至十錢以内
測夫 本島人	五十錢未滿ノ者	三錢以内
	五十錢以上ノ者	三錢乃至五錢以内

三、病氣危篤ノ者又ハ退職者ニシテ勤務中相當功勞アル者及特殊ノ事由ニ依リ特ニ必要ト認ムルトキハ前二項ノ制限ニ依ラス十錢以内ヲ昇給スルコトヲ得

四、現ニ最高給額以上ノ給料ヲ受クル者ハ漸次整理ノ方法ヲ考慮スルコト

五、缺員ハ實際上必要已ムヲ得サルモノノ外當分之カ補充ヲ見合スルコト

●警察費及衛生費所屬傭人賞與ニ關スル件

大正十五年八月十六日
南警第四一九八號警務部長依命通達

警察費及衛生費所屬傭人（事務傭員ヲ除ク）ニ對スル賞與ハ大凡左記標準ニ依リ實施スヘキニ付施行ノ要アルトキハ自今本文ニ依リ報告相成度

右依命通達ス

記

一 年末賞與標準

明治四十五年六月二十九日內訓第十五號第一年末賞與標準ニ依ル

二 轉退職及病氣危篤ノ際ニ於ケル賞與標準

勤續年數	轉退職	病氣危篤
三年以上	日給二十日以内	日給二十五日以内
五年以上	日給二十五日以内	日給三十日以内
十年以上	日給三十五日以内	日給四十日以内
十五年以上	日給四十五日以内	日給五十日以内

（一） 病氣危篤ノ場合ハ勤續三年以下ト雖モ事情ニ依リ三年以上ノ者ニ準シ行フコトヲ得ルモノトス

（二） 勤續二十年以上ノ者ニシテ成績特ニ優良ナルモノハ仍十日以内ヲ增額スルコトヲ得ルモノトス

三 報告

（一） 年末賞與ハ左記樣式ニ依リ調査ノ上毎年十二月五日迄ニ報告スルコト

貸與見込三十日分額	日給	前年給與額	採用年月日	勤務成績	品行	缺勤日數	勤務所	職別	氏名	生年月日

調査例

（イ）本調査ハ前年十一月二十一日ヨリ當年十一月二十日迄トス

（ロ）勤務成績及品行ハ特甲乙丙丁ニ區分記入スルコト

（ニ）轉退職及病氣危篤ノ際ニ於ケル賞與ニ關シテハ施行ヲ要スル事由及勤續年數金額平素ノ勤務狀態等ヲ記シ報告スルコト

●拂切小使給薪炭油費整理ニ關スル件

大正十三年十二月二十日
南警第一二二六一號警務部長依命通達

曩ニ各地警察官吏派出所竝ニ分室ニ於ケル拂切小使給薪炭油費出納ノ狀況ヲ親察セシメタルニ完全ニ整理ノ行ハレ居ル處殆ント無之甚タ遺憾トスル次第ニ付來ル大正十四年分ヨリ別紙樣式ニ依ル受拂簿ヲ備ヘ其ノ用途竝ニ出納ヲ明カニシ尚分室併置派出所ニアリテハ保甲費支辨ニ係ル當備小使使用セシメサルコトニ取扱相成度右依命通達ス

警察課長監督	監視區取扱者印	月日	摘要	受高	拂高	受領證印	殘高
		二月一日	一月分小使給及薪炭油費	一五〇〇			一三〇〇

（臺南書）

●巡查警手給與品及貸與品取扱規程施行細則

大正十五年四月十四日
臺南州訓令第十九號
警務部　郡役所　警察署

第一條　巡查警手ノ給與品及貸與品ハ巡查警手給與品及貸與品取扱規程（以下單ニ規程トイフ）ニ依ルノ外本令ニ依リ取扱フヘシ

第二條　郡守警察署長ハ毎年四月五日迄ニ別記第一號樣式ニ依リ當該年度ニ於ケル給與品及貸與品ノ所要豫定數ヲ調査シ知事ニ報告スヘシ

第三條　郡守警察署長ハ左ノ區分ニ從ヒ別記第二號樣式ニ依リ給與品及貸與品ノ各期所要數ヲ調査シ第一期ハ前年十一月五日曩第二期ハ其ノ年八月五日迄ニ知事ニ報告スヘシ

第一期（夏服著用期自三月十六日至十一月十五日間）所要數

第二期（冬服著用期自十一月十六日至翌年三月十五日間）所要數

第四條　物品取扱主任各期所要ノ給與品又ハ貸與品ヲ受ケムトスルトキハ第一期ハ二月二十日迄第二期ハ十月二十日迄ニ別記第三號樣式ノ給貸與品請求傳票ニ依リ物品會計官吏ニ請求スヘシ但シ定員增加其ノ他特別ノ事由アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五條　物品會計官吏前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ別記第四號樣式ノ送

同日	一月分小使給黃水生拂		一二〇〇		五〇〇
同日	一月分木炭代林清拂		二五〇		五〇
同日	一月分石油代陳丁拂		五〇		

（臺南書）

票ト共ニ現品ヲ送付シ物品取扱主任ハ現品受領ト同時ニ別記第五號樣式ノ給貸與品領收傳票ヲ物品會計官吏ニ送付スヘシ

第六條　物品取扱主任ハ給與品又ハ貸與品中使用期間滿了トナリタルモノヲ調査シ第一期ハ三月二十五日迄第二期ハ十一月二十五日迄ニ別記第六號樣式ニ依リ物品會計官吏ニ報告スヘシ但シ使用期間特定セルモノ、滿期又ハ亡失棄却等アリタルトキハ本樣式ニ準シ其ノ月分ヲ翌月五日迄ニ報告スヘシ

第七條　郡役所警察署ニハ別記第七號樣式ノ給貸與品番號簿ヲ備フヘシ

規程第七條第二項警手貸與品番號簿亦同シ

第八條　給貸與品臺帳及同受拂簿ハ左ニ依リ之ヲ整理スヘシ

一　給貸與品臺帳

イ　滿期、引換、亡失、棄却、返納等ヲ爲シタル場合ハ其ノ年月欄ニ「滿期」「引換」「亡失」等ノ印ヲ押捺スルコト

ロ　價格辨償ヲ命シタルトキハ備考欄ニ其ノ金額ヲ記載スルコト

二　給貸與品受拂簿

イ　給貸與品臺帳ノ品目順ニ依リ各口座別ニスルコト

ロ　破損引換ノ際古品ヲ交付シ殘高各欄ニ異動ヲ生セサル場合等ニ於テモ摘要欄其ノ他ノ記入ヲ爲スコト

ハ　手帳、用紙、釣革、徽章等ノ部分品ハ受拂簿末尾ニ口座ヲ設ケ消耗品ニ準シ整理スルコト

第九條　規程第十一條ノ新任者同第十二條第一號ノ轉勤者アリタルトキハ物品會計官吏又ハ物品取扱主任ハ當該臺帳ニ別記第八號樣式ノ送付書ヲ添付シ轉勤先ニ送付スヘシ

（臺南書）

物品取扱主任前項ニ依リ送付ヲ受ケタルトキハ物品會計官吏ニ對シテハ第五條ノ領收傳票ヲ物品取扱主任ニ對シテハ別記第九號樣式ノ領收書ヲ送付スヘシ

第十條　規程第十二條第二號ノ轉勤者アリタルトキハ物品取扱主任ハ當該臺帳ニ別記第十號樣式ノ給貸與品返納傳票ヲ添ヘ物品會計官吏ニ返納スヘシ

第十一條　規程第十三條ニ依ル返納書ハ別記第十一號樣式ニ依リ物品取扱主任ヘ返納セシムヘシ

物品取扱主任前項ニ依ルモノ又ハ引換等ニ依リ受ケタル給貸與品中不用トナリタルトキハ前條ノ返納傳票ヲ添ヘ毎月末日迄ニ物品會計官吏ニ返納スヘシ

第十二條　規程第十三條ノ返納品ニ附スル小札ハ別記第十二號樣式ニ依ルヘシ但シ返納品ヲ破損引換ニ利用シタルトキハ小札裏面ニ其ノ旨記載スヘシ

第十三條　規程第十五條ニ依ル報告ハ別記第十三號樣式ニ依リ翌月五日迄ニ爲スヘシ

第十四條　規程第十七條第一項ニ依リ毀損引換又ハ亡失再交付ヲ受ケムトスル者ハ別記第十四號樣式ニ依リ申告スヘシ但シ刀緒、外套締皮、手帳、捕繩、警笛及部分品ハ之ヲ省略ス

第十五條　給貸與品ノ給付ヲ受ケタル者ノ申前條ノ申告ニ基クトキハ其末尾ニ領收印ヲ押捺シ其ノ他ハ別記第十五號樣式ノ領收書ヲ物品取扱主任ニ交付スヘシ但シ前條但書ニ關スルモノハ之ヲ省略シ受拂簿證憑番號欄ニ領收印ヲ押捺スヘシ

附則

本令ハ大正十五年四月一日ヨリ之レヲ適用ス

第一號樣式

大正 年度給貸與品所要豫定數調書 月 日調査 郡(署)

品目	別	單位	所要豫定數		在庫數		差引所要數	內譯(寸法區分)	摘要
			滿期交付	引換交付	年度繰越	再給不能			

右報告ス

大正 年 月 日

郡 守 (警察署長)

臺南州知事宛

記載例

一 本調書ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日ニ至ル滿一箇年間ノ數ヲ計上スルモノトス

二 在庫數中再給不能ハ年度繰越ノ數中再給不能ノ見込數ヲ朱書スルモノトス

三 在庫數ノ計ハ年度繰越ヨリ再給不能ヲ控除シタル數トス

四 本書ニハ算出ノ基ク所ヲ示ス爲メ別記樣式ノ給貸與品受拂調査表ヲ附表トシテ添附スルモノトス

第一號樣式附表

〔臺南警〕

給貸與品受拂調査表 大正 年三月三十一日現在 郡(署)

品目	別	單位	受入		拂出		差引在庫		轉出入		供用數	破損引換	摘要
			年度繰越	會計官吏	返納	計	交付	會計官吏	其他	計	新品	古品 再給可能	再給不能	計	轉出	轉入			

記載例

一 本表ハ前年四月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル滿一ケ年間ノ受拂數年度末ノ在庫數州下郡署ノ轉出入ニ依ル受拂數及供用數破損引換數ヲ計上スルモノトス

二 受入ノ年度繰越ニハ物品取扱主任ノ前年度繰越(前年三月三十一日現在)在庫數ヲ計上スルモノトス

三 返納ハ各供用者ヨリ返納シタル數ヲ計上スルコト

四 拂出ノ交付ニハ當初ノ交付及滿期再給若ハ貸與シタル數ヲ計上スルコト

五 其ノ他ノ欄ニハ棄却亡失再交付消耗拂ノ引換交付ヲ計上シ摘要ニ其ノ事由ヲ摘記スルコト

六 轉出入者アリタルトキハ單ニ轉出入者欄ノミニ記入シ他ト引繼ヲ爲ストモ受拂欄ニハ計上セサルコト

七 供用ハ被給貸與者ニ年度末現在ノ給貸與數ノミヲ計上スルコト

八 破損引換ハ消耗拂ノ引換以外ノモノノ引換全部ヲ計上スルコト

第二號樣式

大正 年度第 期給貸與品所要數調書 郡(署)

品目	別	單位	所要數		在庫數		差引所要數	內譯(寸法區分)	摘要
			滿期引換	計	新品	古品 再給可能	再給不能	計		

右報告候也

〔臺南警〕

大正 年 月 日

郡 守 (警察署長)

臺南州知事宛

記載例

一 在庫數ニハ第一期ノ場合ハ十月末日第二期ノ場合ハ七月末日ニ於ケル在庫數ヲ計上スルモノトス

二 在庫數中再給不能ニハ其ノ數ヲ朱書スルモノトス

三 在庫數ノ計ハ新品ト古品(再給可能ノミニテ再給不能ヲ含マス)ノ合計ヲ計上スルモノトス

四 差引所要數ハ所要數ヨリ在庫數ヲ控除シタル數ヲ基準トシ實際配付ヲ要スル數ヲ計上スルモノトス

給貸與品請求傳票

命令官

警務部長

警務課長

物品會計官吏

取扱者

請求第 號 大正 年 月 日

第三號樣式

品目	內	課	(寸法區分)	單位	數量

本物品送附相成可然哉

使用ノ目的												

上記之物品請求候也

物品會計官吏　　宛　　物品取扱主任

給貸與品送付傳票

送付第　　號　　月　　日受領

送付　年　月　日　　月　　日受拂簿登記

第四號樣式

品目	內譯（寸法區分）										單位	數量

〔裏面書〕

〔裏面書〕

事由												

物品會計官吏

物品取扱主任宛

給貸與品領收傳票

命令官

警務部長　　月　日出納簿登記

警務課長

物品會計官吏　　月　日內譯簿登記

取扱者

領收第　　號　　年　　月　　日

番号	品目	内容	坪位数	摘要

（寸法厘分）

課 表（共通）

物品現数主任

第六號樣式

給貨與品滿期報告書

品目	員数

内譯

品目	員数	給與年月	滿期年月	摘要	職氏名

〔臺南警〕

右報告候也

大正 年 月 日

郡（署）

物品取扱主任

第七號樣式 物品會計官吏宛

〔臺南警〕

第八號樣式

給貨與品送付書

品目	員数

但 月 日 巡査ニ對スル分別紙臺帳ノ通リ

右送付候也

大正 年 月 日

郡（署）

物品取扱主任

郡（署）物品取扱主任宛

第九號樣式

給貨與品領收書

品目	員数

但 月 日 警第 號ヲ以テ送附ニ係ル巡査ニ對スル給貨與

右領收候也
大正 年 月 日

郡（署）物品取扱主任

郡（署）
物品取扱主任宛

給貸與品返納傳票

命令官
警務部長
警務課長
物品會計官吏
取扱者

月 日受領
月 日出納簿登記
月 日內譯簿登記

第十號樣式

返納第 號

品目	內譯（寸法區分）										單位	數量
事由												

〔臺南書〕

〔臺南書〕

課長（其他）

物品取扱主任

第十一號樣式

給貸與品返納書											
品目											
員數											

備考
右返納ス
大正 年 月 日

巡査

物品取扱主任宛

第十二號樣式

一寸五分					
臺南州	第 號	品目 號	大正 年 月支給	大正 年 月返納	殘期 年 月

二寸五分

第十三號樣式

給貸與品受拂狀況報告

品目	前月越高	本月受高			本月拂高					現在高					
		會計官吏ヨリ受	主任ヨリ受	計	會計官吏ヘ拂	主任ヘ拂	滿期拂	亡失其ノ他	計	供用	在庫 新品	在庫 古品	計	破損引換	摘要
備考	現在員	普通勤務者	刑事、特務勤務者	其ノ他勤務者	名	名	名								

右報告候也

大正　年　月　日

物品會計官吏宛

注意　破損引換欄ニハ手帳用紙ノ交付數モ記入スルモノトス

郡(署)物品取扱主任

第十四號樣式

給貸與品引換(亡失ニ付再交付)申告書

品目	員數	毀損(亡失)品給與年月	毀損(亡失)年月日事由

右毀損致候ニ付引換(亡失ニ付再交付)相成度申告候也

大正　年　月　日

給貸與品番號第　號　巡査

警務課長(警察課長)(警察署長)宛

右領收候也

年　月　日　巡査

第十五號樣式

〔臺南警〕

給貸與品領收書

品目	帽	日覆	冬衣	冬袴	夏衣	夏袴	夏短袴	甲種外套	乙種外套	警笛	捕繩	職氏名	受領印

右領收ス

大正　年　月　日

物品取扱主任宛

●給貸與品取扱ニ關スル件

大正七年十一月十四日
南警第六二五〇號警務課長通牒
各支廳長宛

給貸與品取扱ニ關シテハ明治四十三年三月三十日臺南警第二九二一號ヲ以テ詳細通達シ其後モ時々注意シアルニ拘ラス近來退職者又ハ死亡者ノ返納品ヲ檢査スルニ往々汚穢損敗シ甚シキニ至リテハ期限滿了ノ古品ト取替ヘ又ハ縫著シアル片布ヲ取リ除キ或ハ交換スルモノ漸次增加スル模樣ナルニ物品出納補助ハ之レニ氣付カサルモノアリ實ニ不都合ノ次第ニ付爾今左記ノ通リ實行シ斯ル惡例ヲ貽サヽル樣御指導相成度

右依命通牒ス

記

一　巡査巡査補ニシテ三十日以上轉地療養又ハ賜暇旅行ノ場合ハ銃器同附屬品及給貸與品ヲ出納補助ニ預ケシムルコト

二　返納ノ衣類ハ充分洗濯セシメタル上受納スルコト

三　受納ノ際ハ臺帳ト照合シ確實ニスルハ勿論細微ニ渉リ一々檢査ヲ遂ケ不備ノ點ハ毫モ寬假セサルコト

四　運搬梱包スルコト

五　其他取扱上ニ就テハ金錢同樣ノ觀念ヲ以テ確實ヲ期シ物品ヲ輕視セサル樣監督スルコト

〔臺南警〕

●巡査以下給貸與品價格辨償ノ標準ニ關スル件

大正十一年九月十三日
警々第一五〇九號警務局長通牒

巡査以下給貸與品ヲ過失怠慢ニ因リ損失又ハ亡失シタル者ニ對シ之カ辨償取扱方大正八年三月二十五日付本警第四二八號ヲ以テ通牒置候處右ハ自今物品出納簿ニ登記ノ價格ヲ標準トシ左記各項ニ依リ取扱相成度

右通牒ス

記

一　辨償ヲ命セントスルトキハ標準價格ニ使用期間及毀損程度等ヲ參酌決定スルコト

二　標準價格ニ據リ難キ場合及屬具類ハ適宜ニ定ムルコト

●改正給貸與品取扱規程實施ニ關スル件

大正十五年二月二十三日
南警第一一九四號ノ一警務部長通達
各郡守　署長宛

改正規程第六條ニ依ル交付ノ期限査定及附則第二項ノ現ニ給與中ノ給與

品ノ使用期間ノ更正ハ經理上其他ニ直接影響スル處有之候趣ヲ以テ之等ノ査定ハ主トシテ現品ノ使用程度ニ依ルハ勿論ナルモ大體別紙標準ノ範圍ニ於テ處理スル樣其ノ筋ヨリ通牒有之候條右ニ依リ處理相成度

右依命通達ス

給與品使用期間査定標準（第六條ノ場合）

巡査帽（新品使用期限一個二年）

新任月日	新品	古品	新品及古品（古品ヲ定數外ニ支給ノ場合）
	給與數	滿期	給與數	滿期	給與數	滿期
自一月一日至三月末日	一	三年目ノ三月	一	其ノ年ノ十一月二年目ノ三月、十一月	新一、古一	三年目ノ十一月四年目ノ三月、十一月
自四月一日至六月末日	一	三年目ノ三月	一	其ノ年ノ十一月二年目ノ三月、十一月	新一、古一	三年目ノ十一月四年目ノ三月、十一月
自七月一日至九月末日	一	三年目ノ十一月	一	其ノ年ノ十一月二年目ノ三月、十一月	新一、古一	三年目ノ十一月四年目ノ三月、十一月
自十月一日至十二月末日	一	三年目ノ十一月	一	二年目ノ三月、十一月三年目ノ三月、十一月	新一、古一	四年目ノ三月、十一月五年目ノ三月

巡査夏服（新品使用期限二著二年）（著用期間外給與ハ次ノ著用初日ノ例ニ依ル）

新任月日	新品	古品	新品及古品（古品ヲ定數外ニ支給ノ場合）
	給與數	滿期	給與數	滿期	給與數	滿期
自著用初日至八月末日	二	三年目ノ三月	二	二年目ノ三月又ハ三年目ノ三月	新一、古一	三年目ノ三月
自九月一日至著用終日	二	四年目ノ三月	二	二年目ノ三月又ハ三年目ノ三月	新一、古一、又ハ新二、古一	四年目ノ三月

巡査冬服（新品使用期限一著三年）（著用期間外ノ給與ハ著用初日ノ例ニ依ル）

新任月日	新品	古品	新品及古品（古品ヲ定數外ニ支給シタル場合）
	給與數	滿期	給與數	滿期	給與數	滿期
自著用初日至十二月末日	一	四年目ノ十一月	一	二年目ノ十一月、三年目ノ十一月又ハ五年目ノ十一月	新一、古一	五年目ノ十一月
自一月一日至著用終日	一	四年目ノ十一月	一	其ノ年ノ十一月、二年目ノ十一月又ハ三年四年五年目ノ十一月	新一、古一	五年目ノ十一月又ハ六年目ノ十一月

巡査甲種外套（新品使用期限一枚四年）

新任月日	新品	古品	新品及古品（古品ヲ定數外ニ支給ノ場合）
	給與數	滿期	給與數	滿期	給與數	滿期
自一月一日至六月末日	一	五年目ノ三月	一	當年十一月、二、三、四年目ノ三月又ハ十一月	新一、古一	五年目ノ十一月、六、七、八年目ノ三月、十一月
自七月一日至十二月末日	一	五年目ノ十一月	一	二、三、四年目ノ三月、十一月五年目ノ三月	新一、古一	六、七、八年目ノ三月、十一月

注意

新品古品ヲ併セ給與ノ場合ハ各別ニ使用期間ヲ定メ古品ヲ定數以上ニ增加給與ノ場合ハ新品ノ使用期間ヲ延長スルヲ例トス

定數外給與品ノ滿期ニ對シテハ代品ヲ交付セザルモノトス

現在給與品使用期限更正標準（附則第二項）

區分	現在使用期限	更正	現在使用期限	更正	現在使用期限	更正

	帽	日覆	冬服		夏服	甲種外套		防水外套
自	十五年一月	十五年一月	十五年一月	十八年一月	十五年一月	十五年一月	十八年一月	十五年一月
至	十六年一月	十五年十二月	十五年十二月	十八年十二月	十五年十二月	十六年一月	十七年十二月	十五年十二月
	十五年一月	十五年一月	十五年一月	十八年一月	十五年一月	十五年一月	十八年一月	十五年一月
	十六年一月	十六年一月	十六年一月		十六年一月	十六年一月	十九年一月	十六年一月
	十六年一月	十六年一月	十六年一月		十六年一月	十六年一月		十六年一月
	十七年一月	十七年一月	十七年一月		十七年一月	十六年一月		十七年一月
	十七年一月	十七年一月	十七年一月		十七年一月	十七年一月		十七年一月

〔臺南警〕

●給貸與品所要豫定數調書作成ニ關スル件

昭和二年三月十七日
南警第八六六號ノ一　警務部長通牒
各郡守　警察署長宛

巡査警手給與品及貸與品取扱規程第三條ニ依ル所要豫定數調書ハ當該年度ノ製作計畫ノ資料タルモノニシテ材料ノ調辨製作々業ノ按排等ハ主トシテ之ヲ基準トシ手配スルモノニ有之候處各郡署ノ確定請求數及被服ノ寸法區分ハ所要豫定數ニ對比シ甚シク過不足又ハ變更スルモノアリテ製作上支障尠カラサル旨其ノ筋ヨリ通牒有之候カ右ハ畢竟調査ノ基礎タルヘキ給貸與品臺帳ノ不整理ト取扱者ノ調査疎漏ニ起因スルモノト被認ヲ以テ本年度分ヨリ將來ハ更ニ左記各項ニ注意ノ上調査セラレ度
右依命通牒ス

記

一、給貸與品臺帳ヲ完全ニ整理シ所要豫定數及請求數ハ總テ臺帳ヲ基礎トシ調査スルコト
二、貸與品ノ引換數ハ特ニ注意ヲ要スルコト
三、新品古品共必要以外ノモノハ成ヘク在庫セシメス夫々引繼ヲ爲スコト
四、引換所要豫定數ハ前三年間ノ實施數ヲ參酌スルコト
五、補修材料卸類徽章類等ニ所要豫定數調査ニ計上スルコト
六、第一期請求書ノ在庫數ハ十月末日現在數ヲ計上スルモノナルモ右ハ第二期滿期(十一月十五日)交付ノ受拂ヲ差引シタル殘數ナルコトニ注意スルコト

〔臺南警〕

七、所要豫定數調書及請求書ハ必ス所定期日迄ニ提出スルコト

●給貸與品所要豫定數調書作成方ニ關スル件

昭和三年三月十七日
南警第七三〇號ノ一　警務部長通牒
各郡守　警察署長宛

首題ノ件客年三月十九日附南警第八六六號ノ一ヲ以テ通牒置候處昭和二年度ニ於ケル各郡署提出ノ所要豫定數ト實際配給數ヲ比較スルニ大體ニ於テ著シク改善セラレタルモ尚數ノ過不足及寸法區分ノ相違等調査不充分ト認メラル、モノナシトセス本件ハ前通牒ノ通リ給貸與品製作計畫ノ資料ニシテ材料ノ購入製作々業ノ按排等ハ專之ヲ基準トシ手配スルモノニ有之故ニ數ノ過不足寸法區分ノ相違等ハ關係事務ノ處理上支障不尠候趣ヲ以テ昭和三年度以降ハ前通牒ノ各項ニ一層注意ヲ拂フノ外尚左記ニ依リ處理方其ノ筋ヨリ通牒有之候條右ニ依リ處理相成度
右依命通牒ス

記

一、從來夏袴、冬袴、夏短袴ハ製品ノ都合ニ依リ部長及巡査ニ區分シ出納處理シ來レルヲ三年度以降ハ部長ノ分ヲ巡査ノ口座ニ併合シ處理スルコト
二、貸與品ハ使用期間ノ定メナキヲ以テ不良品ノ引換ハ點檢官又ハ取扱者ニ依リ區々ニ至ル嫌アルヲ認メラル、ヲ以テ引換ノ程度ハ當局ニ於テ調査セシ別紙全島平均ノ耐久期間ヲ參酌シ貸與者ノ動務別勤務地等ヲ考慮シ成ヘク寬嚴何レニモ失セサルコトニ注意スルコト

巡査警手貸與品耐久期間調

品目	全島平均ノ耐久期間	摘要
巡査略帽	五ヶ年	
〃乙種外套	六ヶ年	
警手防寒外套	五ヶ年	
〃乙種外套	六ヶ年	
巡査刀	五ヶ年	
〃刀帶	六ヶ年	
〃刀緒	二ヶ年	
〃釣革(長)	六ヶ年	
〃(短)	三ヶ年	
巡査肩章	十ヶ年	
〃手帳革表紙	三ヶ年	
〃用紙	六ヶ月	
〃外套締皮	八ヶ年	
〃捕繩	三ヶ年	
〃警笛	四ヶ年	

備考　本表ハ破損ニ因ル引換交付ノ外亡失其ノ他ノ事故ニ因リ再給ヲ要スルモノモ計算シ年々配給セシ實數ニ依リ全島ノ貸與者ヲ平均シ耐久期間ヲ豫定シタルモノトス

●巡査歸鄉旅費請求ニ關スル件

大正五年九月十六日
民警第一七七三號民政長官依命通達

巡査ニシテ懲戒ニ依ルニ非ラスシテ誓約期限後退職シ三十日以内ニ臺灣ヲ出發歸鄉スル者ニ對スル歸鄉旅費ハ從來歸鄉後ニ於テ證明書ヲ添付シ請求セシメ候處爾今出發歸鄉スル際ニ請求スル者ニ在リテハ判任官同樣支給ノコトニ取扱相成度

右依命通達ス

●警察職員旅費規程ニ關スル件

大正九年十二月十七日
總財第五五五八號ノ二總務長官代理通達

今般訓令第三〇一號ヲ以テ州及廳警察職員旅費規程發布相成候處制度改正ノ結果行政區域著シク擴張セラレタル爲メ從來ノ如ク劃一的族費額ヲ規定スル時ハ給與上公平ヲ失スル虞アルヲ以テ州知事又ハ廳長ノ裁量ニ委任セラレタル個所不尠從テ之レカ實行ニ際シテハ深甚ノ注意ヲ要スル儀ト存候例ヘハ第五條第三號但書及第十一條ノ如キハ從來月額旅費ノ範圍内ナリトシテ何等ノ旅費ヲ支給セラレサリシモノニ對シ今回新ニ之カ支給ノ途ヲ開カレタルモノナルヲ以テ近距離ノ赴任又ハ蕃地内ニ於ケル

短期間ノ宿泊等月額旅費ヲ以テ實費ヲ支辨スルニ足ルモノニ對シテハ之ヲ支給スルヲ要セサルヘク第十二條ノ實費ノ如キモ以上ノ趣旨ニ依リ其旅行區域内ニ鐵道軌道等ノ設備アルモ必スシモ之カ實費支給ノ認可ヲ與ヘラレサルヘシト存候殊ニ旅費豫算ノ增額ハ旅費定額增率ノ程度ニ伴ハサル傾アルヲ以テ經理上充分ノ注意ヲ拂ハレ必要アルニ於テハ土地又ハ旅行等ノ狀況ヲ參酌ノ規程第三條又ハ第六條ヲ適用セサルカ又ハ第二十五條ニ依リ定額ヲ減スルカ等適宜ノ方法ニ依リ規程施行上遺憾ナキヲ期セラルヘク右依命通達ス

●巡査赴任旅費ニ關スル件

大正十年四月二十日
警々第五三九號警務局長通牒

首題ノ件ニ關シ大正九年十月五日付警々第一三五一號ヲ以テ練習所ヨリ出向スル新採用巡査ノ赴任旅費ハ州ニ於テ之ヲ支給不相成旨及通牒置候處大正十年度ヨリ更ニ當府ニ於テ支給スルコトニ改定候條御了知相成度

右通牒ス

●臺南州警察職員旅費支給規程

大正十四年七月二十二日
臺南州訓令第二十一號

改正　大正一五年訓第三三號、昭和三年第九號、第二六號

官房　勤務部　郡役所　警察署

第一條　臺南州警察職員ノ臺灣内出張旅費、赴任手當及移轉料ハ別ニ規定アルモノノ外本令ニ依リ之ヲ支給ス

第二條　警務部長ノ出張ニ對シテハ普通旅費ヲ支給ス

郡守警察署長及州各課長ノ出張ニ對シテハ普通旅費ヲ支給ス但シ郡守警察署長ノ所轄内州各課長ノ所在地署内旅行ノ場合ニ給スル車馬賃ハ第三項左表ノ區分ニ依ル旅費ヲ支給ス

前二項以外ノ警察職員州管内ノ旅行ニシテ普通旅費ヲ受クル所屬州以外ノ職員及臺灣總督府部外又ハ外國ノ文武官ト同行シ所轄内又ハ所在地署内ヲ旅行シタルトキハ左ノ區分ニ依ル旅費ヲ支給シ其ノ他ノ場合ハ普通旅費ヲ支給ス

區分	鐵道賃及船賃	車馬賃一里ニ付	宿泊料一泊ニ付	日當一日ニ付
奏任官五等以上月手當四百圓以上ノ囑託員	臺灣總督府職員旅費規則及警察官吏旅費規則ニ依ル	一圓	八圓	四圓
奏任官六等以下及奏任官ノ待遇ヲ受クル者月手當又ハ月俸二百五十圓以上ノ囑託員雇員		一圓	六圓五十錢	三圓五十錢
判任官五級俸以上月手當又ハ月俸百五十圓以上ノ囑託員雇員		七十錢	五圓	二圓五十錢
判任官六級俸以下及判任官ノ待遇ヲ受クル者月手當又ハ月俸七十五圓以上ノ囑託員雇員		七十錢	四圓五十錢	二圓
巡社部長タル巡査及月俸五十五圓以上ノ巡査		五十錢	四圓	一圓八十錢

區分	金額
奏任官、月手當又ハ月俸二百五十圓以上ノ囑託員雇員	百五十圓
判任官巡査部長タル巡査及月俸五十五圓以上ノ囑託員雇員	百　圓
月俸五十五圓未滿ノ巡査 月手當又ハ月俸七十五圓未滿ノ囑託員雇員	五十圓
月手當又ハ月俸四十圓未滿若ハ日給ノ雇員傭員	三十五圓

第五條　管外ヨリ赴任スル者ニ對シテハ日當宿泊料各五日分ヲ定額トスル赴任手當竝移轉料ヲ左ノ區分ニ依リ支給ス

區分	赴任手當	移轉料
奏任官、月手當又ハ月俸二百五十圓以上ノ囑託員雇員	百五十圓	百五十圓
判任官巡査部長タル巡査及月俸五十五圓以上ノ囑託員雇員	百　圓	百　圓
月俸五十五圓未滿ノ巡査 月手當又ハ月俸七十五圓未滿ノ囑託員雇員	五十圓	五十圓
月手當又ハ月俸四十圓未滿若ハ日給ノ雇員傭員	三十五圓	三十五圓

第六條　管內赴任者ニ對シテハ日當宿泊料各二日分ヲ定額トスル赴任手當竝移轉料ヲ左ノ區分ニ依リ支給ス

赴任手當

區分		定額ノ全額	規定額ノ全額
所轄內	鐵道	三哩以上	定額ノ十分ノ一	規定額ノ十分ノ一
	陸路	一里以上		
所轄外	鐵道	三哩以上十哩未滿	規定額ノ二十五分ノ一	規定額ノ十分ノ一
	陸路	一里以上四里未滿		
	鐵道	十哩以上二十五哩未滿	定額ノ十分ノ一	規定額ノ十分ノ二
	陸路	四里以上十二里未滿		
	鐵道	二十五哩以上五十哩未滿	定額ノ十分ノ六	規定額ノ十分ノ三
	陸路	十二里以上二十里未滿		
	鐵道	五十哩以上	定額ノ十分ノ八	規定額ノ十分ノ四
	陸路	二十里以上		

移轉料

區分		定額ノ全額	規定額ノ全額
所轄內	鐵道	三哩以上	定額ノ十分ノ一	規定額ノ十分ノ一
	陸路	一里以上		
所轄外	鐵道	三哩以上十哩未滿	定額ノ十分ノ一	規定額ノ十分ノ一
	陸路	一里以上四里未滿		
	鐵道	十哩以上二十五哩未滿	定額ノ十分ノ二	規定額ノ十分ノ二
	陸路	四里以上十二里未滿		
	鐵道	二十五哩以上五十哩未滿	定額ノ十分ノ六	規定額ノ十分ノ三
	陸路	十二里以上二十里未滿		
	鐵道	五十哩以上	定額ノ十分ノ八	規定額ノ十分ノ四
	陸路	二十里以上		

第七條　所轄內赴任者ニ對シテハ定額ノ車馬賃ヲ支給セス但シ軌道又ハ

北海道、樺太、滿洲及朝鮮ヨリ赴任スル者
內地ヨリ赴任スル者
臺東花蓮港兩廳及澎湖各廳管內ヨリ赴任スル者
他州管內ヨリ赴任スル者

定額ノ全額	規定額ノ全額
定額ノ十分ノ九	規定額ノ十分ノ九
定額ノ十分ノ八	規定額ノ十分ノ六
定額ノ十分ノ七	規定額ノ十分ノ五

前項ノ區分ニ依ル旅行ニシテ普通旅費ヲ超過スルトキハ普通旅費ヲ支給ス

第三條　規定第四條第二項ノ軌道賃ハ第十三條ニ依リ其ノ實費ヲ支給シ車馬又ハ輓ニ依ル旅行ヲ指定シタルトキハ第二十條ニ規定シタル實費ヲ支給ス

第四條　移轉料ハ當分ノ內左表ニ依ル

區分		金額
奏任官、月手當又ハ月俸二百五十圓以上ノ囑託員雇員		百五十圓
判任官巡査部長タル巡査及月俸五十五圓以上ノ囑託員雇員		百　圓
月俸五十五圓未滿ノ巡査 月手當又ハ月俸七十五圓未滿ノ囑託員雇員		五十圓
月手當又ハ月俸四十圓未滿若ハ日給ノ雇員傭員		三十五圓
判任官五級俸以上 月手當又ハ月俸百五十圓以上ノ囑託員雇員		三　圓
判任官六級俸以下 月手當又ハ月俸七十五圓以上ノ囑託員雇員		二圓五十錢
巡査部長タル巡査及月俸五十五圓以上ノ巡査 月俸五十五圓未滿ノ巡査 月手當又ハ月俸五十五圓以上ノ囑託員雇員		二　圓
月手當又ハ月俸五十五圓未滿 若ハ日給囑託員雇員		一圓七十錢
		一　圓

區分	等級
新高下警察官吏駐在所	三等
タータカ同	四等
眠月同	
ラチ同	
タツパン同	五等
ニヤウチナ同	
サピキ同	
阿里山同	六等
十字路同	

阿里山鐵道ニ依リタルトキハ第十三條ニ依リ其ノ實費ヲ支給ス

第八條　管內赴任者ニシテ陸路及鐵道ニ亙ルトキハ鐵道ハ二哩五分ヲ以テ陸路一里ト見做シ之ヲ計算ス

第九條　單身赴任者ニ對スル移轉料ハ第五條及第六條ニ規定シタル額ノ十分ノ六ヲ支給ス但シ發令ノ日ヨリ三ケ月內ニ家族ヲ任地ニ迎ヘタルトキハ家族帶同者ト見做シ全額ヲ支給ス

第十條　地方警視郡課長及警察醫ノ旅行ニ對シテハ規程第六條第一項ノ區分ニ依ル旅費ヲ支給ス

州各係ノ主席者ニシテ其事務監督ノ爲出張スルトキハ亦同シ

第十一條　規程第八條ノ蕃地月額旅費ハ左ノ等級ニ依リ之ヲ支給ス

區分	金額
奏任官五等以上	五　圓
奏任官六等以下	四　圓
判任官五級俸以上 月手當又ハ月俸百五十圓以上ノ囑託員雇員	三　圓
判任官六級俸以下 月手當又ハ月俸七十五圓以上ノ囑託員雇員	二圓五十錢
巡査部長タル巡査及月俸五十五圓以上ノ巡査 月俸五十五圓未滿ノ巡査 月手當又ハ月俸五十五圓以上ノ囑託員雇員	二　圓
月手當又ハ月俸五十五圓未滿 若ハ日給囑託員雇員	一圓七十錢
	一　圓

第十二條　月額旅費ヲ受クル者公務ノ都合ニ依リ行程四里以上ノ地ニ宿泊シタルトキ又ハマラリア防遏事務巡査ニシテ其ノ用務ノ都合ニヨリ

第十三條　月額旅費ヲ受クル者鐵道軌道又ハ自動車ニ依リ所轄內指定區間ヲ旅行シタルトキハ鐵道賃及左ノ區分ニ依リ軌道賃便乘手數料及自動車賃ノ實費ヲ支給ス但シ監視區及巡視區監督巡視及警邏交通ノ際竝無賃便乘券ノ交付ヲ受ケタル者ノ旅行ニ對シテハ之ヲ支給セス

區分	
軌道賃	會社又ハ營業者ノ定ムル額
阿里山鐵道便乘賃	營林所ノ定ムル普通便乘手數料

區分	金額
自動車賃	市內又ハ村落中鐵道及軌道ト併行セル箇所ヲ除キタル區間ニ對スル會社又ハ營業者ノ定ムル乘合自動車賃但シ併行區間ノ自動車賃カ鐵道賃又ハ軌道賃ニ比シ少キトキハ之ヲ支給スルモノトス

前項ノ支給區間ハ別ニ之ヲ指定ス

第十四條 規程第十三條但書ノ旅行ニ對シテハ鐵道賃及前條ノ區分ニ依リ軌道賃便乘手數料及自動車賃ノ實費ヲ支給ス

第十五條 在勤地市區街庄內ノ旅行ニシテ行程二里以上ニ渉ルトキハ規程第十四條ノ區分ニ依リ日當又ハ日額旅費ヲ支給ス

在勤地市區街庄內ノ旅行ニシテ引續キ五時間以上公務ニ從事スルトキハ規程第十四條ノ二ニ依リ日當ヲ支給ス

第十五條ノ二 在勤地市區街庄內ノ旅行ニシテ引續キ五時間以上公務ニ從事スルトキハ規程第十四條ノ二ニ依リ日當ヲ支給ス

第十六條 規程第十六條ノ日額旅費ハ審地ノトキハ三等額平地ノトキハ二等額ヲ支給ス

第十七條 傳染病又ハ獸疫流行地若ハ其ノ疑アル地ト認定シタル地域內ニ於テ豫防救治ニ從事シ又ハ海上ノ捜索ニ從事スル職員ニ對シテハ其ノ宿泊シタルトキニ限リ所轄ノ內外ヲ問ハス宿泊日數ニ應シ規程第十六條ノ三等日額旅費ヲ支給ス前項ノ流行地及其ノ疑アル地ノ認定ハ其ノ都度之ヲ爲ス

第十八條 規程第十八條第二項ノ所轄內講習旅費ハ在勤地ヲ距ル二里以上ノ地ニ滯在中宿泊日數ニ應シ左ノ區分ニ依リ日額旅費ヲ支給ス

區分	金額 所轄內一番地
奏任官五等以上 月手當四百圓以上ノ囑託員	六圓四圓
奏任官六等以下奏任官ノ待遇ヲ受クル者 月手當二百五十圓以上ノ囑託員	五圓三圓
判任官五級俸以上 月手當又ハ月俸百五十圓以上ノ囑託員	四圓二圓五十錢
判任官六級俸以下及判任官ノ待遇ヲ受クル者月手當又ハ月俸七十五圓以上ノ囑託員雇員	三圓五十錢二圓
巡査部長タル巡査及月俸五十五圓以上ノ巡査	三圓一圓五十錢
月俸五十五圓未滿ノ巡査 月手當又ハ月俸五十五圓以上ノ囑託員雇員	二圓五十錢一圓二十錢
月手當又ハ月俸五十五圓未滿若ハ日給ノ囑託員雇員	二圓一圓
警手傭員	一圓五十錢七十錢

第十九條 日額旅費及規程第三條第一項但書同第六條第二項ノ旅費ヲ受クル者鐵道又ハ水路ニ依リタルトキハ鐵道賃船賃實費、軌道又ハ阿里山鐵道自動車等ニ依リタルトキハ第十三條ノ區分ニ依ル實費轎又ハ車馬ニ依ルコトヲ指定セラレタルトキハ第二十條ノ定額ヲ支給ス

第二十條 規程第二十二條第二號ノ轎賃及車馬賃ハ左ノ區分ニ依ル

區分	金額一里ニ付
奏任官、月手當二百五十圓以上ノ囑託員	九十錢
判任官月手當又ハ月俸七十五圓以上ノ囑託員雇員 巡査部長タル巡査及巡査、月手當又ハ月俸七十五圓未滿若ハ日給ノ囑託員	六十錢
警手傭員	四十錢
	三十錢

附 則

本令ハ大正十四年七月二十五日ヨリ之ヲ施行ス

大正十二年臺南州訓令第十號ハ之ヲ廢止ス

●地方職員旅費支給規程施行細則

大正十五年三月
臺南州訓令第十四號

改正 大正一五年訓令第四一號、昭和二年第一六號

官房 內務部 警務部 救濟品保所
郡役所 市役所 農事試驗場
中等學校 小公學校 幼稚園

第一章 管外旅費

第一條 地方職員管外ヲ旅行スルトキハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外地方職員旅費支給規程（以下單ニ規程ト稱ス）第三條ノ旅費ヲ支給ス

第二章 管內旅費

第二條 本令ニ於テ管內ト稱スルハ州一圓ヲ謂ヒ所轄內ト稱スルハ其ノ所屬郡（郡役所ヲ在地カ市內ナルトキハ其ノ市ノ管內ヲ含ム）又ハ市管內ヲ謂フ

旅行ノ都合ニ依リ管外又ハ所轄外ヲ通過スルトキハ之ヲ管內又ハ所轄內ノ旅行ト看做ス

第三條 左ニ揭クル者ニハ規程第三條ノ旅費ヲ支給ス

一 中等學校長
二 農事試驗場長
三 普通旅費ヲ受クル他廳職員ト同行スル者
四 知事ニ於テ必要ト認メタル者

第四條 中等學校奏任敎諭、奏任官ノ待遇ヲ受クル者公醫及盲啞學校長ニハ左ノ區分ニ依リ旅費ヲ支給ス

區分	鐵道賃及船賃	車馬賃一里ニ付	宿泊料一夜ニ付	日當一日ニ付
奏任官及同待遇五等以上	規程第三條後段ニ依ル額	一圓	一圓八十錢	一圓四十錢
奏任官及同待遇六等以下		一圓	一圓六十錢	三圓平錢
判任官五級俸以上公醫		七十錢	五圓	二圓平錢
判任官六級俸以下		七十錢	四圓平錢	二圓

第五條 測量、土木又ハ營繕工事ノ監督、屠畜ノ檢查、道路、山林苗圃等ノ巡視、產業奬勵等ノ爲繼續外業ニ從事スル者又ハ當時受持區域內ヲ旅行スル者ニハ左ノ區分ニ依リ月額旅費ヲ支給ス

判任官待遇五級俸以上 吏員二級下俸以上 月手當又ハ月俸百五十圓以上ノ囑託員及雇員	十五圓
判任官待遇六級俸以下 吏員月俸五十一圓以上 月手當又ハ月俸七十五圓以上ノ囑託員及雇員	十三圓
吏員五級下俸以下 月手當又ハ月俸五十五圓以上ノ囑託員及雇員	十一圓
月手當又ハ月俸五十五圓未滿若ハ日給ノ囑託員及雇員	九圓
傭員	六圓

第六條 月額旅費ヲ受クル者公務ノ都合ニ依リ宿泊シタルトキハ左ノ區分ニ依リ日額旅費ヲ支給ス

區分	金額
判任官待遇五級俸以上 吏員二級下俸以上 月手當又ハ月俸百五十圓以上ノ囑託員及雇員	三圓
判任官待遇六級俸以下 吏員月俸五十一圓以上 月手當又ハ月俸七十五圓以上ノ囑託員及雇員	二圓五十錢
吏員五級下俸以下 月手當又ハ月俸五十五圓以上ノ囑託員及雇員	二圓
月手當又ハ月俸五十五圓未滿若ハ日給ノ囑託員及雇員	一圓五十錢
傭員	一圓

第七條 在勤地市街庄內旅行ニシテ陸路行程二里以上又ハ引續キ五時間以上ニ渉ルトキハ左ノ區分ニ依リ日當ヲ支給ス但シ官用ノ船、車、馬ニ依リタルトキハ其ノ半額ヲ支給ス

前項ノ日當ヲ受クル者公務ノ都合ニ依リ行程二里以上ノ地ニ宿泊シタル日ニ對シテハ第十一條ノ宿泊シタル日ノ日額旅費ヲ支給ス

區分	甲地方	乙地方
奏任官及同待遇五等以上 月手當又ハ月俸四百圓以上ノ囑託員及雇員	二里以上又ハ引續キ五時間以上 一圓六十錢	二里以上又ハ引續キ五時間以上 一圓四十錢
奏任官及同待遇六等以上 月手當又ハ月俸二百五十圓以上ノ囑託員及雇員	四里以上又ハ引續キ八時間以上 一圓四十錢	四里以上又ハ引續キ八時間以上 二圓五十錢
判任官及同待遇五級俸以上公醫 吏員二級下俸以上 月手當又ハ月俸百五十圓以上ノ囑託員及雇員	二圓	一圓二十錢
判任官及同待遇六級俸以下 吏員五級下俸以下公立小學校准訓導 月手當又ハ月俸五十圓以上ノ囑託員及雇員	一圓	八十錢
判任官及同待遇六級俸以下 公立幼稚園保姆 吏員月俸五十一圓以上 月手當又ハ月俸七十五圓以上ノ囑託員及雇員	一圓二十錢	一圓
吏員五級下俸以下 公立小學校准訓導 月手當又ハ月俸五十圓以下ノ囑託員及雇員	七十錢	六十錢

區分	日額
月手當又ハ月俸五十五圓未滿若ハ日給ノ囑託員及雇員	六十錢
傭員	五十錢

第八條 登綰又ハ土木工事ノ爲使役スル者ニシテ在勤地市街庄外ニ旅行シタルトキハ左ノ區分ニ依リ日額旅費ヲ支給ス

區分	金額
監督雇員	二圓
監督傭員	一圓五十錢
道路巡視員	一圓二十錢
工夫	八十錢

第九條 稅務課及稅務出張所主務ニ屬スル調査、檢查、監視、納稅督勵及滯納處分竝同事務補助ノ爲出張スル者ニハ左ノ區分ニ依リ日額旅費ヲ支給ス

區分	宿泊シタル日		日歸又ハ歸廳ノ日
	所轄內	其ノ他	
月手當四百圓以上ノ囑託員	八圓	十圓	四圓
月手當又ハ月俸二百五十圓以上ノ囑託員及雇員	七圓	八圓	三圓五十錢
判任官及同待遇五級俸以上 吏員二級下俸以上 月手當又ハ月俸百五十圓以上ノ囑託員及雇員	五圓	六圓	二圓四十錢
判任官及同待遇六級俸以下 公立幼稚園保姆 吏員月俸五十一圓以上 月手當又ハ月俸七十五圓以上ノ囑託員及雇員	四圓	五圓	二圓
吏員五級下俸以下 月手當又ハ月俸百五十圓以下ノ囑託員及雇員	四圓	五圓	二圓
月手當又ハ月俸五十五圓未滿若ハ日給ノ囑託員及雇員	四圓	五圓	二圓
傭員	三圓五十錢	四圓	一圓五十錢

前項ノ日額旅費ハ宿泊シタルトキニ全額ヲ支給シ日歸又ハ歸廳ノ日ハ十分ノ四ヲ支給ス

第十條 物產檢查員檢查ノ爲メ管轄區域內ヲ旅行シ又ハ檢查所補助ノ爲出張滯在スル者ニハ滯在中左ノ區分ニ依リ日額旅費ヲ支給ス但シ其ノ行程陸路一里未滿、鐵道五哩未滿、水路五浬未滿ノ旅行ニ對シテハ之ヲ支給セス鐵道賃、軌道賃及船賃ノミヲ支給ス

區分	金額
陸路三里以上鐵道二十四哩以上	一圓五十錢
陸路三里未滿鐵道二十四哩未滿	一圓
檢查所補助	三圓五十錢

第十一條 前各條ニ規定セルモノ以外ノ旅行者ニハ左ノ區分ニ依リ日額旅費ヲ支給ス但シ往復陸路一里未滿、鐵道五哩未滿、水路五浬未滿ノ旅行ニ對シテハ之ヲ支給セス鐵道賃、船賃及軌道賃ノ實費ノミヲ支給ス

區分	日額
判任官及同待遇六級俸以下 公立幼稚園保姆 吏員月俸五十一圓以上 月手當又ハ月俸七十五圓以上 ノ囑託員及雇員	四圓
吏員二級下俸以上 月手當又ハ月俸百五十圓以上ノ囑託員及雇員	五圓
判任官及同待遇五級俸以上 公立小學校准訓導 吏員五級下俸以下 月手當又ハ月俸五十圓以上ノ囑託員及雇員	六圓
奏任官及同待遇六等以上 月手當又ハ月俸四百圓以上ノ囑託員及雇員	八圓
奏任官及同待遇五等以上 月手當又ハ月俸五百圓以上ノ囑託員及雇員	十圓

吏員五級下俸以下 公立小公學校准訓導 月手當又ハ月俸五十五圓以上ノ囑託員及雇員	三	四四	四一	四五十錢
月手當又ハ月俸五十五圓未滿若ハ日給ノ囑託員及雇員	二	四五十錢	三	四一	四二十錢
傭員	一	四五十錢	二	四八 十錢
淸夫	八十錢		一	四五 十錢

第十二條 日額旅費ヲ受クル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ實費ヲ支給ス

一 鐵道、軌道又ハ水路ニ依ル旅行ヲ爲シタルトキ

二 知事ニ於テ特ニ轎又ハ車馬ニ依ル必要ヲ認メタルトキ

前項ノ規定ハ在勤地市街庄內陸路三里、鐵道二十四哩、水路十五浬以外ノ地ニ旅行シタル場合之ヲ準用ス

第十三條 前條ニ依リ支給スヘキ實費ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ支給ス

一 鐵道賃及船賃ハ規程第三條後段ニ依ル額

二 軌道賃ハ普通賃金

三 轎又ハ車馬ニ依リタルトキハ左ノ區分ニ依ル

區分	金額一里ニ付
月手當二百五十圓以上ノ囑託員 判任官及同待遇、吏員月俸五十一圓以上 月手當又ハ月俸七十五圓以上ノ囑託員及雇員	九十錢 六十錢
吏員五級下俸以下 月手當又ハ月俸七十五圓若ハ日給ノ囑託員及雇員 傭員	四十錢 三十錢

【臺南警】

第十四條 稅務課又ハ稅務出張所職員ニシテ自轉車ノ乘用ヲ命シタルトキハ日額四十錢ヲ加給ス但シ官用ノ自轉車ヲ乘用シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三章 赴任旅費

第十五條 本島外ヨリ赴任スル者及本島內ニ於ケル赴任者ニ對シテハ日當、宿泊料各五日分ヲ定額トシ左ノ區分ニ依リ赴任手當ヲ支給ス

區分	定額ノ全額
北海道、樺太、滿洲及朝鮮ヨリ赴任スル者	
內地ヨリ赴任スル者	定額ノ十分ノ九
臺東花蓮港及澎湖各廳管內ヨリ赴任スル者	定額ノ十分ノ八
他州管內ヨリ赴任スル者	定額ノ十分ノ七

第十六條 本州管內ニ於ケル赴任者ニ對シテハ日當宿泊料各二日分ヲ定額トシ左ノ區分ニ依リ赴任手當ヲ支給ス

區分	定額ノ全額
鐵道五十哩以上又ハ陸路二十里以上	
鐵道二十五哩以上五十哩未滿又ハ陸路十里以上二十里未滿	定額ノ十分ノ八
鐵道三哩以上二十五哩未滿又ハ陸路一里以上十里未滿	定額ノ十分ノ六

第十七條 移轉料ハ規程定額ヲ左ノ區分ニ依リ之ヲ支給ス

區分	定額ノ全額
北海道、樺太、滿洲及朝鮮ヨリ赴任スル者	
內地ヨリ赴任スル者	定額ノ十分ノ九
臺東、花蓮港及澎湖各廳管內ヨリ赴任スル者	定額ノ十分ノ六

【臺南警】

仙州管內ヨリ赴任スル者				定額ノ十分ノ五
管內鐵道五十哩以上又ハ陸路二十里以上ノ地ヨリ赴任スル者				定額ノ十分ノ四
管內鐵道三十哩以上五十哩未滿又ハ陸路十二里以上二十里未滿ノ地ヨリ赴任スル者				定額ノ十分ノ三
管內鐵道十哩以上又ハ三十哩未滿又ハ陸路四里以上十二里未滿ノ地ヨリ赴任スル者				定額ノ十分ノ二
管內鐵道三哩以上十哩未滿又ハ陸路一里以上四里未滿ノ地ヨリ赴任スル者				定額ノ十分ノ一

單身赴任者ニ對シテハ其ノ支給スヘキ額ノ十分ノ六ヲ支給ス但シ發令ノ日ヨリ三月以內ニ家族ヲ任地ニ迎フルトキハ家族攜帶者ト看做シ前項ノ額ヲ支給ス

第十八條 本州管內ニ於ケル赴任者ノ赴任手當又ハ移轉料支給ニ關シ一旅行中陸路及鐵道ニ亙ルトキハ鐵道二哩五分ヲ以テ陸路一里ト看做シ之ヲ計算ス

第四章 雜則

第十九條 公立學校幼稚園ノ生徒及兒童修學旅行ノ場合之ヲ引率スル職員ニ對シテハ在勤地市街庄內ノ旅行ヲ除クノ外本島內ヲ旅行スルトキハ左ノ區分ニ依リ日額旅費及鐵道賃船賃及軌道賃ノ下級實費ヲ支給ス

區分	宿泊シタル日		日歸又ハ歸校ノ日	
	管內		管外	
	甲地方	乙地方	甲地方	乙地方
奏任官、公立幼稚園保姆、月手當又ハ月俸七十五圓以上ノ囑託員及雇員	七圓	六圓	六圓	五圓	四圓	二圓
六圓	五圓	五圓	四圓	一圓五十錢

本表中甲地方トハ大正十三年大藏省令第二十九號ニ指定スル地域乙地方トハ其ノ他ノ地域ヲ謂フ				
公立小公學校准訓導、月手當又ハ月俸五十五圓以上ノ囑託員及雇員	五圓	四圓	四圓	三圓	一圓二十錢
月手當又ハ月俸五十五圓未滿ノ囑託員及雇員	四圓	三圓	三圓	二圓二十錢	一圓

第二十條 郡守、市尹又ハ中等學校長ニ於テ必要ト認ムルトキハ旅費ノ定額ヲ減スルコトヲ得

附則

本令ハ大正十四年十二月十一日以後ノ旅行ニ付之ヲ適用ス

大正十年訓令第三十九號州有給職員旅費支給細則、大正十年訓令第八十八號小學校公學校兒童及簡易實業學校生徒修學旅行引率職員旅費規程及大正十一年訓令第十九號物產檢查員管內旅費規程ハ之ヲ廢止ス

●旅費仕拂證明ニ關スル件

大正十年七月二十二日
財主監第一二五號財務局長通知

旅費仕拂證憑書中旅行明細不備ニシテ往々計算ノ明瞭ヲ缺クモノ有之候條自今左記ノ廉ハ必ラス明記セシムルコトニ御取扱相成度此段及通知候也

一 年月日、用地、發著地、經過地、宿泊地、鐵道哩數、同實費里數運數、同實費等ハ各相當欄ヲ設ケ記載スルコト

二 用地、發著地名ハ州、郡、街、庄ノ異ル每ニ州、郡、街、庄名ヲ

冠記スルコト

（州廳、郡所在地其他著明ノ地ハ除ク）

三 實費ハ一乘車又ハ一乘船毎ニ區分記載スルコト

四 移轉料及赴任手當ハ規定額ニ對スル支給歩合ヲ記載スルコト

五 家族移轉料ニ關シテハ左記ノ仕譯ヲ附スルコト

日當	宿泊料	鐵道賃	汽船賃	赴任手當	計	家族姓名	年齢
						妻、、、、	
						長男、、、	
計							

六 本人赴任後移轉シタル家族移轉料ニ付テハ旅行明細ヲ記載スルコト

追テ現金前渡官吏ニ對シテハ貴官ヨリ御通知相成度

●外國旅費打切支給ノ件

大正三年二月
民財第四九〇號民政長官代理通牒

別紙寫ノ通內務次官ヨリ依命通牒有之候ニ付自今右ニ依リ御取扱相成度

右通牒ス

（別紙）

外國派遣旅費打切支給（又ハ渡切支給）ノ場合ニ於テ往々一定額ヲ拂切リ其ノ儘精算ヲ爲サシメサル取扱ノ向モ有之哉ニ候處右支給方ハ畢竟外國旅費規則ニ所謂定額減少ノ一方法ニ外ナラス大藏省ニ於テモ其ノ意味ニ於テ協議ニ應シ來リ候次第ニ有之候條精算上若支給額ニ剩餘アル場合ハ之ヲ返納セシムル樣御取扱相成度候

●本島水路旅行者旅費支給方ノ件

明治四十三年二月
民財第九〇一號民政長官代理依命通達

本島水路旅行者ニ對スル旅費ハ往々寄港路ニ依リ計算支給ノ向モ有之區々ニ相成居候處右ハ明治二十九年八月訓令第八十二號但書ニ依リ各地ニ寄港スルモ乘換ヲ爲シタル場合ノ外ハ總テ直航海里程ニ依リ支給可相成依命此段及通達候也

一 基隆 安平間 二百十二浬
一 基隆 打狗間 二百三十四浬
一 馬公 打狗間 七十三浬
一 基隆 卑南間 百七十浬
一 蘇澳 卑南間 百二十五浬（四三年十月民財第五四七八號改正）
一 基隆 花蓮港間 九十四浬（同）

●月額旅費ヲ受クル者ニ對シ鐵道賃軌道賃自動車賃ノ實費支給地域指定ノ件

昭和四年四月一日
南警第九九七號知事通達

大正十四年臺南州訓令第二十一號臺南州警察職員旅費規程第十三條ニ依ル月額旅費ヲ受クル者ノ所轄內旅行ニ對シ鐵道賃、軌道賃及自動車賃ノ實費支給地域左ノ通相定ム

右通達ス

追テ大正十三年八月二十一日付南警第七、一六九號ノ四通達ハ自然消滅ニ付申添候

左記

郡別	地域
新豐郡	臺南 關廟間 臺南 十二佃間 關廟 龜洞間 臺南 崎頂間 臺南 媽祖廟間 臺南 和順間 臺南 永康間
新化郡	新化 菜寮間 新化 善化驛間 新化 左鎭間 新化 港口間 新化 九層林間 新化 安定間 新化 玉井間 新化 山上間 新化 楠西間 新化 南化間
曾文郡	麻豆 下營間 麻豆 大內間 麻豆 六甲間 麻豆 烏山頭間
北門郡	佳里 二重港間 佳里 北門間 佳里 後營間 佳里 將軍間 佳里 七十二分間 佳里 口寮間 佳里 屯子港間
新營郡	新營 白河間 新營 番子厝間 新營 糞箕湖間 新營 長短樹間 白河 關子嶺間 新營 菁寮間 新營 番社間 新營 南竹子脚間
嘉義郡	嘉義 竹崎間 嘉義 埤寮間 竹崎 交力坪眠月間各驛間 嘉義 坛水間 嘉義 汴頭間 嘉義 五虎寮間 嘉義 中埔間 嘉義 石硏間 嘉義 觸口間 嘉義 番路間 嘉義 新巷間 嘉義 溪口間 嘉義 坂頭厝間 嘉義 埤子頭間 嘉義 大林間 嘉義 內埔間 嘉義 大林小梅間各驛間
斗六郡	斗六 炭頭厝間 斗六 大埤間 斗六 新庄子間
虎尾郡	虎尾 西螺間 虎尾 東勢厝間 虎尾 永定厝間 虎尾 五塊寮間 虎尾 崙背施厝間各驛間 虎尾 海口間 虎尾 埔姜崙間
北港郡	北港 烏麻園間 北港 三條崙間
東石郡	朴子 水虞厝間 朴子 義竹間 朴子 太保間 朴子 後堀間 朴子 過溝間 朴子 布袋間 朴子 東後寮間

●月額旅費受給者ニ對スル實費支給區間指定ノ件

昭和三年十二月十一日
南警第三六八七號警務部長通達
各郡守宛

月額旅費ヲ受クル者鐵道軌道又ハ自動車等ニ依リ所轄內旅行ノ際ニ於ケル實費支給方ニ關シ本年十二月七日附當州訓令第二十六號ヲ以テ一部改正相成候處同實費支給ノ必要アリト認ムル區間ニ對シテハ指定方左記ニ依リ稟申相成度

右依命通達ス

追而從前ノ規定ニ依リ指定ヲ受ケタルモノニ對シテモ此ノ際全部稟申相成度申添候

記

線別	乘用別	區間	哩程	一人ノ賃銀 一人乘	二人乘	三人乘	四人乘	所要月額 人員	所要年額 金額	摘要
何々線	軌道	發地 經過地 著地								
	鐵道									
	自動車									

調查例

一、指定シ得ル區間ハ一線毎ニ往復實費五十錢以上ヲ要スル箇所ノミトス

二、摘要欄ニハ主トシテ支給ヲ受クヘキ派出所又ハ分室名等ヲ記入スルコト

三、自動車軌道又ハ鐵道トカ併行セル箇所アルトキハ賃銀ノ少キ方ノ欄ニ多キ方(併行箇所ニ對スル分ノミ)ノ分ヲ朱書別記スルコト

四、線名ハ其ノ地方ニ於ケル著名ノ地名ヲ冠スルコト

五、指定區間及其ノ附近ノ圖面ヲ添付スルコト

●警察職員旅費規程適用上注意ヲ要スル事項ニ關スル件

大正十四年四月二十日
警々第八三二號警務局長通牒

【臺南警】

四月十九日付訓令第四十二號ヲ以テ州及廳警察職員旅費規程中改正セラレ候處右ノ中第三條第二項第三號ニ依リ普通旅費ヲ支給スル場合ハ左記事項御注意相成度爲念右通牒ス

記

一 支廳長(地方警視警察署長州廳課長ヲ除ク)及郡課長ハ必要ト認メタルトキハ之ヲ適用シ得ルコト

二 前項以外ノ警察官吏ハ普通旅費ヲ受クル者ト同行スルトキニ非サレハ適用出來サルコト

「臺灣總督府警察官吏旅費規則第四條但書參照」

三 警察官吏以外ノ職員ニ對シテハ別ニ制限ナキヲ以テ必要ト認メタルトキハ之ヲ適用シ得ルコト

●旅費支給上順路ニ關スル件

大正十五年五月二十五日
臺南官會第六九九號計理課長依命通牒

旅費ハ順路ニ依リ計算スヘキモノニ有之候處往々順路ヲ鐵道ニ依ルモノ又ハ陸路ニ依ルモノ等區々ニ渉リ取扱上差支候ニ付左記ノ通決定相成候條御承知相成度依命及通牒候也

記

區間	順路
臺南 佳里間	番子田驛經由
臺南 麻豆間	番子田驛經由

【臺南警】

臺南	玉井間
臺南	新化間
斗南驛以南ヨリ西螺間	

新市驛及新化街經由	
新市驛經由	
虎尾驛經由	

●旅費請求領收書式ニ關スル件

大正十年八月八日
南警第四二八六號警務部長依命通達

從來各郡署ヨリ提出ノ旅費請求領收書式區々ニ渉リ居リ取扱上不便ナルノミナラス往々計算ノ明瞭ヲ缺クモノ有之趣キヲ以テ其ノ筋ヨリ通牒ノ次第モ有之候ニ付爾今左記樣式ニ依リ請求セシメラレ度右依命通達ス

第一號樣式

請求(領收)書

一金 旅費

內譯

金	日當	日分	一日ニ付金	出張命令鄕照合濟㊞
金	宿泊	日分	一日ニ付金	
金	鐵道賃	日夜	間往復	等賃金 割實費
金	車馬賃			
金	急行料		間	等賃金
金				

但シ大正 年 月 日 ノ爲 (出張 月 日歸廳旅費左記明細書ノ通

第二編 警務 第一章 俸給 給與 旅費 恩給扶助

【臺南警】

年月日	發地	經過地	著地	鐵道哩數	鐵道賃金實費	陸路里數	臺車賃金	日數	夜數	備考
計										

右請求(領收)候也

大正 年 月 日

臺南州 部 署 郡勤務月俸 圓

官職 氏 名㊞

命令官

臺南州知事 殿

第二號樣式

請求(領收)書

一金 赴任旅費

內譯

金	日當	日分	一日ニ付金	著任屆照合濟㊞ 命令鄕照合濟㊞
金	宿泊	夜分	一夜ニ付金	
金	鐵道賃		間往復	等賃金 割實費
金	車馬賃			
金	赴任手當		日當宿泊	日分ノ
金	移轉料		十分ノ	

金　　家族移轉料別紙仕譯書ノ通

但シ大正　年　月　日何處勤務ヲ命セラレ　月　日何處出發
月　日著任旅費左記明細書ノ通

明細書

年月日	發地	經過地	著地	鐵道賃	鐵道賃	陸路	臺車賃	日數	夜數	備考
				哩數	賃費	里數				
計										

右請求(領收)候也

大正　年　月　日

臺南州　部　署　郡　勤務月俸　圓
官職　氏　名

命令官
臺南州知事　殿

家族移轉料仕譯書

日當	宿泊料	鐵道賃	汽船賃	赴任手當	計	家族及續柄	姓名	年齡
計								

記載例(第一號第二號共)

一　發著地名ハ州郡街庄ノ異ル毎ニ州郡街庄名ヲ冠スルコト(州廳郡所在地其ノ他著名ノ地ヲ除ク)

二　實費ハ一乘車又ハ一乘船毎ニ區分記載スルコト

三　移轉料及赴任手當ハ規定額ニ對スル支給歩合ヲ記載スルコト

四　本人赴任後轉シタル家族移轉料ニ付テハ旅行明細ヲ記載スルコト

五　請求又ハ領收ノ際樣式中ノ不用文字ハ削除認印スルコト

●自動車運轉手市內旅費ニ關スル件

大正十五年九月三十日
臺南官會第一六一一號會計課長通牒

自動車運轉手雇臺南市內ニ出張運轉スル場合ニ在リテハ縱ヘ二里以上又ハ五時間以上ニ渉ルトキト雖モ出張旅費ヲ支給セサルコトニ決定相成候條及通牒候也

●車馬賃支給ニ關スル件

大正十一年十二月
會計課長依命通達

車馬賃支給上ノ里程計算ニ關シテハ大正十年二月十五日總財第三〇九號總務長官依命通達ニ依リ二箇以上ノ市街庄ニ渉ル旅行ハ大字ニ依リ區分シ里程ヲ計算スヘキモノニ有之候處右通達ノ趣旨ヲ誤解シ用務地ノ如何ニ不拘經過セシ全部ノ大字ニ依リ計算スル者有之哉ニ聞及候處右ハ出張スヘキ用務地タル大字ト大字トカ二箇以上ノ市街庄ニ渉ル場合ニノミ計算スヘキ義ニシテ即チ最終用務地タル大字ヨリ次ノ市街庄ノ最初ノ用務地タル大字迄ノ行程ヲ計算シ同一市街庄內ノ最初ノ用務地タル大字ヨリ最後ノ用務地タル大字迄ハ二箇以上ノ市街庄ニ渉ラサルニ依リ其ノ間ノ行程ハ計算スヘキモノニ無之候條將來車馬賃ノ支給ヲ受クル者ニシテ在勤地市街庄外ノ市街庄內ニ用務ヲ帶ヒ旅行スルトキハ必ス用務地タル大字ヲ一々記載ノ上發令スルコトニ決定相成候條御了知相成度

右依命通達候也

●警察職員月額旅費ニ關スル件

昭和五年四月四日
南警親第二一一號警務部長通達

各郡守　警察署長宛

警察職員月額旅費ニ關シテハ大正十年十月二十七日付南警親第五二二號及同年十一月二十五日付南警親第七一八號ヲ以テ通達致置候處豫算經理ノ都合モ有之且ツ內勤者ニ對シテモ本年度ヨリ特別手當ヲ減額支給スルコトニ規定セラレ之カ權衡上減額ノ止ムナキニ至リ本年四月一日ヨリ警部補以上一圓巡査部長以下五十錢ヲ減額支給スルコトニ相成候條部下職員ニ對シ示達相成度

右依命通達ス

●內勤巡查ノ出張ニ關スル件

昭和五年五月五月十九日
南警第一五三四號警務部長通達

各郡守　署長宛

內國旅費節約ニ就テハ外勤巡查ノ月額旅費減額等本年四月二日南警親第二一一號ヲ以テ通達ノ次第モ有之經理節約ニ付充分御配慮セラレツヽアルモノト思料セラレ候ヘ共近時內勤巡查ヲシテ集會又ハ興業取締等ニ從事セシメ旅費ヲ請求セシメラルヽ向有之候處斯クテハ經理ニ支障ヲ來タスヘキ處有之候而已ナラズ外勤巡查トノ均衡上右ノ如キ出張ハ相當考慮ヲ要スル事ト思料候條爾今此ノ種ノ取締ニ就テハ止ムヲ得ザル場合ノ外ハ外勤巡查ヲ當ラシメ以テ經理上遺憾ナキヲ期セラレ度

右通達ス

追テ右ノ場合內勤巡查ヲシテ非番勤務ニ從事セシムルハ何等支障無之候條申添候

●蕃地職員出張旅費ニ關スル件

昭和五年八月十九日
南警第二三六二號警務部長通牒

嘉義郡守宛

蕃地警備警戒等ノ爲メ新高道路沿線及臺中州下入通關方面ニ出張宿泊セシメタル場合ハ當分別表ノ通リ減額支給スル事ニ決定相成候條

右依命通牒ス

追而昭和二年八月十五日南警第二二七七號通牒ハ自然消滅

別表

出張地名	日數	巡査部長 甲種巡査 宿泊日額	滯在	乙種巡査 宿泊日額	滯在	警手 宿泊日額	滯在	摘要
阿里山ヨリ鹿林山	往復日數二日	一、八〇〇	一、八〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、三五〇	九〇〇	
同　前山	同　二日	二、七〇〇	一、八〇〇	一、五〇〇	一、八〇〇	一、三五〇	九〇〇	
同　新高下	同　二日	三、一五〇	一、八〇〇	一、五〇〇	二、二五〇	一、三五〇	九〇〇	
新高下ヨリ八通關	同　一日	四、〇五〇	二、二五〇	一、八〇〇	二、七〇〇	一、三五〇	九〇〇	
同　東埔	同　二日	七、二〇〇	二、二五〇	一、八〇〇	四、五〇〇	一、三五〇	九〇〇	
阿里山ヨリ東埔	同　二日	四、九五〇	二、二五〇	一、八〇〇	三、一五〇	一、三五〇	九〇〇	

備考　新高山下ヨリ八通關ニ至ル旅費ハ宿泊セサルモ日額ヲ支給スルモノトス

●管内講習旅費ニ關スル件

昭和六年三月十三日
南警第九三一號警務部長通達
各郡守　署長宛

當州ニ於テ開催スル各種講習會ニ出席スル警察職員ニ對スル旅費ハ左記ノ通リ決定候條爾今右ニ依リ請求セシメラレ度

右依命通達ス

追テ大正十四年四月四日南警第二、七五七號通達ハ本通達ニ依リ自然消滅シタルモノニ有之候條申添候

記

一、警部警部補　二、〇〇〇圓
二、巡査部長　一、八〇〇
三、巡　査　一、六〇〇

●公務ノ爲傷痍ヲ受ケタル者ニ對スル給與金ノ件

明治四十二年十二月
官祕第八二八號民政長官代理通牒

官吏及雇員傭員竝官役職工夫等ニシテ公務ノ爲傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ入院治療ヲ受クル者ノ食餌料ハ自今入院治療費中ニ包含スルコトニ府議決定候條此段及通牒候也

【臺南警】

追テ治療料未支給ノ者ニ對シテモ本通牒ニ依ル義ニ付此段申添候

●給助料支給上注意方ノ件

大正元年十二月
本警第四二〇號警察本署長通牒

公務ニ基因セル傷痍疾病ト雖給助料支給後再發シタルモノノ療治料ハ之ヲ支給シ得サルコトニ當府ノ解釋決定致候條給助料ノ支給ニ就テハ充分ノ注意ヲ拂ヒ確實ニ全治シ再發ノ慮ナキニ至リ支給セラレ候樣御取計相成度爲念及通牒候

●弔慰規定中職務上ニ依ル疾病ニ關スル見解ノ件

明治三十九年二月
本警庶乙第八六號

臺灣總督府警察官吏弔慰規定中職務上ニ依ル疾病ニ關シ其ノ見解ヲ異ニスル向有之候處右ハ傳染病豫防救治等ニ從事シ爲ニ其ノ病毒ニ感染シタルカ如キ事態ノ性質健康上直接ニ有害ナル感動ヲ受クルモノタル場合ニ限リ職務上ニ依ルモノトシ相當慰問スルコトニ可取扱候條爲念此段及通牒候也

●公傷病者食餌料ニ關スル件

大正元年八月
祕丙第三四七號祕書課長通牒

公傷病者食餌料ノ件ニ關シ別紙乙號宜蘭廳長ノ稟申ニ對シ甲號ノ通リ通牒候條右通知ス

（甲號）

宜蘭廳長宛通牒

公傷病者食餌料ノ件ニ關シ明治四十五年七月二十日付宜警庶第四〇五三號ヲ以テ御稟申ノ趣了承右ハ御稟申ノ通自宅療養ニアラサル者ノ食餌料ハ治療料中ニ包含支給相成可然依命此段通牒ス

（乙號）

宜蘭廳長稟申

公務ノ爲傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ入院治療ヲ受クル者ノ食餌料ハ入院治療費中ニ包含スルコトニ府議決定相成候處右ハ入院治療者ニ限定セラレタルモノニシテ主治醫ノ診斷ニ依リ温泉療養ヲ許可シタル者又ハ病室充員ノ爲通院スル者ノ食餌料ノ如キハ給與ノ限ニアラスト思料スルモ灣給者ニ在リテハ自辨困難ノ事情有之候ニ付自宅療養者ニアラサル之等公傷病者ニ對スル救濟法制定ノ御詮議相仰キ度右及稟申候也

●療治料給與ニ關スル件

大正四年二月
臺南警第一四五號ノ一警務課長通牒

巡査巡査補ニシテ公務ニ起因シ傷病ヲ受ケ入院治療數箇月ニ渉リシ者ノ療治料請求方ニ付キ照會中ノ處左記ノ通警察本署長ヨリ回答有之候

（左　記）

二月十日付臺南警第一四五號ヲ以テ療治料支給ニ關シ御照會ノ趣了承右ハ全快ニ至ラスト雖適宜數回ニ打切リ支給差支無之候御承知相成度

●弔祭料ヲ給與スル場合ニ於ケル年數計算方

大正三年三月
府議決定

明治三十四年勅令第百四十九號巡査看守療治料給助料及弔祭料給與令ニ依リ弔祭料ヲ給與スル場合ニ於ケル勤務年數計算方ハ自今明治三十五年法律第三十九號ノ規定ニ依ルコトニ府議決定セリ

●巡査退隱料遺族扶助料支給方ニ關スル件

大正十年一月二十八日
南警第六五四號臺南州知事照會

元鳳山廳ニ於テ發令ニ係ル巡査退隱料及遺族扶助料ハ廳合併ノ際臺南廳ニ引繼ヲ受ケ支給シ來リ候處今回制度改正ニ伴ヒ元鳳山廳下ハ高雄州ニ屬スルコトト相成候ニ付テハ該退隱料及扶助料モ當然高雄州ニ於テ負擔スヘキモノト思料セラレ候尙明治四十二年廳合併後大正九年八月迄ノ間ニ元臺南廳ニ於テ發令ニ係ル分ノ中今回高雄州ニ分轄サレシ元打狗鳳山補梓坑阿公店支廳ニノミ勤務退職セシ者ハ高雄州ニ引繼方取計可然哉至急何分ノ御指示相煩度右照會ス

大正十年三月十五日
內州第二一九號內務局長經伺回答

大正十年一月二十八日付御照會ニ係ル首題ノ件明治三十四年法律第三十八號第二十四條ニ依リ貴見ノ通御取計可然右經伺ノ上及回答候

●官公吏以外ノ者ニシテ傳染病豫防救治ニ從事シ病毒ニ感染シタル場合手當金支給方ニ關スル件

〔臺南警〕

大正十二年七月十八日
南警第八五六九號警務部長依命通達

首題ノ件ニ關シ別紙甲號ノ通照會候處警務局長ヨリ乙號ノ通回答有之候條爲參考此段及通牒候也

甲號

明治四十二年十一月民警第一六五三號府議決定首題ノ件中「傳染病特ニペスト流行時ニ際シ」トアルハ特ニペストヲ例示シタルモノニシテ限定シタルモノニアラス從テ他ノ法定傳染病ニモ適用スヘキモノト思料セラレ候モ疑義相生シ候條何分ノ御回答相煩度此段及照會候也

乙號

六月十八日南警第八五六九號照會官公吏以外ノ者ニシテ傳染病豫防救治ニ從事シ病毒ニ感染シタル場合手當金支給方ニ關スル件ハ御見解ノ通リ

右回答ス

●年金恩給請求書式

大正十二年十二月十五日
告示第一六四號

本州ニ於テ支拂フヘキ年金恩給ノ請求書式ヲ左ノ通相定ム

大正十二年十二月十五日

臺南州知事　松井　榮堯

請求書

〔臺南警〕

別紙ノ通リ恩給局通員書記官ヨリ回答有之候ニ付及通知候也

照會

臺灣總督府警部補ノ在職年ヲ計算スル場合新法施行ノ際現ニ警部補トシテ在職スル者ノ其ノ在職ニ繼續スル新法施行前ノ在職ニ付テハ恩給法第九十條ノ但書ニ依リ警察監獄職員ト看做シ取扱ヒ得ヘキヤ

回答

御照會ノ件ハ貴見ノ通リ繼續スル在職年ハ新法ノ警察監獄職員ノ在職年トシテ計算スヘキ儀ニ付了承相成度

●恩給法上ノ加給ニ關スル件

大正十三年五月三日
祕內第二七四號總督官房祕書課長通牒
臺南州知事宛

恩給法上ノ加給ニ關スル件左記ノ通御承知相成度爲念

記

一　教育職員在職十五年以上引續キ在職シタル勤續期間ニ對スル加給ハ二十五年迄ヲ限度トス

一　警察監獄職員在職十年以上引續キ在職シタル勤續期間ニ對スル加給ハ三十年迄ヲ限度トス

●恩給請求ニ關スル件

大正十四年三月二十日
南警第二五〇三號臺南州警務部長依命通達

恩給請求ニ付テハ恩給々與規則及同細則ニ於テ夫々規程シアルニモ不均

〔臺南警〕

一金　何圓

但シ普通恩給（又ハ扶助料）年額金何圓ニ對スル何年何月ヨリ何月ニ至ル三箇月分

右請求候也

何府縣何郡市何町村何番地（現住所）
元臺南廳巡査（又ハ何々）　何　某印
又ハ故臺南廳巡査（又ハ何々）何某ノ
妻（又ハ何）　何　某印

臺南州知事宛

右恩給證書ヲ受領シ受給權者タルコトヲ證明ス

大正　年　月　日

市區町村長　氏　名印

（臺灣ニ在リテハ郡守警察（分）署長又ハ支廳長）

（附言）(1)增加恩給ハ普通恩給ト合算シテ請求シ但書ニ其ノ內譯ヲ明記スヘシ

(2)支給停止又ハ其他ノ事由ニ依リ異動ヲ生シタルトキハ但書ニ其ノ事由年月日等ヲ記シ請求金額ノ算出ヲ明ニスヘシ又法定代理人アルトキハ連署スヘシ

●警部補ノ在職年通算ニ關スル件

大正十三年一月三十一日
祕丙第七一號總督官房祕書課通知

是レニ準據セサル爲メ取扱上支障不拂候條爾今警察職員ノ請求其他關係書類ハ同則ニ依ルノ外履歷書ハ別紙記載例ニ準シ作成スヘキ樣取計相成度

右依命通達ス

追而用紙ハ總テ美濃トシ請求書及抄本各一通（扶助料ニアリテハ謄本トス）履歷書二通ヲ提出セシメラルヘク申添候

履歷書

元臺南州巡査　何某㊞

明治　年　月　日生

年月日	記事	官公署名
明治二十八年一月三日	警視廳巡査拜命	警視廳
同　三十三年一月五日	月俸何圓ヲ給ス	同
同　三十三年一月五日	病氣ノ爲メ依願退職	同
同　三十三年三月十日	一時金何圓ヲ給ス	同
同　三十三年十月二十日	渡臺	
同　三十三年十二月二十八日	何縣巡査ヲ命ス何級俸給與	臺灣總督府
同　三十四年十一月十一日	官制改正何廳巡査ヲ命ス但辭令ヲ用井ス	
同　三十八年五月二十日	休職ヲ命ス	臺灣總督府
同　三十九年二月四日	復職ヲ命ス	同
同　四十年五月二十日	給與令改正月俸何圓ヲ給ス	同
同　四十一年九月十日	何廳へ出向ヲ命ス	何廳
同　四十一年九月十五日	何廳巡査ヲ命ス月俸何圓ヲ給ス	臺灣總督府
同　四十二年十月二十五日	官制改正何廳巡査ヲ命ス但辭令ヲ用ヰス	
同　四十三年四月一日	警務所屬勤務ヲ命ス	臺灣總督府
大正三年三月三十一日	警務所屬勤務ヲ免ス	同
同　八年七月十六日	給與令改正月俸何圓ヲ給ス	同
同　九年八月二十六日	給與令改正月俸何圓ヲ給ス	同
同　九年九月一日	制度改正臺南州巡査ヲ命ス但辭令ヲ用井ス	
同　十年一月十二日	精勤加俸參圓ヲ給ス	臺南州
同　十二年十月一日	邊陬地域何派出所勤務ヲ命ス	何郡役所
同　十四年一月九日	邊陬地域外何派出所勤務ヲ命ス	同
同　十四年三月二十日	月俸何圓ヲ給ス	臺南州
同　十四年三月二十日	依願退職（行政整理病氣其他ニ堪ヘス又ハ家事上都合等記入ヲ要ス）	同

【臺南書】

注意

任免、轉任、昇級等ハ順ヲ逐ヒ間隙ナキ樣詳記シ其他恩給計算又ハ負

增分增上必要ノ事項ハ必ス記載スルコト

●恩給請求ニ關スル件

昭和二年六月三日
南警恩第六三八號ノ一　臺南州警務部長通牒

各部守　警察署長宛

恩給請求ニ添付スヘキ履歷書記載例ニ付テハ大正十四年三月二十日南警第二五〇三號ヲ以テ及通達置候處今回尙其筋ヨリ左記ノ通リ通牒有之候條恩給法上公務員トシテ在職シタル事實ハ通算ノ有無ニ拘ハラス全部ニ亙リ記載スヘキ樣御取計相成度

右依命通牒ス

記

一　著臺年月日

二　出張ノ場合ハ（歸臺ノ場合ハ）（歸臺ノ年月日）
　前二項履歷書ノ記載例

年　月　日　基隆上陸（又ハ臺灣ニ於テ拜命）
昭和二年一月十三日　復職昭和二年五月三十一日渡臺
同　年二月十日　東京府及神奈川縣ヘ出張ヲ命ス
同　年三月二日　昭和二年二月二日基隆出帆
同　年四月三十日基隆歸著

●恩給請求ニ關スル件

昭和四年七月十五日
南警恩第一三一號臺南州警務部長依命通牒

記守宛

警察職員ニ對スル恩給請求書式並履歷書記載例ニ關シテハ大正十四年三月南警第二五〇三號及昭和二年六月南警恩第六三八號ノ一ヲ以テ夫々及通牒置候處不備ノ點有之處理上支障不拂候條將來ハ尙左記ニ依リ萬遺憾ナキ樣御取扱相成度

右依命通牒ス

記

一　履歷書ニ就テ

1. 邊陬地、蕃地ノ勤務又ハ官制改正及俸給例改正等ノ記事ハ必ス朱書スルコト

2. 一時恩給又ハ一時扶助料ノ場合ニ於テモ單ニ最後ノ在職事項ノミヲ記載セス苟モ公務員トシテ在職シタルモノハ通算ノ有無ニ不拘全部記載スルコト

3. 退職ハ警部補ニ在リテハ「依願免本官」巡査ニ在リテハ「依願本職ヲ免ス」トシ其下ニ（病氣又ハ家事上）ト記入スルコト

4. 加除訂正ノ箇所ニハ捺印ノコト

二　請求書ニ就テ

1. 恩給々與細則第三條樣式中年月日官職ヲ退職云々トアル官職ハ臺南州警部補又ハ臺南州巡査ヲ退職云々トシ尙肩書ニ於ケル退職當時ノ官職名モ同樣題目ノ下ニ臺南州警部補、巡査ト記載スルコト

2. 氏名ニハ必ス振假名ヲ附スルコト

【臺南書】

●邊陬其他不健康地等ニ關スル件

大正十三年六月十八日
祕丙第三七三號總督官房祕書課長通知
臺南州知事宛

恩給法第三十八條又ハ第九十二條ニ依リ同法施行令第十五條又ハ內閣告示第二號ヲ以テ指定セラレタル地域中ニ變更ヲ生シ法令ノ改正ヲ要スル場合ハ速ニ理由書添付禀申相成度
右通知ス

●恩給事務上警察醫ニ關スル疑義ノ件

大正十三年六月十九日
祕丙第二八四號總督官房祕書課長通牒
臺南州知事宛

別紙ノ通臺北州知事ノ照會ニ對スル回答書御參考迄及送付候
回答

大正十三年五月五日付官文祕第一二六四號照會ノ件警察醫給與ニ關スル勅令ハ目下改正ノ手續中ニ屬シ右公布セラルヽ迄ハ明治四十五年勅令第百四十五號ニ依ル手當トシテハ恩給金額算定ノ基礎ト爲ス能ハス從テ恩給權ノ裁定ヲ爲シ得サル義ニ有之又恩給法第五十九條第三項ニ依ル納金ニ付テハ右改正給與令公布セラルヽ迄納金セシメサルコトヽ致度右御了知相成度
右回答ス
照會

【臺南警】

恩給法施行令第十一條第五號ニ依リ恩給法第二十四條第四號ノ待遇職員ニ指定セラレタル本島ノ州又ハ廳ニ配置ノ警察醫ノ恩給裁定又ハ納金控除ノ際其俸給額ハ明治四十五年勅令第百四十五號ニ定メラレタル月手當ノ金額ヲ基礎トシテ算出爲スヘキモノナルヤ將タ囑託又ハ雇員ノ俸給ニ準シ三分一ヲ控除シタル殘額ヲ以テ算出基礎ト爲スヘキモノナルヤ取扱上疑義ニ涉リ候條何分ノ御意見御回示相成度
右照會ス

●恩給證書亡失ニ關スル件

大正十三年六月二十三日
祕丙第二〇六號總督官房祕書課長通牒
臺南州知事宛

恩給給與規則第三十七條ニ依レハ恩給證書ノ再交付アリタルトキハ舊證書ハ無效トナル規定ニ有之候處舊證書カ金融業者ノ手ニアリ又ハ盜難等ニ罹リタル場合ニハ新證書發行後ニ於テ往々無效ノ舊證書ニ依リ支拂ヲ爲スコトアリ之カ爲誤拂徵收上徒ニ手數ヲ要シ又誤拂金徵收不能ニ至ル等ノ事故有之候ニ付爾後貴府ニ於テ證書亡失シタル旨ノ屆書ヲ受理相成タル場合ニハ乍御手數直ニ其ノ旨當局ニ御通報被下度此段及照會候也
追而貴府內各裁定官廳ニモ本件移牒方御取計相成度

●舊巡查看守退隱料及遺族扶助料法第十四條第二項解釋ノ件

【臺南警】

大正十三年七月二十九日
祕丙第三一九號總督官房祕書課長通知
臺南州知事宛

首題ノ件基隆港務所長ヨリ伺出ニ付甲號ノ通リ回答致置候條爲參考右通知ス

（甲號）（祕丙第三一九號祕書課長回答）

四月十日付基港祕第五七號照會ノ件巡查退隱料受給者ニシテ再就職ノ場合巡查看守退隱料及遺族扶助料法第十四條第二項ノ適用ニ付テハ判任待遇以上ニ就職ノ場合ハ適用アリト解ス
右依命回答ス

（乙號）（基港祕第五七號基隆港務所長伺）

普通恩給支給停止ニ關スル件伺

檢疫員　志摩純二

右者大正八年七月三十一日臺北廳巡查退職同年八月八日檢疫員ニ任セラレタルモノニ候處港務所官制第十二條ニヨリ檢疫員ハ臨時必要アリ期間任用セラルヽモノニシテ恩給遺族扶助料法第十四得サル判任官待遇者ナルニヨリ巡查看守退隱料及遺族扶助料法第十四條ノ規定アリト雖退隱料ハ支給セラルヘキモノト解シ所轄郡守ノ受領權アル證明書ノ下附ヲ得テ之ヲ請求シ大正八年八月ヨリ同十二年九月迄退隱料金四百五十七圓三十三錢ヲ受領セリ然ルニ本年三月十日附臺北州官會出第二〇九號ヲ以テ既ニ支給シタル右退隱料ハ全部過誤拂ナリシ故返納スヘキ旨本人ニ示達方依頼有之候ニ付テハ改正恩給法施行前ニ於ケル檢疫員在職中ノ退隱料支給ハ停止セラルヽヲ至當トシ右ノ

【臺南警】

依頼通リ返納セシムヘキモノニ候哉
右及御伺候也

●恩給請求ニ關スル件

大正十三年八月十一日
臺南祕第二三六九號文書課長依命通牒
警務課長宛

從來恩給請求ニ要スル書類中戶籍謄本又ハ戶籍抄本ノ添付ニツキ區々ニ涉リ之カ統一上支障有之候條爾今左記事項ニ依リ（大正十二年八月勅令第三百六十九號恩給給與規則ノ規定ニ依ル）添付相成樣致度尙貴廳管下一般ニ周知方御取計相成度候
右爲念

一　普通恩給竝增加恩給ヲ請求スル者
　戶籍抄本（添付）
一　扶助料ヲ請求スル者
　戶籍謄本（添付）

●公傷「公」病ニ關スル件

大正十四年三月十四日
南警第二三八八號警務部長依命通達
各郡守　警察署長宛

職務ノ爲メ傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ公傷公病ノ認可ヲ受ケントスルモノハ爾今左記各項ニ據ラシメラルヘク
右依命通達ス

追テ大正十二年八月十日南警第一一一五八號通達ハ自然消滅ニ付申添候

記

一　認可願ニハ監督ノ任ニ在ル者ノ現認證及官立醫院若ハ公醫ノ診斷書（治療期間ヲ明記シタルモノ）ヲ添付スルコト但シ前項ノ診斷書ヲ受クルコト能ハサル事情アル者ハ他ノ醫師ノ診斷書ヲ添付スルコトヲ得

二　公傷公病ハ必ス前號診斷書ヲ作成シタル醫師ノ治療ヲ受クルコト

三　醫療ノ傍他ノ特別療法ヲ必要トスルモノハ其旨記載シタル診斷書ヲ添付スルコト

四　入院轉地療養等ヲ必要トスルモノハ其旨願出テ認可ヲ受クルコト入院ハ官立醫院ニ限ル特ニ認可ヲ受ケタルモノハ此限ニ在ラス

五　轉歸ノ場合ハ全治屆若ハ主治醫ノ診斷書ヲ添付シタル死亡屆ヲ提出スルコト

六　第一號及第四號ノ願出テニシテ著シク手續遲延シタルモノニ對シテハ認可セサルコトアルヘシ

●巡査給助年金支給期ニ關スル件

大正十一年八月二十五日
警警第一三六四號警務局長通達

巡査看守給助例ニ依ル國庫支辨巡査退職傷痍死亡給助年金ノ支給期ニ關シ各州廳ノ取扱區々ニ渉ルモノアルヤニ聞キ及候處右ハ明治三十四年閣令第一號第十四條ノ規定ニ據ルヘキモノト思料候條爲念右通牒ス

追テ明治二十九年十一月訓令第一四一號ハ四十三年三月閣令第七號ニ依リ自然消滅シタル儀ト御了知相成度申添候

【臺南警】

第二章　任免　試驗　教習　會議

●州廳巡査採用規程施行細則

大正十年二月
臺南州訓令第九號

警務部　郡役所　警察署　同分署

第一條　規程第二條第四號ニ依リ巡査ヲ志願セムトスル者ニハ別記樣式ニ依リ志願書、履歷書、身元保證書ニ戶籍謄本（本島人ニ在リテハ戶籍抄本）ヲ添ヘ差出サシムヘシ

第二條　身元調査ハ左ノ各號ニ依ルヘシ

一　本籍、住所、身分、職業、氏名、年齡等相違ナキヤ

二　罰金以上ノ刑ニ處セラレタルコトナキヤ但シ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ノ免除アリタル後五年ヲ經過セル者及行政諸規則竝刑法中國交ニ關スル罪、公務ノ執行ヲ妨害スル罪、騷擾ノ罪、失火ノ罪、溢水及水利ニ關スル罪、過失ニ依ル往來妨害ノ罪、飮料水ニ關スル罪、傷害ノ罪、過失傷害ノ罪、名譽ニ關スル罪ニ依リ罰金ノ刑ニ處セラレ二年ヲ經過セル者ハ此ノ限ニ在ラス

三　懲役又ハ禁錮ノ言渡ヲ受ケ執行猶豫期間經過後二年ヲ經過セサル者ニ非サルヤ

四　巡査及判任待遇刑務所職員懲戒規程又ハ文官懲戒令ニ依リ免職セラレ二年ヲ經過セサル者ニ非サルヤ

五　身分不相應ノ負債アル者又ハ破産ノ宣告ヲ受ケ復權セサル者及身代限ノ處分ヲ受ケ辨償ノ義務ヲ終ヘサル者ニ非サルヤ

六　精神ニ缺如アル者又ハ酒癖若ハ暴行ノ癖アル者ニ非サルヤ

七　本島人ニ在リテハ阿片吸食者ニ非サルヤ

八　其ノ他採用上參考トナルヘキ事項

第三條　體格檢査ハ左ノ各號ニ適合スル者ヲ合格トス

一　姿勢容貌醜惡ナラス四肢完備シ全身諸機關ノ機能健全ナル者

二　身幹五尺以上ニシテ胸圍大約身長ノ半ニ等シク呼吸膨張ノ差一寸以上ノ者

三　普通ノ視力ヲ有スル者

四　充分ナル發聲ニ堪ユル者

五　職務上ニ障害ヲ及ホス疾患其ノ他傳染性疾患ナキ者

第四條　規程第五條ノ學術試驗ハ必要ニ應シ之ヲ行フ

第五條　學術試驗ハ筆記又ハ口述トシ左ノ科目ニ就キ之ヲ行フ

一　讀書

二　作文（通信文又ハ論說文）

三　算術（四則）應用

四　本邦地理ノ大要

五　本邦歷史ノ大要

六　一般法制

七　警察法規

八　土語又ハ國語

第六條　試驗委員長ハ警務部長ヲ以テ之ニ充テ委員ハ警務部各課長ヲ以

テ之ニ充ツ

第七條　學術試驗施行ノ期日及場所ハ試驗委員長其ノ都度之ヲ指定ス

第八條　學術試驗ハ各科目百點ヲ以テ滿點トシ平均點數六十點以上ノ者ヲ合格トス但シ一科目四十點未滿ノモノアルトキハ他ノ科目ニ於テ優良ナリト雖モ合格者トナスコトヲ得ス

第九條　學術試驗ニ合格シタル者ニハ別記樣式ノ合格證書ヲ付與スヘシ

第十條　學術試驗ニ關シ本細則ニ定ムルモノノ外必要ナル事項ハ試驗委員長ニ於テ之ヲ定ム

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

別記樣式(用紙美濃紙)

巡査志願書

本籍(本居地)現住所族稱、身分、職業

位勳功　氏　名

年月日生

私儀御州巡査志願ニ付御試驗ノ上御採用相成度別紙履歷書誓約書身元保證書及戸籍謄本(本島人ニ在テハ戸籍抄本)相添此段奉願候也

年　月　日

右　氏　名㊞

州知事宛

(用紙美濃紙)

履歷書

本籍(本居地)現住所族稱身分職業

戸主トノ續柄

位勳功　氏　名

年月日生

年月日	任免、賞罰、學歷、職業、事故	官衙又ハ學校名
年月日	何々	何々
年月日	何々	何々

右ノ通相違無之候也

年　月　日

右　氏　名㊞

(用紙美濃紙)

身元保證書

本籍(本居)地現住所族稱身分職業

戸主トノ續柄

氏　名

年月日生

右者品行方正身元確實ナル者ニ付本人巡査ニ御採用ノ上ハ身上ノ儀ハ一切拙者ニ於テ引受ケ誠實ニ勤務可爲致候也

年　月　日

本籍(本居地)現住所身分職業

氏　名㊞

(保證人ハ本島人ニ限ル)

州知事宛

第　號

合格證書

臺南州巡査　何　某

右者州廳巡査採用規程第五條ニ依ル學術試驗ニ合格シタルコトヲ證ス

年　月　日

臺　南　州

●巡査部長配置及任免規程施行細則

大正十四年四月一日
臺南州訓令第十四號

改正　昭和三年訓令第六號、四年第二號

警務部　郡役所　警察署

第一條　巡査部長ノ配置及任免ハ巡査部長配置及任免規程(以下單ニ規程ト稱ス)ニ依ルノ外本則ニ依ルヘシ

第二條　規程第五條及第六條ニ該當スル者ニシテ巡査部長ニ適スト認ムル者アルトキハ其ノ事由ヲ具シ上申スヘシ

第三條　規程第八條ノ銓衡試驗ヲ行ハムトスルトキハ銓衡委員長ヨリ其ノ期日及場所ヲ郡守警察署長ニ通知スルモノトス

第四條　前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ左記各號ニ該當スル者ノ中ヨリ巡査部長ニ最モ適當ト認ムルモノヲ選定シ報告スヘシ

一　勤續三年以上ノ者

二　勤務ノ成績優良ニシテ人物材幹共ニ監督補助ノ任ニ適スト認ムル者

三　一年以内ニ於テ減俸ニ處セラレタルコトナキ者

第五條　筆記試驗ハ左ノ各號ノ科目口述試驗ハ第一號乃至第二號ノ科目ニ就キ之ヲ行フ

一　一般法制(憲法大意、行政法大意、刑法大意、刑事訴訟法大意及法院條例)

二　警察法(總督府及州法規)

三　算術(四則分數比例歩合算)

四　作文(通信文又ハ論說文)

五　臺灣語又ハ國語

銓衡委員長必要アリト認ムルトキハ豫備試驗ヲ行フコトアルヘシ

第六條　試驗ノ採點ハ一科目百點ヲ以テ滿點トシ各科目平均六十點以上ノ者ヲ合格トス但シ一科目四十點未滿ノモノアルトキハ不合格トス

第七條　銓衡試驗合格證書ハ別記樣式ニ依ル

第八條　巡査部長ニシテ規程第十一條各號ニ該當スル者アルトキハ其ノ事由及意見ヲ附シ上申スヘシ

第九條　銓衡試驗ニ關シ本令ニ定ムルモノヽ外必要ナル事項ハ其ノ都度銓衡委員長之ヲ定ム

附　則

大正九年訓令第二十九號巡査部長配置及任免規程施行細則ハ之ヲ廢止ス

別記

第　號

合格證書

臺南州巡査　何　某

臺南州巡査部長銓衡試験ニ合格シタルコトヲ證ス

昭和　年　月　日

臺南州巡査部長銓衡試験委員長位勳功氏　名印

●休職年限起算日ノ件

明治三十八年三月
祕甲第三八四號祕書課長回答
警務部長　郡役所　警察署長宛

休職年限ハ發令ノ日ヨリ計算スヘキモノナリ

問

休職年限ハ發令ノ月日ヨリ起算スヘキヤ將タ翌日ヨリナルヤ

●職務ノ爲傷痍ヲ受ケ誓約期限內退職者ニ對スル取扱方ノ件

大正三年三月
臺理庶第八三號民政長官代理依命通牒

巡査看守ニシテ職務ノ爲傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ其ノ職ニ堪ヘス誓約期限內退職シタルモノニ對シテハ退職ノ日ヲ以テ誓約期限滿了ノモノト看做スコト府議決定セラル右依命通牒ス

〔臺南警〕

追テ本件ニ該當スルモノニ對シテハ歸國旅費ヲ支給シ得ル儀ニ付爲念申添候

●警察職員語學試驗規程施行細則

大正十二年八月
臺南州訓令第四十一號

改正　昭和五年訓令第九號

警務部　郡役所　警察署

第一條　本州ニ於テ警察職員語學試驗規程（次下單ニ規程ト稱ス）第四條ニヨリ乙種試驗ヲ行フトキハ試驗期日前十日ノ期間ヲ置キ之ヲ指定ス但シ規程第八條ニヨル臨時試驗ハ隨時之ヲ指定ス

第二條　警務部長、郡守又ハ警察署長ハ試驗期日五日前迄ニ別記樣式ニ依リ規程第三條第三項ニ依ル受驗者名簿ヲ作製シ試驗委員長ニ提出スヘシ

第三條　筆記試驗ノ試問題ハ試驗委員會ニ於テ決定シ委員長及委員二名以上立會密封シ受驗者ノ面前ニ於テ開封スヘシ

臨時試驗ノ試問題ハ前項ノ手續ヲ一部省略スルコトヲ得

第四條　口述試驗ノ試問題ハ試驗委員會ニ於テ決定シタルモノノ中試驗委員ニ於テ適宜撰擇シ對話其ノ他ノ方法ニヨルヘシ

第五條　銓衡ヲ以テ成績ヲ決定スルトキハ委員過半數出席シタル試驗委員會ニ於テ履歷竝實務ノ成績ニ依リ之ヲ審査決議スヘシ

附　則

大正十一年臺南州訓令第六號ハ之ヲ廢止ス

別記樣式（用紙美濃紙）

乙種語學試驗受驗者名簿

語學ノ履歷竝成績	實務ノ成績	語學ノ種類	等級	官氏名

（注意）乙種試驗合格證書ヲ有スル者ト推薦ニ係ル者トハ各別表ニ調製スヘシ

●臺灣總督府州廳警察官吏教養規程施行細則

大正十五年七月一日
臺南州訓令第三十四號

第一章　總則

第一條　警察官吏ノ教養ハ臺灣總督府州廳警察官吏教養規程ニ依ルノ外本令ニ依リ之ヲ行フヘシ

第二條　規程第七條ノ教養主任ハ左ノ如シ

一　警務部　教養係長
二　警察署　行政係主任
三　郡役所　警務係主任
四　第三號以外ノ郡內勤警部

第三條　講師ハ警務部、警察署、郡警察課ニ在勤スル判任以上ノ警察職員中ヨリ助手ハ巡査中ヨリ警務部長、郡守、警察署長之ヲ命ス但シ郡役所、警察署ニ於テ特別ノ事由ニ因リ他ニ講師ヲ囑託スルノ必要アルトキハ理由ヲ附シ警務部長ノ承認ヲ受クヘシ

第四條　警務部、警察署、郡警察課ニ一般教養ニ關シテハ別記第一號樣式ノ日誌及第二號樣式ノ出席表、新任巡査教養ニ關シテハ別記第三號樣式ノ教養日誌ヲ備ヘ教養ノ都度教養者ハ其ノ狀況ヲ記載シ警務部長、郡守、警察署長ノ檢閱ヲ受クヘシ

第五條　講習員事故ノ爲メ缺席セムトスルトキハ別記第四號樣式ノ承認簿ニ依リ上官ノ承認ヲ受クヘシ

第二章　一般教養

第六條　學科ノ講習ハ警務部、警察署、郡警察課ニ在勤スル者ニ對シテハ每朝一時間以上之ヲ實施シ其ノ他ノ者ニ對シテハ每日一時間以上自習セシムヘシ

前項ノ講習ヲ受ケ若ハ自習ヲ爲シタル者ハ別記第五號樣式ノ講習手帳ニ月日及其ノ要領ヲ記載スヘシ

第七條　教養主任及講師ハ隨時ニ試驗課題應問等ノ方法ニ依リ講習又ハ自習ノ結果ヲ檢閱スヘシ

前項ノ成績ハ定期召集又ハ臨時召集ノ場合之ヲ講評スヘシ

第八條　監督者ハ巡視ノ都度自習ノ狀況ヲ監督シ講習日誌ヲ檢閱シ必要ナル指導ヲ爲スヘシ

第九條　教養主任ハ別記第六號樣式ニ依リ每月二十五日迄ニ翌月分ノ講習豫定表ヲ作成シ上官ノ檢閱ヲ受ケ講習員ニ配付スヘシ

第十條　講習科目ハ概ネ左記標準ニ依リ之ヲ定ムヘシ但シ必要ニ依リ變更スルコトヲ得

一　法　規　　每週二時間

二 普通學 同 一時間
三 語學 同 二時間
四 訓育又ハ常識 同 一時間

第十一條 術科ノ講習ハ武道專務教師ヲ配置セル郡署ニ在リテハ毎日、其ノ他ノ郡及警察署ニ在リテハ毎週三回以上實施スヘシ
前項以外ノ地ニ在勤スル者ニ對シテハ定期若ハ隨時召集ヲ爲シタル場合ニ於テ之ヲ行フ

第十二條 前條第一項ノ講習ハ六月一日ヨリ九月三十日迄ハ午後二時ヨリ、十月一日ヨリ翌年五月三十一日迄ハ午後三時ヨリ毎日一時間以上之ヲ行ヒ隔日勤務者ニ在リテハ非番當日、日勤及內勤者ニ在リテハ水曜日迄ニ一回以上木曜日以後ニ於テ一回以上之ヲ行フ

第十三條 教養主任ハ上官ノ指示ヲ承ケ毎年各半期毎ニ既習科目ニ對シ試驗ヲ行フヘシ
警務課長、郡守、警察署長ハ前項ノ成績ヲ別記第七號樣式ニ依リ翌月十五日迄ニ警務部長ニ報告スヘシ

第三章 特種教養

第一節 新任教養

第十四條 新任教養ハ警務部及郡役所、警察署ニ於テ一箇月間之ヲ行フ但シ警務部ニ於テ其ノ一部ヲ教養シタル者ニ對シテハ配置ヲ受ケタル郡役所又ハ警察署ニ於テハ警務部教養日數ヲ控除シ之ヲ行フモノトス

第十五條 新任教養ノ科目ハ概ネ左ノ如シ但シ點檢、操練竝劍道、柔道及施繩法ノ講習ハ一般巡查ノ伍班ニ加ヘテ之ヲ施行スヘシ
一 訓育
二 行政組織及事務分掌
三 管內地理及一般情勢
四 時事問題
五 州警察法規ノ大意
六 警衛警戒
七 警備警邏
八 戶口實查臨檢視察及內偵查察ノ要項
九 保甲及壯丁團ノ指導監督要領
十 簿册整理、書類作成及處理方法
十一 其ノ他必要ト認ムル事項

第十六條 教養主任ハ別記第八號樣式ニ依リ豫定表ヲ作成シ上官ノ檢閱ヲ受クヘシ

第十七條 新任教養ヲ終リタルトキハ教養科目ニ就キ試驗ヲ行フヘシ
警務課長、郡守、警察署長ハ前項ノ成績ヲ別記第九號樣式ニ依リ十日以內ニ警務部長ニ報告スヘシ

第十八條 規程第五條第二項但書ニ依リ教養科目ノ一部若ハ全部ヲ省略セムトスルトキハ警務部長ノ承認ヲ受クヘシ

第二節 特科教養

第十九條 特科教養ハ警務部ニ於テ之ヲ行フ但シ必要アルトキハ郡役所又ハ警察署ニ於テモ之ヲ行フコトヲ得
前項但書ノ場合ハ警務部長ノ承認ヲ受クヘシ

第二十條 警務部長ハ毎年十二月二十五日迄ニ別記第十號樣式ニ依リ翌年度ニ於テ施行スヘキ特科教養豫定計劃表ヲ作成スヘシ

第二十一條 特科教養ノ科目ヲ擔任スル講師及助手ハ實施ノ都度警務部長之ヲ命シ又ハ囑託ス

第二十二條 特科教養ヲ終リタルトキハ講習科目ニ付試驗ヲ行ヒ講習ニ關スル一般狀況ヲ五日以內ニ報告スヘシ

第二十三條 特科教養修了者ニ對シテハ別記第十一號樣式ノ講習證書ヲ附與ス

附則

大正十年臺南州訓令第四十五號、大正十三年臺南州訓令第三十二號ハ之ヲ廢止ス

別記

第一號樣式(用紙半紙)

事項／月、曜	講習科目	講師	時間
月 日 曜日 晴、曇、雨			自午前/後 時 至午前/後 時

出席人員	缺席人員	休講及其事由	備考

事項／月、曜	講習科目	講師	時間	出席人員	缺席人員	休講及其事由	備考
月 日 曜日 晴、曇、雨			自午前/後 時 至午前/後 時				

（ ）日誌 臺南州

第二號樣式

警察署長	警察課長主任	

監視監督 立會監督者 曜日 月分 學科(武術)講習出席表

監視監督	立會監督者	曜日					計
		月					
		火					
		水					
		木					
		金					
		土					
		月					
		火					
		水					
		木					
		金					
		土					
		月					
		火					
		水					
		木					
		金					
		土					
		月					
		火					
		水					
		木					
		金					
		土					
		月					
		火					
		水					
		計					
		職氏名					

第三號様式（用紙半紙）

〔臺南警〕

記載例

何月何日　何曜日　晴天

教養主任警部　何　某㊞
講師　警部補　何　某㊞
助手巡査部長　何　某㊞

教養開始	本日ヨリ左記何名ノ新任巡査ニ對シ新任教養ヲ開始ス㊞
	同　巡査　何　某㊞
	巡査　何　某
	同　何　某
缺席	新任巡査何某ハ病氣ノ爲メ缺席㊞

〔臺南警〕

行政組織及事務分掌	午前何時ヨリ何時迄行政組織ニ付教養ス次テ午前何時ヨリ何時迄臺南州事務分掌規程施行細則及郡事務分掌規程ニ付教養ス
訓育	教養主任何警部ハ警察官ノ規律ニ付訓育ス
管内地理	何講師ハ午前何時ヨリ何時迄臺南州ノ位置、面積地勢及交通ノ狀況ニ付教養ス
戸口實査	何巡査部長ハ午後何時ヨリ何時迄新任巡査何某外何名ヲ引率シ臺南市錦町一丁目十三番地何某外何戸ニ付キ戸口實査ノ要領ヲ教養ス㊞
	教養實査戸數種別左ノ如シ
	第一種　何某外　何戸
	第二種　何某外　何戸
	第三種　何某外　何戸
	但シ寄留届出實査二戸ヲ含ム
應問	右戸口實査終了後何巡査外何名ニ對シ戸口調査規程何々ニ付應問スルニ何巡査ノ答申最モ良好ニシテ何巡査ハ未タ充分ト認メ難シ㊞
試驗	本日教養中ノ新任巡査ニ對シ既習科目ニ付試驗ヲ行フ其成績ハ別紙報告書ノ通リ
教養終了	本日ヲ以テ新任教養ヲ終了シ左記郡役所、警察署（何々派出所）ニ轉勤ス㊞

第四號様式（用紙半紙）

學術講習缺席承認簿

警務課長 警察署長 同課長	教養主任	監督者	事由	職氏名

第五號様式（講習手帖）

記載例

月　日

講師　何警部

刑事訴訟法	訴訟關係人ニ就テ

一	訴訟關係人ノ意義
	訴訟關係人トハ訴訟當事者及當事者ニ非スシテ刑事訴訟ニ參與スル者ヲ總稱ス
二	當事者能力
	當事者能力トハ刑事訴追ヲ受クル適格ナイフ
三	訴訟能力
	訴訟能力トハ有效ニ訴訟行爲ヲ爲シ得ル能力ナ
〃	
月	日
法規自習	銃獵取締規則
一	免狀ヲ付與セサルモノ
イ	二十歲未滿ノモノ
ロ	白痴瘋癲者
二	銃獵ヲ爲スコトヲ得サル場所
イ	何々
ロ	何々

〔臺南警〕

第六號樣式（用紙美濃紙）

三	銃獵ヲ爲スコトヲ得サル時期
イ	何々
ロ	何々
四	免狀ハ他人ニ貸與讓與ヲ爲スコトヲ得ス

第七號樣式（用紙美濃紙）

大正　年前後期學術科試驗成績表　部、郡、署

法規	語學	普通學	劍道	柔道	合計	平均	順位	職氏名	摘要

第七號樣式（用紙美濃紙）

大正　年　月　分學科豫定表　部、郡、署

日曜	豫定科目	細目	講師	摘要
一日				
二月	訓育	時代ト警察官ノ覺悟ニ付テ	何警部	
三火	語學	語苑第一ヨリ八迄號何々ノ部	何巡査	
四水	法規	何取締規則同施行細則	何警部	何條及何條ハ手帖ニ摘記スヘシ
五木	普通學	經濟學生產ニ付テ	何警部	
六金	語學	前號何々ノ部九ヨリ十五マテ	何巡査	
七土	法規	刑事訴訟法訴訟關係人ニ付テ	何警部	

第十號樣式（用紙美濃紙）

大正　年度特科教養豫定計畫表

講習種別	講習期間	日數	場所	豫定人員	摘要
何々講習	自何月何日至何月何日	何日	警務部	何名	
			巡査部長巡査	何名	

第十一號樣式（用紙烏ノ子竪九寸橫一尺三寸）

第　號

講習證書

官職　氏　名

一　憲　法　一　犯罪搜查法
一　刑　法　一　指紋法
一　刑事訴訟法　一　法醫學
一　商法大意　一　書類作成法

第　回特科何々講習ニ於テ頭書ノ科目ヲ修得シタルコトヲ證ス

大正　年　月　日

臺南州知事　氏　名㊞

注意

一　摘要欄ニハ平素ノ成績及勉否ヲ記入スルモノトス
二　成績ハ甲乙丙丁ノ區別ニ依リ記入スヘシ
三　甲ハ八十點以上、乙ハ六十點以上丙ハ四十點以上、丁ハ四十點未滿トス

第八號樣式（用紙美濃紙）

第　回新任巡查敎養成績報告

試驗成績　考查成績　氏名

學科實務平均　職務執行勤務勉否規律常識品性素行

第九號樣式（用紙美濃紙）

第　回新任巡查敎養豫定計畫表

月日	學科目	時間	講師	實科目	時間	講師	摘要

●州廳巡查教習規程施行細則

大正十一年二月
臺南州訓令第十一號

改正 昭和三年訓第二二號

警務部 巡查教習所 郡役所 警察署
警察分署

第一章 總則

第一條 臺南州巡查教習所ハ警務部內ニ之ヲ置ク

第二條 臺南州巡查教習所ニ左ノ職員ヲ置ク

所長
教官 若干名
教官補 若干名

第三條 教習上必要アルトキハ講師又ハ通譯ヲ置クコトアルヘシ

第四條 所長ハ警務部長ノ指揮ヲ承ケ所務ヲ掌理シ所屬職員及教習生ヲ監督ス

第五條 所長ハ左ノ事項ヲ專行ス

一 修了證書及賞狀ヲ授與スルコト
二 教科擔任及教授時間ヲ定ムルコト
三 所員ノ勤務ヲ指定スルコト
四 教習生ノ看護歸省、轉地療養其ノ他進退ニ關セサル諸願屆ヲ許否スルコト
五 教習ノ除服出仕ヲ命スルコト
六 教習生服務心得竝教場內及寄宿舍ノ取締ニ關スル事項ヲ制定スルコト
七 教習生ニ對シ賞罰ヲ行フコト（警察賞與規程竝巡查懲戒規程ニ依ルモノヲ除ク）
八 主營事務ニ關シ郡守、警察署長其ノ他ノ官衙ト照復スルコト
九 教習生ノ班長ヲ命免スルコト
十 小使、給仕其ノ他傭人ヲ傭入若ハ解傭スルコト
十一 其他輕易ナル事項

第六條 所長事故アルトキハ上席教官其ノ職務ヲ代理ス

第七條 教官ハ所長ノ命ヲ承ケ左ノ事務ニ從事ス

一 教習及監督ニ關スルコト
二 所內及寄宿舍ノ取締ニ關スルコト
三 教習生ノ外出許否ニ關スルコト
四 教習生試驗ニ關スルコト
五 其ノ他一般庶務ニ關スルコト

第八條 教官補ハ教官ヲ補佐シ教習及庶務ニ關スル事務ニ從事シ講師ハ所長ノ指揮ヲ承ケ教習及試驗ニ關スル事務ニ從事シ通譯ハ上官ノ命ヲ承ケ通譯ノ事務ニ從事ス

第九條 左ノ事項ハ警務部長ニ報告スヘシ

一 終末試驗及臨時試驗ノ期日竝其ノ成績
二 教習生服務心得竝教場內及寄宿舍取締其ノ他ニ關スル規程ヲ制定又ハ變更シタルトキ
三 教習生ヲシテ非常勤務ニ從事セシメタルトキ
四 演習非常召集ヲ行ヒタルトキ

第十條 職員ノ服務及文書ノ取扱ニ關シテハ一般規程ノ例ニ依ル

第十一條 教習生ハ指定ノ宿舍ニ寄宿セシム

第十二條 教習生ハ實務練習ノ爲時々郡又ハ警察署ニ配置實務巡查ノ伍ニ加ヘ警察事務ヲ實習セシム

第十三條 所長ハ教習生ニシテ巡查タルノ品格ヲ汚瀆シ又ハ疾病其ノ他ノ事故ニ依リ修業ノ見込ナキモノニ對シテハ警務部長ノ指揮ヲ承ケ退所ヲ命スルコトアルヘシ

第十四條 教習生ノ定員ハ一教習期四十名以內トス

第二章 教習

第十五條 教習ハ學科實科及實務ノ三種トシ其ノ科目ハ左ノ通トス

一 訓育
二 刑法刑事訴訟法
三 警察法規
四 公文書作成法
五 國語
六 點檢禮式
七 操練射擊
八 劍柔道及施繩法
九 實務練習

教習時間ハ別ニ之ヲ定ム

第十六條 前項ニ規定シタル課程ノ外特ニ必要ナル學術ハ定員又ハ其ノ一部ノ教習生ニ對シ課外科目トシテ隨時教授スルコトヲ得

第十七條 教習ハ嚴肅丁寧ヲ旨トシ警察精神ノ陶冶ニ重キヲ置キ概ネ左ノ方法ニ依ルヘシ

一 學術ハ高等、警務、保安、衞生等ニ屬スル必須法規ノ大意ニ關シ簡明ニ講義スヘシ
二 術科ハ實地ニ就テ事ヲ之ヲ鍛練スヘシ
三 實務練習ハ實地又ハ假裝ニ依リ習得セシムヘシ

第十八條 本所ノ教習期間ハ三箇月トス

第十九條 本所ハ特別ノ場合ヲ除ク外左ニ列記スル日ニ於テ課業ヲ休止ス

一 日曜日
二 祝祭日
三 始政記念日
四 十二月三十日ヨリ一月三日マテ

第三章 試驗及證書

第二十條 本所ノ試驗ハ教習ノ終ニ於テ之ヲ行フ但シ必要ニ依リ臨時ノ試驗ヲ爲スコトヲ得

第二十一條 試驗ハ筆記、口述竝實演ノ三種ニ分チ之ヲ行フ其ノ科題及採點ハ所長之ヲ決ス

第二十二條 試驗ノ成績ハ一科目百點ヲ以テ最高點トシ各科目ヲ通シ平均六十點以上ヲ以テ合格トス但シ全科目中四十點ニ充タサル科目二以上アルトキハ不合格トス終末試驗ニ際シ病氣其ノ他已ムヲ得サル事故ノ爲之ニ應スルコト能ハサル者ニ對シテハ臨時試驗ノ成績又ハ平素ノ成績ヲ考查シ終末試驗ニ代フルコトヲ得

第二十三條 終末試驗ニ合格シタル者ニハ證書ヲ授與シ成績優等ニシテ品行方正ナル者ニハ特ニ賞狀ヲ授與ス

修了證書及賞狀ハ別記樣式ニ依ル

第二十四條　終末試験不合格者ノ處分ニ關シテハ警務部長ノ指揮ヲ承ケ所長之ヲ決スヘシ

第四章　非常勤務

第二十五條　教習生ハ非常時變ニ際シ其ノ他必要ト認ムル場合ハ所長ノ指揮ニ依リ警備、警戒、傳令其ノ他ノ任務ニ就カシムルコトヲ得

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

別記樣式

證書

所印

州巡査　何　某

右者本所規程ヲ修了ス仍テ之ヲ證ス

年　月　日

臺南州巡査教習所長官職位勳　氏　名印

賞狀

所長

何州巡査　何　某

右者成績優等品行方正ニ付特ニ之ヲ賞ス

年　月　日

臺南州巡査教習所長官職位勳　氏　名印

〔臺南警〕

●學術科豫定表ニ關スル件

昭和二年一月二十二日
南警第三一四號警務部長依命通達

警察官吏教養事務統一及監督上必要有之候條爾今每月作成スル學術科豫定表一部其ノ月五日迄ニ警務部ニ進達相成度

右依命通達ス

追而本年一月分ヨリ進達相成度申添候

●臺灣語講習ニ關スル件

大正十四年十二月二十二日
南警第八八七六號警務部長依命通牒

各部守　轄察署長宛

總督府警察官練習所特科（臺灣語）修了者ノ配置ヲ受ケタル場合ハ之カ活用及待遇ノ一端トシテ每週一時間以上監督者監督ノ下ニ臺灣語講習ヲ擔任セシメ併セテ一般職員ノ語學ノ向上發達ニ努メラルヘシ

右依命通達ス

●甲科練習生採用內規

大正十二年七月
總督內訓第六號

第一條　警察官及司獄官練習所甲科練習生ハ知事廳長又ハ監獄長ノ推薦シタル候補者中ヨリ之ヲ採用スヘシ

第二條　知事廳長又ハ監獄長ハ現職巡査（乙種勤務巡査ヲ除ク）又ハ看守ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當シ且人物才幹共ニ優秀ナル者ヨリ候補者ヲ推薦スヘシ

一　文官タル資格ヲ有スル者

二　巡査部長又ハ看守部長若ハ其ノ經歷試験ニ合格シタル者

三　前各號ノ外特別ノ事情アルトキハ特ニ監督者タルニ適スト認メタル者

前項ノ外警部警部補又ハ看守長特別任用ニ關スル學術試験及實務考査ニ合格シ現ニ警部警部補又ハ看守長ノ職ニ在ル者ト雖必要アリト認ムルトキハ之ヲ推薦スルコトヲ得

第三條　知事廳長又ハ監獄長ハ每年一月三十一日迄ニ其ノ年ニ入所セシムヘキ候補者ノ考査表ノ謄本ヲ練習所長ニ送付スヘシ

附　則

明治三十七年內訓第十四號ハ之ヲ廢止ス

●甲科生入所ノ際履歷書資料携行ノ件

大正七年十二月
練庶第九二八號練習所長依頼

當所甲科練習生ニハ入所當初各自ヨリ履歷書ヲ徵シ候處入所者中材料ナキノ故ヲ以テ調製ニ當數日ヲ空費スル向往々有之整理上遺憾不尠候ニ付將來入所スヘキ練習生ニ對シテハ其準備方御示達相成度特種練習生ニ對シテハ短期間ノ在所ニ付特ニ右材料攜行候樣御示達相煩度御依頼候也

●巡査練習生採用試験施行ニ關スル件

大正十四年十月二十八日
南警第七九三六號警務部長依命通達

推薦スヘシ

一　文官タル資格ヲ有スル者

二　巡査部長又ハ看守部長若ハ其ノ經歷試験ニ合格シタル者

三　前各號ノ外特別ノ事情アルトキハ特ニ監督者タルニ適スト認メタル者

前項ノ外警部警部補又ハ看守長特別任用ニ關スル學術試験及實務考査ニ合格シ現ニ警部警部補又ハ看守長ノ職ニ在ル者ト雖必要アリト認ムルトキハ之ヲ推薦スルコトヲ得

第三條　知事廳長又ハ監獄長ハ每年一月三十一日迄ニ其ノ年ニ入所セシムヘキ候補者ノ考査表ノ謄本ヲ練習所長ニ送付スヘシ

附　則

明治三十七年內訓第十四號ハ之ヲ廢止ス

〔臺南警〕

●甲科生入所ノ際履歷書資料携行ノ件

大正七年十二月
練庶第九二八號練習所長依頼

當所甲科練習生ニハ入所當初各自ヨリ履歷書ヲ徵シ候處入所者中材料ナキノ故ヲ以テ調製ニ當數日ヲ空費スル向往々有之整理上遺憾不尠候ニ付將來入所スヘキ練習生ニ對シテハ其準備方御示達相成度特種練習生ニ對シテハ短期間ノ在所ニ付特ニ右材料攜行候樣御示達相煩度御依頼候也

●巡査練習生採用試験施行ニ關スル件

昭和二年六月二日
南警視第七三〇號警務部長通達

各部守　署長宛

首題ノ件ニ關シ大正十四年十月二十八日南警第七九三六號ヲ以テ通達致置候處之カ推薦方區々ニ渉ル嫌アルヲ以テ爾今左記樣式ニ依リ受験希望者全部ヲ報告可相成

右依命通達ス

〔臺南警〕

追而本年六月施行ノ本試験ニ對スル分ハ本様式ニ依リ同月六日迄ニ報告相成度申添候

記

品性	業行	勤務	體質	語學	學歷	擔任事務	拜命年月日	氏名	年齡	摘要

記載例

一　語學ノ程度ハ甲、乙種何等又ハ日常ノ會話ニ差支ナシ等記入ノコト

二　學歷ハ何學校卒業又ハ何年修了等記載スヘシ

三　摘要欄ニハ適否ニ對スル意見ヲ記入スヘシ

四　其他ノ各欄ハ甲乙丙ノ區分ニ依リ記入ノコト

●巡査定期召集日ト武道奬勵ニ關スル件

大正十四年十二月二十四日
南警第八九二七號警務部長依命通達

各郡守　警察署長宛

武術ノ講習ハ警察官トシテ心身ノ修養鍛練上缺クヘカラサルモノナルモ往々郡部殊ニ村落派出所勤務者刑事特務等特種勤務者ハ之ヲ全ク忌避スル傾アリテ甚タ遺憾ナルヲ以テ曩ニ各郡ニ劍柔兩道ノ助教ヲ配置シテ普遍的奬勵方法ヲ講シタルモ更ニ本主旨ヲ徹底セシムル爲メ左記ノ通リ定メラレ候條大正十五年一月ヨリ實施可相成右依命通達ス

●武道奬勵ニ關スル件

昭和二年四月十五日
南警第一三七八號警務部長通達

各郡守　署長宛

武道ノ奬勵方ニ關シテハ大正十四年十二月南警第八九二七號ヲ以テ通達置候次第モ有之充分實績ヲ收メアルコトヽハ被認候モ更ニ之カ徹底ヲ期スル爲メ該通達ヲ廢シ左記ニ依ルコトニ相定メ候條實施上ニ付遺憾ナキヲ期セラレ度

右依命通達ス

記

一　各郡署ニ於ケル一般職員ノ武道講習ハ警察署（課長）長以下ノ各幹部監督ノ下ニ武道教師（助教）ヲシテ指導訓練ニ當ラシメ專ラ普遍的ニ奬勵スルヲ要ス

二　更ニ普遍的奬勵ノ方法トシテ郡署間ニ於ケル武道對抗試合ヲ施行ス場所、時期及人員ハ其ノ都度指示スルモ普通、郡（署）ノ對抗トシ出場人員ハ勤務ニ支障ナキ程度ニ於テ可成多數出場セシムル筈

三　各郡配置ノ助教ニ對シテハ時々短期ノ講習ヲ施行シ斯道ノ研究錬磨ヲナサシム時期及期間ハ其都度定ム

●武道昇段試験ニ關スル件

昭和二年七月十二日
南警第二二五一號通達

各郡守　署長宛

警察職員ニシテ柔劍道昇段試験ニ應試セムトスル者ハ其事前ニ於テ一應了知ノ必要有之候條今後受験セムトスル場合ハ必ス其ノ以前ニ屆書提出スヘク貴部下職員ニ示達相成度

右依命通達ス

第三章　服務　賞罰　請願　配置

●臺灣總督府地方警察配置及勤務規程

施行細則

大正十五年三月
臺南州訓令第十六號

改正　昭和三年訓令第二號、第一〇號

警務部　第供訴　警察者

目次

第一章　通則
第二章　勤務
第三章　警備
第四章　警邏
第五章　交通
第六章　護衛
第七章　押送看護送
第八章　留置人看守
第九章　保健衛生
第十章　臨檢及觀察
第十一章　外國人取扱
第十二章　司法
第十三章　保甲監督
第十四章　監督及監督巡視
第十五章　監督日誌並手帖
第十六章　訓授
第十七章　定期召集
第十八章　非常召集
第十九章　宿直
第二十章　宿舍心得

第一章　通則

第一條　警務部、警察署、警察課、派出所、駐在所ニ在勤スル警察官吏ハ臺灣總督府地方警察配置及勤務規程（以下單ニ規程ト稱ス）其ノ他特別ニ規定アルモノヽ外本令ニ依リ勤務スヘシ

第二條　警察事務ノ處理ハ專ラ敏活ヲ旨トシ其ノ期限ヲ誤リ又ハ機宜ヲ失スル等ノコトナキヲ要ス若期限內ニ處理スルコト能ハサルトキハ其ノ事由ヲ申出テ指揮ヲ受クヘシ

第三條　人民ニ接スルニハ懇切叮寧ヲ旨トシ苟モ倨傲又ハ狎昵ニ渉ルヘカラス

言語ハ叮寧ニシテ且簡明ナルヲ要ス設諭制止、敎示、若ハ指示スル等ノ場合ハ多岐ニ渉ラス一意了解徹底ヲ期スヘシ

第四條　風水火震災其ノ他事變ノ際ハ勿論職務上救護處分ヲ要スル事件アリタルトキハ當番非番ニ拘ラス直ニ相當ノ措置ヲ爲シ一面上官ニ報告スヘシ

第五條　非常事變ノ際ハ勿論平常ト雖規程第十二條第一項各號及其ノ他ノ動務ニ就テハ互ニ連絡ヲ保チ共助ノ精神ヲ以テ事務ニ從事スヘシ

第六條　職務上見聞シタル事故ハ輕微ナルモノト雖等閑ニ附セス事理ヲ

究メ其ノ必要ト認ムルモノハ直ニ上官ニ報告スヘシ

第七條　職務上ノ報告又ハ通報等ハ書面ト口頭トヲ問ハス專ラ簡明ヲ旨トシ濫ニ形容詞ヲ用ヒ又ハ虛飾ニ渉ルヘカラス

第八條　常ニ服裝、姿勢、禮式、稱呼ニ注意シ紀律ノ嚴正ヲ期スヘシ

第九條　上官ヨリ訓授指示又ハ注意ヲ受ケタル事項ハ能ク之ヲ服膺シ其ノ實行ニ努ムヘシ

第十條　非常召集規程ノ趣旨ニ從ヒ常ニ緩急ニ處スル準備ヲ整ヘ事變ニ際シ過誤ナキヲ期スヘシ

第二章　勤務

第十一條　內勤者ノ勤務時間ハ七時間トス但シ巡査ニ在リテハ八時間トス

第十二條　外勤ノ日勤者ニ在リテハ九時間隔日勤務者ニ在リテハ十六時間勤務スヘシ

第十三條　病氣其ノ他ノ事故ニ因リ遲刻缺勤若ハ休暇ヲ得ムトスルトキハ出勤時刻前ニ書面ヲ以テ屆出ツヘシ病氣ノ爲缺勤五日ヲ超ユルトキハ轉地療養ノ許可ヲ得タルモノヽ外醫師ノ診斷書ヲ添ヘ其ノ旨屆出テ爾後十日毎ニ同上ノ手續ヲ爲スヘシ但シ缺勤五日以內ノ場合ト雖監督者ニ於テ必要ト認ムルトキハ醫師ノ診斷書ヲ提出セシムルコトアルヘシ

前項ノ場合ニ於テ入院ノ際ハ其ノ診斷書ニ記載ノ期間內ニ限リ屆出ヲ要セス

醫師ノ在ラサル遠隔ノ地ニ在リテハ監督ノ任ニ在ル者ノ承認書ヲ以テ診斷書ニ代フルコトヲ得

第十四條　勤務中病氣其ノ他ノ事故ニ因リ退廳セムトスルトキハ監督ノ任ニ在ル者ノ認許ヲ受クヘシ

第十五條　出張又ハ缺勤セムトスルトキハ其ノ擔任事務ニシテ急ヲ要スルモノ若ハ期限付ノモノニ就テハ事務經過及處分ノ見込ヲ附シ上官ニ申告シ指揮ヲ承クヘシ

第十六條　上官ノ在廳中ハ退廳時刻ヲ過クルモ退出スルコトヲ得ス但シ特ニ許サレタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十七條　休暇又ハ非番當日其ノ他服務時間外ト雖他出セムトスルトキハ其ノ行先及歸來時刻ヲ明ニシ在勤地外ノ地ニ赴カムトスル場合ハ監督者ノ承認ヲ受クヘシ

第十八條　警務部各課長、警察署長、警察課長ニシテ轉勤、休職若ハ出向ヲ命セラレタルトキハ所管事務ニ關スル引繼書ヲ作製シ後任者ト連署ノ上報告スヘシ

前項以外ノ者轉勤、休職若ハ出向ヲ命セラレタルトキハ其ノ分掌事務ニ關シ前項ノ規定ニ準シ後任者又ハ上官ノ指定シタル者ニ引繼ヲナシ所屬官署長ニ報告スヘシ但シ引繼ノ際上官立會シ書類報告ノ要ナシト認ムルトキハ之ヲ省略スルコトヲ得

第十九條　警察職員轉勤ヲ命セラレタルトキハ受命ノ日ヨリ巡査、雇員ハ三日內其ノ他ノ職員ハ五日內ニ赴任スヘシ

前項ニ依リ難キ特別ノ事由アルトキハ警務部長ノ認許ヲ受クヘシ但シ郡、警察署所轄內ノ轉勤ニ在リテハ郡守、警察署長限リ之ヲ施行スルコトヲ得

第二十條　警察署、警察課、派出所、駐在所ニハ別記第一號樣式ノ勤務表ヲ備ヘ置キ外勤者勤務ニ服シタルトキハ相當欄內ニ捺印スヘシ

第二十一條　巡視區監督ハ監視區監督ノ指揮ヲ受ケ前條ノ勤務表ニ每日ノ勤務割ヲ指定記入スヘシ

監督者ノ駐在セサル派出所駐在所ニ在リテハ別記第一號ノ二樣式ノ勤務指定表ニ一ケ月分ノ指定ヲナシ取締巡査ニ每日ノ勤務割ヲ記入セシムルコトヲ得

第二十二條　規程第七條ノ巡視區ハ警務部長ノ指揮ヲ受ケ郡守又ハ警察署長之ヲ定ム

前項ノ巡視區名ハ各所在地名ヲ冠スヘシ

第二十三條　規程第十九條ノ警察課ノ分室ニ關スル事項ハ別ニ之ヲ定ム

第二十四條　外勤巡查ノ受持分擔區ハ郡守警察署長之ヲ定ム

第二十五條　巡查二名以上勤務ノ箇所ニ在リテハ郡守警察署長ノ命シタル者

取締巡查ハ勤務所ニ於ケル一切ノ整理整頓ニ關シ其ノ責ニ任ス

第二十六條　休日及退廳後ニ於ケル警備員、留置人ノ看守及宿直員ノ監督ニ就テハ宿直在宿ノ監督者其ノ責ニ任ス

第三章　警備

第二十七條　警察署及其ノ所在地派出所、警察課所在地派出所ニ在リテハ晝夜ヲ通シテ警備員ヲ置クヘシ

警察課ニ在リテハ退廳時刻後及休日ニ限リ警備員ヲ置ク但シ晝夜ヲ通シテ之ヲ置ク場合ハ事由ヲ具シ認可ヲ受クヘシ

前二項ノ規定ニ依リ難キ事情アルトキ又ハ前項以外ノ派出所駐在所ニ警備員ヲ置ク場合ハ事由ヲ具シ知事ノ認可ヲ受クヘシ

ルトキハ立番ヲ以テ警邏ニ代フルコトヲ得

第三十三條　警邏線路中必要ノ場所ニ別記第二號樣式ノ警邏表ヲ備ヘ置キ警邏ノ都度捺印スヘシ

第三十四條　警邏一週ト稱スルハ當該線路ノ全部ヲ警邏スルヲ謂フ

第三十五條　警邏ノ際ハ部內ノ狀況ヲ查察シ特ニ左ノ事項ニ注意スヘシ

一　法令實施ノ狀況

二　宗教及風俗ニ關スル狀況

三　公衆及個人衞生ノ狀況

四　保甲壯丁團ノ狀況

五　警察上要視察人ノ狀況

六　取締ヲ要スル諸營業ノ狀況

七　銃砲火藥類、阿片其ノ他禁制品ノ密賣買又ハ密移輸出入ノ有無

八　道路、水路、鐵道及橋梁、渡船場其ノ他交通上ノ狀況

九　電信電話線障害ノ有無

十　農工商其ノ他生業ノ狀況

十一　前各號ノ外注意ヲ要スヘキモノト認メタル事項

第三十六條　警邏中見聞シタル事故ニシテ處分ノ法規アルモノハ之ニ依リ法規ナキモノハ其ノ性質及輕重ニ應シ注意說諭又ハ戒告ヲ爲シ若ハ同行ヲ求ムル等適宜ニ處置スヘシ

第三十七條　前條ノ警察事故及之ニ對シ處置ヲ爲シタル顚末ハ直ニ手帖ニ記載シ其ノ事ノ重要ナルモノハ上官ニ報告スルト共ニ勤務表ニ記載スヘシ

第三十八條　警邏中ハ戶口實查營業臨檢其ノ他觀察ヲ兼ヌル場合ノ外濫

ニ人家ニ立寄リ又ハ線路外ニ出ツヘカラス但シ他ノ勤務ノ爲線路外ニ出テ若ハ警邏ヲ缺略シタルトキハ其ノ旨勤務表ニ記載シ監督者ノ承認ヲ受クヘシ

第三十九條　警邏ノ際ハ乘物ヲ用ユルコトヲ得ス但シ村落警邏ノ際自轉車乘用ニ限リ監督者ノ承認ヲ得タルトキハ此ノ限リニ在ラス

村落警邏ノ際ハ晝食ヲ携帶スヘシ

第五章　交通

第四十條　交通ハ定期臨時ノ二種ニ區別シ巡查ヲシテ之ヲ行ハシムヘシ定期交通ノ期日、時刻、回數及會合場所ハ郡守、警察署長之ヲ定メ他管內ニ關係アルモノハ豫メ協議ヲ遂ケ置クヘシ

第四十一條　交通ニ依リ互報スヘキ事項ハ概ネ左ノ如シ

一　行政及司法搜查ニ關スル事項

二　風水火震災其ノ他災害ニ關スル事項

三　要視察人及惡漢、無賴ノ徒ノ動靜ニ關スル事項

四　傳染病及獸疫ニ關スル事項

五　民情及蕃情ニ關スル事項

六　其ノ他必要ト認ムル事項

第四十二條　交通者ニハ勤務時間ノ都合ニ依リ警邏、戶口實查、電話線路查其ノ他ノ勤務ヲ兼ネシムルコトヲ得

第四十三條　交通ニ依リ送達スル書類物件ハ授受ノ際別記第三號樣式ニ依リ調製シタル交通簿ニ記入シ受領者ノ印ヲ受クヘシ

第六章　護衞

第四十四條　護衞ニ任スル警察職員ハ特ニ服裝ヲ整頓シ見苦シカラサル樣注意スヘシ

第四十五條　護衞中ハ故ナク護衞スヘキ人又ハ物件ノ傍ヲ離ルルコトナク危險ナル場所ヲ通過セムトスルトキハ先行シテ之ヲ確ムル等諸事注意スヘシ

第四十六條　護衞中ハ前二條ノ外尙左ノ各號ニ注意スヘシ

一　休憩中護衞スヘキ人ノ面前ニ立寄リ又ハ背部ヲ向クル等禮儀ヲ缺クノ所爲アルヘカラス

二　護衞スヘキ人ヨリ先ニ喫煙シ又ハ湯茶等ヲ喫シ若ハ椅子ニ倚ルヘカラス

三　苦力、駕、車、轎等ノ賃錢ハ不當ノ要求ヲ爲サシムヘカラス

第七章　押送竝護送

第四十七條　受刑者、留置者、被告人、被疑者、押送ノ際ハ先ツ被押送者ノ身體檢查ヲ爲シ兇器若ハ逃走用ノ器具ヲ所持セサルヤヲ注意スヘシ

第四十八條　受刑者、又ハ留置者被告人及被疑者ハ其ノ罪狀共犯者ノ多少身分年齡又ハ土地ノ狀況等ニ依リ戒護上相當ノ注意及措置ヲ爲スヘシ

第四十九條　押送ノ際ハ嚴重ニ戒具ヲ施シ途中時々檢查ヲ爲シ之ヲ緩メムコトヲ請フモ許容スヘカラス

第五十條　押送出發ノ際ハ書類物件ヲ取忘レサル樣注意シ如何ナル場合ト雖之ヲ被押送者ニ携帶セシムヘカラス

第五十一條　被押送者便用ヲ爲サムト請フトキハ之ト同行シ若厠ニ入ルトキハ約二三步ノ處ニ在リテ看守シ且扉ヲ閉鎖セシムヘカラス

第五十二條　押送途中ニ在リテハ被押送者ヲシテ物品ノ授受又ハ談話喫煙等ヲ爲サシムヘカラス

第五十三條　押送中ハ捕繩ノ一端ヲ嚴ニ把握シ如何ナル場合ト雖之ヲ放ツコトナキハ勿論被押送者ヨリ視線ヲ脫セス徒步ノ場合ニ在リテハ其ノ左側後方約二步ノ所ヲ行進スヘシ

橋梁懸崖ヲ通過スルトキ又ハ船車ニ乘降ノ際ハ特ニ注意シ尙座席ニ於テハ其ノ身邊ヲ離レ又ハ他人ト談話スヘカラス

第五十四條　浮浪者護送ノ際ハ本章ノ規定ヲ準用ス

第八章　留置人看守

第五十五條　留置人看守ハ特ニ看守者ヲ置ク場合ノ外警備員ノ任務トス但シ警備員ナキトキハ宿直巡查ノ任務トス

第五十六條　囚人又ハ刑事被告人ハ所屬官署長又ハ責任官吏ノ命アルニ非サレハ留置スルコトヲ得ス

行政執行法ニ依リ留置場ニ檢束ヲ要スル者ハ郡守警察署長ノ承認ヲ受クルニ非サレハ檢束スルコトヲ得ス

第五十七條　留置ヲ爲サムトスルトキハ先ツ身體ヲ檢查シ留置人名簿ニ本人ノ氏名其ノ他必要ナル記入ヲ爲シ領置スヘキ金品アルトキハ本人ノ面前ニ於テ其ノ品目數量ヲ檢メタル後之ヲ記入シ署名捺印セシメ若本人署名捺印スルコト能ハサルトキハ代書捺印セシメ監督者ノ檢印ヲ受ケタル後留置スヘシ

留置人ヲ放還セムトスルトキハ前項ノ規定ヲ準用ス

第五十八條　留置人ノ姓名罪名留置年月日竝放還年月日ハ看守者ノ見易

キ場所ニ掲示スヘシ

留置ノ金品ハ其ノ品名數量本人ノ姓名留置人名簿ノ番號ヲ記入シタル札ヲ附シ堅固ナル鎖綸ヲ附シタル容器又ハ戸棚ニ格納保管スヘシ

第五十九條　留置人ニ食物ヲ給與シ又ハ差入ヲ許可シタルトキハ精密ニ檢査ヲ遂ケ差入物ニ付テハ入差者ノ姓名ヲ申聞ケテ交付シ留置人名簿賄關ニ差入ノ二字ヲ記入捺印スヘシ

第六十條　留置人ニハ起居ヲ端正ナラシメ晝間濫ニ横臥又ハ睡眠セシムヘカラス但シ傷病者ニシテ特ニ認許シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第六十一條　留置人相互ノ間ハ勿論何人ト雖許可ナクシテ言語ヲ交ヘシムヘカラス

第六十二條　看守中ハ一時間毎ニ鎖綸ヲ點檢スルノ外看守者交代ノ際ハ立會ノ上留置場ノ内外ヲモ精密ニ檢査ヲ遂ケ引繼ヲ爲スヘシ

第六十三條　留置場ハ毎朝之ヲ清掃セシメ且其ノ内部ニ入リテ精密ニ檢査シ臥具敷物等ハ時々日光ニ晒スヘシ

第六十四條　留置人疾病ニ罹リ若ハ身體精神ニ異狀アリト認ムルトキハ速ニ上官ニ報告シ醫師ノ診斷ヲ受ケシムル等適當ノ處置ヲ爲スヘシ

第六十五條　留置人ヲ場外ニ出シ又ハ一時場外ニ置クトキハ充分戒具ヲ施シタル上必ス看守ヲ附スヘシ

第六十六條　留置人ノ心得ヘキ必要ナル事項ハ留置人ノ見易キ場所ニ掲示スヘシ

第六十七條　被檢束者ノ看守ニ關シテハ本章ノ規定ヲ準用シ

第九章　保健衞生

第六十八條　警邏戸口實査又ハ諸視察等ノ場合ニ於テハ保健衞生ニ關シ以下各條ノ事項ニ注意スヘシ

第六十九條　水道公共栓公共井及其ノ周圍ノ清潔ニ注意シ破損汚穢ノ箇所ヲ發見シタルトキハ速ニ適當ナル措置ヲ爲シ重大ナル事項ハ上官ニ報告スヘシ

第七十條　販賣ノ用ニ供シ又ハ營業上使用スル飲食物飲食器具割烹具其ノ他ノ物品ニシテ衞生上危害ヲ生スルノ虞アルモノハ承諾ヲ得テ其ノ幾分ヲ領置シ上官ニ報告スヘシ

第七十一條　下水溝渠ノ掃除及管理方法ヲ監視シ汚水ノ停溜セサル樣注意ヲ加ヘ下水規則施行地域外ト雖汚水排除上改修又ハ新設ヲ要スルモノト認メタルトキハ上官ニ報告スヘシ

第七十二條　土塲其ノ他工事用等ノ爲土砂ヲ採堀シタル場合支障アリト認メタルトキハ之ヲ原狀ニ復セシムルカ若ハ排水溝ヲ設ケシムル等汚物汚水ノ誘積又ハ停溜セサル樣注意シ事態重キモノニ就テハ上官ニ報告スヘシ

第七十三條　汚物掃除規則施行地ニ在リテハ隨時塵芥容器ノ良否ヲ臨檢シ汚物塵芥ノ搬出ヲ怠ラサル樣監視シ其ノ施行地域外ト雖必要ト認メタルトキハ一定ノ場所ニ搬出燒却セシムル等專ラ清潔保持ヲ督勵スヘシ

第七十四條　墓地及火葬場ハ常ニ其ノ管理者ヲシテ掃除ヲ怠ラシメサル樣監視シ特ニ左ノ事項ニ注意スヘシ

一　許可ヲ受ケスシテ埋火葬又ハ改葬洗骨スル者ナキヤ否

二　改葬洗骨等ノ堀跡ハ塡充シ居ルヤ否

三　獸畜等ノ埋棺ヲ發堀セルモノナキヤ否

四　濫ニ家畜ヲ放飼スルコトナキヤ否

五　傳染病流行時ニ在リテハ特ニ密葬スルコトナキヤ否

第七十五條　市場ハ隨時臨檢シ場内ノ掃除汚水排除ノ適否賣品及覆蓋ノ良否ヲ監査シ賣品ニシテ衞生上不良ト認メラルルモノハ一時其ノ販賣ヲ中止セシメ一面上官ニ報告シ指揮ヲ承クヘシ

第七十六條　屠場ハ常ニ清潔ナラシメ屠獸屈ヲ受ケタルトキハ獸醫ト共ニ臨檢シ若獸醫在ラサルトキハ其ノ獸體ノ健否ヲ檢査シ病獸ノ疑アルトキハ屠殺ヲ停止シ上官ニ報告シテ指揮ヲ承クヘシ

第七十七條　常ニ部民ノ衞生狀態ニ注意シ殊ニ死亡數ニ異常ノ增加アリト認ムルトキハ其ノ原因及病狀ヲ精査シ上官ニ報告スヘシ

第七十八條　共同便所ノ新設及掃除汲取等ニ注意シ移轉改築、修繕ノ必要ヲ認メタルトキハ上官ニ報告スヘシ

第七十九條　死因又ハ病狀ノ疑ハシキ者ヲ見聞シタルトキハ直ニ其ノ家宅ニ臨檢調査シ傳染病又ハ疑似患者ト認メタルトキハ速ニ上官ニ報告シ一面其ノ患家ノ人員竝他出外來者ノ有無ヲ調査シ尚外出ヲ爲シ又ハ他人ヲ出入セシメ若ハ家畜類ノ放飼ヲ爲ササル樣諭示シ且其ノ患家ニ存スル物件ハ之ヲ他ニ搬出セサル樣嚴重監視ヲ加フヘシ

第八十條　每年種痘施行後ニ於ケル出生兒及未種痘者ノ來往等ニ注意シ次期ノ種痘ニ接種洩ナキヲ期スヘシ

第八十一條　船舶ノ出入スル箇所ニ在リテハ船員及船客等ノ健康ニ注意シ若傳染病患者アリト認ムルトキハ第七十九條ニ依リ相當措置スヘシ

第十章　臨檢及視察

第八十二條　警察取締ニ關スル營業ハ其ノ種類ニ依リ視察ノ目的ヲ異ニスト雖別ニ視察上規定アルモノノ外左ノ各號ニ注意スヘシ

一　法令及許可條件ヲ遵守スルヤ否

二　公安ヲ害シ又ハ風俗ヲ紊リ若ハ危害ヲ及ホス虞ナキヤ否

三　犯罪檢舉上又ハ警察取締上特ニ査察ヲ要スヘキ事件ノ端緒トナルコトナキヤ否

第八十三條　營業視察ノ臨檢回數ハ其ノ種別又ハ土地ノ狀況ニ依リ別ニ之ヲ定ム

第八十四條　營業視察上ノ臨檢ハ其ノ種類ニ依リ適宜ノ時刻ニ之ヲ行ヒ成ル可ク來客又ハ營業者ニ迷惑ヲ及ホササル樣注意スヘシ

第八十五條　營業視察ノ爲臨檢シタルトキハ其ノ要領顚末ヲ臨檢視察簿ニ記載シ上官ノ檢閱ヲ受ケヘシ

規定上營業者ニ於テ備付ケアル帳簿ハ臨檢ノ際之ニ年月日ヲ記載シ且認印スヘシ

第八十六條　累犯者賭博常習者ノ擧動ハ戸口實査營業臨檢阿片視察等ヲ兼ネ又ハ特ニ其ノ居所ニ臨ミ視察スヘシ

前項ノ視察ハ每月一回以上之ヲ行フヘシ

第八十七條　曾テ匪徒刑罰令ニ該ル罪ニ依リ刑ニ處セラレタル者及起訴猶豫ノ處分ニ付セラレタル者假出獄又ハ假出場ヲ許サレタル者行政戒告ヲ受ケタル者ニ對シテハ累犯者ニ準シ視察スヘシ

第八十八條　前二條ノ視察ヲ爲シタルトキハ其ノ要領ヲ視察簿ニ登載シ必要アルトキハ文書又ハ口頭ヲ以テ其ノ狀況ヲ上官ニ報告スヘシ

前項ニ依リ記載シタル視察簿ハ每月一回警察署長警察課長ノ檢閱ヲ受クヘシ

第十一章 外國人取扱

第八十九條 凡ソ外國人ノ接遇ハ國際上ニ關係アルヲ以テ其ノ取扱方ニ就テハ特ニ叮寧懇切ヲ旨トシ成ルヘク便宜ヲ與フヘシト雖濫ニ其ノ行動ニ干渉シ事端ヲ惹起スル等ノ所爲アルヘカラス

第九十條 支那以外ノ外國人ニ關スル事件ヲ處理スルトキハ外國人取扱規則ニ依ルヘキハ勿論ナリト雖其ノ輕易ナルモノノ外上官ノ指揮ヲ俟タスシテ專行スヘカラス但シ規行犯ノ場合等其ノ指揮ヲ俟ツノ遑ナキトキハ適宜處置シ速ニ報告スヘシ

第九十一條 支那人以外ノ外國人旅行ノ際休憩所又ハ停車場其ノ他ニ於テ國籍姓名行先等ヲ尋問スルコトハ成ルヘク之ヲ避ケ間接ノ方法ニ依リ之ヲ知ルコトニ努ムヘシ

第九十二條 支那人ノ滯在及旅行ニ就テハ身分證明書又ハ上陸許可證所持ノ有無ニ注意スヘシ

支那人ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スト認ムルトキハ其ノ鄕里ノ職業姓名行先等ヲ取調ヘ速ニ上官ニ報告スヘシ但シ本人所在ヲ晦マス處アル時ハ同行ヲ求ムヘシ

一 身分證明書又ハ上陸許可證ヲ所持セサル者
二 身分證明書ニ記載セル行先地以外ノ地ヲ徘徊スル者
三 勞働者ニシテ所定勞働以外ノ職業ニ從事スル者
四 濫ニ吉凶禍福ヲ說キ又ハ流言浮說ヲ爲シ其ノ他新醫藥ト等ヲ爲シ人心ヲ誑ハス處アル者

第九十三條 外國人ノ官吏ニ屬スル書類物件ハ其ノ私有物ト認ムル場合ト雖上官ノ指揮ヲ俟タスシテ之ヲ檢查シ又ハ差押フルコトヲ得ス

第十二章 司法

第九十四條 犯罪事件アルコトヲ認知シタルトキハ直ニ上官ニ報告シ犯人ノ檢擧證憑ノ蒐集ニ努ムヘシ

犯所ニ臨檢シタルトキハ微細ノ事物ト雖之ヲ看過スルコトナク苟モ犯罪ニ關係アルト認ムル物件指紋足跡等ハ蒐集又ハ撮影シ且犯所ノ模樣ハ成ルヘク之ヲ保存スルコトニ努ムヘシ

第九十五條 告訴告發アリタルトキハ誣告ニ出テタルモノニ非サルヤ又ハ一時ノ憤怒ニ乘シ過大ノ申立ヲ爲シタルモノニ非サルヤ殊ニ親告罪ニ付テハ告訴人ト被告訴人トノ關係等ニ注意シテ參考トナルヘキ事項ハ上官ニ報告シ濫ニ說諭ニ止メ若ハ和解ヲ强ユル等ノコトアルヘカラス

第九十六條 特種又ハ重要ト認ムヘキ犯罪アルトキハ直ニ現場ニ臨ミ左ノ事項ヲ取調ヘ卽報スヘシ但シ卽時判明ナラサル事項ハ判明次第追報スルコトヲ要ス

一 犯罪ノ日時場所
二 被害者ノ住所姓名年齡職業
三 被害物件ノ員數價格
四 犯罪ノ模樣
五 加害者ノ侵入又ハ逃走シタル方向及其ノ模樣
六 加害者ノ人數住所姓名年齡職業又ハ人相著衣及兇器攜帶ノ有無竝其ノ種類
七 加害者ノ遺留品
八 負傷者ノ有無

九 加害者ノ心當リノ有無及加害者ト被害者トノ關係
十 其ノ他參考トナルヘキ事項

第九十七條 凡ソ犯罪ノ檢擧ハ奸惡ヲ懲膺シ公害ヲ除クヲ以テ目的トス徒ニ檢擧ノ多數ヲ以テ其ノ職務ヲ盡スモノト爲スヲ得ス須ク事案ノ輕重ニ依リ寬嚴其ノ宜シキニ從フヘシ

第十三章 保甲監督

第九十八條 外勤巡查ハ受持區內ニ於ケル保甲規約ノ實行及役員ノ動怠其ノ他保甲事務ノ監督ヲ爲スヘシ

第九十九條 監視區監督ハ時宜ニ依リ巡視區監督及受持巡查ハ其ノ都度保甲會議ニ立會シ必要ナル諸般ノ訓示ヲ爲スヘシ

郡守警察署長ハ每年一回以上所轄內ノ保正ヲ召集シ保甲事務ノ狀況及成績ヲ報告セシメ且法令ノ周知方其ノ他諸般ノ心得ニ關スル訓示ヲ爲スヘシ

第百條 郡直轄、警察官吏派出所ニ在リテハ每月一回以上其ノ部內ノ壯丁團員ヲ召集シ訓練ヲ爲スヘシ

監視區監督若ハ巡視區監督ハ前項ノ召集ニ立會シ壯丁團員ノ訓練敎養ニ努ムヘシ郡守警察署長警察課長ハ巡視ノ際若ハ臨時ニ壯丁團ノ檢閱ヲ行フヘシ

第百一條 郡守、警察署長ハ保甲經費及過怠金ノ收支保管ニ關シ特ニ周到ナル監督ヲ行フヘシ

第百二條 監視區監督及巡視區監督ハ三月每ニ一回以上受持巡查ハ每月一回以上保甲事務所ニ臨檢シ保甲經費及過怠金ノ收支保管其ノ他書類帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百三條 規程第三十三條ニ依ル監督巡視ノ際視察スヘキ事項概ネ左如シ

第十四章 監督及監督巡視

一 人事視察
一般紀律ノ張弛、職員ノ配置、勤怠竝其ノ性格、能否等

二 事務視察
一般事務ノ整否及各箇實務執行ノ適否等

三 狀況視察
廳舍、宿舍、給貸與品ノ狀況、法令ノ實施、生業、交通及保甲ノ狀態竝風俗民情ノ變遷其ノ他部內ノ狀況

第百四條 人事視察ハ點檢、訓授又ハ學術講習ノ成績、試問等ノ方法ニ依リ各人性格ノ如何ト統御ノ寬嚴、訓練ノ精粗竝內部外部關係ノ狀況ヲ察知シ能ク之ヲ指導矯正スルノ用意ヲ以テ適切ナル視察ヲ爲スヲ要ス

事務視察ハ關係事項ヲ對照審查シ又ハ內外勤務ノ如何ヲ查覈シ其ノ他實地臨檢ヲ爲ス等勗メテ適切ナル方法ヲ採リ能ク事務執行ノ適否竝人民接遇ノ狀況ヲ察知シ若シ粗漏、失當又ハ怠慢其ノ他缺點アリト認メタルトキハ其ノ事由ヲ精查スルヲ要ス

狀況視察ハ部內一般ニ對シ警察事務ニ關係アル要項ヲ查察スルヲ主眼トシ各種ノ事情ヲ綜合シテ其ノ眞相ヲ穿ツコトニ勗ムルヲ要ス

第百五條 警務部及課長ハ其ノ主管事務ニ關シ州管內ヲ每年一週以上巡視スヘシ

警務部各課在勤ノ警部警部補ハ其ノ擔任事務ニ付州管內ヲ每年一週以

上巡視スヘシ

郡守ハ規程第三十五條ノ外其ノ所在地ヲ三月ニ一週以上警察課長ハ毎月一週以上巡視スヘシ但シ復命ヲ省略スルコトヲ得

警察署又ハ警察課在勤ノ內勤警部警部補ハ其ノ所在地ヲ毎月一週以上所在地外ヲ六月毎ニ一週以上巡視スヘシ

第百六條　警察署在勤ノ監視區監督及巡視區監督ハ日勤若ハ隔日勤務トシ左ノ區別ニ依リ巡視スヘシ

一　所在地ハ監視區監督ハ各員ヲ通シ二週以上(一週以上ハ夜間トス)巡視區監督亦同シ

二　所在地外ハ監視區監督ハ毎月二週以上巡視區監督ハ毎月三週以上

第百七條　警察課在勤及派出所駐在所ニ駐在スル監視區監督及巡視區監督ハ日勤トシ左ノ區別ニ依リ巡視スヘシ

一　嘉義郡所在地一晝夜各自一週以上(二人以上ナルトキハ各員ヲ通シ一週以上ハ夜間トス)

二　其他ノ郡所在地並駐在地各自毎月十週以上(三週以上ハ夜間トス)

三　所在地並駐在地外、監視區監督毎月一週以上巡視區監督毎月二週以上

土地ノ狀況其ノ他ニ依リ前項及第百六條ノ巡視週數ニ依ルコト能ハサルトキハ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第百八條　警察署長規程第三十六條ノ巡視ヲ爲シタルトキハ六月毎ニ翌年月二十日迄其ノ狀況ヲ報告スヘシ

第百九條　郡守警察課長並警務部各課長各課在勤ノ警部警部補ノ復命ハ巡視終了後二十日內ニ知事ニ報告スヘシ

第百十條　監督者巡視シタルトキハ勤務表並警邏表相當欄內ニ捺印スヘシ

第百十一條　監督者巡視ヲ爲サムトスルトキハ上官ニ其ノ行先並歸著像定日時ヲ申告スヘシ所在地外ニ駐在スル者ニ在リテハ其ノ都度電話ニテ申告スヘシ巡視ノ際自轉車ヲ乘用セムトスルトキハ警察署長警察課長ノ承認ヲ受クヘシ

第百十二條　巡視、定期召集其ノ他ノ場合ニ於テ郡守、警察署長、警察課長若ハ主任警部警部補カ巡査ニ對シ點檢訓授及試問等ヲ爲ストキハ監視區監督若ハ巡視區監督ヲ立會セシムヘシ若事故ノ爲立會ヲ爲サヽリシトキハ其ノ要領ヲ告知スヘシ

第百十三條　外勤巡査ニ對スル通牒、指示ノ類及外勤巡査ノ提出諸報告復命ハ監視區監督及必要ニ應シ巡視區監視ヲ經由スヘシ若要急其ノ他ノ事由ニ由リ經由スルコト能ハサリシトキハ事後ニ於テ之ヲ提示又ハ告知スルコトヲ要ス

第百十四條　郡守又ハ警察署長ハ別記第四號樣式ニ依リ巡査部長以上ノ監督巡視表ヲ調製シ翌月十日迄ニ報告スヘシ

第十五章　監督日誌並手帳

第百十五條　警部警部補ハ各自監督日誌ニ視察ノ情況及部下ニ對シ訓示又ハ注意シタル事項其ノ他監督上必要ト認ムル事項ノ要領ヲ記載シ七日毎ニ(駐在監督者ハ登廳ノ際警察署長、郡ニ在リテハ警察課長ヲ經由シテ郡守ノ檢閱ヲ受クヘシ但シ必要ト認ムル事項アルトキハ其ノ都度檢閱ヲ受クヘシ

巡視區監督ハ前項ニ準シ監視區監督ヲ經由シテ檢閱ヲ受クヘシ

第百十六條　監督日誌ハ別記第五號樣式手帳ハ別記第六號樣式ニ依リ記載スヘシ

第百十七條　手帳ハ外勤巡査ニ在リテハ上官巡視ノ際內勤巡査ニ在リテハ七日毎ニ監督者ノ檢閱ヲ受クルノ外召集ノ際警察署長警察課長ノ檢閱ヲ受クヘシ

第百十八條　監督日誌又ハ手帳ヲ檢閱シタルトキハ其ノ末尾ニ認印シ意見アルトキハ欄外ニ簡明ニ附記スヘシ

第十六章　訓授

第百十九條　規程第三十條ノ訓授ハ召集又ハ監督巡視ノ際之ヲ行フノ外所在地勤務者ニ在テハ毎朝所勤ノ際必要ニ應シ之ヲ行ヒ其ノ要點ハ謄寫ノ上一般勤務所ニ配付スヘシ

第百二十條　外勤巡査ノ勤務所ニハ別記第七號樣式ノ訓授錄ヲ備ヘ巡査部長以上ノ監督者巡視ノ際ニ於ケル訓示及注意ノ要點ヲ記載スヘシ前條ニ依リ配付シタルモノハ其ノ末尾ニ編綴スルモノトス

第十七章　定期召集

第百二十一條　郡守警察署長ハ警察課警察署及派出所駐在所ニ在勤スル甲乙種勤務巡查(巡查部長ハ甲種巡查ノ際)ヲ各別ニ毎月一回宛定期ニ所轄警察署警察課又ハ警察課分室ニ召集スヘシ

警務部長ハ警務部ニ在勤スル巡查ニ對シ毎月一回定期召集ヲ爲スヘシ

第百二十二條　定期召集ノ際施行スヘキ事項概ネ左ノ如シ

一　職務上必要ナル訓授及注意

二　甲種點檢及操練

三　學術講習及試問

四　部內ノ狀況報告

五　前各號ノ外必要ナル事項

第百二十三條　郡守警察署長ハ別記第八號樣式ニ依リ成績表ヲ調製シ召集後五日以內ニ知事ニ報告スヘシ

第十八章　非常召集

第百二十四條　警察官署ノ長ハ非常事變其ノ他犯人追捕等ニ當リ迅速手配シ得ヘキ措置ヲ爲シ常ニ部下ノ訓練ニ努ムヘシ

第百二十五條　左ノ物品ハ宿舍內一定ノ場所ニ整頓シ置クヘシ

一　被服及附屬品

二　非常携帶品トシテ指定セラレタルモノ

第百二十六條　前條ノ物品ハ巡查ノ宿舍ニ就三月ニ一回以上監督者ニ於テ檢閱スヘシ

第十九章　宿直

第百二十七條　警務部警察署及嘉義郡警察課在勤ノ日勤警部(課長タル警部ヲ除ク)警部補內勤巡查部長ハ輪番宿直スヘシ

前項以外ノ郡警察課在勤警部(課長タル警部ヲ除ク)警部補內勤巡查部長ノ內一人在宿ヲ以テ宿直ニ代フ

第百二十八條　內勤甲種巡查ハ輪番宿直スヘシ

第百二十九條　宿直員ハ執務時間外及休日ニ於ケル文書及電話ノ受付發送並外來者ノ應接其ノ他臨時要急ノ事務ヲ處理スルモノトス但シ輕易ニシテ且例アルモノヽ外監督者ノ指揮ヲ承ケ整理スヘシ

前項ノ外宿直員ハ第五十五條ノ場合ニハ留置人看守ノ責ニ任ス

第百三十條　宿直中取扱ヒタル事項ハ宿直日誌ニ記載スヘシ收受文書ハ其ノ出所宛名ヲ宿直日誌ニ記載シ親展文書ノ外總テ之ヲ開封シ至急ヲ要スルモノハ直ニ其ノ他ハ各宛名者主管者若ハ次番者ニ引繼クヘシ金品ノ接受ニ關シテハ其ノ金額又ハ種類數量ヲ明ニスヘシ

第百三十一條　宿直員ハ事故ナキ限リ午後十一時ヨリ休憩スルコトヲ得ト雖其ノ他ハ上官ノ承認ヲ受クルニ非サレハ勤務所ヲ離ルヽコトヲ得ス

第百三十二條　宿直員ハ事務ニ支障ナキ限リ上官ノ承認ヲ經テ早退スルコトヲ得

第二十章　宿舍心得

第百三十三條　宿舍ニ在リテハ常ニ靜肅ヲ旨トシ放歌又ハ喧噪ニ渉リ其ノ他風紀ヲ紊スノ所爲アルヘカラス

第百三十四條　宿舍ハ內外共能ク淸掃シ常ニ淸潔ナラシメ殊ニ火元ニ注意スヘシ

第一號樣式

注意　一、所在地又ハ村落警邏中第一線第二線等ヲ區別スルニハ捺印欄ニ一又ハ二ヲ記入シ其上ニ捺印シ線路區分ヲ明ニスルモノトス

【臺南警】

勤務表　昭和　年　月　日分　派出所名

種別＼時間	自至 七時 八時	自至 八時 九時	自至 九時 十時	自至 十時 十一時	自至 十一時 十二時	自至 十二時 一時	自至 一時 二時	自至 二時 三時	自至 三時 四時	自至 四時 五時	自至 五時 六時	自至 六時 七時	自至 七時 八時	曜	晴雨 午前	勤務割
警備														風震	午後	記入者印

第百三十五條　歸宿時限ハ午後十二時トス但シ已ムヲ得サル事故ノ爲歸宿時限ヲ超ユルトキハ豫メ上官ノ許可ヲ受クヘシ

第百三十六條　宿舍ニ在リテハ家族ノ取締ニ注意シ老幼婦女ト雖見苦シキ體裁ヲ爲サシメ又ハ黨ヲ結ヒテ同僚間ノ平和ヲ紊ス等其ノ體面ヲ汚スコトナカラシムヘシ

第百三十七條　宿舍ノ書類其ノ他ノ物件ハ常ニ一定ノ場所ニ整頓シ散亂セシムヘカラス

第百三十八條　親戚友人其ノ他ノ者ヲ宿泊セシメムトスルトキハ同宿者ノ承諾ヲ得テ上官ノ認可ヲ受クヘシ但シ州又ハ郡守市所屬職員及警察職員ナルトキハ其ノ旨屆出ツヘシ

附則

本令ハ大正十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正十二年臺南州訓令第三十五號ハ之ヲ廢止ス

所在地警邏
村落警邏
戶口實査　巡査
臨檢視察　巡査
文書整理　巡査
副簿整理　巡査
監督巡視　巡査
點檢訓示　自　時　至　時　巡査
學術講習　自　時　至　時　巡査
武術講習　自　時　至　時　巡査
屠畜檢查　自　時　至　時　巡査

當直　非番

助長　種別　時間　印

事務

臺南州

記事

種別＼取扱者	巡査 注意	巡査 說諭	巡査 注意	巡査 注意
風俗上				
保安上				
交通上				
衛生上				
狂犬上				
防疫上				
防火上				
信號上				
警戒上				
其ノ他				
計				

注意

【臺南警】

及說諭件數													犯罪檢擧及告發件數		
	巡査		巡査		巡査		巡査		巡査		計		勤務種別／檢擧者又ハ告發者	巡査	巡査
說諭	注意	說諭	注意	說諭	注意	說諭	注意	說諭	注意	說諭	注意	說諭			

（臺南署）

數
巡査

（臺南署）

記載例

一 二人以上勤務ノ場合ハ豫テ各員ヲ甲乙丙等ニ區別指定シ置キ監督者ニ於テ勤務表相當時間欄ニ甲乙丙等ノ符號印ヲ押捺シ豫メ勤務者ニ示スモノトス

二 一人勤務ノ場合ハ前項ニ依リ甲乙丙ノ符號ニ代ヘ圈點ヲ施スモノトス

三 勤務者ハ當該勤務ヲ終了シタルトキハ直ニ其ノ指定欄ニ認印ヲ押捺シ事故ニ依リ指定勤務ヲ爲ス能ハサル場合ハ其ノ事由ヲ備考欄ニ記入スルモノトス

四 臨時必要ノ場合ニ指定以外ノ勤務ニ服シタルトキハ相當時間欄ニ認印ヲ押捺シ其ノ事由ヲ備考欄ニ記入スルモノトス

五 當直、非番ノ者ハ其ノ姓名ヲ備考欄ニ記入スルモノトス

六 監督者檢印ノ欄ニハ勤務割ヲ指定シタル警部、警部補又ハ巡査部長ニ於テ認印ヲ押捺スルモノトス

七 時間ハ當時ノ出勤時刻ヲ起端トシ順次記入スルモノトス

八 監督巡視ノ欄ハ監視區監督及巡視區監督所轄區域内ヲ巡視シタル場合其ノ勤務所ノ勤務表ニ認印ヲ押捺シ尙巡視シタル派出所駐在所ノ勤務表ニモ相當時間欄ニ認印ヲ押捺スルモノトス

九 助長事務ノ種別及時間ハ本欄ニ記入シ認印ヲ押捺スル外備考欄ニ在ル助長事務種別、時間欄ニ記入ヲ爲シ認印ヲ押捺スルモノトス

（第一號ノ二樣式）

勤務指定表　昭和　年　月分

派出所名

指定監督者印

七曜	日次 ／ 種別	午前	所在地警邏
	一日		
	二日		
	三日		
	四日		
	五日		
	六日		
	七日		
	八日		
	九日		
	十日		
	十一日		
	十二日		
	十三日		
	十四日		
	十五日		
	十六日		
	十七日		
	十八日		
	十九日		
	二十日		
	廿一日		
	廿二日		
	廿三日		
	廿四日		
	廿五日		
	廿六日		
	廿七日		
	廿八日		
	廿九日		
	三十日		
	卅一日		

	第一線路警邏		第二線路警邏		文書整理		副簿整理		戸口實査		臨檢視察		清潔法		交通電話線路査	
午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後

〔臺南警〕

〔臺南警〕

交通整理雜路取締		保甲會議壯丁訓練		召集其ノ他ノ爲メ參廳		犯罪其ノ他ノ捜査		保甲監督						非番	
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後		

臺南州

備考

一　本表ノ指定ハ甲乙丙丁ノ記號ヲ用ヒ取締巡査ヲ甲トシ以下上席者ヨリ順次乙丙丁トス
二　巡視區監督ハ一ケ月分ノ指定ヲ記入シ前月二十九日迄ニ到著スヘク各派出所駐在所ニ配付スヘシ
三　所在地及村落ノ警邏ニシテ夜間勤務ニ服セシムルモノハ朱書記入スヘシ其他ノ夜間勤務亦同シ
四　所在地警邏及學術講習等ノ時間ハ監督者ニ於テ豫メ之ヲ定メ指示シ置クヘシ
五　村落警邏所要時間ハ警邏線路ノ延長及土地ノ狀況等ニ依リ豫メ之ヲ定メ指示シ置クヘシ
六　勤務上特ニ指示スヘキ事項ハ監督者指示事項欄ニ記入スヘシ
七　屆書檢査ハ指定ナクトモ必要ニ應シ服務スヘシ
八　勤務割ハ取締巡査ニ於テ勤務指定ニ基キ毎日翌日分ヲ前日中ニ記入スヘシ
九　前日ノ勤務時間中ニ前號ノ記入ヲナシ得サルトキハ退所時間外ト雖モ必ス記入シ當日ニ至リテ記入スヘカラス取締巡査事故アルトキハ次席者ニ於テ記入スヘシ
一〇　勤務指定ハ午前午後ニ區別シアルモ大體ノ標準ニ付勤務ノ性質上當然必要ナル場合ハ前後ニ伸縮スルモ妨ケナシ
一一　突發事故其ノ他ノ爲メ指定勤務ノ變更ヲ要スト認ムル場合ハ電話等ニ依リ監督者ノ承認ヲ受ケ其ノ暇ナキトキハ事後承認ヲ受クヘシ
一二　前號ニ依リ指定勤務ヲ變更シタルトキハ指定勤務變更表ニ記入スヘシ
一三　本表ハ毎月勤務表ノ初葉ニ綴集スヘシ

指定勤務變更表

日別	變更者	指定勤務種別	實施勤務種別	變更ヲ要シタル理由

監督者指示事項

〔臺南警〕

（第二號樣式甲）

第　號

所在地警邏表　昭和　年　月　自　日　至　日

巡視

日＼時		自 時 至 時	自 時 至 時	自 時 至 時	自 時 至 時	自 時 至 時	自 時 至 時	自 時 至 時	自 時 至 時	自 時 至 時	自 時 至 時	自 時 至 時	自 時 至 時
日	晝												
	夜												
日	晝												
	夜												
日	晝												
	夜												
日	晝												
	夜												
日	晝												
	夜												

警邏

日＼時		自 時 至 時	自 時 至 時	自 時 至 時	自 時 至 時	自 時 至 時	自 時 至 時	自 時 至 時	自 時 至 時	自 時 至 時	自 時 至 時	自 時 至 時	自 時 至 時
日	晝												
	夜												
日	晝												
	夜												
日	晝												
	夜												
日	晝												
	夜												
日	晝												
	夜												

郡　警察官吏派出所

臺南州

警察官吏派出所

〔臺南警〕

第二號樣式乙

第　號

村落（　）警邏表　月分

	巡視												警邏											
一日		午時	六日		午時	十一日		午時	十六日		午時	廿一日		午時	廿六日	一日		午時	六日		午時	十一日		午時	十六日		午時	廿一日		午時	廿六日	
二日		午時	七日		午時	十二日		午時	十七日		午時	廿二日		午時	廿七日	二日		午時	七日		午時	十二日		午時	十七日		午時	廿二日		午時	廿七日	
三日		午時	八日		午時	十三日		午時	十八日		午時	廿三日		午時	廿八日	三日		午時	八日		午時	十三日		午時	十八日		午時	廿三日		午時	廿八日	
四日		午時	九日		午時	十四日		午時	十九日		午時	廿四日		午時	廿九日	四日		午時	九日		午時	十四日		午時	十九日		午時	廿四日		午時	廿九日	
五日		午時	十日		午時	十五日		午時	二十日		午時	廿五日		午時	三十日	五日		午時	十日		午時	十五日		午時	二十日		午時	廿五日		午時	三十日	

〔臺南警〕

第三號樣式（用紙半紙）

月日	發著時刻 往	發著時刻 復	互報スヘキ事件ノ概要及交付書類又ハ物件ノ箇數	交通者認印	會合者認印

〔臺南警〕

記載例

一　發著時刻欄中往ノ部ニハ勤務所ヲ出發シタル時刻ヲ右ニ會合所ニ到著シタル時刻ヲ左ニ記入シ復ノ部ニハ會合所ヲ出發セシ時刻ヲ右ニ勤務所ニ歸著セシ時刻ヲ左ニ記入スルモノトス

第四號樣式甲

第　號

監督巡視表

何郡役所
何警察署
大正　年　月分

勤務所	職名	官氏名	所在地巡視數	巡視ヲ要スル派出所數	前月迄ノ巡視派出所數	本月巡視派出所數	計	同上内譯 一回巡視派出所數	二回巡視派出所數	三回以上巡視派出所數	摘要
同郡役所	警察課長	警部　何某	一	三〇	一	二	三	三	—	—	
同	保安係主任	同　何某	一	三〇	五	四	九	八	一	—	
同	司法係主任	同　何某	一	三〇	二〇	一	二〇	一八	一	一	

同	何係	警部補何某	一	三〇	二五	一	二六	二〇	六	一

右及報告候也

大正　年　月　日

臺南州知事殿

第四號樣式乙（用紙美濃紙）

第　號

監督巡視表

勤務所	職名	官氏名	所在地 派出所ヲ有スル箇所	所在地 派出所ヲ有セサル箇所	所在地 警運線路數	所在地 巡視周數	所在地外 要巡視派出所數	所在地外 一回モ巡視セサル派出所數	所在地外 二回巡視派出所數	所在地外 三回以上巡視派出所數	所在地外 監督者駐在派出所々在地巡視周數	摘要
何警察署	第一監視區監督	警部補何某	八	二〇	一	一	二	一	二	一	二	非番十日在廳二十日
同	第二監視區監督	何某	八	一五	一	一	二	一	一	一	一	非番九日出張六日在廳十五日
何郡役所	第一監視區監督	何某	一	一	二	一〇	一〇	一	八	二	一	所在地外巡視八日非番四日在廳十八日
同	第二監視區監督	何某	一	一	一	一	九	一	七	一	二	所在地外巡視九日非番四日參廳三日在所十四日
同	第一監視區監督	同　何某	五	二二	一	一	一	一	一	一	一	非番四日出張四日在廳二十二日
同	第二監視區監督	同	七	一〇	一	一	一	一	一	一	一	非番三日在廳二十日ニシテ巡視數規定ニ充タサルハ本月八日著任ノ爲メ

何郡役所
何警察署長
大正　年　月分

【臺南警】

八八

同	第三監視區監督	警部　何某	一	一	一	一	六	一	一	一〇	所在地外巡視六日參廳二日非番四日在所十八日
同	第四監視區監督	同　何某	一	一	一	一	一三	二	一〇	一	欠略ハ第五監視區兼務セシニ依ル

右及報告候也

大正　年　月　日

臺南州知事　殿

何郡守
何警察署長

記入心得

一　本表ヲ甲、乙ノ二種ニ區別シ甲表ハ警察課長内勤各係主任及分室主任等ヲ乙表ハ監視區監督巡視區監督ヲ記載ス

二　本表ハ郡役所警察署所在地及所在地外ノ巡視ノミヲ掲クルモノトス

三　職名欄ニハ警察課長及警務、保安、司法、内勤主任、第何監視區監督第何巡視區第何巡視區等ノ如ク主トシテ擔任スル事務ノ種別ヲ記載スルモノトス

四　巡視期間ハ臺灣總督府地方警察配置及勤務規程第四十二條及規程施行細則第百四條乃至第百八條ニ依リ毎年一月ヨリ起算シ定ムルモノトス

五　巡視後ノ期間ニ於テ前記ノ不足分ヲ補足スルコトヲ得サルモノトス

六　甲表巡視周數ノ欄ハ毎月巡視派出所駐在所數ヲ各摘當欄ニ記入シ一期間ノ所在地ニシテ派出所ヲ有スル郡署ハ所在地外ノ欄ヲ便宜使用シ其他ノ郡ハ所在地警邏線路ニ沿ヒ一週スルヲ原則トス

七　要巡視派出所數ハ駐在地ヲ除キ記入スルコト

八　摘要欄ニハ所在地外巡視ノ日數及巡視缺略ノ事由其他必要ト認ムル事項ヲ記入スルモノトス但シ監視區監督及巡視區監督巡視ニ對シテハ尚在廳日數、出張日數、非番、日數缺勤日數等ヲ記入スルモノトス

九　缺略事由ハ出張、缺勤、轉任、兼務其他特發ノ事由ニ基ク場合例ヘハ「コレラ」發生臨時防疫ニ從事シ又ハ同僚長日間ノ病氣ニ依リ兼務ヲ爲セル場合若ハ巡査教習生教習ノ任ヲ兼ネタル場合等ノ外單ニ事務多忙ノミヲ以テ缺略ノ事由トナラサルモノトス

前項ノ出張、缺勤、兼務ハ日數ヲ轉任ハ著任月日ヲ第八號但書ト重復セサル場合ニハ記入スルモノトス

十　轉任又ハ兼務ノ場合ハ新舊本務兼務トモ各別欄ニ記載スルモノトス

第五號樣式

摘要	記載事項
五月十日	午前十時所在地巡視中何街ヲ通過セシニ數輛ノ車 警邏ニ關シ訓戒	午前十時所在地巡視中何街ヲ通過セシニ數輛ノ車 ヲ狹隘ナル街路ニ橫ヘアルノミナラス何商店及何 料理店前ノ如キハ藥屑等ヲ下水溝中ニ投棄シアル ヲ恰モ同前ニ刻ニ同街路ヲ警邏セシ何巡査ハ何等ノ 注意ヲモ加ヘサリシヲ以テ其ノ不注意ニ付キ深ク 訓戒シ置キタリ
	日誌記載方ニ關シ注意	巡査何某ハ今朝點檢ノ際手帖ヲ檢スルニ二三ノ說 諭事故ヲ記載シ居リナカラ勤務表ニ記載方ヲ怠リ 居ルニ付歸所ノ上直ニ勤務表ニ登載セサルヘカラ サル旨注意ス
	懲罰上申	巡査何某ハ九日午後十一時所在地警邏ノ際第三警 邏函所在地ノ警邏ヲ怠リ居リナカラ勤務表ニハ恰 モ全周シタル如ク捺印セシヲ以テ相當處分方上申
	識印　監督官認印	
五月十一日		
午前六時警察署（郡役所）出發第何監視區何々派出所ノ巡視ヲ了ヘ午後六時歸署（所）ス其ノ狀況左ノ如シ 午前八時何々派出所ニ於ケル巡視狀況 同派出所ニ出勤シ巡查何某ハ勤務表ヲ認メツツ 巡查何某ハ村落警邏ニ出發セシ時ナリキ直ニ 歸ハ類ノ檢閱ヲ始メ同十時ニ了リ乙種點檢及土語法	

第六號樣式

六月八日	告發	臺南停車場取締中午前十時頃明治町二丁目十番地山田岩吉當二十八年ハ街路ニ於テ放尿セルヲ現認シタルヲ以テ告發スルヲ但シ本人ハ逃走ノ虞ナキニ付臺灣遵警例第一條ニ依リ歸宅セシム一件男一名
	酔漢說諭	午前十一時所在地警邏中西門町五丁目一路上ニ酔漢アルヲ認メ呼起シタルニ同人ハ東門町一丁目五番地内海春藏當三十二年ニシテ昨夜十時頃於テ飲酒シ新町何樓ニ登リ途中酔ヒ隊ヲ組ミ旨申立悔悟スルニ付將來戒メ歸宅セシム一件男一名遊戲中同日何庄何某ノ兒童數名ヲ溪中ニ誘ヒ込ミ將ニ溺死セシメントスルヲ目擊シ同人ノ父何庄何番地何某ニ引渡シタリ一件男一名
	救助人命	

第七號樣式

	調授事項	遂行ノ顚末
何月何日	何庄何所ヨリ何所ニ通スル何々ノ土橋破壞シ交通上危險ニ付至急修繕セシムヘシ㊞監督者	何月何日第何保何一甲民ヲシテ修繕セシム㊞受調者
	一　何々簿何ノ記載方誤記ニ付キ訂正スヘシ㊞	一　卽日訂正ス㊞

	交通上ノ說諭	午前十一時ヨリ同十二時迄所在地警邏中交通ノ妨害トナルヘキ場所ニ長大ノ物件ヲ放置シアルモノアリタルヲ以テ其ノ所有者何町丁目何番地何某ニ對シ嚴重戒メ置キタリ一件男一名
	衞生上ノ說諭	午前十時ヨリ同十一時迄所在地警邏中市場内ニ於テ何町丁目何番地何某ハ飲食物ニ覆蓋ヲナサス陳列シ販賣セントセルヲ以テ直ニ覆蓋ヲナサシメ嚴重將來ヲ戒メ置キタリ一件男一名
六月九日		
六月十日	行政上ノ說諭	午後六時ヨリ何劇場ニ臨檢中何町何丁目何番地ノ何某カ奇摩ヲ發シ興行ノ妨害トナルヘキ行爲ヲ以テ深ク其ノ不心得ヲ諭シ置キタリ一件男一名
	消毒法施行	何丁目何番地林泰生長男林阿生當三十年ハ擬似虎列拉病ニ罹リタルヲ以テ屆出テニ付取調ノ上直ニ報告シ何警部補ノ命ヲ承ケ人夫何名ヲ指揮シ午後二時ヨリ患家及隣家何某方ヲ始メ附近ノ家屋ニ消毒法ヲ施行シ同七時歸所ス本件ハ直ニ郡守、警察署長ニ報告ス
	識印　監督官認印	

第八號樣式（用紙美濃紙）

大正　年第　回定期甲乙種巡查召集成績表　月　日

事項	時間	摘要
訓授	一時三〇分	郡守又ハ警察署長訓授 (一)何々ニ關スル件　(二)何々 (一)警察課長又ハ何警部警部補訓授 何々ニ關スル件
點檢及操練	一時三〇分	總員何名召集人員何名病氣何名出張何名 甲種點檢ヲ施行セシニ何々 操練ハ何々
講習 學術	一時三〇分	何警部（補）ハ何々ヲ取締規則ニ付講習及試問ヲナス何々ニ付說明ヲ與フ
講習 武術	一時三〇分	何警部（補）ハ監督シ何教師指導ヲナス 劍道講習員何名柔道講習員何名其ノ狀況 何々
狀況報告	一時〇分	何派出所巡查何某ハ何々ニ關スル郡民ノ意嚮ヲ報告ス何巡查ハ何々
其他	三〇分	要視察人異動ノ其ノ他ニ何々ノ事項ニ付何警部補ヲ參加打合ヲ爲サシム
計	八時〇分	

右報告候也

何郡守（何警察署長）

大正　年　月　日　　某　臺

臺南州知事　殿

記載例

一　回數ノ記入方ハ甲乙種巡查ヲ通シ年回數ト爲スヘシ

但シ召集一回ト稱スルハ甲種乙種ハ各々一回トシ、同種ノモノハ日時場所ヲ異ニスルモ合シテ一回トス

二 臨時召集ノ場合ハ本表ニ準シ記入スルモノトス

三 相當事故ニ因リ施行事項ノ內一部缺略シタルトキハ其ノ旨摘要欄內ニ記入スルモノトス

四 本表各事項ニ對スル時間ハ假例トシテ記載セルモノニ付伸縮スルヲ妨ケス

五 召集ノ場所ハ最初ノ行ニ何郡又ハ何郡警察課何分室警察署ト記入スルモノトス

●巡査部長服務規程

大正十二年十二月
臺南州訓令第五十六號
警務部 郡役所 警察署

第一條 巡査部長ハ臺灣總督府地方警察配置及勤務規程同施行細則（以下單ニ施行細則ト稱ス）竝別ニ規程アルモノノ外本規程ニ依リ服務スヘシ

第二條 巡査部長ハ部下巡査ノ儀表トナリ忠實勤勉監督補助ノ任ニ膺リ他ニ範ヲ示スコトニ心掛クヘシ

第三條 部下ニ對シテハ溫情ヲ旨トシ過失ヲ規正シ上意ヲ下達シ下情ヲ上達シ監督上ノ周匝ヲ期スヘシ

第四條 內勤巡查部長ハ內勤事務ヲ分擔スルノ外左ノ事項ニ付內勤巡查ノ監督ニ關シ警部、警部補ノ職務ヲ補助シ必要アルトキハ上司ニ具狀スヘシ

一 內勤職員ノ規律ノ弛張、品行ノ良否勤務ノ勉否竝家庭ノ狀況

二 內勤職員ノ事務分掌竝執務ノ適否

三 文書簿册ノ取扱整理保存ノ狀況

四 廳舍留置場其ノ他建設物管理ノ狀況

五 留置人檢束者取扱ノ適否

六 備品保管品ノ保存整理ノ狀況

七 給貸與品保存ノ狀況

八 官印保管ノ狀況

九 火氣取扱ノ狀況

十 宿直ノ狀況

十一 人民接遇ノ狀況

十二 其ノ他內勤事務監督上必要ノ事項

第五條 外勤巡查部長ハ監視區監督ノ指揮監督ヲ受ケ監督分擔區ニ於ケル監視區監督ノ職務ヲ補助スヘシ

警察署在勤ノ外勤巡查部長ハ隔日勤務ノ當日ニ限リ所在地ニ於ケル他ノ監督分擔區ノ監督巡視ヲナスヘシ

第六條 巡查部長監督巡視ノ際ハ施行細則第百三條ノ外左ノ事項ヲ注意視察スヘシ

一 品行ノ良否家庭ノ狀況

二 交際シ又ハ出入スル人物及近隣居住者トノ關係

三 犯罪搜查ノ成績

四 部民信用ノ程度

五 職務上ノ趣味及特技

第七條 施行細則第百十一條ニ依リ巡查部長ノ爲スヘキ實地ノ監查及保甲壯丁團竝戶口調查副簿ノ監查ハ左ノ各號ニ依ルヘシ但シ第五條第二項ノ場合ハ他ノ監督分擔區ニ對スル監查ヲ省略スルコトヲ得

一 高等警察上要視察人視察ノ適否

每月郡直轄又ハ各派出所部內ノ五分ノ一以上（五月ニシテ全部ニ亙ル以下之ニ倣フ）

二 刑事警察上要視察人或告浮浪者及不良青少年少女視察ノ適否每月郡直轄又ハ各派出所部內ノ十分ノ一以上

三 警察取締營業臨檢ノ適否

每月郡直轄又ハ各派出所部內ノ十分ノ一以上（警察署竝嘉義郡役所所在地ハ十二分ノ一以上）

四 阿片各種特許者視察ノ適否

每月郡直轄又ハ各派出所部內ノ十分ノ一以上

五 戶口實查ノ適否

每月郡直轄又ハ各派出所部內十戶以上（警察署所在地ハ二十戶以上百戶以內ノ派出所ハ五戶以上）

六 戶口調查副簿ノ整否

每月郡直轄又ハ各派出所部內ノ二十分ノ一以上

七 市場及屠場ノ狀況

每月各場一回以上

八 保甲及壯丁團ノ狀況

每月郡直轄又ハ各派出所部內一回以上

九 警邏ノ狀況

每月警察署竝嘉義郡役所所在地各派出所部內三周以上

所在地竝駐在地外各派出所部內每五月一周以上

第八條 他ノ監督分擔區ヲ兼務スル者ハ前條ノ監查回數ヲ各種半減スルコトヲ得

五日以上特種ノ勤務ニ從事シ又ハ疾病其ノ他ノ事故ノ爲メ缺勤シタルトキハ其ノ日數相當ノ回數ヲ減スルコトヲ得

第九條 第七條ニ依リ爲シタル監督ノ狀況ハ別記樣式ニヨリ翌月五日限リ監視區監督ヲ經由シ郡守警察署長ニ報告スヘシ

第十條 刑事又ハ特務勤務ニ從事スル巡查部長ハ各其ノ事務ノ性質ニ從ヒ警部、警部補ノ職務ヲ補助シ其ノ執行ニ從事スヘシ

附 則

本令ハ大正十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

別記樣式（半紙型）

大正 年 月 日

第 監視區第 分擔區
巡查部長 何 某㊞

監查報告書

大正 年 月分

直轄又ハ派出所名	種別	箇所員數	監查所要員數	監查回數	監查ノ要領
一	高等警察要視察人				
二	刑事警察要視察人				

三 警察取締營業				
四 阿片各種特許者				
五 戸口實査				
六 戸口調査副簿				
七 市場屠場				
八 保甲及壯丁團				
九 警察署竝嘉義郡役所所在地警邏				
十 所在地駐在地外警邏				
計				
同前				

（注意）

一 各期間内ニ重復監査ヲ爲シタルトキハ其ノ數ヲ左側ニ朱書スヘシ

二 所在地外警邏ハ箇所員數欄ニ警邏函ノ數ヲ掲クヘシ

三 監査ノ要領欄ハ監査成績竝處置ノ概要ヲ掲クヘシ

〔臺南警〕

●警察特殊勤務規程

大正十二年十一月
臺南州訓令第四十八號

警務部　郡役所　警察署

第一章　通則

第一條 本令ニ於テ特殊勤務ト稱スルハ水上警察、請願、停車場取締及法廷取締ヲ謂ヒ特殊勤務員ト稱スルハ是等ノ勤務ニ服スル警察官吏ヲ謂フ

第二條 特殊勤務員ハ臺灣總督府地方警察配置及勤務規程竝同施行細則其ノ他別ニ規定アルモノニ依ルノ外本規程ニ依リ服務スヘシ

第三條 特殊勤務員ハ常ニ其ノ所在地警察官吏派出所員竝職務上關係ヲ有スル職員ト相互連絡ヲ保持シ警察事務遂行上支障ナキヲ期スヘシ

第四條 特殊勤務員ハ其ノ勤務所又ハ詰所所在地所轄監視區ニ屬ス但シ水上警察官吏派出所ハ別ニ定ムル處ニ依ル

第五條 特殊勤務員ニ對スル點檢、訓授、學術講習及定期召集ニ關シテハ一般勤務員ノ例ニ依ル但シ勤務ノ性質上本例ニ依ル能ハサルモノハ郡守又ハ警察署長ニ於テ適宜變更スルコトヲ得

第六條 特殊勤務員ノ勤務所又ハ詰所ニハ左ノ簿冊ヲ備フヘシ但シ水上警察官吏派出所ハ一般警察官吏派出所ノ例ニ依ル

一 日誌
二 勤務表
三 例規編
四 訓授錄
五 文書逘付簿
六 金品逘付簿
七 司法捜査ニ關スル書類編
八 行政捜査ニ關スル書類編
九 警察報
十 雜書編
十一 備品保管簿
十二 簿册目錄

前項ノ簿册ハ郡守又ハ警察署長ニ於テ必要アリト認メタルトキハ之ヲ增減シ報告スヘシ

水上警察官吏派出所ニシテ他ノ警察官吏派出所ニ併置サレタル場合一般警察官吏派出所ノ簿册ト共用ヲ爲シ得ルモノハ之ヲ省略スルコトヲ得

第二章　水上警察

第七條 水上警察勤務員ハ日勤トシ見張、警邏、船舶臨檢及其ノ他ノ勤務ニ區別シ監視區監督之ヲ指定ス

第八條 見張ハ特ニ必要アリト認メタル場合上官ノ指揮ニ依リ沿岸又ハ適當ノ場所ニ在リテ水上ヲ監視警戒スヘシ

第九條 警邏ハ沿岸及水上ニ區別シ郡守、警察署長其ノ區域、線路周數竝方法ヲ定メ圖面ヲ添ヘ報告スヘシ變更シタルトキ亦同シ

第十條 船舶臨檢ハ船舶出入ノ都度又ハ碇泊中ノモノニ就キ之ヲ行ヒ乘組員又ハ乘客ノ動靜、健康、狀態、携帶品又ハ積載貨物等ニ就キ視察スヘシ

第十一條 勤務員ハ勤務中左ノ各號ニ注意スヘシ

一 内外船舶ノ出入ニ注意シ各種異樣ノ信號等ヲ爲スモノナキヤ
二 乘組員又ハ乘客ニ擧動不審者、密渡航者若ハ傳染病患者等ナキヤ
三 密輸移出入品、禁制品又ハ危險物等ノ陸揚又ハ積載等ヲ爲スモノナキヤ
四 積載貨物ノ拔取、賭博、婦女誘拐其ノ他ノ犯罪行爲ナキヤ
五 航路標識、堤防又ハ貨物積載場等ヲ汚損スルモノナキヤ
六 指定以外ノ場所ニ船舶ヲ碇泊、繫留シ又ハ濫ニ指定位置ヲ變更スルモノナキヤ
七 自殺者、溺死者又ハ難破船等ナキヤ
八 病毒汚染ノ虞アル河海ニ於テ游泳、漁撈ヲ爲シ又ハ河海水ヲ使用スルモノナキヤ
九 過重ノ貨客ヲ積載シ又ハ規定以外ノ賃金ヲ要求シ其ノ他不都合ノ虞爲アルモノナキヤ
十 其ノ他警察上注意ヲ要スヘキ事項

第十二條 警邏船ハ事ニ當リテ支障ナキ樣平素諸般ノ準備ヲ爲シ置クヘシ

第十三條 難破船又ハ船舶火災ノ場合ハ郡役所又ハ警察署ニ急報スルト同時ニ機宜ノ措置ヲ採ルヘシ

第十四條 暴風雨ノ警報ヲ受ケタルトキハ速ニ信號ヲ掲ケ各船舶竝關係方面ニ急報シ警戒ヲ爲スヘシ

第十五條 水上警察官吏派出所ニ備付クル須知簿ニハ一般記載事項ノ外左ノ事項ヲ登載スヘシ但シ水上警察官吏派出所ニシテ一般警察官吏派

〔臺南警〕

出所ニ併置サレタル場合ハ一般記載事項ハ之ヲ省略シ相互共用スルコトヲ得

一 所轄港灣ノ位置、狀況
二 棧橋、埠頭ノ位置及管理者ノ氏名
三 航路標識ノ位置
四 燈臺ノ位置及名稱
五 戎克船、艀船等ノ定繫場ノ位置
六 海水浴場ノ位置、境界
七 定期船ノ名稱、噸數、船籍港、出入港期、船長、事務長ノ氏名、住所
八 船舶所有者ノ住所、氏名、所有船名、石噸數
九 水先案內者ノ住所、氏名
十 重ナル檢疫出入貨物ノ種類、數量、價格、竝檢疫出入先地名
十一 水上警察官吏派出所ノ沿革及所員ノ異動

第十六條 監督巡視ニ關シテハ郡守、警察署長之ヲ定メ報告スヘシ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

第三章 請願

第十七條 請願巡査ハ請願ノ目的ニ從ヒ諸般ノ警戒及取締ニ從事スヘシ

第十八條 一般警察事項ニ就キテハ他ノ一般勤務員ニ讓ルヘキモノナルモ事急施ヲ要スト認ムル場合ハ臨機ノ措置ヲ爲スヘシ

第十九條 請願巡査ハ濫ニ警察以外ノ事項ニ關與シ又ハ請願ノ目的以外ノ事項ニ關シ請願者ノ要求ニ應スヘカラス但シ上官ノ指揮アリタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十條 請願巡査ハ當ニ請願者ノ業態及民情ニ注意シ其ノ狀況ハ隨時報告スヘシ

第二十一條 請願巡査ノ勤務方法ハ本章ニ依ルノ外各勤務所毎ニ郡守、警察署長之ヲ定メ報告スヘシ之ヲ變更シタルトキハ亦同シ

第四章 停車場取締

第二十二條 停車場取締ノ巡査ハ旅客及交通上ニ關シ停車場內外ノ取締ニ從事スヘシ

第二十三條 勤務中旅客乘降場ニ立入ムトスルトキハ停車場職員ニ其ノ旨通告スヘシ但シ事急施ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十四條 勤務中ハ左ノ事項ニ注意シ特ニ必要アリト認ムル事項ハ其ノ狀況ヲ隨時報告スヘシ

一 捜査中ノ者又ハ警察上注意ヲ要スル者ノ往來スルコトナキヤ
二 擧動不審者又ハ疑ハシキ物品ヲ携帶スル者ナキヤ
三 掏摸、誘拐其ノ他犯罪行爲ヲ爲スモノナキヤ
四 情神病者又ハ家出人其ノ他保護ヲ要スル者ナキヤ
五 車夫客引等ニシテ他人ノ迷惑トナルヘキ行爲又ハ不正ノ行爲ヲ爲ス者ナキヤ
六 出、改札口其ノ他ニ於テ混雜ヲ來スヘキ行爲ヲ爲ス者ナキヤ
七 構內ニ塵芥ヲ散亂シ容器外ニ唾吐ヲ吐キ又ハ他人ノ迷惑トナルヘキ行爲ヲ爲ス者ナキヤ
八 衞生上有害ト認ムル物品ヲ販賣スル者ナキヤ
九 其ノ他警察上必要ト認ムル事項

第二十五條 停車場勤務員ノ勤務方法ハ郡守、警察署長之ヲ定メ報告ス

ヘシ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

第五章 法廷取締

第二十六條 法廷取締員ノ勤務ハ日勤トシ一般外勤者ノ例ニ依ル

第二十七條 令狀ノ執行、囚人及刑事被告人竝其ノ携帶品ノ取扱ニ關シテハ檢察官ノ指揮ニ從フ外勤務規程施行細則第七章及第八章ノ規程ニ依ルヘシ

附 則

本令ハ大正十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス
大正七年臺南廳訓令第七號大正七年嘉義廳訓令第七號及大正八年臺南廳訓令第二十四號ハ之ヲ廢止ス

●市街地警察官吏派出所巡査勤務規程

大正十二年十二月
臺南州訓令第五十二號

改正 昭和二年訓第五號

警務部 郡役所 警察署

第一條 市街地警察官吏派出所(以下單ニ派出所ト稱ス)ニ勤務スル外勤巡査ハ臺灣總督府地方警察配置及勤務規程竝同施行細則其ノ他別ニ規定アルモノノ外本規程ニ依リ勤務スヘシ

第二條 派出所ニ勤務スル外勤巡査ハ之ヲ三部ニ分チ各部二人以上ヲ以テ組織スヘシ

第三條 各部ノ勤務ハ當直、日勤及非番ノ三種トス
當直勤務者ハ十四時間乃至十六時間、日勤勤務者ハ八時間乃至十時間勤務スヘシ

第四條 各部ノ勤務ハ次ノ順序ニ依ルヘシ

第五條 (削除)

日順	區別	第一部	第二部	第三部
第一日	當直	日勤	非番	
第二日	非番	當直	日勤	
第三日	日勤	非番	當直	

●市街地警察官吏派出所巡査勤務規程施行ノ件

大正十二年十二月
南警第一六四八二號

改正 昭和三年二月南警第三九〇號

大正十二年十二月訓令第五十二號市街地警察官吏派出所巡査勤務規程ヲ施行スヘキ派出所左ノ通指定候條
右通達ス

記

錦 町警察官吏派出所
開山町警察官吏派出所
壽 町警察官吏派出所
本 町警察官吏派出所
明治町警察官吏派出所

大宮町警察官吏派出所
新　町警察官吏派出所
永樂町警察官吏派出所
福住町警察官吏派出所

●臺灣總督府州廳巡査休暇規程施行細則

大正十一年一月
臺南州訓令第一號

警務部　郡役所　警察署　警察分署

臺灣總督府、州廳巡査休暇規程施行細則左ノ通相定ム

臺灣總督府州、廳巡査休暇規程施行細則

第一條　臺灣總督府、州廳巡査休暇規程（以下單ニ規程ト稱ス）ニ依リ休暇ヲ得ントスル場合ハ書面ヲ以テ願出テ許可ヲ受クヘシ

第二條　規程第四條、第五條ニ依リ休暇ヲ得ムトスル場合ハ其ノ事由行先地及期間ヲ詳記シ醫師ノ診斷書ヲ添附スヘシ

規程第五條ノ願出テニ當リ診斷書ヲ添附スルコト能ハサル事情アルトキハ其ノ事實ヲ證スヘキ文書ヲ添附スヘシ此ノ場合ニ在リテハ目的地到著ノ日ヨリ三日以內ニ前項ノ診斷書ヲ發送スヘシ

第三條　規程第七條又ハ第八條ニ依リ旅行又ハ缺勤ノ許可ヲ得ムトスル場合ハ其ノ事由行先地及期間ヲ詳記シ願出ツヘシ

第四條　休暇ノ追願ヲ爲サムトスル場合ハ前三條ニ依リ相當ノ手續ヲ爲スヘシ

追願ニ當リ許可期間經過ノ虞アルトキハ電報又ハ電話ヲ以テ願出テ同時ニ前項ノ手續ヲ爲スヘシ

第五條　轉地療養、看護歸省及旅行中天災其ノ他避クヘカラサル事變ノ爲許可期間內ニ歸還スルコト能ハサル場合ハ其ノ旨申出テ承認ヲ受クヘシ若承認ヲ受ケ難キ事情アル場合ハ歸還後其ノ旨ヲ疏明シ追認ヲ請フコトヲ得

第六條　轉地療養、看護歸省又ハ旅行ノ許可ヲ受ケタル者勤務地發著竝目的地到著ノ際ハ其ノ都度屆出ツヘシ

第七條　郡守、警察署長又ハ警察分署長前數條ニ依ル願屆書ヲ受理シタルトキハ事務委任規程ニ依リ自ラ處理スヘキモノノ外事情ヲ審査シ意見ヲ附シテ進達スヘシ

第八條　休暇ヲ許可シタルトキハ別記第一號樣式ニ依リ指令ヲ交附スヘシ但シ本島內ニ係ルモノハ之ヲ省略スルコトヲ得

第九條　規程第一條第一項ノ休暇ハ一年內三十日ヲ越ユルコトヲ得ス

第十條　警務部、郡役所、警察署、警察分署ニハ別記第二號樣式ノ慰勞休暇原簿ヲ備ヘ慰勞休暇ニ關スル事項ヲ整理スヘシ

慰勞休暇原簿ハ本人轉勤シタルトキハ轉勤先ヘ送付スヘシ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一號樣式（用紙美濃半切）

南警第　號

何郡勤務

（巡査部長）巡査

大正　年　月　日　付願何日間

何々　ノ件許可ス

大正　年　月　日

臺南州知事　名

臺南州

第二號樣式（用紙美濃紙）

年　月　日拜命　職氏名

皆勤期間	休暇種別	日數	期間	休暇許可日數	休暇殘日數	備考
自大正年月日 至大正年月日			自大正年月日 至大正年月日			

慰勞休暇原簿　臺南州

皆勤期間	休暇種別	日數	期間	休暇許可日數	休暇殘日數	備考
自大正年月日 至大正年月日			自大正年月日 至大正年月日			

●巡査ノ休暇ニ關スル件

大正十四年六月十二日
南警第四四五四號

各郡守　署長宛

北港及嘉義兩郡下事務監査ノ結果巡査ノ休暇許可日數規程以上ニ達セルモノ往々發見致シ候處之レ全ク休暇規定施行細則第九條ノ解釋ヲ誤リタルニ基因セルモノト思料サレ同條ノ一年內トハ曆年ニ非スシテ休暇ノ發生シタル日ヨリ向フ一ケ年間ヲ指稱シタルモノニシテ其ノ後ノ殘休暇日數ヲ通算セサル樣御留意相成度右依命通達ス

參照

第一條　六月以上皆勤シタル者ニハ左ノ區別ニ從ヒ慰勞休暇ヲ與フルコトヲ得

一　六月皆勤　十日
二　一年皆勤　三十日
（第二項省略）

同規程施行細則

第九條　規程第一條第一項ノ休假ハ一年內三十日ヲ超ユルコトヲ得ス

●警衞規程施行細則ニ關スル件

昭和四年十月四日
南警第三〇七七號

警衞規程施行細則別記ノ通相定メ候條警衞規程ニ依ルノ外爾今本細則ニ依リ警衞上遺憾ナキヲ期セラレ度

右依命通達ス

追而本年五月十四日附南警第六一〇號ノ中近ク發布スヘキ施行細則トハ本則ヲ云フモノニ有之候條申添候

目次

第一章　總則
第二章　警衞配置
第三章　行列ニ加ハリテナス警衞
第四章　途上ニ於ケル警衞
第五章　汽車内及鐵道沿線ニ於ケル警衞
第六章　交通取締
第七章　一般群集ニ對スル取締
第八章　水上ニ於ケル警衞
第九章　御泊所ニ於ケル警衞
第十章　御巡覽所ニ於ケル警衞
第十一章　警衞部署
第十二章　服裝
第十三章　報告通報
第十四章　警衞豫備員其ノ他
第十五章　非常御立退ノ場合ニ於ケル警衞
第十六章　間接警衞
警衞規程施行細則

第一章　總則

第一條　警衞ハ警衞規程及別ニ定メラレタルモノノ外本則ニ依リ行フヘシ

第二條　郡守、警察署長ハ豫テ警衞動務ニ關シ訓授應問竝實務ノ訓練ヲ行フヘシ

第三條　郡守、警察署長ハ警衞配置ニ先立チ警衞員ニ對シ警衞員ノ注意事項ニ付訓授應問ヲ行ヒ且服裝携帶品ヲ點檢スヘシ

應援ノ爲メ警衞員ヲ他ニ派遣セムトスルトキ亦同シ

第四條　警衞員ハ職責ノ重大ナルヲ自覺シ自己ノ擔當區域又ハ受持區域ニ對シテハ全責任ヲ負ヒ常ニ相互間ノ連絡ヲ保持スヘシ

第五條　警衞員ハ注意周到處理敏活緩急ニ應シ事宜シキニ處スルノ覺悟アルヲ要ス

第六條　警衞員ハ不體裁ニ亙ラサル限リ自由ノ姿勢ヲ執リ硬直畏縮ニ失セス深ク群衆ノ動靜ニ注意スヘシ

第七條　受持區域内ニ於テハ觀察取締ノ遺漏ナキヲ期シ若シ不審者ヲ認メタルトキハ敏速機宜ノ措置ヲ爲シ苟モ遲疑スル所ナキヲ要ス但シ其ノ輕微ナルモノハ警戒ヲ解キタル後處理スヘシ

第八條　警衞員動務中ハ職務上ニ關スル應答ノ外濫ニ談話スヘカラス

第九條　警衞員動務中ハ濫ニ指定ノ區域ヲ離ルヘカラス

第十條　警衞員ハ特ニ飲酒ヲ愼ミ動務中ハ喫煙スヘカラス

第十一條　群衆ニ對シテハ專ラ丁寧懇切ヲ旨トシ且輕擧盲動ヲ愼ムヘシ

第十二條　事ヲ處スルニ方リテハ努メテ人目ヲ惹カサル樣注意シ制止說諭等ハ成ルヘク其ノ人ニ近寄リテ穩和ナル言語又ハ形容ヲ以テシ苟モ大聲ヲ發スル等威權濶間敷キ言行ヲ爲シ不快ノ念ヲ抱カシムルカ如キ事ナキヲ要ス

第十三條　群衆ヨリ嘲弄輕侮ヲ受クルモ隱忍自重シテ憤怒ノ色ヲ現ハスコトナク苟モ群衆トノ間ニ事端ヲ惹起スルカ如キコトナキヲ要ス

第十四條　御道筋又ハ其ノ附近ニ於テ出火其ノ他ノ事故突發シタルトキハ努メテ一般人心ノ動搖セサル樣注意スヘシ

第二章　警衞配置

第十五條　郡守、警察署長ハ配置要圖又ハ實地ニ就キ監督員ニ對シ相當區域及警衞配置方法ヲ示シ且特殊ノ任務又ハ必要ナル事項ヲ指示スヘシ

第十六條　監督員ハ警衞員ニ對シ實地ニ就キ配置ノ位置受持區域及前項ノ事情ヲ指示スヘシ

第十七條　私服警衞員ノ受持區域ハ前項ニ準シ土地ノ狀況ニ依リ監督員實地ニ就キ之ヲ指示スヘシ

第三章　行列ニ加ハリテナス警衞

第十八條　規程第四條ニ依ル前驅後驅及側近警衞員ハ御發前ニ指定ノ場所ニ到著シ其ノ旨上官又ハ係員ニ申告スヘシ

第十九條　先乘ハ御出發三十分前ニ御門前又ハ指定ノ場所ニ位置シ御進發ヲ認メタルトキハ直ニ出發スヘシ

第二十條　前驅後驅及側近警衞員ハ絕エス周密ナル注意ヲ拂ヒ若シ御列ニ接近セムトスル者アルトキハ直ニ之ヲ抑制スヘシ

第四章　途上ニ於ケル警衞

第二十一條　途上ニ於ケル警衞ハ御道筋ノ要所ニ警衞員ヲ配置スルモノトス

第二十二條　御道筋ハ有效幅員三間以上ヲ存セサル場所ニ於テハ群衆ヲ堵列セシメス便宜ノ地點ニ集ムヘシ但シ有效幅員ニ達セサル場所ト雖其ノ御道筋ノ沿線ニ居住スル者等ニシテ支障ナキトキハ此ノ限ニアラス

第二十三條　制服警衞員先乘ヲ認メタルトキハ群衆ニ注意ヲ與ヘ適當ノ所ニ位置シ絕エス視線ヲ群衆ニ注キ瞬時ト雖其ノ動靜ニ注意ヲ怠ルヘカラス

第二十四條　警衞員ハ御列通過後其ノ最後尾約百米ヲ過クル迄群衆ヲシテ依然其ノ位置ヲ保タシメ亂雜ニ渉ラサル樣注意スヘシ

第二十五條　群衆退散ノ際ハ通路ノ中央ニ位置シ左側通行ヲ勵行スヘシ

第二十六條　警衞員ハ群衆ノ退散ト共ニ直ニ豫テ命セラレタル任務ニ服シ又ハ所定ノ個所ニ集合シテ待命スヘシ

第五章　汽車内及鐵道沿線ニ於ケル警衞

第一　汽車内警衞

第二十七條　規程第六條ニ依ル汽車内警衞ノ警部又ハ警部補ハ御召車前後ノ昇降臺ニ位置シテ直接警衞ヲ爲スヘシ

第二十八條　御召列車停車シタルトキハ前號ノ警衞員ハ直ニ下車シテ御召車ノ一側ニ對向停止シテ警衞スヘシ

第二十九條　警衞員他州廳警衞員ト交代スルトキハ警衞ノ狀況其ノ他注意スヘキ事項ヲ引繼クヘシ

第二　鐵道沿線ニ於ケル警衞

第三十條　鐵道沿線ニ於ケル警衞ハ停車場踏切隧道出入口、橋梁カーブ又ハ民屋ニ接近シタル場所其ノ他警察上必要ナリト認ムル個所ニ警衞員ヲ配置スルモノトス

第三十一條　停車場ノ警衛ハ御召列車ノ通過停車又ハ乘降驛ニ區分シ且土地ノ狀況ヲ參酌シテ警衛員ヲ配置スヘシ

第三十二條　停車場警衛員ハ絕エス鐵道當局ト連絡ヲ保チ特ニ「プラツトホーム」入場者ニ注意スヘシ

第三十三條　警衛員ハ特ニ左ノ諸點ニ注意スヘシ

(イ)　跨線橋踏切橋梁等ノ注意警戒

(ロ)　線路外ヨリ線路內ヘ侵入セムトスルモノ(人畜)ノ阻止及線路ニ故障ヲ加ヘムトスルモノヽ排除

(ハ)　線路外ヨリ列車ニ向ケ不逞行爲ヲ爲サムトスル者ノ計劃竝其ノ實行ノ發見阻止

第三十四條　以上ノ外途上ニ於ケル警衛ニ關スル規程ヲ準用スヘシ

第六章　交通取締

第三十五條　御通過時刻前十分間ハ事情已ムヲ得サル場合ノ外通行ヲ差控ヘシムヘシ但シ單獨ノ通行人ハ同五分間前迄尙單ニ十字路等ヲ橫斷セントスル者ハ御進發合圖ノ先乘ヲ認ムル迄之ヲ認許スルモ妨ナシ前號ノ時間ハ必要ニ應シ伸縮スルコトアルヘシ郵便電信配達人ニ對シテハ警衛上支障ナキ限リ特ニ便宜ヲ圖ルヘシ

第三十六條　諸車ニ在リテハ前項ノ規定ニ拘ラス豫メ成ルヘク他ニ避讓セシムヘシ但シ御用荷物運搬車又ハ郵便車ニ對シテハ特ニ便宜ヲ圖ルヘシ

第七章　一般群衆ニ對スル取締

第三十七條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ御道筋御泊所又ハ御巡覽所及其ノ附近ニ立入ラシムヘカラス

一　精神病者、白痴及泥醉者

二　傳染性疾患アル者

三　掏摸常習者

四　乞食

五　戎器刀劍其ノ他危險物ヲ攜帶スル者

六　前各號ノ外公安風俗ヲ紊ス虞アル者

第三十八條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ之ヲ制止スヘシ但シ制止ヲ肯セサル者又ハ事情急迫ノ場合ハ之ヲ取押ヘ附近ノ警衛員ト協力シ適當ナル處置ヲナスヘシ

一　御列ニ接近シ又ハ之ヲ橫切ラントスル者

二　許可ヲ得ス又ハ指定ノ箇所以外ニ於テ活動寫眞又ハ普通寫眞ヲ撮影セムトスル者

三　寫眞撮影ニ當リ許可ノ條件若ハ指示ニ違背シ其ノ他不敬ニ涉ル行爲アル者

四　異樣ノ容裝ヲ爲シ御道筋其ノ他ニ立入ラムトスル者

五　特ニ團體ノ爲ニ割當シタル場所ニ其ノ團體員ニ非スシテ立入ラムトスル者

六　喧噪混雜其ノ他不敬ニ涉ル行爲ヲ爲ス者

七　堵列者ヲ押分ケ前面ニ立出テ又ハ後方ヨリ押寄セ若ハ他所ヨリ前面ニ立塞ル者

第八章　水上ニ於ケル警衛

第三十九條　汽艇御列ノ進路ニハ警衛員ヲ艀船其ノ他ニ乘込マシメ適當ノ位置ニ之ヲ配置スヘシ

第四十條　港內及沿岸警衛員ハ御著港御巡覽又ハ御乘船前港內船舶及其ノ乘組員ノ取締ニ任シ且必要アリト認ムルトキハ船舶ニ臨檢シテ檢索スヘシ但シ外國船ニ付テハ事急速ヲ要スル場合ノ外監督員ノ指揮ヲ受クヘシ

第四十一條　沿岸ニ於ケル群衆ハ海際ヨリ適當ノ間隔ヲ保持セシムヘシ

第四十二條　以上ノ外途上ニ於ケル警衛ニ關スル規定ヲ準用スヘシ

第九章　御泊所ニ於ケル警衛

第四十三條　御泊所ノ警衛員ハ身幹長大ニシテ姿勢正シク溫良且機敏ナル者ヲ選ヒ就中正門ノ警衛ニ當ル者ハ特ニ人選スヘシ

第四十四條　御泊所豫メ其ノ內外ヲ檢索シ且御著前日ヨリ相當警戒スヘシ

第四十五條　正門ハ左ニ揭クル者ノ外通行セシムヘカラス

一　供奉者

二　拜謁者

三　伺候者

四　文武高等官

五　特ニ召サレタル者

六　供奉員徽章又ハ係員徽章ヲ佩用者

七　前各號ノ者ノ外乘馬車ノ際ハ之ニ隨從スル車夫、馬丁及運轉手

第四十六條　通用門ヲ通行シ得ヘキ者左ノ如シ

一　門鑰ヲ交付セラレタル者

二　郵便電信集配人

第四十七條　前二項ニ該當スル者ト雖其ノ擧動又ハ攜帶品等ニ疑アリト認メタルトキハ一時通行ヲ差止メ監督員ノ指揮ヲ受クヘシ

第四十八條　規定ノ物品持出證ヲ攜帶スル者ニ非サレハ御泊所ヨリ物品ヲ搬出セシムヘカラス

第四十九條　警衛員ハ第七章ニ定ムル事項ノ外左ノ諸件ニ注意スヘシ

一　成ルヘク御視界ヲ避クルコトニ留意シ特ニ靴又ハ佩劍ノ音ヲ發セシメサルハ勿論職務上ノ要談ト雖低聲ニ爲スヘシ

二　屋上階上其ノ他高所ヨリ見下ス等ノ行爲ヲ爲サシムヘカラス

三　群衆ヲ御門前及外圍ニ停立集合セシムヘカラス

四　夜間御安眠ヲ妨クヘキ音響ヲ發セシムヘカラス

五　附近屋外ニ於テ焚火ヲ爲サシムヘカラス

第五十條　警衛員ハ左ノ諸件ニ注意スヘシ

一　努メテ服裝ヲ正フスヘシ

二　進退動作ヲ謹直ニシ言語應答ヲ靜肅ニスヘシ

三　夜間ハ懷中電燈ヲ攜帶シ隨時使用スヘシ

四　供奉員ヨリ取締上其ノ他ノ事項ニ付協議又ハ注意アリタルトキハ直ニ監督員ニ報告スヘシ但シ緊急ヲ要スル事項ハ相當措置ヲ爲シタル上報告スヘシ

五　御行列御出入ノ際ハ必ス敬禮スヘシ

六　出入者ニシテ相當身分アル者ト認メタルトキハ敬禮ヲ行フヘシ

第五十一條　警衛員詰所ニハ日誌ヲ備ヘ勤務中發生シタル事故ヲ記入スヘシ

第十章　御巡覽所ニ於ケル警衛

第五十二條　御巡覽所ハ建物土地ノ狀況ニ應シ豫メ其ノ內外ヲ檢索シテ

警戒ヲ爲スヘシ但シ構内ノ警戒ニ付テハ管理者ト充分打合ヲ遂ケ置クヘシ

第五十三條　前項ノ外御泊所ニ於ケル警衛ニ關スル規定ヲ準用スヘシ

第十一章　警衛部署

第五十四條　警衛員ハ行列ニ加ハルモノ又ハ汽車内若ハ船舶内警衛ニ從事スルモノヲ除クノ外部隊組織トシ警務部長指揮監督ノ下ニ關係警察官署ノ管轄毎ニ一箇ノ獨立中隊ヲ置ク但シ土地ノ狀況及警衛員ノ數ニ依リ二箇中隊以上ヲ以テ大隊ヲ置クコトヲ得

第五十五條　部隊ノ編成ハ臺灣總督府州廳警察官吏非常召集規程第十六條乃至第二十一條ニ準スヘシ

第五十六條　各部隊長ハ上官ノ命ヲ承ケ部下ヲ指揮監督ス

第五十七條　大隊長又ハ獨立中隊長ハ常ニ關係部隊トノ連絡ヲ保チ且所屬部隊ノ統一ヲ圖リ全隊配置ノ狀況ヲ知悉スヘシ

第五十八條　大隊長及獨立中隊長ハ部隊編成後隊員ヲ點檢シ且警衛上必要ナル事項ヲ隊員ニ訓授スヘシ

第十二章　服裝

第五十九條　警衛員ノ服裝ハ齊一ナラシムヘシ但シ私服警衛員ノ服裝ハ職務執行ニ妨ケナキ限リ適宜トス

第六十條　途上(村落及蕃地ヲ除ク)停車場水上御泊所御巡覽所警衛員ハ常裝二卷脚袢ヲ使用スヘシ長靴ヲ使用スル場合ハ特ニ指示ス

第六十一條　鐵道沿線(停車場及市街地内沿線ヲ除ク)及村落又ハ蕃地ニ於ケル途上警衛衝ハ常裝ニ脚袢紺足袋及草鞋ヲ使用スヘシ

第六十二條　雨天ノ際ハ甲種外套ヲ使用スルコトヲ得但シ警部補以上ハ乙種外套ヲ使用スルモ妨ナシ

前項ノ場合ニハ行列通過ノ際雨覆ヲ脱スヘシ

第六十三條　帽子頭紐ハ緊ク用フヘシ

略帽ハ一切之ヲ用フヘカラス

手套ハ總テ白色トス

第六十四條　夜間警衛(御泊所ニ於ケル警衛ヲ除ク)ニ從事スル制服警衛員ハ特別勤務ニ服スル場合ノ外提灯ヲ使用スヘシ但シ鐵道沿線ノ警衛員ハ命令アルニ非サレハ提灯ニ點火スヘカラス

第六十五條　被服其ノ他附屬品ハ清潔ヲ保持シ特ニ手套下襟帽子ノ日覆等ハ清潔ナルモノヲ使用スヘシ

第六十六條　頭髮鬚髯ハ見苦シカラサル樣手入ヲ爲スヘシ

第六十七條　色眼鏡ハ一切之ヲ使用スヘカラス

第十三章　報告通報

第六十八條　郡守、警察署長ハ途上鐵道沿線若ハ水上ノ配置ヲ了シタルトキ及之ヲ解キタルトキハ其ノ旨警察部長ニ電話ヲ以テ即報スヘシ沿道御通過御發著ノ際亦同シ

第六十九條　警衛員警衛勤務中ノ事故ハ遞次監督員ヲ經テ郡守、警察署長ニ報告スヘシ

前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ之ヲ取纏メ直ニ警務部長ニ報告スヘシ

第七十條　警衛員先乘ヲ認メタルトキハ擧手ノ合圖ヲ以テ遞次前方ニ豫報スヘシ但シ夜間ニ在リテハ適宜一定ノ合圖ヲ定メ之ヲ行フヘシ

第十四章　警衛豫備員其ノ他

第七十一條　臨時御日程ノ變更其ノ他非常時ニ備フル爲御滯在地其ノ他

必要ナリト認ムル地ニハ相當警衛豫備員ヲ置クヘシ

第七十二條　御成地又ハ御滯在地ニ於テ必要アルトキハ警部又ハ警部補一名、巡査二名以上ヲ以テ車輛整理係ヲ設ケ車輛ノ整理ヲ爲サシムヘシ

第七十三條　寫眞撮影ヲ許可シ又ハ指定シタル箇所ニハ警衛員ヲ配置シ之カ取締ヲ爲サシムヘシ

第十五章　非常御立退ノ場合ニ於ケル警衛

第七十四條　非常御立退所ハ該當管理者ト協定ノ上其ノ地御滯在中相當警邏ヲ爲サシムヘシ

第七十五條　非常御立退所ノ位置ハ警衛其ノ他直接關係ヲ有スル係員ノ外濫リニ之ヲ外部ニ發表スヘカラス

第七十六條　非常御立退所ハ御泊所ニ準シ警衛計畫ヲ爲スヘシ其ノ御道筋ノ配置ニ就キ亦同シ

第七十七條　前號ノ警衛ニ當ルヘキ警衛隊ハ咄嗟ノ間ニ之ヲ編成シ得ヘキ方法ヲ定メ且配置圖及心得書ヲ各員ニ交付シ置クヘシ

第七十八條　御立退ノ場合ニ於テ行列ニ加ハリ警衛スヘキ者ハ御泊所警衛員中非番員ノ全部又ハ一部ヲ以テ之ニ充ツヘシ

第七十九條　第七十六條ノ警衛員ノ外御泊所及其ノ附近ノ非常事變ニ備フル爲相當員數ノ豫備隊ヲ設ケ且其ノ集合地點ヲ定ムヘシ

第八十條　御泊所又ハ其ノ附近ニ於ケル火災其ノ他非常事故ノ發生御立退ノ準備及御出發等ヲ報スル爲豫メ非常報告ノ方法ヲ定メ之ヲ關係警衛員ニ周知セシムヘシ

第八十一條　御泊所警衛ノ監督員ハ御泊所又ハ其ノ附近ニ火災其ノ他ノ事故アルコトヲ知リタルトキハ直ニ非常警戒ヲ行フト共ニ警務部長及第七十六條及第七十八條ニ依リ定ムル警衛員詰所ニ其ノ旨急報スヘシ

第八十二條　第七十七條ノ警衛隊ハ御泊所又ハ其ノ附近ニ於ケル非常事故ノ發生ヲ知リ若ハ警務部長ノ命アリタルトキハ直ニ出動シテ所定ノ配置ニ就クヘシ

第八十三條　第七十九條ノ豫備隊ハ御泊所又ハ其ノ附近ニ於ケル非常事故ノ發生ヲ知リ又ハ警務部長ノ命アリタルトキハ直ニ所定ノ集合地點ニ出動シテ上官ノ命ヲ待ツヘシ若シ上官在ラサルトキハ機宜ノ措置ヲ爲スヘシ

第八十四條　御泊所警衛員ハ第七十八條ニ依リ行列ニ加リテ警衛ニ從事スル者ノ外上官ノ命アルニ非サレハ依然御泊所ノ警備ニ任スヘシ

第八十五條　非常事故ノ發生ニ際シ時機ヲ失セス消防組ノ出動ヲ爲シ得ル樣豫メ其ノ方法ト順序ヲ定メ遺憾ナキヲ期スヘシ

第八十六條　非常事故ノ發生ニ際シ警衛員ハ努メテ沈著ノ態度ヲ持シ且機敏ニ事ヲ處理シ苟モ人心ヲ動搖セシメサル樣留意スヘシ

第十六章　間接警衛

第一　精神病取締

第八十七條　管内精神病者ハ豫メ之ヲ調査シ置キ其ノ地御通過時ニ在リテハ勿論御滯在中必要アル者ニ對シテハ檢束ヲ加ヘ或ハ保護人ヲ附セシメ猥ニ戸外ヲ徘徊セシメ又ハ旅行セシメサル樣注意スヘシ

精神病者ニシテ所在不明トナリ若ハ旅行シタル場合ハ直ニ警務部長ニ報告スヘシ

第二　浮浪者、不良少年、乞食其ノ他ノ取締

第八十八條　浮浪者、不良少年、支那人、支那勞働者其ノ他取締ル必要アリト認ムル者ノ視察ヲ嚴ニシ又乞食ヲシテ御成地附近ヲ徘徊セシムヘカラス

第三　銃砲火藥類其ノ他爆發質物件取締

第八十九條　銃砲火藥類其ノ他ノ爆發質物件ノ製造又ハ貯藏所ハ管理ヲ嚴重ナラシメ盜難其ノ他爆發等不時ノ災厄ナカラシムルコトニ注意スヘシ

第九十條　火藥類製造又ハ販賣業者ハ勿論鑛業上又ハ銃獵其ノ他ノ目的ヲ以テ火藥類ヲ消費スル者ニ對シテハ豫メ其ノ在庫品ヲ調査シ置キ爾後ノ出納ヲ確實ナラシメ不正授受ノ餘地ナカラシムルト共ニ坑夫土工等直接消費者ノ取扱ニ關シテハ特ニ責任者ヲシテ嚴重監督セシムヘシ

第九十一條　火藥類其ノ他爆發質物件ノ運搬ニ注意シ御通過沿道並御泊所附近ハ絶對通過セシメサル樣注意スヘシ

第九十二條　拳銃、短銃、杖銃等所持許可者ニ對シテハ所持ノ實否ニ付豫メ調査シテ其ノ所在ヲ明確ニシ置キ御道筋附近等ニハ之ヲ携帶セシメサル樣注意スヘシ

第九十三條　銃砲火藥類ノ密輸移入密賣買者ハ無許可所持嫌疑者ノ行動ハ特ニ嚴重監視スヘシ

第四　爆竹取締

第九十四條　爆竹ハ御道筋並御泊所附近ニ於テハ絶對ニ使用セサル樣豫メ注意シ置クヘシ

第五　原動機取締

第九十五條　御成地並御通過地附近ニ於テハ豫メ原動機ノ臨時檢査ヲ行ヒ必要アルモノニ對シテハ補修又ハ一時使用中止ヲ命シ特ニ汽罐ニ在リテハ常用壓力ヲ以テ安全瓣ノ封鎖ヲ行フ等危險發生ノ虞ナキ樣取締ヲ爲スヘシ

第六　火災豫防警戒取締

第九十六條　御成地並御通過地附近ニ於テハ一般部民ニ失火ノ虞ナカラシムル樣注意ヲ與フルハ勿論宿屋、料理屋、劇場、寄席等多衆出入ノ場所ノ火元ニ注意セシメ特ニ酒精、石油、ガソリン等可燃性物件ノ貯藏所取扱場其ノ他火氣ヲ取扱フ工場、湯屋活動寫眞館又ハ山林火入野火等ノ取締ヲ嚴重ニスヘシ

第九十七條　御泊所々在地及隣接地ニ於テハ必要ニ應シ火災其ノ他事變ニ備フル爲晝夜ヲ通シ消防夫又ハ壯丁ヲ配備シ或ハ在鄕軍人會、青年團等公私團體ト相當聯絡ヲ保持スヘシ

消防用器具ハ不時ノ用ニ堪ヘ得ル樣完備シ消火栓其ノ他水利等豫メ調査シ置クヘシ

第九十八條　萬一火災等アリタル場合ト雖御成地ニ在リテハ警鐘等ハ之ヲ打タシメス關係方面ヘハ電話其ノ他適當ノ方法ヲ以テ急速通報スルノ途ヲ講シ置キ事變ニ際シテ騷擾ナカラシムヘシ

第九十九條　警衞ニ關シ使役セントスル消防夫又ハ壯丁ハ豫メ人選ヲ爲シ服裝等ニ付テモ不都合ナカラシムヘシ

第七　人力車及自動車取締

第百條　人力車及自動車ハ特ニ臨時檢査ヲ執行シ車體附屬品等ハ勿論車夫及運轉手ノ人物服裝等ニ關シ取締ヲ勵行スヘシ

第八　家畜類放飼取締

第百一條　御成地及隣接地ニ於テハ豫メ野犬及狂犬ノ取締ヲ勵行シ飼犬養猿等ハ之ヲ繫鎖セシメ家禽畜類ヲ御道筋附近ニ逸出セシムヘカラス

第九　沿道取締

第百二條　御通過ノ鐵道線路ニ於テハ豫メ其ノ附近ニ水牛其ノ他家畜類放飼ノ取締ヲ勵行スヘシ猶線路其ノ物ノ保全ハ鐵道部ノ主管ニ屬スルモ警察ニ於テモ豫メ故障ノ有無ヲ調査スヘシ

第百三條　前項ノ外御通路ハ豫メ踏査シ特ニ橋梁街角等ニ注意シ御通過ノ妨害トナルヘキモノハ之ヲ除去セシメ又沿道ニ於ケル家屋其ノ他建造物、各種廣告、招牌、揭燈、旗竿、日除等架空、屋上軒端、店頭ノ築造物ヲ調査シ不體裁若ハ崩潰墜落顚倒等ノ危險アル物件又ハ陷落等ノ虞アル場所ハ之ヲ適宜處理スヘシ

第十　保甲監督

第百四條　御成地ニ於テハ保甲監督ヲ嚴ニシ役員ヲ督勵シテ保甲內ノ安寧保持ニ努メシメ特ニ出入スル人物ニ對シテハ周到ナル注意ヲ拂フヘシ

第十一　犯罪ノ豫防警戒

第百五條　犯罪ノ常習者、前科者、刑事要視察人等苟モ刑事警察上注意ヲ要スト認ムル者ニ付テハ豫メ調査シ其ノ所在並行動ヲ明ニシ置クヘシ

第百六條　掏摸宿屋荒シ板ノ間稼、搔拂等ノ前科者又ハ之カ習癖アル者並刑事警察上特ニ注意ヲ要スルト認ムル者ニシテ御成地ニ立越ス場合ハ尾行引繼ヲ爲スヘシ

第百七條　刑事警察上注意ヲ要スルモノニシテ御成ニ際シ所在不明トナリタルトキハ各官署間互ニ通報シ搜査シ迅速正確ヲ期スルハ勿論其ノ重要ナルモノハ一面警務部長ニ報告スヘシ

第百八條　刑事警察上注意ヲ要スルモノニシテ御成ニ際シ檢束ノ要アリト認ムルモノナキヤ豫メ調査シ置キ之カ實行ニ方リ不都合ナキヲ期スヘシ

●總督警衞其ノ他ニ關スル件

昭和四年五月十四日
南警第六一〇號ノ一　警務部長通達
各郡守　署長宛

總督警衞其ノ他ニ關シ其ノ筋ヨリ通牒ノ次第モ有之候條右警衞ニ關シテハ警衞規程同施行細則(近ク發布)及別ニ規定セラレタルモノニ依ルノ外爾今本文左記ニ依リ警衞上遺憾ナキヲ期セラレ度

右依命通達ス

追而大正十年四月南警第二三二一號昭和四年二月南警第三九四號同年三月南警第五一六號ハ自然消滅セルモノニ付申添候

記

第一、總督軍司令官及總務長官ニ對スル警衞

一　警衞スヘキ場合

(一)　總督警衞ハ之ヲ正式及略式ニ區分ス

(二)　總督ノ正式警衞ヲ爲スヘキ場合左ノ如シ

(イ)　臺灣神社ニ正式參拜ノトキ

(ロ) 四大節始政記念日祝賀會ニ臨場ノトキ
(ニ)(ホ) 招魂祭ニ參拜ノトキ
(ヘ) 著任又ハ轉任ノトキ
州廳ニ於テ巡視ヲ受クルトキ但シ初度巡視以外ハ(三)ノ略式警衛ニ準ス

(三)
(イ)(ロ)(ハ)(ニ)(ホ)(ヘ)(ト) 總督略式警衛ヲ爲スヘキ場合左ノ如シ
臺灣神社月例祭ニ參拜ノトキ
上京又ハ歸臺ノトキ
巡視ヲ受ケサル州廳管內通過ノトキ
官公衙開廳式ニ臨場ノトキ及之ニ準スヘキトキ
神社佛閣鎭座式ニ臨場ノトキ及之ニ準スヘキトキ
招魂祭以外ノ祭典及公務上死亡シタル職員ノ葬儀ニ參列ノトキ
其ノ他特ニ必要アルトキ

(四)
(イ)(ロ)(ハ) 軍司令官及總務長官ニ警衛ヲ爲スヘキ場合左ノ如シ
著任又ハ轉任ノトキ
州廳(軍司令官ニ在リテハ軍隊軍衙トス)ニ於テ初度巡視ヲ受クルトキ
其ノ他特ニ必要アルトキ

一 警衛スヘキ場合ハ其ノ都度指示ス
二 行列ニ加ハリ又ハ汽車若ハ船舶內ニ於テ警衛ニ從事スル者ハ警衛規程第四條第一項第三號(州警務部長又ハ地方警視ノ外警部又ハ警部補二名及先乘トシテ警部又ハ警部補一名)第四號(警部又ハ警部補二名)及第六條第一項第三號(警部又ハ警部補二名及巡查若干名(船舶內ニ限ル)ニ準スルコト
三 途上鐵道沿線停車場等ニ於ケル直接警衛ハ雜踏取締交通取締又ハ特ニ必要アル場合ノ外之ヲ配置セサルモノトス但シ總督正式警衛ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス
四 總督略式警衛ノ(ト)及軍司令官及總務長官警衛ノ(ハ)ニ依リ警衛ノ必要アリト認メタルトキハ其ノ都度指示ス
第二、內外顯要ノ官職ニ在ル者ノ賜アル旅行ニ對スル警衛

二 汽車若ハ船舶內又ハ行列ニ加ハリ警衛ニ從事スヘキ人員ハ特ニ增減スル必要アル場合ノ外左ノ區分ニ依ル但シ村落又ハ番地等ニシテ必要アル場合ハ巡查若干名ヲ附スヘキモノトス
(一) 總督正式警衛
警視一名(警務部長隨從スルトキハ警視ハ之ヲ省ク)警部又ハ警部補二名
(二) 總督略式警衛竝軍司令官及總務長官警衛警部又ハ警部補一名
三 警衛員ノ位置ハ特ニ指示スル場合ノ外郡守又ハ警察署長之ヲ指示スルモノトス
四 途上、鐵道沿線停車場等ニ於ケル直接警衛ハ雜踏取締交通取締又ハ特ニ必要アル場合ノ外之ヲ配置セサルモノトス但シ總督正式警衛ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス
五 總督略式警衛ノ(ト)及軍司令官及總務長官警衛ノ(ハ)ニ依リ警衛ノ必要アリト認メタルトキハ其ノ都度指示ス
第二、內外顯要ノ官職ニ在ル者ノ賜アル旅行ニ對スル警衛

一 警衛スヘキ場合ハ其ノ都度指示ス
二 行列ニ加ハリ又ハ汽車若ハ船舶內ニ於テ警衛ニ從事スル者ハ警衛規程第四條第一項第三號(州警務部長又ハ地方警視ノ外警部又ハ警部補二名及先乘トシテ警部又ハ警部補一名)第四號(警部又ハ警部補二名)及第六條第一項第三號(警部又ハ警部補二名及巡查若干名(船舶內ニ限ル)ニ準スルコト
三 途上鐵道沿線又ハ停車場等ニ於ケル直接警衛員ハ交通又ハ雜踏取締其ノ他必要アリト認ムル場合ハ之ヲ配置スルコト

第三、幣帛供進使ニ對スル警衛
縣社ノ祭祀ニ關シ幣帛供進使參向ノ場合ハ當分ノ間警衛規程ニ拘ラス警衛員トシテ警部又ハ警部補二名ヲ附スルコト

第四、警衛實施計畫書
警衛規程第十九條第一項ニ基ク警衛實施計畫書ハ別記第一號乃至第四號樣式ニ依リ作製二通進達スルコト

第一號樣式

警衛員過不足調　月　日警衛第　日

現員				警衛ニ充當シ得ル員數				警衛所要員數				過不足			
警視	警部	巡查部長	巡查	警視	警部	巡查部長	巡查	警視	警部	巡查部長	巡查	警視	警部	巡查部長	巡查

記載例
一 現員ハ本計畫當時ノ現在トシ其ノ月日ヲ餘白ニ明示スルコト
二 警衛ニ充當シ得ル人員ハ別表殘留員欄ニ依ル員數ヲ控除シタルモノニ該當スルコト
三 警衛所要員數ハ別表警衛配置表ニ依ル員數ニ該當スルコト
四 不足數ハ朱書スルコト

第二號樣式

警衛配置表　月　日警衛第　日

警衛種別及配置箇所	配置員數					備考
	警視	警部	巡查部長	巡查	計	
水上警衛 沿岸						百米又ハ一哩當配置割合
水上警衛 汽艇ランチ竹筏						
水上警衛 船舶內						
途上警衛 市街地						
途上警衛 村落蕃地						
御參拜御視察所 何箇所						
御休泊所						
汽車內警衛						
列中警衛						
鐵道沿線						
乘降驛						
停車驛						
通過驛						
高等視察						
刑事視察						

尾行			
車輛整理係			
檢束者監視			
消防班			
危險物取締			
交通整理			
精神病者監視			
何々			
何々			
計			

記載例

一 本表ハ日程各日ニ區分シ調製スルコト

二 配置員數ハ各警衛種別ニ從ヒ其ノ當日ノ所要總數ヲ揭記シ實員ハ黑書シ甲地ヨリ乙地ニ移動配置ヲナシタルモノ又ハ他ノ警衛ヲ兼ネタルモノハ朱書再揭スルコト但シ御道筋等ニテ二回以上警衛ニ從事スルモ同一箇所ニ位置シ移動セサルモノハ朱書スルヲ要セス

三 直接警衛ニ從事スル私服警衛員ノ配置員數ハ當該欄ニ×印ヲ冠シ再揭スルコト

四 水上警衛ニ使用スル汽艇ヲンチ、竹筏等ハ其ノ種別員數ヲ當該備考欄ニ揭記スルコト

五 船舶內トハ御召船等ニ乘込ミ警衛ニ從事スルモノヲ指ス

六 市又ハ街二以上ナル場合ハ各別ニ欄ヲ設ケ之ヲ區別スルコト

七 途上ハ警衛員ヲ配置セル御道筋ノ延長米數ヲ當該備考欄ニ記載シ鐵道沿線ハ其ノ哩數ヲ記載スルコト但シ二回以上通過サルモ警衛員ヲ一回配置シタル儘之ヲ移動セサルトキハ二回以上ノ分ハ算入ヲ要セス

八 乘降驛及停車驛ハ驛名ヲ備考欄ニ記載スルコト

九 本表內ニ揭記シ得サル事項又ハ必要ナル事項ハ別ニ記載シ說明ヲ附スルコト

第二號樣式ノ二

間接警衛補助員配置表 月 日警衛第 日

勤務種別	配置員數				備考
	消防組員	壯丁團員	在鄉軍人	青年會員	計	
消防事務						
警備警戒						
交通事務						
精神病者監視						
何々						

何々			
計			

記載例

一 本表ハ日程各日ニ區分シ調製スルコト但シ員數ニ異動ナキトキハ何日ヨリ何日迄ト明示スルコト

二 配置員數ハ各勤務種別ニ從ヒ其ノ當日ノ所要總數ヲ揭記スルコト

三 本表ニ揭記シ得サル事項ハ別ニ說明ヲ附スルコト

第三號樣式

署、警察課分室	派出所駐在所其ノ他	日程				備考
		第一日	第二日	第三日	第何日	計
警部	警部					
部長	部長					
巡查	巡查					
警部	警部					
部長	部長					
巡查	巡查					
警部	警部					
部長	部長					
巡查	巡查					
警部	警部					
部長	部長					
巡查	巡查					
備考						

殘留員調 月 日警衛第 日

記載例

一 本表ハ殘留ヲ要スル最少限度ノ員數タルコト

二 派出所ニ殘留シテ其ノ部內ノ高等及刑事視察等ノ間接警衛ニ從事スル者ハ本表ニ朱書再揭シ第二號樣式警衛配置表中ノ間接警衛ニハ揭記セサルモノトス

三 派出所駐在所數及警視員數ハ備考欄ニ記載スルコト

四 其ノ他欄ニハ病氣出張入所等ノ爲メ勤務ニ從事シ得サルモノヲ記載スルコト

五 表內ニ明示シ得サル事項ハ別ニ說明スルコト

六 本表ハ員數ニ異動ナキ場合ハ各日程毎ニ調製スルヲ要セス何日ヨリ何日迄ノ分ト明示スルコト

第四號樣式

警衛ニ關スル警察事件數表

警衛區別	日程別	日程				備考
事故別		第一日	第二日	第三日	第何日	計
直接警衛	交通遮斷後道路ヲ橫切ラントシタルモノ	件	件	件	件	件
	何々					
間接警衛	精神病者徘徊ニ注意					
	何々					
警衛	計					
	何々					

廂						
總	計					
	計					

記載例

一　本表ハ警衛終了後七日以内ニ提出スルコト

二　備考欄ニハ警衛期間ヲ自月日至月日何日間ト記載スルコト

●臺灣總督府州廳警察官吏非常召集規程施行細則

昭和四年二月二十六日
臺南州訓令第二十四號

警務部　郡役所　警察署

第一條　警察官吏ノ非常召集ハ臺灣總督府州廳警察官吏非常召集規程（以下單ニ規程ト稱ス）ニ定ムルモノヽ外本令ニ依ルヘシ

第二條　警察官署長他ノ警察官署長ヨリ應援要求ヲ受ケタルトキハ其ノ所要員ニ對シ非常召集令狀ヲ發シ其ノ旨知事ニ即報スヘシ

第三條　應召員ハ船車其ノ他ノ便ヲ利用シ徒歩ノ場合ニ在リテハ少クモ一時間六キロメートル以上ノ速度ヲ以テ速ニ參著スヘシ

第四條　應召員召集地ニ參著シタルトキハ令狀召集地欄ニ到著時記入ノ上直ニ之ヲ上官ニ提出シ其ノ指揮ヲ承クヘシ

監督者引率ノ下ニ召集地ニ參著シタルトキハ引率官ヨリ直ニ上官ニ前項令狀提出ノ上事故及參著人員ヲ報告シ其ノ指揮ヲ承クヘシ

第五條　非常召集命令官ハ應召セル人員ノ服裝及携帶品ノ點檢竝注意スヘキ事項ノ訓示ヲ爲シタル後配置スヘシ但シ時宜ニ依リ本條ノ手續ヲ省略シ配置スルコトヲ得

第六條　非常召集ヲ受ケタル者ノ第一種服裝及携帶品ハ左ノ區分ニ依ルヘシ

服　裝　常裝（略帽ヲ用フヘカラス）脚絆、靴、足袋（又ハ足袋草鞋）

携帶品　（銃器、彈藥（三十發）甲種外套（警部補以上ニ在リテハ乙種外套ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得）背負袋（飯行李（負綱及箸付）、豫備器、油紙、針及絲、（白黒）水筒及水呑蠟燭及燐寸、繃帶、藥品四種以上手拭及石鹸等

第七條　警察官署ニハ左ノ書類ヲ鎖鑰アル特定ノ箱ニ格納シ一定ノ場所ニ整備シ置クヘシ

一　非常召集命令書
二　應援要求書
三　非常召集令狀
四　非常警防計畫書
五　非常召集實施書（別記第一號樣式）
六　職員宿所名簿（別記第二號樣式）
七　蠟燭燐寸等

郡警察課分室ニハ前項第三號乃至第七號ノ書類物件ヲ備フヘシ

第八條　非常召集令狀ニハ應召員ノ官職氏名ヲ記入シ別記第三號樣式ノ封皮ニ納入シ置クヘシ

第九條　非常警防計畫書ハ概ネ左ノ事項ニ關シ作製スヘシ

一　警察隊配置
　人員及配置箇所豫備隊
二　警防

三　通信連絡
　通信及交通機關保全關係渡船連絡關係手旗又ハ音響其ノ他信號方法
四　傷病者救助
　傷病者ノ應急手當及收容方法醫師及收容所設備關係
五　其ノ他
　糧食ノ配給方法竝非常焚出ノ設備
　市街地ハ飲料用水及避難所關係

第十條　前條計畫書ヲ作製シタルトキハ副本一通ヲ知事ニ進達シ記載事項ニ異動ヲ生シタルトキハ其ノ都度報告スヘシ

第十一條　警察隊ハ警務部、郡役所、警察署毎ニ中隊ヲ編成スルモノトス但シ時宜ニ依リ二官署以上ノ人員ヲ以テ一中隊ニ編成スルコトヲ得

第十二條　中隊長ハ州警務課長郡ノ警察課長警察署長ヲ以テ之ニ充ツ但シ州警務課長事故アルトキハ警務部長特命シ郡警察課長、警察署長事故アルトキ及前條但書ノ場合ハ階級ノ順序ニ從ヒ高級古參者之ニ代ルヘシ

第十三條　警察隊ノ稱呼竝大隊以上ノ編成ハ召集命令官其ノ都度之ヲ定ムヘシ

第十四條　規程第七條及同第二十二條ノ報告書ハ別記第四號樣式ニ依ルヘシ

第一號樣式

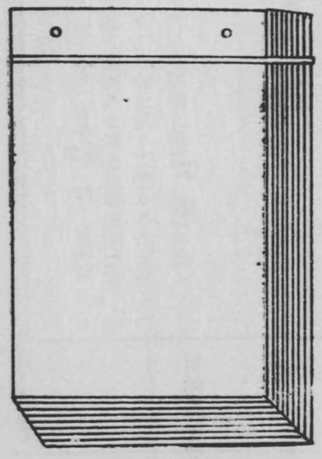
非常召集實施計畫書

第二編　警務　第三章　服務　賞罰　請願　配置

警防器具ノ種類及員數竝供給關係警防方法

業務別	摘要	擔當者
擔當者呼出	何號宿舍何號宿舍何號宿舍	某宿直員
現員調	應召可能人員表作製同不能人員表作製	巡査何某
令狀記載	第一區令狀記載第二區令狀記載	同何某同何某
送達	第一區送達第二區送達	同同
電話	第一線方面第二線方面第三線方面第四線方面	同同
庶務	應召員ニ對スル給貸與其ノ他	

第二號樣式



第三號樣式

〔臺南警〕

表

昭和　年　月　日午前　時　分受領

何　某殿

非常召集令狀

裏

昭和　年　月　日

非常召集命令官名

用紙淡紅色トス

第四號樣式

非常召集（演習）報告

區分	摘要
召集命令官	
召集命令時	
召集人員	

〔臺南警〕

應召人員	
不參人員	
應召所要時間	
點檢狀況	
部隊行動概要	
解隊時	

第四號樣式　附表

應召員成績調書

到著順位	命令狀受領日時	所要日時	里程	服裝	紀律	動作	手帳、名刺、捕繩、警笛、刀	銃器彈藥	其他ノ携帶品	勤務所	官職	氏名	備考

注意　本表ハ召集演習報告ノ際添付スルモノトス

●警察官吏非常召集規程改正ノ件

昭和三年十一月二十四日
南警第三四七七號ノ一警務部長通牒

郡守　警察署長宛

十一月十三日總督府訓令第八十三號ヲ以テ州廳警察官吏非常召集規程改正相成候處右ハ非常事變ノ發生其ノ他ニ際シ警察官吏ノ召集ヲ一層機敏且圓滑ニシ以テ警察上適當ノ處置ヲ誤ルコトナカラシメントスル主旨ニ出テタルモノニ有之其ノ主要ナル改正事項ハ概ネ左記ノ通ニ有之候條改正規程實施上遺憾ナキ樣至急準備相成度

右依命通牒ス

記

一　從來警察官吏非常召集ト警察隊編成トハ各別ノ訓令ヲ以テ規定シアリ

リタルヲ統一セルコト

二　郡守、警察署長（分署長ヲ含ム以下同シ）ハ知事ノ認可ヲ要セス必要ニ應シ非常召集ヲ爲シ得ルコトニ改メタルコト

三　事急迫ニシテ命ヲ待ツ遑ナキトキハ警部補以上幹部ハ直ニ部下ノ非常召集ヲ爲シ得ル特例ヲ認メタルコト

四　郡守警察署長他ノ郡警察署ノ應援ヲ要スルトキ直ニ之ヲ要求シ得ルコトニ改メタルコト

五　應召員ノ服裝及携帶品ヲ三種ニ區別シ召集命令官召集ノ都度之ヲ指定スルコトニ改メタルコト尚必要ニ應シ服裝携帶品ヲ變更スルヲ得セシメタルコトハ從來ニ同シ

六　非常召集實施書ヲ作製シ置ク規定ヲ設ケ以テ召集ヲ迅速圓滑ニ行ハシメントシタルコト

七　其ノ他

●臺南市非常警戒心得抜萃

大正十三年二月四日
臺南州内訓第一號

第一條　臺南市ニ居住スル警察官吏ハ非常ニ際シ臺灣總督府警察官吏非常召集規程ニ依ルノ外本心得ニ依リ服務スヘシ

第二條　市内在住ノ警察官吏ハ非常召集ノ命ヲ受ケタルトキハ（モータイサイレン二點連鳴又ハ通報員ノ報知ヲ受ケタルトキハ非常召集ノ命ヲ受ケタルモノト心得）直ニ結束シ所定ノ物品ヲ携帶シ急速州廳内中庭ニ集合スヘシ

第三條　派出所ニ當直スル警察官吏ニシテ前條ノ命ヲ受ケタルトキハ派出所ニ内地人巡査一名ヲ殘シ他ハ直ニ前條ニ依リ集合スヘシ

第四條　安平及鹽埕警察官吏派出所勤務員ハ所要ニ應シ直ニ出動シ得ル準備ヲ爲シ命令ヲ待ツヘシ

第五條　警戒ヲ命セラレタル部隊ハ上席者ノ指揮ニ依リ速ニ配備ニ就キ軍隊ニ代リテ警戒ニ任スヘシ

第六條　配置ニ就キタル部隊ハ直ニ其旨部隊長（警察署長）ニ報告シ爾後時々狀況ヲ報告スヘシ

第七條　市外ニ通スル主要道路ノ警備ニ就キタル部隊ハ時々隣接部隊ト聯絡ヲ保ツヘシ

第八條　家族ヲ收容スル際ハ靜肅ヲ旨トシ徒ニ騷擾ヲ惹起セシムルカ如キコトナキ樣注意スヘシ

第九條　非常警戒員警戒解除ノ報ヲ受ケタルトキハ（モーターサイレン三點連鳴其他適宜ノ方法ニ依リ）直ニ州廳内中庭ニ集合シ上官ノ命ヲ受クヘシ

●臨時ニ廳員ヲ召集スル場合信號ノ件

大正十一年十一月
文書課長依命通知

爾後臨時ニ廳員ヲ召集スル場合ニハ急速ニ且ツ永ク（一分間以上）振鈴ヲ爲スヘキニ由リ廳員ハ全部漏ナク迅速ニ左記指定ノ場所ニ集合致ス樣徹底的ニ御傳達相成度依命及通知候也

一　晴天ノ時――構内廣場

一　雨天ノ時――玄關入口階下

●警察官吏ヲシテ官佃溪埤圳組合事務ニ關與セシムル件

大正十年四月
南警第九六號ノ三　警務部長通牒

郡守宛

本件ニ關シテハ本島現時ノ狀況ニ徵シ又本工事ノ性質ヨリ見テ相當援助ヲ與フヘキハ勿論ノ儀ナレトモ制度改正ノ結果警察官吏ヲシテ警察本來ノ事務ニ其ノ力ヲ傾倒セシメムトスル本旨ニ鑑ミ苟モ其ノ疇域ヲ超ヘ徒ニ國民ノ怨府タラシムルカ如キハ統治ノ大局ヨリ見テ最モ愼マサルヘカラサル儀ト存候特ニ下級警察官吏カ往々ニシテ上司ノ深意ヲ誤解シ輕々ニ事ヲ處斷シ爲ニ惡結果ヲ齎セル事例乏シカラサル折柄其ノ援助方法ニ付テハ警察本來ノ使命ニ抵觸セサル限度ニ於テ愼重御考慮ノ上實行相成候樣致度尚該事務ニ從事セル場合組合ヨリ旅費ヲ受クルハ今日ノ場合甚タ穩當ナラスト認メラレ候ニ付止ムナクンハ事後ニ於テ手當トシテ支給セシムルカ目下考慮中ニ有之候右ハ一二郡ヨリ伺出ノ次第モ有之警務局長ヘ照會ノ結果其ノ回答ノ要旨ニ有之候條御了知相成度

右依命通牒ス

●非常事變ノ際ニ於ケル廳員心得方ノ件

明治四十三年九月
廳訓第九號

第二編　警務　第三章　服務　賞罰　請願　配置

天災地變（風、水、火及震災ヲ含ム）ニ際シテハ廳舍ノ保護書類其ノ他諸要具ノ安全ヲ圖ルハ各職員當然ノ職務ニ屬スルモノナレハ若シ退廳後ニ右ノ如キ異變有之場合ハ直ニ廳舍ニ馳セ付相當防衛ノ方法ヲ竭スヘキ樣各員ハ必ス平素ヨリ之ヲ服膺シ變ニ臨ミ遺算ナキコトヲ期スヘシ

●警察官吏派出所ニ於ケル警備ニ關スル件

大正十年八月
南警第四五六九號　警務部長通達

郡守宛

警察官吏派出所ニシテ州廳前支廳所在地タリシ箇所ニ於テハ派出所ト所員宿舍トノ間相當距離ヲ有シ所員退廳後警察專用電話ノ取扱其ノ他ニ關シ不便ヲ感スル向有之哉ニ及聞候處右ノ如キ派出所ニ於テハ爾今必要ト認ムル時間内所員ヲシテ警備動務ヲ爲サシメラルヘシ右通達ス

●警務部當直内規

大正九年十一月十六日
決定

第一條　當直員ハ臺灣總督府地方警察配置及動務規程竝同施行細則及臺南州處務規程ニ依ルノ外本内規ニ依リ服務スヘシ

第二條　當直ハ宿直及日直ノ二種トス但シ宿直ハ平日及休日、日直ハ休日トス

第三條　宿直ハ退廳時ヨリ翌日昇廳時迄日直ハ昇廳時ヨリ退廳時迄トス但シ必要ニヨリ時間ノ延長又ハ短縮ヲナスコトヲ得

第四條　警務課長ハ宿直日直ノ順番ヲ各別ニ定メ成ルヘク其ノ前日迄ニ本人ニ通知スヘシ

前項ノ通知ハ別記第一號樣式ノ當直通知簿ニ記載シ本人ニ捺印セシムヘシ

第五條　宿直ノ順番日直ニ續テ至ルトキハ其ノ宿直ハ二日ノ後ニ之ヲ繰下ケ日直ノ順番宿直ニ續テ至ルトキハ其ノ日直ハ之ヲ次ノ休日ニ繰下ク

第六條　當直勤務指定後出張其ノ他ノ事故ニ依リ當直スルコト能ハサルトキハ直ニ警務課長ニ申出ツヘシ

第七條　前二條ノ場合ニハ次番者ヲ順次繰上クルモノトス

日歸出張シタル者ノ宿直ハ變更セサルコトヲ得

第八條　第六條ニ依リ當直セサル者又ハ休暇缺勤中當直ニ相當シタル者ハ出勤ノ翌日當直スルモノトス但シ日直ニ相當スル者ハ次ノ休日ニ日直スヘシ

第九條　新任轉任者ハ著任ノ當日當直順點ノ末尾ニ加フ

第十條　已ムヲ得サル事由アリテ當直ヲ相互交換セムトスルトキハ警務課長ノ承認ヲ受クヘシ

第十一條　宿直ニ相當シタル時ヨリ左ノ事由アル場合ハ之ヲ免除ス

一　一週間以上ニ渉ル病氣缺勤、休暇、看護歸省轉地療養中ノ者及忌引中ノ者

二　一週間以上ニ渉ル出張中ノ者

第十二條　當直員ハ時々廳內ヲ巡視シ一般取締ニ注意スヘシ

第十三條　天災事變其ノ他異常アルトキハ知事又ハ警務部長ヘ報告シ一面主務課長ニ通知スル等機宜ノ措置ヲ爲スヘシ

第十四條　急ヲ要スル事件ニシテ直ニ處理シ得ヘキモノハ當直員ニ於テ處理シ其ノ他ハ必ス主務課長又ハ係長ヘ回付スヘシ

第十五條　當直員ニ於テ文書金品ヲ收受シタルトキハ左記各號ニ依リ取扱フヘシ

一　親展電報ハ封緘ノ儘宛名ノ者ニ送付スヘシ

二　親展ニ非サル電報ハ速ニ開封譯文ヲ付シ直ニ主務課長又ハ係長若ハ宛名ノ者ニ送付スヘシ

三　至急ノ記號アル文書ハ前二號ノ規定ニ準シ取扱フヘシ

四　親展文書ハ前號ニ該當スルモノノ外翌朝宛名ノ者ニ交付スヘシ

五　前各號以外ノ文書ハ之ヲ開封シ當直ノ警部警部補ニ於テ其ノ緩急ヲ調査措置スヘシ

凡テ文書金品ヲ送付スルトキハ送付簿ヲ使用スヘシ

第十六條　警務課係員ハ退廳時前當直員ニ對シ必要ノ簿册及物品ヲ交付シ當直員勤務ヲ終リタルトキハ之ヲ警務係員ニ引繼クヘシ

但シ休日ニ在リテハ次番者ニ引繼クモノトス當直中收受シタル文書金品亦同シ

第十七條　文書收發ノ爲郵便切手又ハ葉書ヲ使用シタルトキハ郵便切手(葉書)整理簿ニ明記捺印スヘシ

第十八條　鐵道乘車券ヲ交付シ又ハ蠟燭其ノ他消耗品ノ拂出ヲ爲シタルトキハ臺帳ニ明記シ受領者ニ認印セシムヘシ

第十九條　當直日誌ニハ當直中ノ事件ノ要領及文書金品ノ收發ヲ記載スヘシ

〔臺南警〕

第二十條　當直員ハ部印、部長印、課印、課長印、其ノ他官印ノ保管ヲ爲スヘシ

前項ノ官印ヲ使用シタルトキハ別記第二號樣式ノ官印押捺件名簿ニ登載シ文書取扱者ト共ニ捺印スヘシ

第二十一條　宿直ノ警部、警部補ハ武術講習監督及翌朝警務部在勤ノ巡査ニ對シ點檢訓授並學術講習ヲ爲スヘシ

第一號樣式

警務課長	警務係長	月日	七曜	當直者氏名	承印	當直變更者氏名	承印
		月日	土	警部			
		月日	日	警部補			
		月日	月	巡査			

記載例

巡査ト警部補以上ハ各別ニ記載スルモノトス

宿直ハ墨書　日直ハ朱書スルモノトス

第二號樣式

官印押捺件名簿

月・日	宛名	發信者	件名	官印種別	文書取扱者印	當直者印

●當直ニ關スル件

大正十年二月十八日
南警第一一五二號警務部長通牒
部內各課長宛

當直員當直事務並收發文書取扱方從來區々ニ渉リ居ルヤノ嫌有之候處爾今左記ニ依リ取扱ハシメラレ度右通達ス

追テ宿直員ハ給仕小使ヲ監督シ事務室並宿直員休憩室等ノ掃除其ノ他監督ニ留意スル樣注意セラレ度申添候

左記

一　日誌記載ハ左ノ例ニ依ル

何年何月何曜日　晴雨

宿(日)直　何　警　部㊞

同　何　巡　査㊞

摘要	宛名	種別	通數	發信者
收受文書	警務部長	親展	一	新化郡守
同	何々	封書	一	何々
發送文書	何州	同	一	知事名
收受電報	何々	何々	一	何々
發送電報	何々	何々	一	何々
電話	何々	何々ノ件報告		何々

來廳竝	何州何郡何警部ハ午後何時何々ノ爲來廳同何時退	
退廳	廳㊞	
暴風	何々㊞	
火災	何々㊞	
廳内	午後何時廳内ヲ巡視セルニ異狀ナシ（巡視又ハ何	
巡視	々）㊞	
何々	何々㊞	
何々	何々㊞	
引繼	午後何時收受文書其ノ他何々ハ何某巡査ニ引繼ク	
	㊞	

二　收受文書及電報中内規ニ依ルノ外左記ニ列記スルモノハ高等警察課長ニ直送スルコト

經世新報臺灣パック

發信者竝宛名等ヨリ投書ナリト推斷シ得ル封書高祕親展書類、電報ニシテ發信者ノ氏名（符號）ノ上ニ〇印アルモノ（別紙付添ノ通）

三　收受文書中内規ニ依ルノ外左記ニ列記セルモノハ警務部長ニ直送スルコト

内地新聞官報

〔臺南警〕

●當直勤務ニ關スル件

昭和四年四月十六日
南警一二七八號警務部長通達
都内各調長宛

當部ニ於ケル當直勤務ハ當直内規及大正十年二月十八日附南警第一、一五二號ニ依リ勤務シツヽアリト雖モ文書ノ收受保管引繼其他往々ニシテ粗慢ニ流ルヽ向アリテ其ノ結果處務上重大ナル支障ヲ來スコトナキヲ保セサルヲ以テ將來ハ更ニ左記ニ依リ服務上遺憾ナキヲ期シ度此旨課員ニ示達ノ上督勵セラルヘク

右通達ス

記

一　收受文書中至急、高祕、親展書留又ハ金品等ハ宛名ノモノ又ハ主管課長（不在ノ時ハ次席者）ニ送付スルコト

二　前號ニ依リ送付ノ際ハ必ス送付簿ニ記載シ其ノ收受ヲ明ニスルト共ニ書留又ハ金品ハ特ニ取扱ニ注意スルコト

前項送付簿ニ依リタルトキハ其ノ旨日誌摘要欄ニ記載スルコト

三　收受文書金品及官印等ハ保管箱ニ嚴重（鎖鑰）格納シ保管スルコト

四　官印使用ノ際ハ其都度簿册ニ記入スルコト

五　廳舍巡視ノ際其ノ他常ニ電燈ノ點消水道口ノ開閉戸締火氣等ニ特ニ注意スルコト

六　收受文書金品等ヲ次番員又ハ警務課收發係ニ引繼ク際ハ原文書金品ト日誌及送付簿ト對照ノ上確實ニ引繼スルコト

七　前項引繼ノ際ハ兩者認印スルコト

〔臺南警〕

●留置人給食心得

明治三十五年十二月
警發第五三八號

一　留置人給食時間左ノ通

朝　午前六時ヨリ七時マテ

晝　正午十二時ヨリ午後一時マテ

晩　午後五時ヨリ六時マテ

二　每食給與數ハ前項給食時間三十分前ノ人員ニ依ルヘシ但シ新ニ留置スルモノニ對シテ主任ヨリ特ニ給食方指定シタルトキハ其ノ由備考ニ記スヘシ

三　食饌給與ノ際ハ供給受負人ヨリ差出ス所ノ留置人賄鄰ノ食數ト現在人員トヲ照シテ帳簿ニ認印スヘシ

四　定時給食ノ爲過不足アルトキハ其ノ旨主任ニ申出指揮ヲ受クヘシ

五　差入ヲ許可セラレ給食ヲ要セサルモノアルトキハ豫メ供給受負者ニ通知スヘシ

●官印使用ニ關スル件

昭和四年四月十六日
南警一二七九號警務部長通達
都内各調長宛

知事印部長印其ノ他官印使用上過誤ナキヲ期スル爲メ爾今左記ニ依リ使用スルコトニ致シ候條本文ニ依リ取扱ハシメラレ度
右通達ス

第二編　警務　第三章　服務　賞罰　請願　配置

記

一　警務部長印及警務部印使用ノ際ハ職員自ヲ押捺スルコト

二　知事印及臺南州印使用ノ際ハ高等課ハ其ノ課發送係員、警務、保安衞生理番ノ各課ハ警務課收發係員ニ原議文書ト共ニ提出押捺セシムルコト

三　甲親展書類及乙親展書類ノ押捺ハ各係主管者ニ於テナサシムルコト

前項ニ依リ證券類ノ取扱ヲ爲ス場合ハ必ス左記簿册ニ記入スルコト

記

年月日	摘要	金額	提出者印	押捺者印	收受者印

●警察職員島外旅行ニ關スル件

昭和五年八月八日
南警二四七九號警務部長通達
各郡守　警察署長宛

警察職員出張若ハ賜暇看護歸省、轉地療養等ノ許可ヲ得テ島外ヘ旅行ノ際ハ事務上必要有之候條其ノ都度直ニ發著屆ヲ提出セシメ進達相成度
右依命通達ス

追而巡査ニ關シテハ本文ノ外州廳巡査休暇規程施行細則第六條ニ依リ屆出勵行セシメラレ度申添候

●職員ノ勤務地發著屆ニ關スル件

大正九年十二月九日
南警第二〇〇四號警務部長依命通達
郡守　警察(分)署長宛

巡査看守及女監取締休暇規程ニ依リ轉地療養看護歸省並旅行等ノ爲勤務地發著ノ場合ハ同規程第二十一條ニ依リ發著共其都度屆出ツヘキ規定ナルニ不拘之カ手續ヲ怠ル者アリ處理上支障有之候條爾今必ス勵行セシメラレ度右依命通達ス

追テ新任轉勤ノ際モ本文ニ依リ屆出勵行セシメラレ度申添候

●東京ニ出張ヲ命セラレタル職員ニ關スル件

明治四十四年一月
臺南祕第二二一號庶務課長通牒

東京ニ出張ヲ命セラレタル職員ハ到著後速カニ臺灣總督府出張員事務所ニ出頭シ且ツ出來得ル限リ日々同所ニ出勤スヘク又出張ト賜暇旅行トニ拘ラス東京ニ滯在シ若ハ同地ヲ通過スルモノモ可成一應同事務所ニ出頭シ宿所ノ屆ヲナスヘキ旨其ノ筋ヨリ申來リ候條此段依命及通牒候也

●上京セル職員宿所屆ニ關スル件

大正十二年十月
祕第二三九三號文書課長通牒

上京及同地通過スル場合職員ハ臺灣總督府出張所ニ出頭シ宿所ノ屆出ヲナスヘキ樣依命通牒有之嚴守サレ居ル事ト存候得共別紙祕書課長依命通牒ノ次第モ有之候條爾後一層嚴守相成樣部下ニ御示達相成度

依命右通牒ス

別紙

上京ヲ命セラレタル職員宿所屆ニ關スル件

上京ヲ命セラレタル職員ハ到著後速ニ臺灣總督府出張所ニ出頭シ且ツ出來得ル限リ日々同所ヘ出勤スヘク又出張ト賜暇旅行トニ不拘滯京若クハ同地ヲ通過スルモノモ可成一應同事務所ニ出頭シ宿所ノ屆出ヲナスヘキ樣通達有之候處近時往々之ヲ怠ル者アル爲今回ノ如キ非常ノ場合ニ於テ甚タ困惑スル旨東京出張所ヨリ照會モ有之候條今後上京者ハ著京退京ノ際ハ必ス上記ノ件嚴守相成樣致度依命右通牒ス

追テ現在上京中ノ者ニハ其旨通知相成度

●警察職員參廳簿ニ關スル件

大正九年十二月
南警第一九二三號警務部長依命通牒
郡守　警察(分)署長宛

警務部、警察署、警察分署、警察課ニ備フル參廳簿樣式別紙ノ通改正候條自今公務ノ爲參廳ノ際ハ勿論非番休暇其ノ他ニテ右官署所在地ヘ旅行シ宿泊スル場合ハ必ス該簿册ニ記入スヘキ樣部下警察職員ヘ示達可相成右依命通牒ス

別記樣式

警務部長	警務課長	警務係長	參廳年月日時	滯在豫定日數	用務	宿所	官職氏名
				日			

●警察職員旅行願副申ニ關スル件

大正十四年
南警第六三七〇號警務部長依命通達

警察職員旅行願出ニ關シ許否決定ノ上必要有之候條該旅行願ノ副申書ニハ賜暇休暇(休暇ノ場合ハ規程第一條ノ種別)ノ殘日數並勤務支障ノ有無ヲ記載相成度

右依命通達ス

追テ施行細則第六條ニ依ル屆出方勵行セシメラレ度申添候

●警察官ノ名刺樣式

大正十四年二月二十六日
臺南州訓令第十號

改正　大正一四年訓令第一七號

警務部　郡役所　警察署

五・四糎

九糎

用紙ハ厚質白紙
字體ハ楷書
印刷ヲ要ス

記載例

一　警務部何課長

警務部何課勤務
何係主任
何郡警察課長
何郡警察課(何署)勤務
何係主任
何郡警察課何分室主任
兼第何監視區監督
何郡何警察署第何監視區監督
臺南州警部(補)　位勳功　何　某

一　警務部何課勤務
何郡警察課(何郡警察課何分室)(何警察署)勤務
何郡(何警察署)第何監視區第何巡視區監督
巡査部長
臺南州巡査　位勳功　何　某

一　警務部何課勤務
何郡警察課(何郡警察課何分室)(何警察署)勤務
何郡(何警察署)何警察官吏派出所勤務●
何郡何警察官吏駐在所勤務
臺南州巡査　位勳功　何　某

●警察官吏宿舍標札ノ件

大正十二年六月
臺南州訓令第二十號

警務部　郡役所　警察署　警察分署

警察官吏ハ左記雛形ニ依ル標札ヲ調製シ宿舍ノ門戶ニ揭出スヘシ

雛形

警務部 臺南州警察部補 巡査部長 巡査　何某

幅二寸二分竪六寸ノ木製

附則

本令ハ大正十二年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十五年臺南廳訓令第四號巡査巡査補ノ宿舍又ハ寓所ニ標札揭出方及明治三十五年嘉義廳訓令第十一號警察官吏各官舍門戶ヘ標札揭出ノ件ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

●新任巡査配置ニ關スル件

大正十年一月
總警第五六號總務長官代理依命通牒

新任巡査ハ未タ一般警察事務ニ通曉セス之カ實務ノ教養ニ關シテハ所屬州、廳ニ於テ監督者及古參者ノ指導ニ俟ツヘキモノ多キヲ信ス故ニ其ノ配置ニ就テハ特ニ留意ヲ要スヘキニ其ノ多クヲ直チニ蕃地ニ配置スル傾キアルノミナラス甚シキハ蕃情最險惡ナル地ニ勤務セシムルヤノ聞アリ或ハ相當ノ事情アルヘシト雖此ノ間深キ注意ヲ拂ハサレハ蕃人操縱蕃地警備ノ實ヲ擧ケ得サルハ固ヨリ徒ニ犧牲者ヲ增スノミナラス却テ蕃情ヲ攪亂スルノ原由タル虞ナシトセス新任者配置教養ニ關シテハ將來特ニ此ノ旨ニ注意シ警察官ノ能率ヲ高メ一般警察事務遂行上ハ勿論治蕃策遂行上遺憾ナキヲ期セラルヘシ右依命通達ス

●履歷書送付ノ件

大正十二年八月
南警親第五八五號ノ一警務部長通達

其ノ筋ヨリ通牒有之候條警察職員ニ任用セラレタル者ノ履歷書其ノ他自今左記ニ依リ御取扱相成度

右依命通達ス

左記

一　新ニ判任以上ノ警察職員（巡査ヲ除ク判任待遇以上ノモノヲ含ム）ニ任用セラレタル者ノ履歷書三通ヲ十日以內ニ本人ヨリ徵送スルコト

二　新ニ警部補ニ任官シタル者ノ寫眞一葉ヲ徵シ送付スルコト

（寫眞ハ縱二寸幅一寸四分ニシテ裏紙ヲ付セス背裝ニテ幅ヲ頂カス兩手ヲ垂下シタル脇部以上ヲ現ハセル半身ノボカシトス）

●訓授事項筆記送付方ノ件

大正十年十二月
南警第五三一三號警務部長依命通達

郡守　警察（分）署長宛

訓授事項ノ連絡ヲ保チ且ツ統一ヲ圖ル上ニ於テ必要有之候條定期召集施行ノ際ニ於ケル訓授及注意事項ノ筆記ハ自今其ノ都度一部宛送付相成度尚分室其ノ他ニ於テ召集施行ノ際郡守又ハ警察課長直接訓示ヲ爲ス能ハサル場合ハ攜メ訓授事項ヲ送付シ分室其ノ他駐在ノ警部ヲシテ代テ訓授ヲ爲サシメ以テ統一ヲ期スルコトニ努メラレ度

右依命通達ス

●標札樣式ニ關スル件

大正十二年九月
南警第一二五三八號警務部長通牒

警察署、分署、警察課同分室竝警察官吏派出所等ノ標札樣式ハ大正五年八月總督府訓令第八十五號ニ依ルノ外爾今左記ニ依リ取扱相成度依命右通牒ス

追テ現在使用ノ標札ニシテ樣式ニ違フモノハ漸次ニ改正スルコトニ致度

記

（五尺八寸）厚サ一寸以上

何警察署

（一尺二寸）（天二寸五分、地四寸ヲ空クベシ）

何警察署何分署

（一尺一寸）（天二寸、地三寸ヲ空クベシ）

（五尺五寸）厚一寸以上

（四尺八寸）厚八分以上

何郡（何警察署）何（水上）警察官吏（派出所／駐在所／見張所）

（九寸）（天二寸、地二寸五分ヲ空ク）

（四尺八寸）厚八分以上

何郡　何警察課　分室

（九寸）（天二寸、地二寸五分ヲ空ク）

（三尺）厚六分以上

何々（地名其他適當ノ名稱ヲ附ス）請願巡査詰所

（六寸）（天二寸、地二寸五分ヲ空ク）

●隨行員警護員等乘車ニ關スル件

大正十二年十一月
鐵運第七五六號鐵道部通牒

總督閣下其ノ他貴賓乘用ノ爲普通列車ニ特別車ヲ連結シ又ハ臨時列車ヲ運轉スル場合隨行、警護、送迎等ノ爲乘車スルモノハ別段乘車券ヲ要セサルモノト解シ居ラルル向有之哉ニ聞及候處當部ニ於テハ鐵道省ノ例ニ倣ヒ今回別紙ノ通取扱方ヲ一定致候條右關係ノ向ヘ示達方御取計相煩度此段得貴意候也

追テ臨時列車運轉ノ場合ハ之ニ乘用セラルル向ノ氏名ヲ乘車驛々長迄御通知被下度申添候

（別紙）

鐵道部報（甲）大正十二年十一月十九日　臺灣總督府鐵道部
第三百八十一號（二頁）

○達

達甲第百五十三號（法規第三編二五五頁）

臺灣總督、臺灣軍司令官其ノ他貴賓乘用ノ爲普通列車ニ特別車ヲ連結シ又ハ臨時列車ヲ運轉スル場合隨行警護送迎等ノ爲乘車スルモノノ取扱方左ノ通定ム

大正十二年十一月十九日

臺灣總督府鐵道部長　新元鹿之助

第一條　隨行員、警護員、送迎者等ノ乘車ニ關シテハ別ニ定メタル場合ヲ除クノ外本達ニ依リ取扱フヘシ

第二條　隨行員、警護員、送迎者等ノ乘車ハ普通列車タルト臨時列車タルトヲ問ハス總テ乘車券急行列車券寢臺券ヲ要スルモノトス

第三條　臨時列車運轉ノ場合ハ之ニ乘車スルモノノ氏名ヲ豫メ關係官公署ヨリ乘車驛々長ニ通知アルモノトス

第四條　第二條ニ依リ發賣スル乘車券、急行列車券ハ貴賓乘用車ニ對シテハ當該列車編成車ノ最上級其ノ他ノ客車ニ對シテハ各其ニ相當スル等級ニ依ルモノトス但シ警護員ニシテ客車昇降臺ニ乘車スル者ニ對シテハ客車ノ如何ヲ問ハス總テ三等乘車券急行列車券ヲ發賣スヘシ

第五條　本達ニ依リ乘車スルモノノ手荷物ハ總テ之ヲ無賃トス

鐵道部報（甲）第三百八十一號　大正十二年十一月十九日三〇三

【臺南警】

●警邏線路ニ關スル件

大正十三年八月
南警第九四二八號警務部長依命通達

各郡守　警察署長宛

臺灣總督府地方警察配置及勤務規程施行細則第三十條ニ依リ警邏線路指定ノ指揮ヲ承ケントスルトキ又ハ指定後之ヲ變更セントスルトキハ左記事項ヲ具シ稟申相成度

右通達ス

記

一　指定又ハ變更ヲ要スル理由

二　地圖（一葉）

イ　受持區域及其ノ他隣接ノ地形ヲ示シタルモノニシテ警邏函ノ位置主要建物ノ所在ヲ明ニシタル二萬分ノ一ノモノ但シ臺南市、嘉義市所在ノ派出所ニ在テハ二千四百分ノ一地圖ヲ添附スルコト

ロ　色別ヲ以テ警邏線路ヲ表示シ變更スルモノニアリテハ現行線路ヲモ點線ヲ以テ表示スルコト

ハ　圖面餘白ニ凡例ヲ設ケ道路、鐵道、山川、湖沼、街庄、大字界部落、主要建物其ノ他必要事項ヲ例示スヘシ

ニ　各警邏間ノ距離竝ニ總延長及概ネ一周ニ要スル時間ヲ餘白ニ記載スルコト

●巡査ノ外勤事務執行ニ關スル件

昭和五年五月一日
南警第一二四三號ノ一臺南州警務部長通達

各郡守　警察署長宛

一般外勤巡査ノ執行務ニ關シテハ從來明治四十年十二月民警第三六〇五號通達ノ次第モ有之區域内ノ事務ハ總テ受持巡査ノ分擔ニ任セシメ可成分割的ニ從事セシメサルコトニ致居候處今回其ノ筋ヨリ右通達ヲ廢止シ特ニ已ムヲ得サルモノハ外勤執行務ノ性質ニ背馳セサル範圍ニ於テ地方ノ事情事務ノ繁閑等ヲ參酌シ專務的ニ從事セシムルモ支障ナキ旨通牒有之候ニ付テハ從來能率增進上外勤執行務ノ一部ヲ分割專務的ニ從事セシムルヲ特ニ必要トスルモノアラハ詳細事由ヲ具シ上申承認ノ上施行相成度

右依命通達ス

●外勤務執行ニ關スル件

昭和五年五月七日
南警第四一九六號ノ一臺南州警務部長通達

各郡守　警察署長宛

刑事及防犯勤務等ニ服スル私服警察官ニ對シ其ノ執行務ノ徹底ヲ確保セシムル爲メ近ク拳銃ヲ配付シ携用セシムルコトニ相成候處之カ使途ヲ誤リ濫用ニ陷ルカ如キコトナキ樣其ノ筋ヨリ通達ノ次第モ有之候ニ付テハ特ニ注意シ明治二十九年七月勅令第二七八號ヲ遵守セシムヘキハ勿論尚左記ニ依リ萬遺憾ナキヲ期セラルヘク

右依命通達ス

記

一、拳銃及彈藥ハ職員ニ渡切貸與スルコトナク警察署郡警察課、同分室等ニ配備シ無頼漢逮捕其ノ他暴行ヲ受クル虞アル勤務ニ服セシムヘキ者ニ對シ其ノ都度貸與シ任務終了セハ直ニ返戻セシムルコト

二、彈藥ヲ射用セル場合ハ即時ニ其ノ時態ヲ報告セシムルコト

三、拳銃及彈藥ハ平素嚴重ニ保管シ出納ニ付責任者ヲ定メ置クコト

四、拳銃彈藥ハ配給セル以外ノモノハ絕對ニ使用セシメサルコト

●警察職員法院檢察局ヘ出頭方其ノ他ニ關スル件

昭和六年四月十六日
南警第一二一八號警務部長通達

各郡守　署長宛

警察職員カ召喚ヲ受ケ又ハ事務打合等ノ爲メ法院檢察局ニ出頭スヘキ場合其ノ他訊問應答ノ要領報告等ニ關シテハ大正十三年六月二十八日南警第八九四三號及昭和二年九月一日南警第二七四六號ノ依命通達ノ次第モ

【臺南警】

有之候處爾今左記ニ依リ取扱相成度
右依命通達ス

記

一、事務打合ノ爲メ出頭セシメムトスルトキ（法院又ハ檢察局ヨリ通知アリタル場合ヲモ含ム）ハ豫メ當部ニ協議スルコト

二、召喚又ハ勾引セラレタルトキハ其ノ旨直ニ報告スルコト

三、訊問應答ノ要領又ハ重ナル打合事項等ハ速カニ當部ニ報告スルコト

●出勤簿及職員缺勤ノ場合取扱方ノ件

明治四十三年九月
祕已第二五三號祕書課長依命通牒

出勤簿及職員缺勤ノ場合ニ於ケル取扱方ハ各官廳ニ於テ其ノ趣キヲ異ニシ一定セサルヲ以テ爾後左記各項ニ因リ御處理可相成依命此段及通牒候也

一　出勤簿ハ官衙長以下職員（高等官、判任官、判任待遇囑託員及雇員）全部ヲ記載シ日々出勤時ニ必ス捺印セシムルコト

二　出勤時刻三十分時ヲ經過シタルトキハ直ニ出勤簿ヲ納メ之カ整理ヲ爲スコト

三　出勤時刻三十分時ヲ經過シ出勤シタル者ニハ「遲刻」ト又退廳時刻（退廳時刻ヲ經過スルモ所屬上官尙ホ在廳スル場合ヲ含ム但退廳ノ許可アリタル場合ヲ除ク）前ニ退廳シタル者ニハ「早引」ト出勤簿ニ記入スルコト

四　無屆ニテ缺勤シタル者アルトキハ無屆ト出勤簿ニ記入スルコト

五　職員ノ缺勤ハ病氣又ハ父母父母ナキモノハ祖父母看護ノ事由ニ依ルニアラサレハ之ヲ許ササルコト

六　缺勤屆ハ出勤時刻マテニ日々之ヲ提出セシメ缺勤五日ヲ超ユルトキハ治療期間ヲ記入シタル醫師ノ診斷書ヲ添付セシムルコト

七　出勤簿ニ出勤、出張、忌引、公暇及賜暇ヲ記入スルニハ朱ヲ用ヒ其他ノ事項ヲ記入スルニハ總テ黑ヲ用ユルコト

八　所屬長官ハ少ナクトモ每週一回以上必出勤簿ヲ檢閱スルコト

●寄贈金品受領ノ件

大正九年十二月
臺南祕第一七三一號知事達

官吏ニシテ各種團體事務ヲ應囑シ該團體ヨリ金品ノ寄贈ヲ受クル者ハ其都度官吏服務紀律ニ依リ許可ヲ受ケラルヘク尙貴官權限內ニ於テモ之ニ準シ處理相成ヘシ（各郡守市尹）

官吏ニシテ各種團體事務ヲ應囑シ該團體ヨリ金品ノ寄贈ヲ受クル者ハ其都度官吏服務紀律ニ依リ許可ヲ受ケラルヘク此旨部下一同ニ示達スヘシ（各課長稅務出張所長）

●地方警察職員轉勤ノ際部民ヨリ寄贈ニ關スル件

明治四十五年六月
本警第九一五號警察本署長通牒

官吏ノ轉免ニ際シ所在人民ヨリ金品ヲ寄贈スル場合ノ心得ニ付テハ明治三十七年八月內訓相成其ノ後四十三年六月祕丁第一〇四號ヲ以テ本島人民ヨリ寄贈スル金品ハ容易ニ受領許可相成ラサル旨民政長官ヨリ御通牒

【臺南書】

相成居ルニ拘ハラス頃來地方警察職員ノ轉勤ニ際シ部民殊ニ本島民ヨリ物品ノ寄贈ヲ受ケ之カ受領方ニ付伺出テラルル向尠カラス漸次續出ノ傾向ニ有之候處右ハ內訓ノ御趣旨ニ相反スル儀ニシテ自今本島民ヨリノ寄贈ハ絕對ニ許容不相成筈ニ有之候條其ノ旨御部下一同ヘ御示達相成度爲念此段及通牒候也

●警察職員死歿者名簿取扱ノ件

明治三十八年七月
本警庶甲第四號

領臺以來我警察官吏ノミヲ以テスルモ其ノ死者既ニ五百有餘名ニ及ヒ尙ホ他ノ警察職員ヲ併算スルトキハ無慮一千名ノ多キニ垂ムトス而シテ其ノ事蹟ヲ記錄ニ存シテ之ヲ永遠ニ保存スルハ警察沿革誌ト相待テ照顧上必要ナルノミナラス死者ヲ待ツニ於テ亦缺クヘカラサル所ナリ而シテ警察ノ職員ハ既ニ同僚協力シテ警察招魂碑建設ノ計畫ヲ立テ其ノ工事ノ竣成亦將サニ近キニアラムトス然ルニ死者ノ事蹟ヲ記錄シ之ヲ永遠ニ保存スルカ如キ官署ニ於テスルニアラサレハ其ノ目的ヲ達スルコト能ハサルヲ以テ昨年六月頃迄ニ於ケル警察官吏ノ死歿者ニ關スル資料ハ本署ニ於テ概ネ之カ蒐集ヲ了シ現ニ整理中ニ在リト雖各廳ニ於テモ亦一定ノ樣式ニ依リテ名簿ヲ調製シ將來之カ取扱ヲ確實ナラシムルノ必要ヲ認メ其ノ手續別記ノ通相定メ候條右ニ依リ處理セラレ度此段及通牒候也

（別記）

警察職員死歿者名簿取扱手續

一　警察本署及廳ニ於テハ警察職員死歿者名簿ヲ調製シ警察職員其ノ職務ノ爲ニ死歿シ若ハ職務ノ爲ニアラスト雖在官又ハ在職中死歿シタルトキハ概ネ左ノ各號ニ基キ其ノ要領ヲ編述シテ之ヲ登載シ永遠ニ保存スルモノトス

（一）本籍、族稱、位勳、官職、氏名、生年月日

（二）性行及經歷ノ大要

（三）死歿年月日、場所及其ノ顚末

（四）本島ニ於ケル墳墓ノ位置

（五）其ノ他必要ト認ムル事項

二　警察本署備付ノ名簿ニハ全島警察職員ノ死歿者、廳備付ノ名簿ニハ其ノ所屬警察職員ノ死歿者ヲ登載スルモノトス

三　廳警察職員中死歿者アリタルトキハ廳長ニ於テ其ノ死歿者名簿ノ謄本ヲ作リ警察官吏ノ分ハ弔慰申報ト共ニ其ノ他ノ分ハ成ルヘク速ニ警察本署長ヘ送付スルモノトス

四　警察本署長及廳長ハ部下職員中ヨリ警察職員死歿者名簿取扱主任ヲ選定シ之ヲ掌理セシムルモノトス

五　警察職員死歿者名簿ハ別記樣式ニ依ルモノトス

（別記）

本籍族稱	何縣何郡何町村第何番戶	士族
出生地	何縣何郡何々村	
出生年月日	明治何年何月何日	官職位勳 何廳警務課勤務 何廳警部勳八等何某

死歿年月日	氏名	記事	墓所
明治何年何月何日		臺灣總督府警察官及司獄官練習所警察部乙科練習生ニ採用セラレ同年何月何日ヲ以テ科程修了證書及成績等品行方正ノ故ヲ以テ賞狀ヲ授與セラルル同月何日何廳巡査拜命何……明治何年何月臺灣總督府ニ於テ施行セラルル文官普通試驗ニ合格シ同月何日何廳警部補ニ任セラレ是ヨリ先キ何々ヲ經テ同月何日何廳警部ニ勤昇任シ何年何月何日何廳警務課ニ於テ百般ノ事務ニ從事シ何年何月何日ヨリ何々街ニ在勤シテ豫メ其ノ德望ノ篤カリシヲ想見スルニ足ルモノアリ而シテ其ノ卒業ノ後ハ亦將ニ近キニアラムトス次ヲ二郎ト稱スル尙ホ鄕里ニ在リテ未タ人之ヲ愛育スト謂フ又ハ何……以テ賞狀ヲ授與セラルル同月何日何廳巡査拜命何……明治何年何月何日何廳警務課ニ於テ施行セラルル文官普通試驗ニ合格シ同月何日何廳警部補ニ任セラレ是ヨリ先キ何々ヲ經テ同月何日何廳警部ニ勤昇任シ何年何月何日何廳警務課ニ於テ百般ノ事務ニ從事シ何年何月何日ヨリ何々街ニ在勤シテ豫メ其ノ德望ノ篤カリシヲ想見スルニ足ルモノアリ而シテ其ノ卒業ノ後ハ亦將ニ近キニアラムトス次ヲ二郎ト稱スル尙ホ鄕里ニ在リテ未タ人之ヲ愛育スト謂フ又ハ何……何廳何支廳何庄土名何々卽チ何支廳ヲ距ル東南約何丁ニ在ル丘陵

記載例

(一) 手續第一項第二號第三號及第五號ノ事實ハ總テ記載欄ニ記載スヘシ若シ之ニ記載シ盡スコト能ハサルトキハ一野內更ニ野線ヲ施シ卽チ一野ヲ二行ニ分割シテ記入スルモノトス

(二) 本人ノ寫眞等アルトキハ名簿ト同大ノ白紙ニ貼附シ添綴スルモノトス

(三) 本標式ノ例文ハ單ニ其ノ一例ヲ示シタルモノニ付恩賞及逸事佳話等本人ノ名譽ヲ彰ハシ若ハ後進者ニ裨益ヲ與フルカ如キコトハ成ルヘク網羅スルモノトス

(四) 名簿ハ楷書ヲ以テ之ヲ記載シ一行ノ字詰ハ成ルヘク一定ナラシムルヲ要ス

(五) 用紙ハ其ノ質ノ强靱ナルモノヲ用ヰ職務ノ爲死歿シタルモノハ綠色摺其ノ他ハ赤色摺トス但シ警察本署ニ於テ調製ノ上送付スルモノトス

(六) 警察本署長ヘ送付スル謄本ハ美濃紙ニ適宜罫線ヲ施シ之ニ記載スヘシ

(七) 名簿ハ特ニ作リタル筐ニ納メ保存スルモノトス

●警察職員死歿者遺言遺骨取扱ニ關スル件

明治三十八年七月
本警庶乙第二六七號

警察職員本島內在職中死歿シタル者ノ遺言遺骨其ノ他遺留金品取扱等後事ノ處理方ニ就キ粗漏又ハ緩慢ニ流レ爲ニ遺族等ヨリ問合ヲ受クルカ如キ事實往往ニシテ有之單竟遺族等ハ本島ノ隔絕セル鄕里ニ在リテ其ノ訃音ニ接シ悲嘆ノ餘遺骨及遺品等ノ速ニ到著セムコトヲ期待シツツ在ル拘ハラス其ノ時機ヲ失シ債權及遺品等ノ結末ニ付明確ヲ缺クコトアルカ爲種種ノ杞憂ヲ抱キ或ハ臆測ヲ逞フスル等無要ノ憂苦ヲ重ヌルニ至ルハ遺族ノ衷情ニ於テ固ヨリ有リ得ヘキコトト認メ候而シテ是ヲ爲延テ官署ノ威信ヲ損スルコトナシトセス斯ノ如キハ卒素一身同體ヲ以テ信條トス

ル警察職員カ其ノ同僚タル死者ヲ待ツノ途ニアラスト思料セラレ候條自今死者アリタルトキハ概ネ左記各項ニ依リ敏速明確ニ之ヲ取扱ヒ遺族ヲシテ安慰セシムル樣取計相成度此段及通牒候也

左記

一 遺留金品ハ警務課長、支廳長又ハ其ノ代理タル警部、警部補ノ外巡査二人以上立會ノ上之ヲ調査シ目錄ヲ調製シ保管者ヲ定メ遺族ヘ送付スル迄ノ間之ヲ保管セシムルコト

二 遺言アルトキハ法定ノ手續ヲ誤ラサル樣特ニ注意シ其ノ他證憑又ハ紀念ト爲ルヘキ書類物件ハ一層鄭重ニ取扱フコト

三 遺留品中運送ニ不便ナルカ又ハ價格以上ノ失費ヲ要スル爲送付スルヲ不得策ト認ムルトキハ之ヲ賣却シ代金ヲ送付スルモノトス此場合ニハ其ノ事由ヲ目錄ニ記スルコト

四 諸給與等ニシテ受領シ得ヘキモノハ之ヲ領收シ且收支貸借關係ハ第一項ノ手續ニ依リ明確ナル計算書ヲ作リ其ノ支拂ニ付テハ正當領收證ヲ添附スルコト

五 死亡ノ顚末ニ付テハ詳細ナル始末書ヲ作製シ之ニ戶籍上ノ屆ニ要スル醫師ノ診斷書若ハ檢案書又ハ警察官ノ檢視調書ノ謄本一通（職務ノ爲死亡シタル者ハ二通及在職中一通）ヲ添附スルコト

六 本島ニ於テ葬儀ヲ行ヒタルトキハ其ノ狀況墓地ノ位置等ヲ前項ノ始末書ニ附記スルコト

七 以下ノ處置ヲ了シタルトキハ警務課長又ハ支廳長ノ名ヲ以テ遺骨ト共ニ速ニ遺族ニ送付スルモノトス若或一事項ノ處理遲延スルノ虞アルトキハ其ノ事由ヲ明示シ先ツ其ノ處理ノ了リタル分ヲ送致スルコト

八 死者ノ遺族現在シテ後事ヲ處理スルニ差支ナキ場合ハ前各項ノ取扱ヲ要セスト雖之ニ對シテハ充分便宜ヲ與フルコト

●州廳巡查精勤證書授與規程施行細則

大正十二年
臺南州訓令第五十三號

改正　大正一三年訓令第二四號、昭和四年第三號

警務部　郡役所　警察署

第一條 警務部長、郡守及警察署長ハ州廳巡查精勤證書授與規程（以下單ニ規程ト稱ス）第二條ニ依リ精勤證書ヲ授與スヘキ者ト認メタルトキハ每年三月末日現在ニヨリ調查シ別記第一號樣式ニ依リ四月十日迄ニ報告スヘシ

第二條 規程第二條及第三條ノ期間ノ計算ハ州、廳巡查拜命ノ日ヨリ起算スヘシ

第三條 規程第四條ノ期間ノ計算ハ次ノ方法ニ依ルヘシ

一 第一號ノ場合ハ減俸期間滿了ノ翌日ヨリ起算ス

二 第二號ノ場合ハ自由刑ナルトキハ執行ヲ終リタル翌日、罰金科料ナルトキハ刑ノ言渡確定ノ日ヨリ起算ス

第四條 精勤證書ヲ有スル者ニシテ規程第六條第二號ニ該當スルトキハ、遲滯ナク其ノ情狀ヲ具シ報告スヘシ

第五條 警務部長、郡守及警察署長ハ規程第七條第一項ニ依リ精勤證書ヲ有スル者ノ素行及勤務成績ヲ審査シ證書褫奪ヲ要スル者ト認メタル

トキハ其ノ事情ヲ詳具シ毎年四月十日迄ニ報告スヘシ

第六條　規程第六條第二號及第七條第一項ニ依リ證書擬奪ノ處分ヲ受ケタル者又ハ懲戒規程ニ依リ免職セラレタル者ノ有スル精勤證書ハ警務部長、郡守及警察署長ニ於テ之ヲ回收シ證書ト共ニ報告スヘシ

第七條　規程第七條第一項ニ依リ精勤證書ヲ擬奪セラレタル者同條第二項ノ期間ヲ經過シ改悛ノ狀顯著ニシテ特ニ其ノ精勤ヲ證シ名譽ヲ表彰スル要アリト認ムル者ニ對シテハ警務部長、郡守及警察署長ハ隨時其ノ事情ヲ詳記シ第一條ニ準シ具申スヘシ

第八條　精勤證書ヲ亡失、毀損シ證書ノ再渡ヲ請フ者アルトキハ警務部長、郡守及警察署長ハ事情ヲ調査シ本人ノ手續書ヲ添ヘ具申スヘシ

第九條　警務部、郡役所、警察署ニ別記第二號樣式ノ巡査精勤證書授與者名簿ヲ備付ケ證書授與及其ノ異動ヲ整理スヘシ

（別紙樣式）

第一號　（用紙美濃紙）

精勤證書授與者調（甲種巡査）　部、郡、署

起算年月日	品行良否	勤務勉否	事務熟達程度	學科及術科規程第四條ノ種別等級	勤續年數	缺勤日數	分掌事務	俸給	順位	職氏名

記載例

一　甲種巡査ト乙種巡査トハ各別ニ順位ヲ付スヘシ

二　本令第三條該當者ハ期間起算日ヲ同第七條該當者ハ擬奪ノ翌日ヲ其ノ他ノ者ハ拜命年月日ヲ起算年月日欄ニ記載スヘシ

（臺南巻）

三　品行良否以下ノ三欄ハ甲、乙、丙ヲ以テ表示スヘシ

四　勤續年數ハ州廳巡査拜命ノ日ヨリ起算シ缺勤日數ハ其ノ年三月以前三ヶ年間ノ日數ヲ計上記載スヘシ

第二號　（用紙美濃紙）

證書番號	第　號	拜命年月日	年　月　日	州巡査
授與年月日	年　月　日	官職氏名	巡査	
摘要				

（注意）

一　摘要欄ニハ免職、轉職死亡又ハ擬奪等ノ事由竝其ノ年月日ヲ記載スヘシ

二　他州、廳ニ於テ授與セラレタル者轉入セルトキハ授與官署ヲ摘要欄ニ記載スヘシ

三　郡役所及警察署ニ於テハ所轄內ノモノ、ミヲ記載スヘシ

●臺南州警察賞與取扱手續

昭和四年四月二十四日
臺南州訓令第六號知事通達

警務部長　郡守　警察署長宛

第一條　警察賞與規程（以下單ニ規程ト稱ス）ニ依ル警察賞與ハ本手續ニ依リ取扱フヘシ

第二條　警察官吏ニ對スル規程第一條第一項第一號ニ依ル賞與ハ一事件

懲役三箇月（執行猶豫ハ五箇月）以上罰金百圓以上ノ刑ニ處セラレタル犯人ノ査捜逮捕ニ關シ其ノ功勞賞與ヲ行フ價値アルモノタルコトヲ要ス但シ前段ノ刑ヨリ輕キモノト雖モ功勞特ニ顯著ナル者ハ此ノ限ニ在ラス

第三條　事件發生後（犯罪事件ニ在リテハ處斷通知若ハ卽決言渡後）一箇月ヲ經過シ上申シタルモノニ對シテハ警察賞與ヲ行ハサルコトアルヘシ

第四條　郡守警察署長警察賞與ヲ行フ必要アリト認メタルトキハ左ノ各號ニ依リ處理スヘシ

一　規程第一條第一項第一號ニ依ルモノニアリテハ事件送致ノ際豫メ第一號樣式ノ始末書ヲ徵シ判決確定後之ヲ添付シ第三號樣式ニ依リ上申スヘシ但シ犯罪事實重大且明白ナルモノニ在リテハ卽時其ノ手續ヲ爲スヘシ

二　規程第一條第一項第二號以下ニ依ルモノニ在リテハ本人ノ始末書若ハ第二號樣式ノ報告書ヲ徵シ第三號樣式ニ依リ速ニ上申スヘシ

三　前各號ノ場合ハ事件送致又ハ上申ノ際第四號樣式ノ賞與上申簿ニ其ノ要領ヲ登載シ置キ爾後其ノ處理ノ結果ヲ記入スヘシ

第五條　警察賞與ノ上申ハ迅速公平ヲ旨トシテ取扱フヘシ

第一號樣式

昭和　年　月　日	功勞者官
郡守殿 警察署長殿	職署名印

犯罪檢舉始末書

（臺南巻）

犯人ノ前科竝住所氏名年齡	
罪名竝犯罪發覺ノ原因	
犯罪事實	
檢舉顚末	
被害金品ノ處置	
參考事項	

記載例

一　本始末書ハ可成犯罪檢舉ノ功勞事實ヲ明瞭ナラシムヘシ

二　功勞者官職署名印欄ハ警察官吏ニアリテハ其ノ勤務ノ種類（內勤何係刑事派出所勤務等）ヲ其ノ他ニ在リテハ住所職業氏名年齡ヲ記載スヘシ

三　犯人ノ前科ハ窃盜一犯詐欺二犯等ノ例ニ依リ其ノ度數ヲ記載スヘシ

四　罪名竝犯罪發覺ノ原因欄

（一）罪名ハ處罰法條ノ罪名例之ハ窃盜、强盜、何法何規則違反ト記載スヘシ

（二）發覺原因ハ告訴、告發、自首、認知、屆出、密告、投書、風聞新聞記事等ニ區分記載スヘシ

五　犯罪事實欄ハ犯罪ノ日時、場所性質方法被害ノ狀況及被害金額ノ順序ニ依リ二罪以上アル場合ハ各罪毎ニ（一）（二）（三）等ト區分記載

スヘシ

六 檢擧顚末欄ハ如何ナル苦心ト努力ヲ拂ヒタルヤ又連名ニテ記載スル場合ニハ特ニ各人ノ功勞事實及其ノ程度ヲ明ニ記載スヘシ

七 被害金品ノ處置ハ犯人カ消費シタル額及被害者ニ還付シタル額ヲ記載スヘシ

八 參考事項欄ハ第二條但書ニ該當スル場合其他參考事項ヲ記載スヘシ

九 郡守警察署長ハ始末書各欄記載事實ニ不備又ハ事實相違ノ點アリト認メタルトキハ訂正セシムヘシ

十 功勞者及犯人多數ニシテ當該欄ニ記載シ得サルトキハ便宜同一用紙ヲ貼付シ記載スヘシ

第二號樣式

昭和 年 月 日

郡守殿
警察署長

報告者勤務所官職氏名

警察賞與上申方報告

功勞者住所
職業氏名年齡

件名

功勞事實

【臺南警】

右臺灣總督府警察賞與規程第一條第一項第 號ニ該當スルヲ以テ上申相成度此段及報告候也

記載例

一 件名欄ハ「犯人逮捕」「人命救護」「災害救濟」「高等內偵」等ノ例ニ依リ簡明ニ記載スヘシ

二 功勞事實ハ具體的ニ簡明ニ記載スヘシ

第三號樣式

查定額欄記載ノ通發令可然哉

臺南州知事殿

昭和 年 月 日
賞第 號

警務部長 警務課長 警務係長 主查

郡守
警察署長

警察賞與上申

罪名	判決年月日及官廳	犯人前科名	功勞順位	查定額	事件概要	功勞事實	官職氏名
刑名							
刑期							

記載例

一 查定額欄ハ記入スヘカラス

二 事件概要欄ハ年月日場所事件ヲ簡明ニ記載スヘシ

三 功勞事實欄ハ犯罪檢擧ニアリテハ特ニ左ノ事項ヲ各人別ニ明ニスヘシ

(一) 自ラ犯罪ヲ探知シ逮捕セルモノナルヤ

(二) 單ニ探知報告ヲ爲シタルモノナリヤ

(三) 指揮又ハ通報ニ依リ逮捕セルモノナリヤ

(四) 告訴告發自首等ニ依リ取調ニノミ從事セルモノナリヤ

(五) 單ニ通譯ニ從事セルモノナリヤ

(六) 他ノ援助協力ヲ爲シタルモノハ其ノ程度

以下之ニ倣フ

四 功勞者二名以上ノトキハ功勞順位ヲ甲乙丙ノ文字ヲ以テ表示スヘシ

五 犯罪檢擧以外ノ場合ニアリテハ罪名刑名刑期其ノ他ノ該當欄ニハ斜線ヲ施スヘシ

六 功勞順位官職氏名欄ハ警察官吏以外ニ在リテハ住所氏名ヲ記載スヘシ

七 犯人二名以上ノトキハ各氏名ノ上部ニ甲乙丙ノ符號ヲ記シ關係各欄之ニ依リテ記載スヘシ

八 特ニ必要アルトキハ本樣式ニ依ラサルコトヲ得

第四號樣式

第二編 警務 第三章 服務 賞罰 請願 配置

【臺南警】

警察賞與上申簿

賞番號	收受月日	功勞事實大別	功勞者氏名	判決確定年月日	刑名	刑期	上申區分	發令	摘要

記載例

一 本簿ニテ處理スルモノハ收發件名簿ニ登載セス

二 警察賞與ニ關シ照復スル文書ハ番號ノ頭ニ次ノ如キ頭文字ヲ冠スヘシ

(一) 臺南警察署ニアリテハ南署賞第 號

(二) 新豐郡ニアリテハ 豐 賞第 號

(三) 新化郡ニアリテハ 化 賞第 號

三 功勞事實大別欄ニハ「犯人逮捕」「人命救護」「高等內偵」等功勞事實ノ性質ヲ記載スヘシ

四 發令區分欄ニハ發令ニ基ツク賞與ノ種類及金額ヲ記載スヘシ

五 摘要欄ニハ「書類不備ニ付再調下命」「賞與ノ價値ナシト認メ上申見合セ」等事件進行ノ狀況ヲ記載スヘシ

六 本簿ハ累年襲用スルコトヲ得

參照

大正十四年府令第二十八號臺灣總督府警察賞與規程抄錄

第一條 警察賞與ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ對シ其ノ功勞ノ程

度ニ應シ之ヲ行フモノトス但シ輕微ナルモノハ此ノ限リニアラス

一 犯罪人ヲ逮捕シ又ハ逮捕ヲ容易ナラシメ若ハ犯罪捜査ニ從事シタル者

二 重大ナル犯罪ヲ未發ニ防止シタル者

三 蕃人又ハ匪賊ノ討伐捜査警戒ニ關シ盡力シタル者

四 人命ヲ救護シタル者

五 水火災惡疫流行其ノ他災害事變ニ際シ警戒防禦救濟ヲ爲シタル者

六 特ニ視察ヲ要スル人物若ハ精神病者ヲ發見シ又ハ不穩ノ行動若ハ豫謀ヲ察知シタル者

七 急迫ノ際警察官吏ノ請求ニ應シテ其ノ職務執行ノ補助ヲ爲シタル者

前項ノ賞與ハ警察官吏ニ對シテハ其ノ功勞特ニ顯著ナルトキニ限リ之ヲ行フモノトス

第二條 警察賞與ヲ別チテ左ノ三種トス

一 特別賞與 金五十圓以上五百圓以内

二 普通賞與 金五十圓未滿

三 賞狀

特別賞與ハ功勞拔群衆ノ龜鑑ト爲スニ足ルヘキ者ニ對シ之ヲ行フモノトス

第三條 犯罪人ヲ逮捕シ又ハ逮捕ヲ容易ナラシメタル者ニ對スル賞與ハ確定判決ニ至ラスト雖犯罪ノ事實明白ナリト認ムルトキハ之ヲ行フコトヲ得

〔臺南警〕

●警察官吏皆勤證書授與內規改正ノ件

昭和六年四月十六日
南警第一二一五號警務部長通達
各郡守 警察署長宛

警察官吏皆勤證書授與內規別記ノ通相改メ候條爾今右ニ依リ實施相成度

右依命通達ス

追而昭和七年ニ於テ本內規ニ依リ賞品ヲ授與セラルヽ資格アル者ト雖モ本年二年以上皆勤ノ故ヲ以テ賞品ヲ授與セラレタル者ニ對シテハ之ヲ授與セサルモノニ有之候條申添候

別記

警察官吏皆勤證書授與內規

第一條 警察官吏ニシテ一ケ年間皆勤シタル場合ハ其ノ精勤ヲ表彰スル爲メ皆勤證書ヲ授與ス

三ケ年以上引續キ皆勤シタル者ニ對シテハ別ニ賞品ヲ授與スルコトヲ得

第二條 本內規ニ依ル皆勤者トハ左記各號以外ニ於テ休暇缺勤ヲナサヽルモノヲ云フ

但シ職務上ノ傷痍又ハ疾病ニ因ル缺勤ハ其ノ年ニ限リ皆勤者ト見做ササルモ前後ノ年數ハ通算スルモノトス

一、非番

二、父母祭日

三、忌引(五日以內)

〔臺南警〕

第三條 郡守、警察署長ハ前條ノ該當者ヲ毎年一月二十日迄ニ調査報告スヘシ

第四條 皆勤證書ノ授與ハ毎年二月十一日紀元節祝日ニ之ヲ行フ

第五條 警務部、郡役所、警察署相互間ノ異動及昇進(例巡査ヨリ警部補ノ如シ)シタル者ノ勤務ハ連續ト見做ス

但シ他州廳ヨリ轉入シタル者ハ此ノ限リニ在ラス

第六條 警察講習所又ハ警察官練習所ニ入所ヲ命セラレタル者ハ第二條但書ニ準ス但シ二ケ月以內ノ短期講習ノ爲メ入所ヲ命セラレタル者ハ此ノ限リニ在ラス

第七條 警務部、郡役所、警察署ニハ皆勤證書授與者名簿ヲ備付クヘシ

巡査ニシテ皆勤證書ヲ授與セラレタルトキハ該名簿ニ登載スルト共ニ身分明細表褒賞欄ニ登錄スヘシ

第四章　點檢　禮式　操練　服制

●點檢操練ノ實施ニ關スル件

昭和五年七月二十八日
南警第二一四四號警務部長通達

各郡守　警察署長宛

點檢及操練實施ニ際シ訓練上ノ徹底ヲ期スル爲メ細部ノ點ニ關シ從來規程以外ニ夫々通達セラレアルモ各郡署ニ於ケル實施狀況ヲ見ルニ尙往々區々ニ渉ルモノアリ訓練統一上支障尠カラサルヲ以テ今般左記ノ通定メラレ候條爾今本文ニ依リ遺憾ナキヲ期セラレ度

右依命通達ス

追而大正十三年七月南警第七六二七號
大正十三年五月南警第六七三二號ノ一
大正十五年一月南警第九八號
大正十五年十一月南警第五三一六號
各通達ハ本通達ニ依リ自然消滅シタルモノニ付申添候

記

一、甲種點檢

(一)　整列點

巡査部長ハ巡査ノ右翼トシ兩翼ノ嚮導ニハ警部若クハ警部補ヲ以テ之ニ充ツ但シ警部、警部補アラサルトキハ巡査部長ヲ以テ兩翼嚮導ニ充ツルコトヲ得

(二)　整頓

イ、番號ハ整頓ヲ終リタル後ニ於テ附スルコト

ロ、前列カ五步前進シタルトキハ更ニ號令ナキ限リ不動ノ姿勢ヲ取リ其ノ場ニ於テハ整頓セサルコト

ハ、巡査部長ヲ嚮導ト爲シタルトキハ列員ト同樣點檢ヲ受ケシムルコト

ニ、指揮官ハ拔刀セサルコト

(三)　服裝

腿紐ハ之ヲ用ヒサルコト

(四)　檢メ銃

イ、銃ノ遊底ヲ開キタルトキハ右手ヲ以テ銃把ヲ握ラス拇指ハ銃把ノ外側ニ添フテ銃ヲ保持スルコト

ロ、右手ノ食指ヲ引鐵ニ入レス之ヲ伸ハシテ添フルコト

(五)　叉　銃

イ、叉銃ノ場合押伍ハ銃及彈藥盒ヲ列員ニ渡シ前列叉銃線ノ中央地點ニ位置セシムルコト

ロ、彈藥盒ハ前盒二個覆合セニ接觸セシメ縱ニ點檢規程第十三條第五號說明ノ通置クモノトス

(六)　手帳

イ、名刺ハ上部名刺入ニ入レ置クコト

ロ、檢閱中ハ右手ヲ垂下シ手帳ヲ受取リタル際ハ左手ヲ添ヘテ元ノ如ク開キテ保持スルコト但シ指揮官ハ之ヲ閉シタル儘保持セシムルコトヲ得

ハ、手帳ヲ收ムルトキハ左手ヲ添ヘサルコト

（七）捕繩

イ、解ク場合ハ右拳ヲ少シク左方ニ捻轉シ同時ニ右手ノ甲ヲ上ニシテ解キ口ヲ撮ミ第一回解舒ハ一尺以内ニ止ムルコト

ロ、收ムル場合ニハ右手ヲ以テ左手ニ外卷ニシ約一尺ヲ殘シテ横ニ卷キ收ムルコト

（八）警笛

イ、吹クトキハ右翼員カ吹キ始ムルト同時ニ次番者ハ警笛ヲ口ニ當テ其ノ終レルヲ待チテ順次之ヲ吹鳴スルコト

ロ、收ムル時ハ警笛ヲ左手ニ持チ換ヘ右手ニテ紐ヲ吹キ口ニ約一尺卷キテ之ヲ收ム

（九）拔刀

刀緒ヲ使用セサルトキハ右手ニテ下ヨリ刀緒ヲ握リテ後刀柄ヲ握ルコト

二、操練

（一）整列

操練ノ場合ハ巡査部長以下身幹順序トス

但シ嚮導及押伍ニ警部、警部補アラサルトキハ巡査部長ハ之ニ代ルモノトス

（二）警部補以上ノ嚮導及押伍警部補以上ノ者兩翼嚮導及押伍トナリタルトキハ拔刀セサルコト

但シ戰鬪隊形トナリ指揮ヲ要スルカ如キ場合ハ拔刀スルモノトス

（三）警部補以上ノ拔刀

警部補以上ノ者拔刀スル場合ハ鐶ヲ鈎ニ懸ケタル儘拔刀スルコト

（四）行進中拔刀ノ握リ方

指揮官カ行進中ニ於ケル拔刀ノ握リ方ハ步調ヲ取リ居ル場合ニ於テモ普通行進ノ場合ト同樣ノ握リ方ニテ差支ナシ

（五）伏射

伏射ノ場合ニ於テモ刀柄ヲ前ニ刀鞘ヲ後ニスルコト

三、其他

（一）銃及彈藥盒ニ附スル名札

半面ニ銃ノ番號半面ニ職氏名ヲ記シ銃ハ下帶ノ左側ニ彈藥盒ハ左前盒外側ニ附著スルコト

木札ハ長サ一寸二分幅四分厚サ二分トシ番號ハ單ニ一二五等ノ如ク記シ第號ノ字ヲ附セサルコト

（二）報告

イ、點檢ノ場合ハ規程第三條ノ指揮官ハ人員ヲ點呼シ（隊員ハ氣ヲ著ケノ儘トス）點檢官ノ六步前ニ駈足ニテ進ミ總人員（巡査部長以下）外勤務及事故不參人員、受驗人員ヲ順次報告シ點檢終了後ハ其ノ旨更ニ報告スヘシ

ロ、操練ノ場合ハ中隊長若クハ小隊長ハ其ノ隊伍編成前人員點呼ヲナシ（隊員ハ氣ヲ著ケノ儘トス）直チニ點檢官ノ六步前ニ駈足ニテ進ミ肩刀ノ儘敬禮シ人員教訓別ヲ報告シ教練終了ノ場合ハ其旨更ニ報告スヘシ

（三）巡視區監督ノ立會

乙種巡査定期召集ノ際必要アルトキハ巡視區監督ヲ立會セシムルコトヲ得

●乙種點檢ニ關スル件

大正十四年四月二十七日
南警第三六九六號

各郡守　署長宛

首題ノ件ニ關シテハ各郡（署）ニ於テ規定通リ勵行セラレツヽアルコトヽハ被存候モ往々高等特務及刑事專務ニ對シテハ之カ勵行ヲ怠ルノ傾モ有之候條爾今普通勤務巡査部長以下ニ對スルモノト同樣點檢相成度

右依命通達

●乙種點檢及同成績ニ關スル件

昭和五年一月
南警第一〇四號警務部長依命通達

大正十三年總督府訓令第五十三號州廳巡査點檢規程第二條ノ乙種點檢ハ別紙圖式ニ依リ整頓セシメ乙種點檢成績表ヲ添ヘ著裝中ノモノヲ除キ給貸與品ノ檢閱ヲ施行セシメラレ度尙乙種點檢成績表ハ別表ノ通改定相成候條會計巡査ヲシテ所要ノ記入ヲナサシメ各巡査ヘ交付シ規程第二十條ニ依リ乙種點檢施行シタルトキハ事故ナキ場合ト雖年月日ヲ記入シ點檢官ヲシテ必ス認印セシムル樣取計相成度

右依命通達ス

追而大正十一年六月南警第五三五四號及同第五四八一號通達ハ自然消滅ニ付申添候

乙種點檢成績表（給貸與品番號）巡査　年月日拜命

給 品目	給 員數	給 使用期限	給 支給年月	給 使用滿期年月	給 保存滿期年月	貸 品目	貸 員數
帽	一	二箇年	昭和年月	昭和年月	昭和年月	刀	一
日覆	一	二箇年	昭和年月	昭和年月	昭和年月	刀帶	一
			昭和年月	昭和年月	昭和年月	刀緒	一

使用期限中ノモノ

9 帽	10 略帽
17 革締套外	
16 章肩	
15 覆日	
14 袖下	
13 襟下	
12 套手	
11 下靴	
8 著肌夏	
7 著肌冬	
6 袴短	
5 袴夏	
4 衣夏	
3 袴冬	
2 衣冬	
1 套外	

保存期限中ノモノ

8 覆日	7 帽
6 袴短	
5 袴夏	
4 衣夏	
3 袴冬	
2 衣冬	
1 套外	

風呂敷

飯行李
同負綱
箸
手拭
マッチ
蠟燭
水筒
水呑
藥品
繃帶
絲針
油紙
脊負袋
銃豫備器
彈藥
銃器
短靴
紺足袋
卷脚絆
草鞋
提灯

品目	數量	品目	數量	品目	數量
冬衣	一三箇年	冬袴	一三箇年	肩章	一
夏衣	一二箇年	夏衣	一二箇年	外套締革	一
夏袴	一二箇年	夏袴	一二箇年	捕繩	一
夏袴	一二箇年	夏短袴	一二箇年	警笛	一
夏袴	一二箇年	甲種外套	一四箇年	略帽	一
甲種卷脚絆付	一二箇年			手帖	一
				乙種外套	一
				提燈	一

品目	數量	品目	數量	品目	數量
手套	二	背負袋	一	繃帶	一
下襟	二	彈藥	三〇	藥品	四種以上

備及代金支給品							
下袖	二	仮行李（負紐付）	一	針	五
冬肌著（上下）	各二	箸	一	絲（白黒）	若干
夏肌著（上下）	各二	油紙	一	紺脚絆	一
靴下	二	水筒	一	手拭	一
短靴	二	水呑	一	石鹸	一
銃	一	蠟燭	二	風呂敷	一
豫備器	一式	燐寸	二	靴足袋（又ハ足袋草鞋）	一

宿舎	點檢年月日	點檢官印	事故摘要	點檢年月日	點檢官印	事故摘要

注意事項

一　銃器ヲ宿舎ニ保管スル場合ハ袋ニ入レ外部ヨリ見エサル箇所ニ格納シ置クコト

二　彈藥ハ十五發ヲ背負袋ニ格納スルコト

三　背負袋ハ濃淺黄木綿製トシ其内端ニ白片布ヲ縫著シ職氏名ヲ明記シ置クコト

四　油紙ハ約〇、九米突平方ノモノトス

五　繃帶ハ包紙ヲ施セルモノトス

六　水呑ハ陶磁器製以外ノモノトス

七　靴足袋ハ堅キ護謨裏ニテ足袋形ヲナセルモノトス

八　冬襦袢及袴下ハ半袖半ズボン（夏襦袢袴下ハ除ク）ニアラサルモノトス

九　藥品、蠟燭、繃帶、燐寸、針、絲等ハ變質、汚損、錆等ヲ生セシメサル樣注意格納スルコト

十　藥品ノ外皮ニ購入年月日ヲ明記シ監督者ノ檢印ヲ受クルコト

●非常勤務出場者點檢ニ關スル件

昭和二年十一月二十九日
南警第三六三三號

部内各課長宛

勤務時間外ニ於テ突發セル水震火災等ノ非常事變ニ出場シタル場合（但シ召集令狀ヲ用ヒサル場合トス）ハ現場ニ出場者ノ點檢ヲ行ハサル代リ巡査部長以下ノ警察官ハ自己名刺ノ裏面ニ出場及退場時間ヲ記入シ（不參者ハ其ノ理由）翌朝出勤ト同時ニ警務係長ニ提出セシメラルヘク右示達ス

●内外國旗交叉掲揚スル場合ニ關スル件

明治四十四年八月
臺南庶祕收第七七四號庶務課長通達

日本國旗ト外國國旗トヲ交叉掲揚スル場合ニ於ケル外國國旗ノ位置ハ門ニ面シテ左（左圖參照）ニ有之候條此段及御通知候也

●警察官吏喪服ニ關スル件

大正元年八月
本警第一〇九四號警察本署長通牒

明治四十四年六月宮内省告示第十一號皇室喪服規程第二條ニ依レハ帶劍帶刀ノ制アル制服ヲ著用スル官吏ハ黒紗ヲ左腕ニ纏フノ外黒紗ヲ以テ劍

又ハ刀ノ柄ヲ卷クコトニ相成居候處右ハ警察官吏モ當然之ニ據ルヘキ義ト御承知相成度

●警察官吏服裝規程施行細則

大正十三年二月
臺南州訓令第三號

警務部 部長所 警察署

第一條 警察官吏ノ服裝ハ臺灣總督府警察官吏服裝規程（以下單ニ規程ト稱ス）ニ依ルノ外本令ニ依ルヘシ

第二條 規程第一條ノ特種事務ニ從事スル者トハ高等特務、武術專務教師、寫眞擔任者其ノ他特ニ指定セラレタル者ヲ謂フ

第三條 巡査ノ夏衣著用ハ特ニ指定スル場合ノ外三月十六日ヨリ十一月十五日迄トス

第四條 巡査ノ手套ハ常裝ノ場合ト雖點檢操練其ノ他隊伍ヲ爲ス場合ニ於テハ茶褐色ノモノヲ用ウルコトヲ得ス

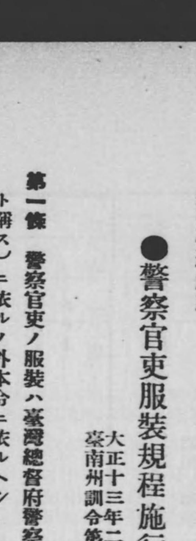
第五條 警部補以上ノ者カ卷脚絆又ハ「ゲートル」ヲ使用スヘキトキハカーキ色ノ卷脚絆トシ巡査ノ「ゲートル」ハ生地ト同色ノ釦ヲ附シタルモノトス

第六條 卷脚絆「ゲートル」短靴又ハ脚絆、紺足袋、草鞋ヲ用ウルトキハ冬衣著用ノ場合ト雖夏袴又ハ短袴トシ規程第十一條第三項ニ定ムル場合ノ外交通、村落警邏、巡視（市街地ヲ除ク）召集、警衛等ノ際ニ於テモ著用スヘシ但シ脚絆、紺足袋草鞋ヲ用ウルハ村落（村落ト市街地間ヲ往復スル場合ヲ含ム）ノミトス

第七條 巡査ノ手套ハ袴ノ左隱ニ納メ置クモノトス

第八條 巡査ノ刀緒ハ別記略圖ノ如ク著裝スルモノトス

略圖



●警察官吏服裝規程中改正ニ關スル件

昭和三年十二月十日
南警第三六一六號通達

各郡守 警察署長

十二月五日訓令第八十六號ヲ以テ發布相成候警察官吏服裝規程中一部改正ニ依リ警察官吏ノ長靴ハ特殊勤務ニ際シ之ヲ使用スル場合ヲ除キ卷脚絆及短靴ニ改メラレ候處右ハ從來市街地勤務者ノ如キニ在リテハ長靴ヲ使用シ職務執行上便宜トスル場合アルモ一面活動ノ敏捷ヲ缺ク嫌ナキニ非ス又警察官吏ノ大多數ヲ占ムル蕃地竝村落勤務者ノ如キ長靴ヲ使用スル場合強メテ稀ナル實情ニ鑑ミ種々研究ノ結果甲覆附卷脚絆ヲ適當ト認メ之ヲ長靴ニ代ヘ同時ニ今後長靴ノ使用ハ警察官吏ノ任意トセラレタル次第ニ有之候趣ニ付主旨御了知ノ上一般ニ徹底方御取計相成度

右依命通達ス

●警察官吏ノ服裝ニ關スル件

大正十五年一月二十八日
南警第八九七號警務部長通達

近來警察官吏中私服勤務者ニ非スシテ武術講習ニ出場スル場合私服ヲ著用シ或ハ出張ノ命ヲ受ケ武術大會ニ參加スルニ殊更和服ヲ用ヒ制規ノ服裝ヲ爲サヽル者往々有之紀律上遺憾不尠候條今後苟モ警察官吏トシテ武術ニ出席スル場合私服勤務者ニアラサル限リハ總テ制服著用ノコトニ職員一同ヘ嚴重示達可相成

右依命通達ス

●蕃地警察職員ノ服裝ニ關スル件

大正十四年八月
南警第六四二九號ノ一 警務部長依命通達
（臺南郡守宛）

本年七月二十七日付嘉警第六九六七號ヲ以テ蕃地警察職員ノ略服裝方ニ關シ禀申有之候處右ハ巡視警邏電話線路踏査其ノ他作業的動務ニ從事スル場合ニ限リ支障無之候條

右依命通達ス

●交通整理ニ關スル件

大正十四年二月二十八日
警々第四三九號警務局長通牒

大正十四年二月十七日訓令第十四號ヲ以テ交通整理動務警察官吏ノ腕章制定相成候處右ハ將來地方交通發達ノ狀況ニ應シ專務者配置ノ必要ヲ認ムルトキ或ハ一時的取締ヲ要スル場合等ニ於テ服裝ノ統一ヲ期セムトスルノ意ニ出テタルモノニシテ必スシモ直ニ專務者ノ配置ヲ爲サムトスル

義ニハ無之候條

右通牒ス

追テ交通取締ニ從事スル警察官吏ハ「ゲートル」及短靴又ハ雨天ナレハ長靴ヲ使用スヘキ義ト御承知相成度申添候

●警部補以上乙種外套地質ニ關スル件

大正八年七月
本警第七三〇號ノ二 警務局長通牒

臺灣總督府警察官服制中警部補以上乙種外套地質ニ關スル臺北廳長照會ニ對シ左記ノ通及回答置候條爲念右通牒ス

記

大正八年五月
臺北廳長照會

臺灣總督府警察官服制ニ依ルトキハ警部補以上ノ外套地質ハ表黑又ハ濃紺絨又ハ防水布トアリ防水布ノ色ニ付制限ナキノミナラス現ニ多數警部補以上中ニハ茶褐色ノ乙種外套ヲ著用スルヲ散見スルニ於テハ黑又ハ茶褐色何レヲ用フルモ差支ナキ儀ニ有之候哉何分ノ御指示相仰度右照會ス

大正八年五月
警察本署長回答

（前略）防水布ハ總テ鼠色ナリシヲ以テ服制ニ於テ其色ヲ一定セサルモ鼠色ヲ用ウルヲ至當ト被認候條御了知相成度右回答ス

第五章　會計

●出張命令簿及出勤簿取扱ニ關スル件

大正十三年十二月十九日
南警第一二二六〇號警務部長依命通達

從來各郡ニ於ケル出張命令簿及出勤簿ノ取扱區々ニ渉リ經理上其ノ他遺憾不勘ニ付今回左記ノ通リ定メラレ候條別ニ規程アルモノノ外大正十四年分ヨリ右ニ依リ取扱相成度
右依命通達ス

記

一　出張命令簿ハ歷年別ニ編綴シ之ヲ國庫及州費竝作場費（臨務）ニ區分シ各口座ヲ設ケ登錄スルコト

一　月額旅費ヲ受クルモノ所轄內出張ニシテ宿泊シタル日ノミ日額旅費ヲ支給スヘキ場合ニアリテハ其ノ日數ノミ出張日數欄ニ記入シ歸廳ノ日ハ出張日數ニ算入セサルコト

一　腦寢檢查ノ爲出張ヲ命スル場合ト雖モ其ノ都度命令簿ニ登載シ債權確定ノ上ハ直チニ旅費ヲ請求セシムルコト

一　出張命令簿下段主任欄ニハ會計事務擔任者ヲシテ捺印セシメ經理上遺漏ナカラシムルコト

一　出張地名欄ニハ用務地タル大字ヲ記入ノコト

一　郡ニ於ケル警察課長以下警察職員ノ出勤簿ハ總ヘテ警察課ニ備付整理ノコト

一　巡查ノ出勤簿ニ於ケル拜命年月日ハ州又ハ廳巡查拜命ノ年月日ヲ記入ノコト

一　出勤簿ハ基（官職順官職ノ同シキ者ハ俸給順同給者ハ拜命年月日順ニ）編綴シ各人毎ニ其ノ姓ヲ記シタル見出シヲ附スルコト

一　月額旅費ヲ受クルモノ所轄內出張ニシテ宿泊シタル日ノミ日額旅費ヲ支給スヘキ場合ニアリテハ日額旅費ヲ支給スル日數ノミヲ出張ト捺印シ歸廳ノ日ハ出張ノ印ヲ押捺セサルコト

一　非番手當ヲ支給シタル日ハ必ス非番ト捺印ノコト

●警察費所屬物品取扱手續

大正十年五月二十三日
臺南州訓令第三十號

警務部　郡警察課　警察署　警察分署

第一條　警察費所屬物品ノ取扱ハ臺灣總督府物品出納規程同施行細則及此ノ手續ノ定ムル處ニ據ルヘシ

第二條　州警務部、郡警察課、警察署及警察分署ニ物品取扱主任ヲ置ク工事主任ヲ命セラレタルモノハ別ニ辭令ヲ用キス物品出納主任トス

第三條　物品會計官吏物品ノ購入ヲ請求セントスルトキハ別記第一號樣式ニ依ルヘシ但シ物品取扱主任ノ請求書ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第四條　物品取扱主任物品ヲ請求セントスルトキハ備品、消耗品ニ區分シ備品ハ別記第二號樣式消耗品ハ第三號樣式ニ依リ物品會計官吏ニ差出スヘシ

物品ノ修理ヲ要スル場合ハ修理ノ文字ヲ冠シ前項ニ準シ取扱フヘシ

第五條　前條ノ請求ハ左ノ制限ニ依ルヘシ

一　備品ハ隨時其ノ所要數トス
二　消耗品ハ一箇月ノ所要數ヲ前月二十五日迄ニ請求スヘシ
三　工事材料品ハ隨時其ノ所要數トス

第六條　物品取扱主任又ハ公務旅行者郵便切手類ノ交付ヲ受ケムトスルトキハ別記第四號樣式ニ依リ請求スヘシ

第七條　假渡物品ハ別記第五號樣式（工事材料品ニ又第六號樣式（郵便切手類）ニ依リ精算書ヲ調製シ物品會計官吏ニ提出スヘシ
前項ノ精算書ハ工事材料品ニ在リテハ工事終了迄十日以內ニ郵便切手類及工事一箇月以上ニ亙ル材料品ニ在リテハ翌月十日迄ニ提出スヘシ
但シ第六條ノ公務旅行者ハ歸廳後五日以內ニ精算スヘシ

第八條　左ノ物品ハ常時出納品トシテ物品會計官吏直ニ之ヲ出納スルコトヲ得
常用罫紙、常用白紙、常用狀袋、起案用紙、炭酸紙、謄寫版原稿用紙、小包用紙、端書用紙、インク、水筆、眞筆、鉛筆、ペン先、マッチ、麻絲、拭巾、雜巾

第九條　左ノ物品ハ物品會計官吏ノ保管外トシ物品出納簿ニ登記セサルコトヲ得
一　購入直ニ費消スルモノ
二　官報新聞雜誌及之ニ準スルモノ

第十條　物品會計官吏物品ヲ交付スルトキハ請求書所定ノ箇所ニ受領證印ヲ徵スヘシ
物品會計官吏所在地外ノ請求者ニ物品ヲ交付スル場合ニハ別記第七號樣式ノ送付書ヲ發シ受領書ヲ徵スヘシ

第十一條　物品取扱主任ニ就キ交付ヲ受クヘキ各自所要品ハ口頭若ハ書面ニ依リ請求シ物品取扱主任ハ相當帳簿ニ徵印交付スヘシ

第十二條　物品會計官吏ハ左ノ補助簿ヲ設備シ整理スヘシ
備品內譯簿　第十二號樣式
郵便切手類概算渡整理簿　第十三號樣式

第十三條　物品取扱主任ハ物品ノ受拂ヲ明確ナラシムル爲左ノ簿册ヲ設備シ受拂ノ都度登記スヘシ
備品受拂簿　第十四號樣式
消耗品受拂簿　第十五號樣式
郵便切手受拂簿　第十六號樣式
工事材料品受拂簿（工事主任者ニ限ル）　第十五號樣式ニ準ス
備品保管簿　第十七號樣式

第十四條　警察官吏派出所、同駐在所、使用ノ物品ハ左ノ簿册ヲ設備シ監督者又ハ上席巡査之ヲ保管スヘシ
備品保管簿　第十七號樣式ニ準ス

第十五條　物品ヲ亡失シタルトキハ物品取扱主任ハ其ノ事實ヲ調査シ保管者ヨリ理由書ヲ徵シ別記第八號樣式ニ依リ物品會計官吏ニ報告スヘシ
物品ノ毀損セルモノニシテ其ノ毀損カ故意又ハ過失ニ基因スト認ムル場合亦同シ
物品會計官吏第一項及第二項ノ報告ヲ受ケタルトキハ其ノ事實ヲ審査シ意見ヲ附シ知事ニ提出スヘシ

第十六條　生產又ハ工事施行ノ結果等ニ依リ生シタル物品アルトキハ別記第九號樣式ニ依リ物品會計官吏ニ引繼クヘシ

第十七條　出張先購入ニ係ル物品ハ別記第十號樣式ニ依リ物品會計官吏ニ引繼クヘシ
前項ノ物品ニシテ費消シタルモノニ對シテハ歸廳後五日以內ニ品目、員數、價格ヲ詳記シタル報告書ヲ提出スヘシ

第十八條　備品類ニシテ不用ニ歸シ若ハ毀損シ補修シ難キ物品ハ別記第十一號樣式ニ依リ其ノ都度物品會計官吏ニ返納スヘシ
消耗品類ニシテ年度末ニ至リ剩餘アリタルトキ亦同シ

第十九條　物品會計官吏ハ每年一回以上物品取扱主任ノ取扱ニ屬スル帳簿及物品ヲ檢查シ使用ノ適否ヲ查察スヘシ

第二十條　物品取扱主任ハ每年二回以上各保管者ノ物品ヲ檢查シ其ノ狀況ヲ物品會計官吏ニ報告スヘシ

第二十一條　物品取扱主任交替スルトキハ引繼調書ヲ作リ前任者及後任者之ニ署名捺印シ物品會計官吏ニ報告スヘシ

第二十二條　警察官吏派出所及同駐在所備品保管者交替スルトキハ前條ニ依リ引繼調書ヲ作製シ物品取扱主任ニ差出スヘシ

第二十三條　前各條ノ請求書、返納書及報告書ハ所屬郡守課長警察署長又ハ警察分署長ヲ經由スヘシ

附　則

本令ハ大正十年四月一日ヨリ之ヲ適用ス
從來使用ノ帳簿及用紙ハ當分ノ內改寫ノ上使用スルコトヲ得
（樣式略ス）

●鐵道乘車證券使用ニ關スル件

（臺南警）

大正十年二月十六日
警々第一六號ノ一警務局長通牒

首題ノ件ニ關シ臺中州知事ノ照會ニ對シ左記ノ通リ回答致置候條爲念右通牒ス

（臺中州照會）

明治四十二年十月二十三日本警經乙第三三八號ノ一ヲ以テ警察官吏鐵道乘車手續御內牒相成候處郡守ハ官制上警察官吏ヲ指揮監督スル權限アルヲ以テ郡守カ警察事務監督ノ爲出張スル場合ニ於テ鐵道乘車證券ヲ使用セシメ差支ナキヤ聊カ疑義相生シ候條何分ノ御指示相成度右照會ス

（右ニ對スル回答）

二月八日付中警第六五三號ノ一ヲ以テ御照會ノ趣了承明治四十二年十月本警經乙第三三八號ノ一內牒警察官吏鐵道乘車手續中警察官吏ハ之ヲ廣義ニ解釋スヘキ筋合ニ無之從テ本島ニ於テハ警務部長、警視、警部、警部補及巡查以外ノ者ニ乘車證券ヲ交付スルヲ得サル義ト御了知相成度右回答ス

●無賃乘車證ニ關スル件

昭和四年四月二日
南警第七六七號通達

各郡守　署長宛

貴郡署特務及刑事巡查用無賃乘車證左記ノ通送付來リ候條使用上不都合ノ廉ナキ樣嚴重示達ノ上交付相成度
右依命通達ス